



colorWAVE T60

操作ガイド



著作権および商標

著作権

Copyright 2024 Canon Production Printing.

このマニュアルのいかなる部分も、Canon Production Printing の事前の書面による許可なしに、いかなる形態または手段であっても、電子的、手動、またはその他の方法でコピー、改変、複製、または転送することはできません。図やプリンタ出力画像はシミュレートされたものであり、各地域の市場で供給されている製品やサービスには適用されない場合があります。このマニュアルの内容は、特定の性質または仕様に関する保証としても、特定の用途への技術的性能または適合性に関する保証としても解釈しないでください。このマニュアルの内容は予告なくその時々に変更することがありますのでご了承ください。

CANON PRODUCTION PRINTING 社は、このマニュアルの内容の使用から生じる、いかなる直接的、間接的、または派生的な損害に対しても、損失または費用に対しても、一切の責任を負いません。

商標

Canon は Canon Inc. の登録商標であり、colorWAVE は Canon Production Printing Netherlands B.V の商標または登録商標です。

Adobe, Acrobat および PostScript は、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Microsoft および Windows は Microsoft グループの商標です。

その他の商標はすべて各社に帰属することをここに明記します。

データセキュリティ

はじめに

セキュリティとは、通信とデータを保護し、オンライン社会と経済の安全を維持することです。セキュリティはお客様の業務にとってきわめて重要であり、Canon Production Printing ではそのことを真摯に受け止めています。セキュリティは、弊社の製品開発プロセスの初期の段階に組み込まれるものです。弊社のハードウェアおよびソフトウェア製品は、業界のセキュリティ標準の作業方法に従って開発され、弊社の印刷製品および PRISMA ワークフローおよびアプリケーションソフトウェアを、サイバーセキュリティの脅威から保護するために必要な機能を備えています。

ポリシー/ガイドライン/ルール

Canon のセキュア開発 Life Cycle (SDLC) プロセスは、米国標準技術局 (NIST) や Open Web Application Security Project (別称 OWASP) と比較して、それ自体もモデル化される機敏な開発プロセスです。

これは、スプリントの動作を利用して、連続的な排紙と、機敏なプロセスで可能になる柔軟性を活かしています。

弊社のバックオフィスサポートプログラム (サービスツールおよびオンラインサービスの開発) は、ISO / IEC 27001 : 2013 の認定を受けています。

規制についての注記

弊社の製品、サービス、およびソリューションのセキュリティの詳細については、最寄りの Canon 代理店までお問い合わせいただくか、または <https://cpp.canon/security> をご参照ください。

ソースコード

はじめに

リストにあるオープンソースのコンポーネントは、それぞれ異なるライセンスにより管理されています。ライセンスの中には、ソースコードの提供に関する規定があるものもあります。

ポリシー / ガイドライン / 規則

該当するライセンス条項の下で利用可能なオープンソース コンポーネントのソースコードの機械読み取り可能なコピーの入手を希望される場合は、**opensource@cpp.canon** に電子メールを送信して、ソースコードのコピーを要求することができます。その場合、以下を明記してください。

1. お客様がライセンスを取得した Canon Production Printing のソフトウェアの名称とバージョン。
2. 上記で特定された Canon Production Printing のソフトウェアに含まれるオープンソース ソフトウェア モジュールのうち、お客様が合法的にソースコードの入手を希望されるものの名称とバージョン。

当社は、お客様がソースコードの機械読み取り可能なコピーを入手できる場所を提供するか、または、それぞれのオープンソース ソフトウェアコンポーネントの対応するソースコードの完全な機械読み取り可能なコピーを、ソフトウェアの交換に慣習的に使用できる当社が選択した媒体に、利用可能な状態でそのまま納品します。お客様は、ソースコードの配布のために発生した費用を支払うよう求められることがあります。その費用は、いかなる場合においても、ソースコードの配布を物理的に行うために発生した費用を超えないものとします。

規制についての注記

本件は、この情報を受け取られた方すべてが対象となります。

目次

第1章

はじめに.....	11
本書について.....	12
colorWAVE T60 について.....	13
ユーザーについて.....	14
読者への注意事項.....	15
関連マニュアル.....	16

第2章

プリントシステムについて.....	19
ハードウェア.....	20
プリンタの主なコンポーネント (前面).....	20
プリンタの主なコンポーネント (背面).....	22
用紙引き出し.....	23
ClearConnect 操作パネル.....	24
スキャナのコンポーネント (オプション).....	26
排紙先.....	28
仕上げデバイスの構成を選択します。.....	30
Scanner Professional (オプション).....	31
折り機 (オプション).....	32
巻き取りモジュール (オプション) およびロール ワインド モジュール (オプション).....	33
「ロール ツー ロール」モードの構成.....	33
Operator Attention Light (オプション).....	34
耐震対策.....	35
プリント システムの接続.....	36
プリンタの作業エリア (設置面積).....	36
電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続.....	37
プリント システムのスイッチ オン.....	39
プリント システムのスイッチをオフにする.....	41
システムの移動.....	43
ClearConnect 操作パネルのワークフロー.....	47
ホーム画面.....	47
ジョブ キューおよびシステム メニュー.....	49
プリセット、テンプレート、および詳細設定.....	52
ジョブのプレビュー.....	54
クラウド.....	55

第3章

WebTools Express を使用したワークフローの定義.....	57
ご使用にあたって.....	58
WebTools Express.....	58
WebTools Express 用に別の言語を設定する.....	59
アクセス管理.....	60
権限のあるユーザーとしてログインする.....	61
セッション後にログアウトする.....	62
権限のあるユーザーのパスワード、またはパスワードの暗号化キーを変更する.....	63
ジョブの状態.....	64
システム モニタ.....	65
システムを再起動またはシャットダウンする.....	67

Remote ON 機能.....	68
デフォルトの定義.....	69
WebTools Express のデフォルト設定について.....	69
設定を編集するには.....	70
設定を表示して確認.....	71
設定をファイルに保存.....	72
ファイルから設定を読み込み.....	73
工場出荷時のデフォルトを復元.....	74
プリント ジョブのデフォルト設定の指定.....	75
デフォルトのプリント保存先を設定.....	78
コピー ジョブのデフォルト設定の指定.....	79
スキャン ジョブのデフォルト設定の指定.....	80
Smart Inbox 設定の設定.....	81
Smart Inbox およびキューの概念.....	81
「Jobs (ジョブ)」タブの「Smart Inbox」.....	82
Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox.....	84
Smart Inbox を閉じるか削除します。.....	87
ジョブ管理設定の構成.....	88
ネットワークおよびセキュリティ設定の構成.....	89
WebTools Express のネットワーク設定の構成.....	89
通知用メールサーバーの設定.....	90
Mozilla Firefox 用のセキュリティ設定を設定する.....	91
Google Chrome 用のセキュリティ設定を設定する.....	92
Microsoft Edge 用のセキュリティ設定を設定する.....	93
リンク速度およびデュプレックス モードの設定.....	94
ユーザー認証の有効化.....	95
アクセス コントロールの有効化.....	96
IPsec を有効にする.....	97
アクセス コントロールと IPsec の設定.....	98
電子断裁機能の有効化または無効化.....	99
電子断裁アルゴリズムの選択.....	100
上書きパスの回数の指定.....	101
リモート セキュリティ.....	102
証明書リクエストを生成する.....	103
CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のインポート.....	105
CA 署名の証明書のインポート: 中間証明書のインポート.....	106
CA 署名の証明書のインポート.....	107
CA 署名の証明書のインポート: ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。.....	108
証明書認証に関する情報を見つける.....	109
プリセットの設定.....	110
プリセットについて知っておくべきこと.....	110
デフォルトのコピー プリセットの設定.....	111
カスタムのコピー プリセットの構成.....	112
デフォルトのプリント プリセットの設定.....	113
カスタムのプリント プリセットの構成.....	114
操作パネルでのカスタムのプリセットの使用.....	115
テンプレートの設定.....	116
折りおよびスキャン テンプレート.....	116
新規テンプレートの作成.....	117
すべてのテンプレートの削除.....	118
テンプレートのエクスポート.....	119
テンプレートのインポート.....	120
テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元.....	121
スキャン テンプレートを有効または無効にする.....	122
場所の設定.....	123
場所の設定.....	123
USB の有効化または無効化.....	124
ホーム フォルダの有効化および編集.....	125
PlanWell Collaborate の有効化 (オプション).....	126

外部の場所の作成.....	127
デフォルトの外部の場所の設定	129
FTP での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後).....	130
SMB での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後).....	132
WebDAV での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後).....	134
プリンタ設定の構成.....	136
操作パネルの設定を行う.....	136
地域設定の指定	137
ユーザー セッション タイムアウトの設定.....	138
作業時間の設定.....	139
省電力モードを設定する	140
用紙要求タイムアウトの設定	141
用紙ロールのコア サイズの構成	142
ペン設定の構成.....	143
WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定.....	144
仕上げ設定の構成.....	145
Finishing Assistant の設定	145
カスタム折りテンプレートの折り設定.....	146
組み込み折りテンプレートの折り設定.....	149
デフォルト折りテンプレート.....	150
プリント品質およびプリント生産性の調整.....	151
プリント品質の設定.....	151
ロング プロット モードの設定.....	152
自動ロール切り替えの設定.....	153
スプールしきい値の設定.....	154
回転モードの設定.....	155
アライメント モードを設定する	156
PDF レンダリング エンジンの設定.....	157
PDF の透明の平板化の設定.....	158
Print Assistant の動作の設定.....	159
プリント生産性の最適化.....	160
カラー 管理について.....	161
カラー管理とは？.....	161
入力プロファイル/標準化とは？	162
カラー フィールとは？.....	165
カラー レンダリングとは？.....	166
カラー レンダリングの定義.....	166
カラー レンダリング: 知覚的 (フォト)	167
カラー レンダリング: 彩度 (ビジネス グラフィックス).....	168
カラー レンダリング: 相対カラーメトリック	169
カラー レンダリング: 絶対カラーメトリック.....	170
出力プロファイルとは？.....	171
WebTools Express のカラーマネージメント設定.....	172
カラー マネージメント設定およびジョブの送信	173
カラー設定の優先順位	175
HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルのカラー マネージメント設定.....	177
TIFF および JPEG ファイルのカラー マネージメント設定 (RGB 入力).....	178
TIFF および JPEG ファイルのカラー マネージメント設定 (CMYK 入力).....	179
PostScript ファイル用のカラー マネージメント設定 (RGB 入力)	180
PostScript (CMYK 入力) のカラーマネージメント設定.....	181
PDF ファイル用のカラー マネージメント設定 (RGB 入力)	182
PDF ファイル用のカラー マネージメント設定 (CMYK 入力).....	183
PDF ファイル用のカラー マネージメント設定 (グレイ入力).....	184
用紙の管理.....	185
用紙プロファイルとは？	185
用紙プロファイルを設定する.....	186
用紙プロファイルをインストールする	187
カスタムの用紙サイズの作成.....	188
用紙サイズの構成.....	189
モバイル プリントおよびスキンの構成.....	190

Publisher Express.....	190
モバイル接続用の WebTools Express 設定の指定.....	192
クイックレスポンスカードを生成します.....	193
モバイル デバイスを Publisher Express に接続する.....	194

第 4 章

プリント システムの使用.....	195
原稿を挿入する方法.....	196
原稿を自動挿入するには.....	197
「ロール ツー ロール」モードでの用紙のカット方法.....	198
プリント ジョブ.....	199
デフォルトのプリント ジョブを実行する	199
ダイレクト プリント	201
パスワードプリント.....	202
USB キーからのプリント.....	204
操作パネルでのプリント プリセット.....	205
プリント ジョブに対するイメージプリセット.....	206
プリント ジョブのための詳細設定.....	207
コピー ジョブ.....	212
デフォルトのコピー ジョブを実行する	212
操作パネルでのコピー プリセット.....	213
コピー ジョブのイメージ プリセット.....	214
コピー ジョブの詳細設定.....	215
コピー ジョブの推奨設定.....	224
原稿の種類.....	226
ハーフ サイズ コピーを作成する.....	228
コピーを作成して余白を追加する.....	229
コピーを作成して余白を削除する.....	231
原稿の特定の領域のコピーを作成する.....	232
コピーを作成して原稿の特定の領域を削除する.....	233
コピーを作成して別のサイズにスケールする.....	234
濃い原稿のコピーの作成 (青焼き).....	235
強調表示されたカラーが含まれた原稿のコピーの作成.....	236
セットごとのコピー.....	237
スキャン ジョブ.....	238
デフォルトのスキャン ジョブを実行する	238
操作パネルでのスキャン テンプレート.....	239
スキャン ジョブの詳細設定.....	240
スキャン ジョブの推奨設定.....	246
原稿の種類.....	248
ファイルの種類.....	250
スキャンを作成して余白を削除する.....	252
USB キーへのスキャン.....	253
ホーム フォルダへのスキャン.....	254
モバイル デバイスにスキャン済みドキュメントを保存する.....	255
プリント ジョブ - ジョブ送信ツール.....	256
Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する.....	256
Smart Inbox を使用してプリント ジョブを送信する.....	258
PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する.....	259
Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する.....	260
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ を使用してプリント ジョブを送信する.....	262
Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する.....	263
モバイル デバイスからのプリント.....	265
FTP を使用してプリント ジョブを送信する.....	267
LPR を使用してプリント ジョブを送信する.....	268
クラウドを使用してプリント ジョブを送信する.....	269
ホーム フォルダを使用してプリント ジョブを送信する.....	270
プリント ジョブ送信のトラブルシューティング.....	271
アクティブなジョブの一時停止、再開または停止.....	272

システム設定のクリア.....	274
第5章	
プリントシステムのメンテナンス.....	275
システムの更新.....	276
ソフトウェアを更新する.....	276
操作パネルでのシステム ソフトウェアの更新.....	277
WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアをアップデート.....	278
WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアのパッチをインストール.....	279
WebTools Express 経由でオペレーティング・システムのアップデートを手動でインストールしま す。.....	280
PRISMAservice からのオペレーティング・システム・アップデートの設定、ダウンロード、インス トール.....	281
用紙の交換.....	283
用紙引き出し.....	283
ロール紙の取り外し.....	284
ロール紙をパッケージから取り出す.....	288
ロール紙の装着.....	290
用紙の種類.....	294
用紙サイズ.....	296
トナーの補充.....	298
トナー カートリッジの交換.....	298
メンテナンス トレイの交換.....	301
スキャナのメンテナンス.....	305
スキャナのクリーニング.....	305
スキャナの調整.....	307
第6章	
ライセンス管理.....	309
ライセンス管理について.....	310
ライセンスを確認する.....	311
現在アクティブなライセンスの保存.....	312
新しいライセンス ファイルの取得.....	313
新しいライセンスをアクティベート.....	314
第7章	
アカウント管理.....	315
アカウント管理について.....	316
WebTools Express でアカウント管理を設定.....	317
アカウント ワークフロー.....	318
プリンタでのワークフロー.....	318
第8章	
問題の解決.....	319
ジョブに関する問題を解決するには.....	320
プリント サーフェスをクリーニングします.....	321
スキャナで原稿の詰まりを解消するには.....	325
ネットワーク ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し.....	326
イベント メッセージ.....	328
エラーの場合の設定.....	332
デモ プリントの作成.....	333
テスト プリントの作成.....	334
第9章	
サポート.....	335
カウンタ履歴.....	336
監査ログ.....	337

リモート サービス: プロキシの設定.....	338
リモート サービス: 接続の確認.....	339
リモート サービス: リモート アシスタンスの許可.....	340
製品のダウンロードとサポート.....	341

第1章

はじめに

本書について

本書は、世界中の市場向けに作成されています。本書には、お住まいの地域の Canon 販売会社またはディーラーがサポートしていないアクセサリやライセンス機能に関連する情報が含まれている場合があります。

Language (言語)

元の指示の英語への翻訳.

colorWAVE T60 について

はじめに

colorWAVE T60 は、特許取得済みの CrystalPoint テクノロジーを使用するワイド フォーマット TonerPearl プリンタです。



colorWAVE T60 プリント システムの主なコンポーネント

コンポーネント	説明/機能
colorWAVE T60	colorWAVE T60 は、プリント出力を作成します。統合 Scanner Express (オプション) により、コピーおよびスキャンのジョブも実行することができます。ClearConnect マルチタッチ ユーザ パネルを使って、ジョブを簡単に構成し、送信することができます。
WebTools Express	WebTools Express は、複数のユーザーにシステムのリモート表示、およびシステムのワークフロー管理機能を提供します。ソフトウェアのインストールは必要ありません。 [システム管理者] または [キー オペレータ] は、WebTools Express を使用して、システムを構成したり、システムを微調整して、顧客企業のワークフローおよびプロセスに合わせて最適化することができます。

ユーザーについて

はじめに

WebTools Express の設定値を設定および管理することによって、colorWAVE T60 のパフォーマンスを最適化することができます。

WebTools Express のすべての設定を表示できますが、設定の値を変更する場合にはメッセージが表示されます。このメッセージには、設定がパスワード保護されていることが表示されます。設定を変更するには、パスワードを使用してログインする必要があります。



重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます([セキュリティ] - [設定] - [サービスの許可] - [サービス技術者にパスワードのリセットを許可する])。そうではない場合、システム ソフトウェアを再インストールする必要があります。



メモ

システムの日常的な使用においては、パスワードは必要ありません。

ユーザーの役割および権限の概要

次の表に、ユーザーの役割とそれらの役割に属する権限を示します。

ユーザーの役割	説明
[キー オペレータ]	システムの通常の使用以外に、キー オペレータは日常的なメンテナンスも担当します。 WebTools Express で特定のキー オペレータ設定の値を変更するには、キー オペレータとしてログインする必要があります。
[システム管理者]	システム管理者は、カスタムの IT インフラストラクチャへのシステムの統合を担当します。 WebTools Express で特定のシステム管理者の値を変更するには、システム管理者としてログインする必要があります。
[パワー ユーザー]	パワーユーザーは、サービス設定を除く、WebTools Express のすべての機能にアクセスする権限があります。

[サービス]の役割は主に、プリンタのインストールとサービスに関する設定値の設定に使用します。

読者への注意事項

安全のシンボル

本製品を使用する前に、必ず本製品に付属する安全に関する情報を読み、理解していることを確認してください。安全に関する情報は製品ページの <https://downloads.cpp.canon> をご覧ください。また、製品に記載されている警告や指示事項に必ず従ってください。

このマニュアルでは、危険や注意事項を示すために以下の安全のシンボルを使用しています。

マーク	シンボルの種類	意味
	警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	重要	取り扱い上厳守していただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機器、ソフトウェア、データ、用紙、または物理的損害を防ぐために、これらの項目を注意深くお読みください。
	メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

関連マニュアル

はじめに

本書は、マニュアル セットの一部分です。 次の表に、関連マニュアルの概要を示します。



メモ

最新のマニュアルについては、インターネットで ダウンロード ページをご覧ください、プリンタに関するすべての情報を入手してください。

使用可能なマニュアル

マニュアル	提供場所
ユーザー マニュアル - 操作ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。多言語の PDF ファイル型式
オンライン ヘルプ - WebTools Express	アプリケーションからアクセス可能 多言語で利用可能
ユーザー マニュアル - 安全ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。多言語の PDF ファイル型式
plotWAVE-colorWAVE Connectivity Manual for Windows - Administration guide	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。英語の PDF ファイルで提供しております。
plotWAVE-colorWAVE Systems Security - Administration guide	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。英語の PDF ファイルで提供しております。

使用可能なマニュアル Driver Select for Microsoft® Windows®

マニュアル	提供場所
ユーザー ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。PDF ファイルを各言語で提供しております。
オンライン ヘルプ	アプリケーションに組み込まれています。各言語で提供されます。

使用可能なマニュアル Driver Express for Adobe® Postscript® 3™

マニュアル	提供場所
インストール ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。PDF ファイルを各言語で提供しております。
オンライン ヘルプ	アプリケーションに組み込まれています。各言語で提供されます。

使用可能なマニュアル PRISMAproduce Tech

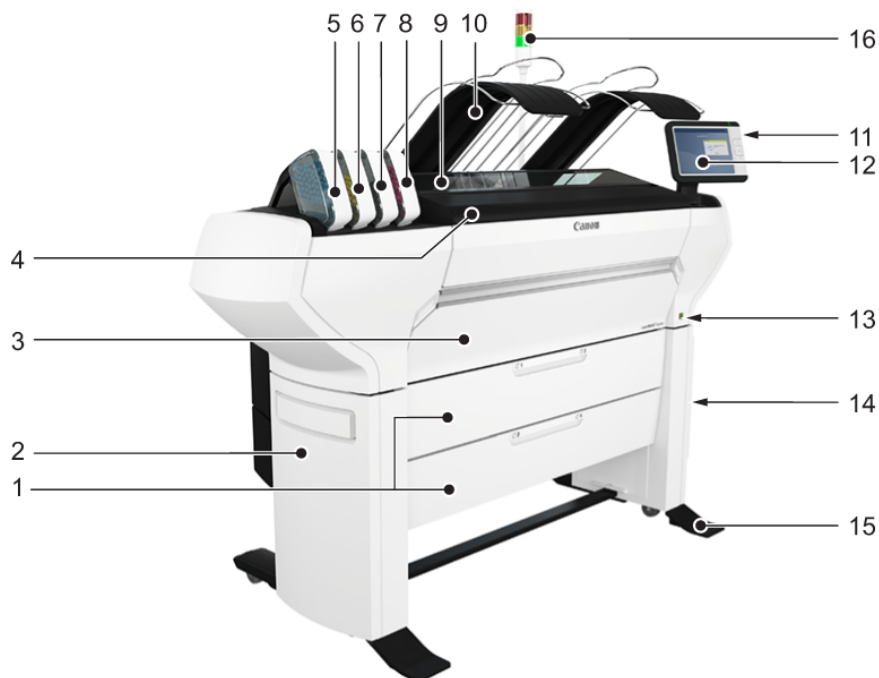
マニュアル	提供場所
ユーザー ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。多言語の PDF ファイル型式
オンライン ヘルプ	アプリケーションからアクセス可能 多言語で利用可能

第2章

プリント システムについて

ハードウェア

プリンタの主なコンポーネント (前面)



コンポーネント - 機能表

いいえ	コンポーネント	説明/機能
1	[用紙引き出し]	2本のロール紙が入る用紙引き出し
2	[左下サイド カバー]	装置左下のカバー
3	[下フロント カバー]	用紙搬送経路にアクセスするためのドア
4	[上部カバー]	装置の上面をカバーするコンポーネント
5	[トナー カートリッジ (シアン)]	シアン TonerPearls®用トナーカセット
6	[トナー カートリッジ (イエロー)]	イエロー TonerPearls®用トナーカセット
7	[トナー カートリッジ (ブラック)]	TonerPearls®黒用トナーカセット
8	[トナー カートリッジ (マゼンタ)]	マゼンタ TonerPearls®用トナーカセット
9	[トランスペアレント上部カバー]	プリント サーフェス/用紙出力部にアクセスするためのドア
10	[上部排紙トレイ]	プリント済み出力を収容する排紙トレイ
11	[USB ポート]	プリントからやスキャンへ USB キーを使用するための USB コネクタ

いいえ	コンポーネント	説明/機能
12	ClearConnect: マルチタッチ[ユーザ パネル]	ClearConnect 操作パネルを使用すると、コピー、スキャン、プリントのジョブを開始し、システムおよびジョブ ステータスをモニタリングすることができます。
13	[オン/オフ ボタン]	プリンタを起動またはシャットダウンするためのボタン。 この[シャット ダウン]ボタンは、WebTools Express のボタンに相当します。
14	[右下サイド カバー]	POWERSync+ コントローラーをカバーするコンポーネント
15	[フット]	プリンタの下部にあるコンポーネント、レバーとして使用
16	[オペレーター警告ランプ]	プリンターの状態を知らせるランプ

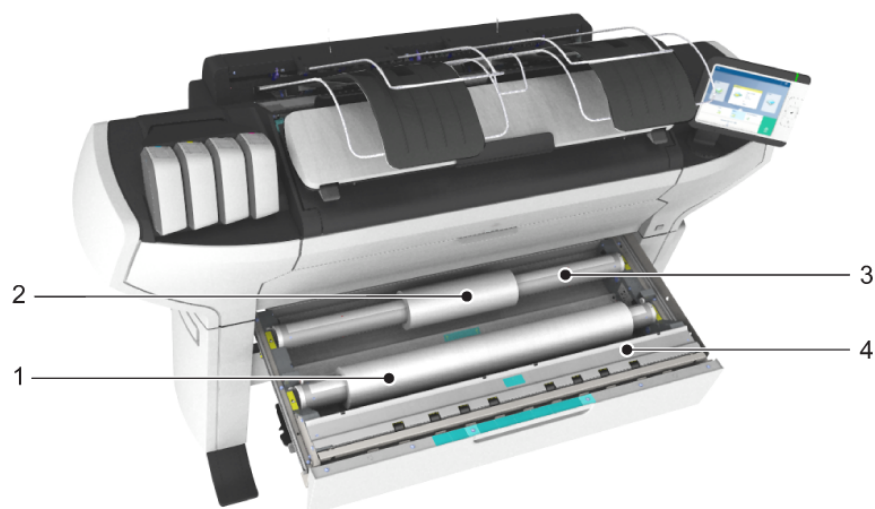
プリンタの主なコンポーネント (背面)



コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[ホイール]	ブレーキ付きのキャスター。
2	[折り機接続パネル]	折り機を に接続するコンポーネント。
3	[メンテナンス トレイ引き出し]	
4	[上バック カバー]	デバイスの背面にあるカバーで、エラー修復のためにマシンにアクセスするために使います。
5	[電源スイッチ]	主電源のオン/オフを切り替えます。 電源スイッチの上にあるステッカーにプリンタのシリアル番号が記載されています。

用紙引き出し



コンポーネント - 機能表



重要

傷などのないロール紙のみを使用してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、[イメージング デバイス] が損傷する場合があります。

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[用紙ロール] 1	最初の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
2	[用紙ロール] 2	2 番目の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
3	[ロール ホルダ]	ロール紙を装着します。
4	[ロール ローディング ステーション]	用紙引き出しの前部カバーの後ろに統合された溝。

ClearConnect 操作パネル

はじめに

ClearConnect は、プリンタのマルチタッチ操作パネルです。



No (いいえ)	コンポーネント	機能
1	[ステータス ライト]	プリンタのステータスに関するフィードバックを表すライト。 - 緑のライトは、プリンタがスキャン中またはプリント中であることを示します。 - 緑色の点滅は、プリンタが移行状態にあることを示します（起動、シャットダウン、スリープ、起動、更新/インストール）。 - オレンジ色のランプはノンブロッキングエラーを示します。例えば、トナー切れ間近の場合や、プリンターが一時停止しそうな場合。 - オレンジ色の点滅は、コントローラの更新 / インストールが進行中であることを示します。 - 赤のライトは、エラーが発生したか、プリンタ キューが一時停止したことを示します。 - ライトが消灯しているときは、システムは準備完了であるか、シャットダウンしていることを示します。 プリンタのステータスに関するより詳細な情報は、ClearConnect ユーザーパネルに表示されます。
2.	[スリープ ボタン]	ボタン: - プリンタのスリープ モードを解除します。 - 機能を完全に活用するために、プリンタのスリープ モードを解除します。
3.	[USB ポート]	USB キーの挿入: - USB キーから直接にファイルを印刷します。 - USB キーに直接にスキャン ファイルを保存します。 データ転送中、ポートの緑ランプが点滅し始めます。

No (いいえ)	コンポーネント	機能
4.	[停止ボタン]	ボタン、赤のライトが点灯: • スキャン ジョブを直ちに中断します。 • 印刷中のページの印刷後、印刷ジョブを停止します。
5.	[ホーム ボタン]	ボタン: • ユーザーパネルのホーム画面に戻ります。 • ボタンを 2 回押して設定をデフォルトに戻します。
6.	[緑色のボタン] (タッチ)	以下を行うための操作パネル画面の動的なタイルです。 • ユーザーパネルでスキャンジョブ、プリントジョブ、コピージョブを開始します。

スキャナのコンポーネント (オプション)

はじめに

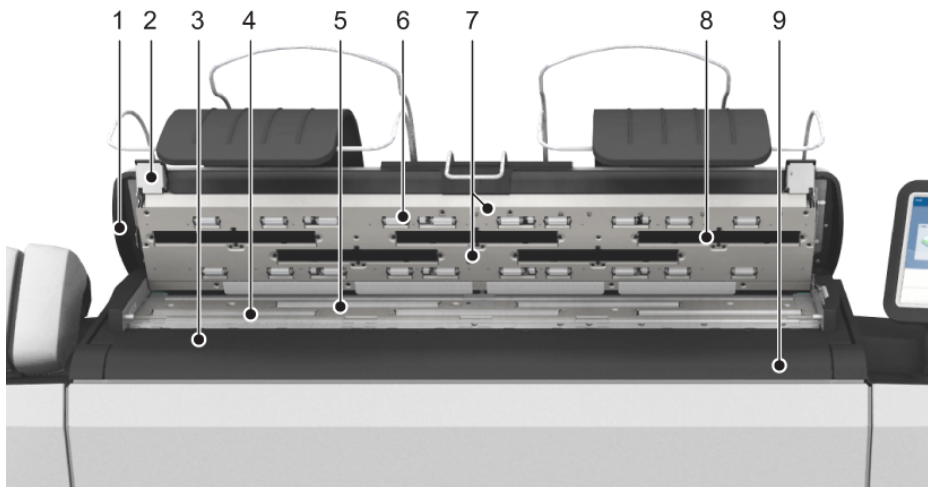
組み込みスキャナはプリンタのオプションです。

スキャナのコンポーネント (上カバーは閉じた状態)



	コンポーネント	説明/機能
1	[上部カバー]	スキャナを保護します。
2	[出力再給紙プロテクタ]	出力がスキャナに再給紙されるのを防ぎます。
3	[原稿排出口]	スキャン済み原稿が排紙されます。
4	[原稿フィード テーブル]	原稿フィード テーブルを使用して、(表向きに) 原稿をスキャナに給紙します。
5	[オープン レバー]	オープン レバーを使用して、スキャナの上カバーを開きます。

スキャナのコンポーネント (上カバーは開いた状態)

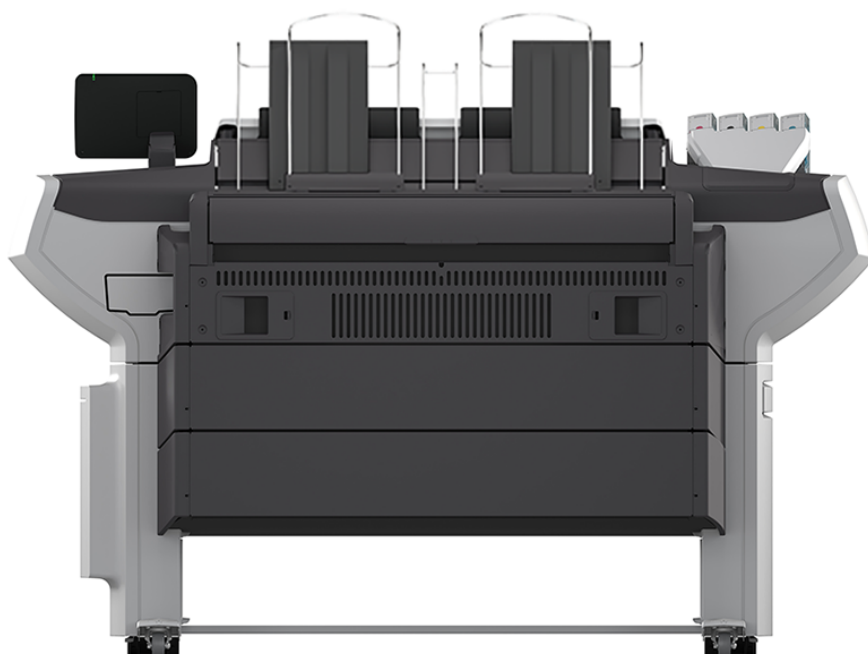


	コンポーネント	説明/機能
1	[上部カバー]	スキャナを保護します。
2	[オープン レバー]	オープン レバーを使用して、スキャナの上カバーを開きます。
3	[原稿サイズ定規]	この定規を使用して原稿の長さを測定します。
4	[原稿フィード ローラー]	原稿の搬送に使用されるローラー。
5	[原稿サポート ローラー]	原稿ガイド用のローラー。
6	[スキャナ上部カバー ローラー]	上部カバーに搭載された原稿ガイド用のローラー。
7	[原稿センサー]	原稿検出用のセンサー。
8	[透明コンタクト プレート]	イメージ センサーのカバー。
9	[原稿フィード テーブル]	原稿フィード テーブルを使用して、(表向きに) 原稿をスキャナに給紙します。

排紙先

はじめに

colorWAVE T60 には、プリント出力を収容するための [上部排紙トレイ (TDT)] が付属しています。



[上部排紙トレイ (TDT)] には、長さ 1200mm (48 インチ) までの普通紙プリント出力を 50 ～ 100 枚収容することができます。出力の収容容量は、使用する用紙の種類によって異なります。

WebTools Express では、プリント済み出力のデフォルトの [プリント排紙] を定義することができます。デフォルトの [プリント排紙] を設定するには、[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを選択します。

- 標準の 3 インチ用紙コアではなく、2 インチ用紙コアを使用する場合、プリント出力は自動的にプリンタの背面に排紙されます。このため、いずれかの仕上げオプションを接続することをお勧めします。
- 用紙によっては、特定の出力排紙先が必要となる場合があります。たとえば、厚手紙や手動でのカットが必要な用紙は、自動的にプリンタの後部に排紙されます。これは用紙の種類のプロパティに定義されています。
- [上部排紙トレイ (TDT)] を選択した場合、デフォルトでは標準の [上部排紙トレイ (TDT)] にプリント出力が排紙されます。
- [背面出力] を選択した場合、デフォルトではプリンタの背面にプリント出力が排紙されます。この場合、次のいずれかの仕上げオプションを使用してプリンタを拡張することができます。

仕上げオプション

[仕上げデバイスの構成を選択します。\(30 ページ\)](#) も参照してください。

[排紙ラック (バスケット)]

[排紙ラック (バスケット)] は、プリンタの背面にフックで固定されます。2～5 枚のプリント出力を収容することができます。[排紙ラック (バスケット)] では、プリント出力が湾曲します。用紙の種類によっては、この仕上げオプションは適しません。

**メモ**

[排紙ラック (バスケット)] は折り機、巻き取りモジュール、または Stacker Select と組み合わせて使用することはできません。

**折り機**

折り機とは、サイズの大きいプロットを自動的に折るデバイスです。

**メモ**

- [排紙ラック (バスケット)] は巻き取りモジュール、または Stacker Select と組み合わせて使用することはできません。

**Stacker Select**

Stacker Select とは、プリンタの背面に接続される平らなトレイです。スタッカには、最大 D/A1 サイズが 400 枚 (75 g) のプリント出力を収容することができます。

**メモ**

Stacker Select は、[排紙ラック (バスケット)]、折り機または巻き取りモジュールと組み合わせて使用することはできません。

**メモ**

Stacker Select のインストールおよびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。

Stacker Select については、マニュアルがウェブサイトからダウンロードできます (<http://downloads.cpp.canon>)。



仕上げデバイスの構成を選択します。

巻き取りモジュール (TUM) / ロール ワインド モジュール (RWM) 図

巻き取りモジュールおよびロール ワインド モジュールを使用して、プリント ジョブをカットせずに、ロールに巻き取ることができます。プリントを搬送する場合や、後でプリントの仕上げを行う場合に便利です。プリンタに巻き取りモジュールまたはロール ワインド モジュールが取り付けられている場合は、まずプリンタを「ロール ツー ロール」モードにする必要があります。WebTools Express またはユーザ パネルで、「ロール ツー ロール」モードを有効にすることができます。



メモ

巻き取りモジュールおよびロール ワインド モジュールは、[排紙ラック (バスケット)]、折り機または Stacker Select と組み合わせて使用することはできません。

[巻き取りモジュール \(オプション\) およびロール ワインド モジュール \(オプション\) \(33 ページ\)](#)、[WebTools Express](#) での「[ロール ツー ロール](#)」モードの設定 (144 ページ)、および「[ロール ツー ロール](#)」モードの構成 (33 ページ) を参照してください

図



仕上げデバイスの構成を選択します。

使用する場合

操作パネルでは、仕上げデバイスのタイプを選択できます。デフォルト値は「[フィニッシャなし]」です。

手順

1. 動的なバーで、システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[仕上げ装置] (「ロール ツー ロール」オプション)」をタップします。
3. キー オペレータとしてログインします。
ウィザードが開きます。
4. ウィザードの手順に従って操作します。

結果

手順が完了したら、システムを再起動して構成を適用してください。

Scanner Professional (オプション)

はじめに

プリンタはスタンドアロン スキャナの Scanner Professional 付きで提供される場合があります。



Scanner Professional II



メモ

- スキャナのインストールおよびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。
- 詳細については、<http://downloads.cpp.canon> をご覧になり、ご使用の製品を選択してください。

折り機 (オプション)

はじめに

プリンタは、外部折り機付きでも提供されます。。colorWAVE T60 は Folder Express 3001、Folder Express 3011、Folder Professional 6011/6013、および一部のレガシーフォルダーと互換性があります。



メモ

- 折り機の設置およびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。
- 設置後、仕上げデバイスのタイプを変更するには、キー オペレータとしてログインする必要があります。
- 折り機の詳細については、<https://downloads.cpp.canon> をご覧になり、製品を選択してください。

折り機との用紙の互換性

以下の用紙は折り機と互換性を持ちます。

- 普通紙: 60 - 110 g/m² / 16 - 30 lb
推奨: 75 - 90 g/m² / 20 - 24 lb
- ベラム、トランスルーセント、タイベック：折りの品質は使用するメディアによって異なります。

巻き取りモジュール(オプション) およびロール ワインド モジュール(オプション)

はじめに

colorWAVE T60 はオプションの巻き取りモジュールおよびロール ワインド モジュールに対応しています。

巻き取りモジュールおよびロール ワインド モジュールは「ロール ツー ロール」モードでのプリントを可能にします。このモジュールにより、プリント ジョブをカットせずに、自動的にコアに巻き取ることができます。プリントを搬送したり、自動的にクリーン カットまたはトリミングしたり、ラミネート処理や、接着剤付きの裏地にマウントする場合に便利です。

巻き取りモジュールを使用する前に、プリンタを「ロール ツー ロール」モードに設定する必要があります。「ロール ツー ロール」モードは WebTools Express またはユーザ パネルで有効にできます。

[WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定 \(144 ページ\)](#) および [「ロール ツー ロール」モードの構成 \(33 ページ\)](#) を参照してください。

デフォルトでは、プリンタは「ロール ツー シート」モードで排紙されます。このモードでは、プリンタによって各プリントがカットされ、選択した排紙先に排紙されます。

「ロール ツー ロール」モードの構成

はじめに

巻き取りユニットを使用する場合、プリンタが「ロール ツー ロール」モードに設定されている必要があります。「ロール ツー ロール」モードを有効にすると、ページの間でカットは行われません。WebTools Express で、「ロール ツー ロール」モードを構成することもできます。



メモ

- 「ロール ツー ロール」モードが有効の場合、プリントの排紙先として [上部排紙トレイ] が設定されている場合でも、プリント ジョブは [背面出力] に排紙されます。
- プリンタの調整を行う場合、「ロール ツー ロール」モードを無効にする必要があります。
- プリンターが「ロール ツー ロール」モードである場合、トナー カートリッジを交換する前に、用紙をカットする必要があります。

手順

1. システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[ロールツーロール オプション]([「ロール ツー ロール」 オプション])」をタップします。
3. キー オペレータとしてログインします。
4. 「[ロールツーロールが無効]」または「[ロールツーロールが有効]」を選択します。
5. [OK]をタップして確定するか、[キャンセル] をタップして入力を取り消します。

Operator Attention Light (オプション)

プリンタは、プリンタ上部に注意灯が装備された状態で、提供される場合があります。

この注意灯は、操作パネルでのステータス ライトと同様に、プリンタのステータスに関するフィードバックを示します。

- 緑のライトは、プリンタがスキャン中またはプリント中であることを示します。
- 緑色の点滅は、プリンタが移行状態にあることを示します（起動、シャットダウン、スリープ、起動、更新/インストール）。
- オレンジ色のランプはノンブロッキングエラーを示します。例えば、トナー切れ間近の場合や、プリンターが一時停止しそうな場合。
- オレンジ色の点滅は、コントローラの更新 / インストールが進行中であることを示します。
- 赤のライトは、エラーが発生したか、プリンタ キューが一時停止したことを示します。
- ライトが消灯しているときは、システムは準備完了であるか、シャットダウンしていることを示します。

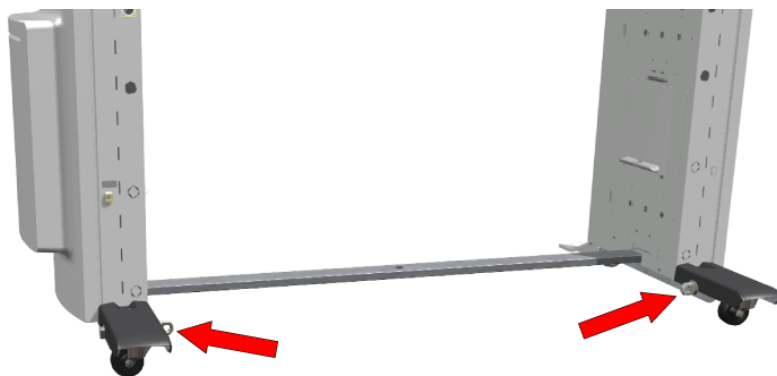
プリンタのステータスに関するより詳細な情報は、ClearConnect ユーザーパネルに表示されます。



メモ

- アテンション・ライトは設定不要で、エンジン作動中に接続できます（再起動不要）。

耐震対策



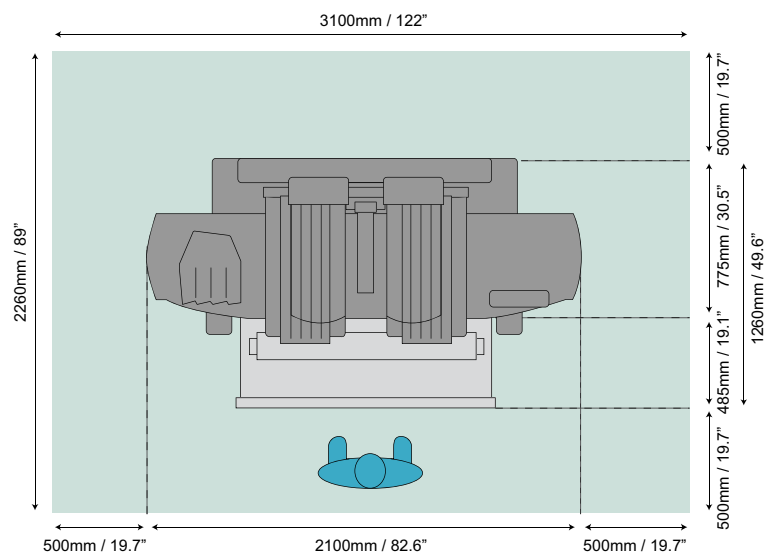
独立型プリンタは地震の際に移動する場合があります、それにより人が負傷したり、出口が塞がれたりします。用意された耐震対策リングを用いて、プリンタを建物に取り付けて、プリンタを最初に設置した場所に安全に固定することができます。

このリングは、プリンタの据え付けの際に、取り付けることができます。

プリント システムの接続

プリンタの作業エリア (設置面積)

colorWAVE T60 では、3100 x 2260 mm (122 x 89 インチ) 以上の床面積/作業エリアが必要です。



電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続

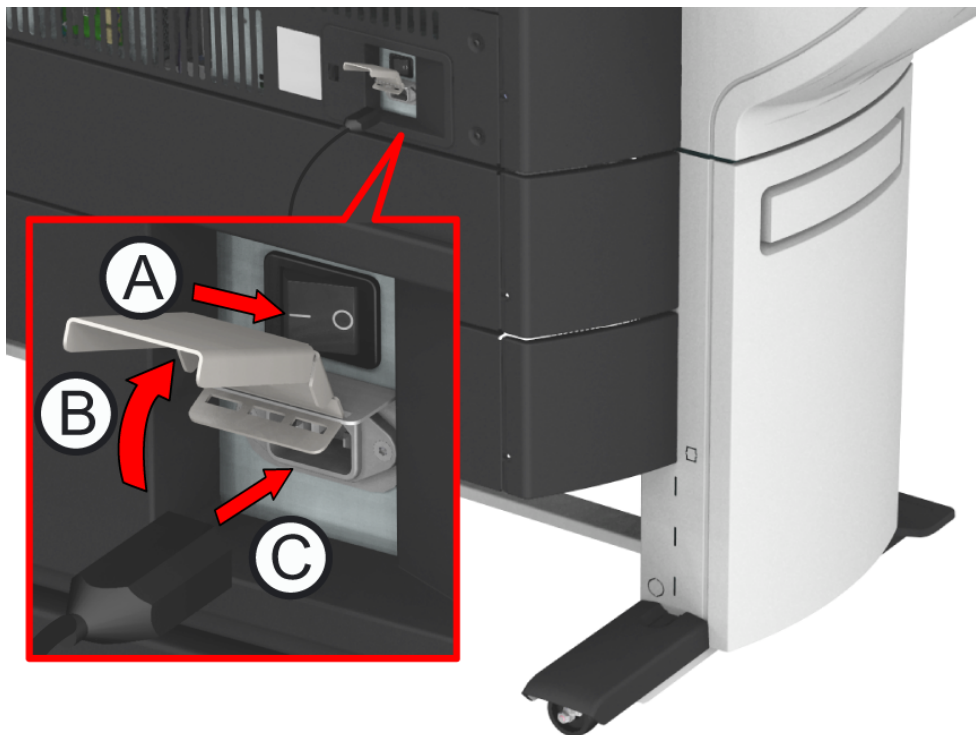
手順



重要

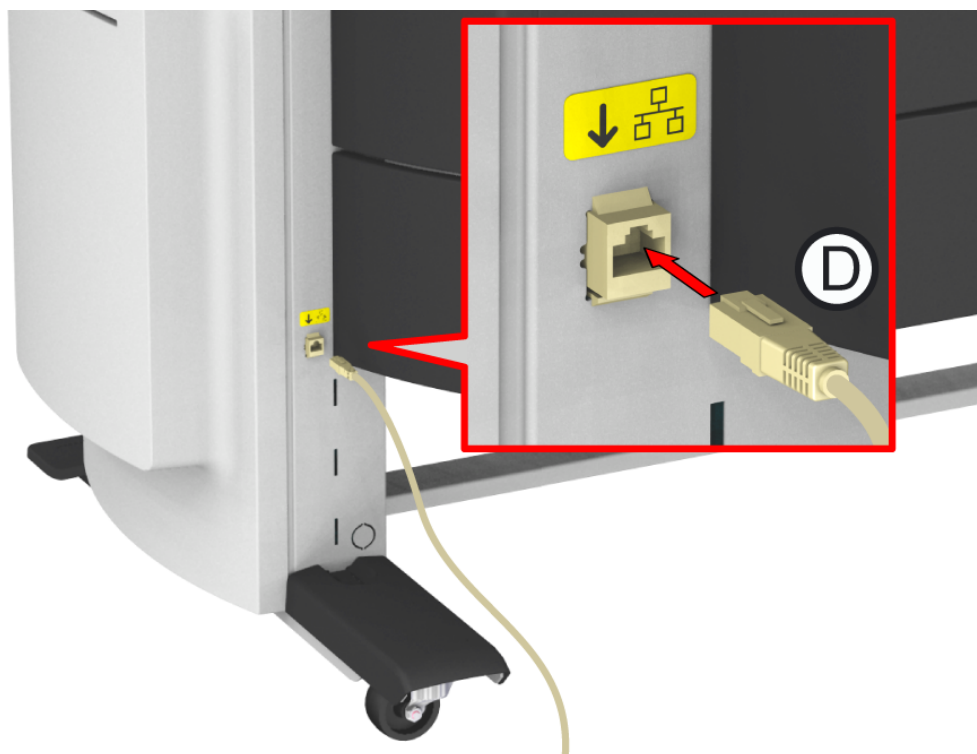
電源スイッチ [A] が「オフ」の位置にあることを確認してください。

1. 保護カバーを持ち上げます [B]。



2. 電源ケーブルを、プリンタ背面の電源接続端子 [C] に接続します。
3. 電源ケーブルのもう一方の端をコンセントに接続します。
4. ネットワーク ケーブルの一方の端が、企業ネットワークに接続されていることを確認します。

5. ネットワーク ケーブルのもう一方の端をプリンタ左側背面のネットワーク接続端子 [D] に接続して、プリンタを企業ネットワークに接続します。



プリント システムのスイッチ オン



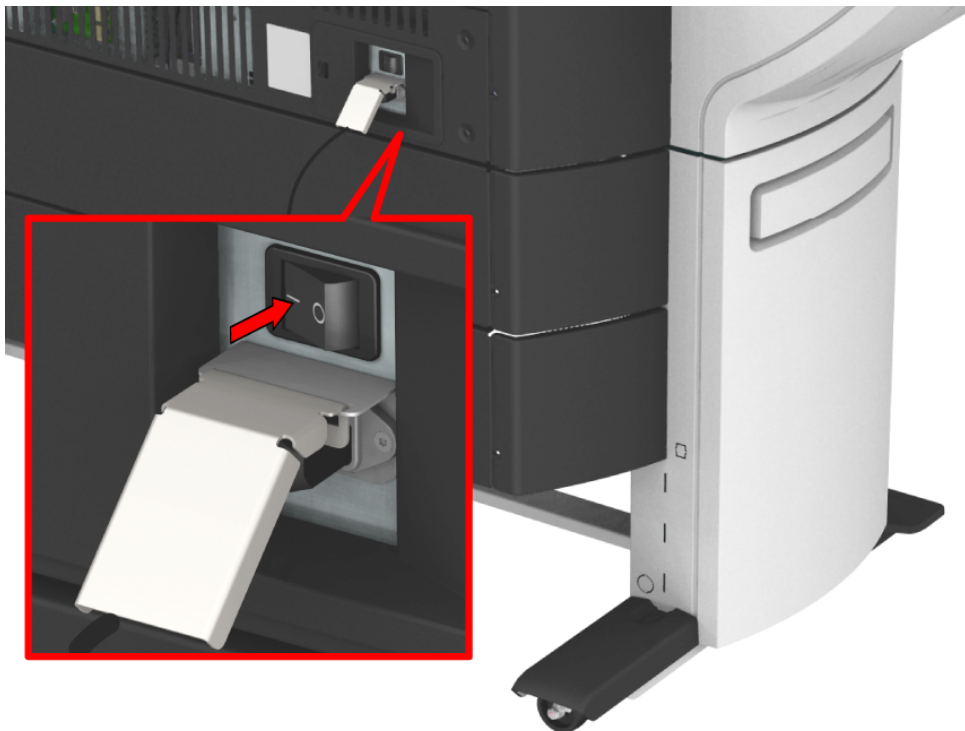
重要

- 電源ケーブル が接続されていることを確認します。
- ネットワーク ケーブル が接続されていることを確認します。

詳細については、 [電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続 \(37 ページ\)](#) を参照してください

手順

1. プリンタの背面にある電源スイッチをオンにします。



2. プリンタ前部のオン/オフ ボタンを押して、システムを開始します。



プリントシステムのスイッチをオフにする

はじめに

プリントシステムのスイッチを完全にオフにする場合、いくつかの手順に従う必要があります。

手順

1. プリンタ前面のオン/オフ ボタンを押して、プリントシステムのスイッチをオフにします。



メモ

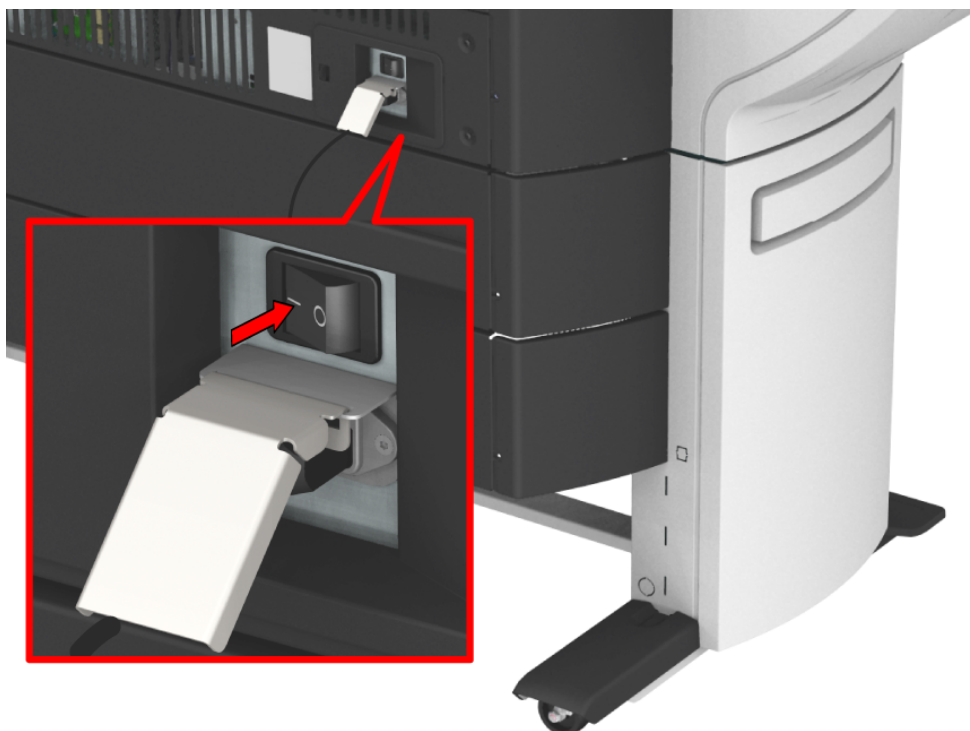
WebTools Express の [シャット ダウン] ボタンを使用することもできます。



重要

オン/オフ ボタンの点滅が停止するまで待ちます。

2. プリント システム背面の電源スイッチをオフにします。



システムの移動

はじめに

プリンタを新しい場所に移動することができます。

始める前に



重要

- プリンタが接続されている場合は、まずスイッチをオフにしてからプリンタの接続を外します（「[プリント システムのスイッチをオフにする \(41 ページ\)](#)」および「[ネットワーク ケーブルおよび電源 ケーブルの取り外し \(326 ページ\)](#)」を参照）。
- 用紙引き出しを閉じます。



メモ

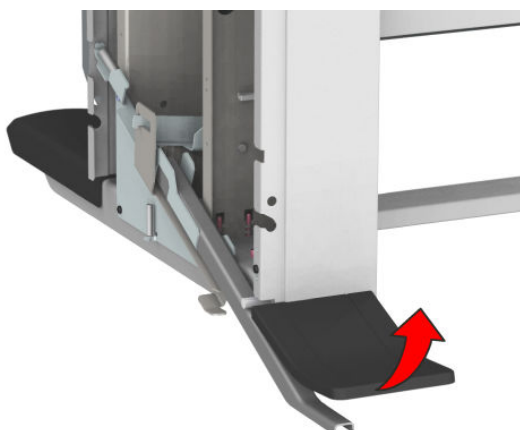
プリンタの作業エリアのサイズに注意してください（「[プリンタの作業エリア \(設置面積\) \(36 ページ\)](#)」を参照）。

手順

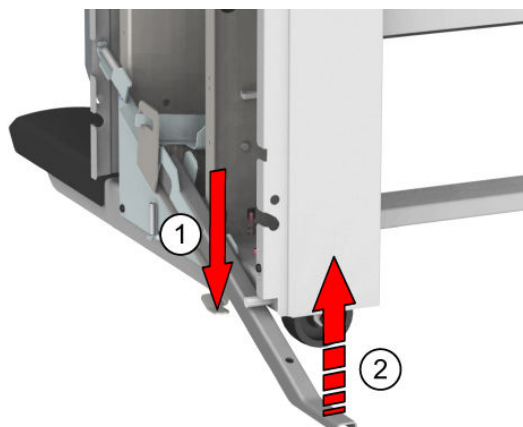
1. 両手で引っ張って左側のカバーを外します。



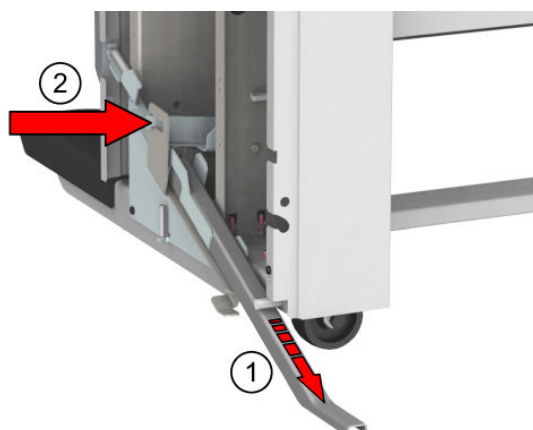
2. 左側のフット カバーを引っ張って取り外します。



3. レバーを押します [1]。フットが跳ね上がります [2]。



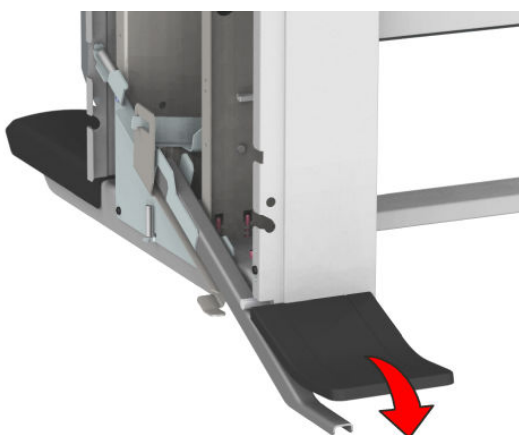
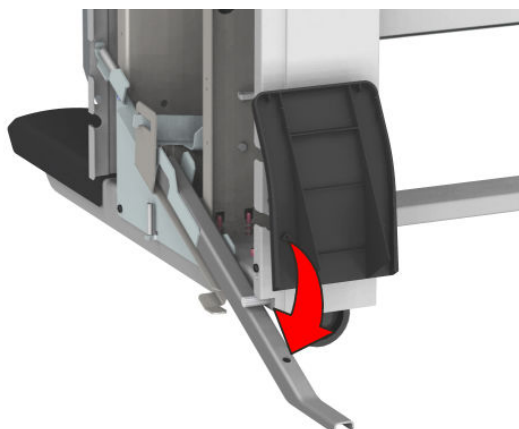
4. 右側のカバーについて、手順 1 ～ 3 を繰り返します。
5. プリンタを指定した場所に移動します。プリンタの作業エリアに注意してください。
6. 左側のフット [1] を、床面に届き、ロックされるまで [2] 引っ張ります。カチッと音がしてロックされます。



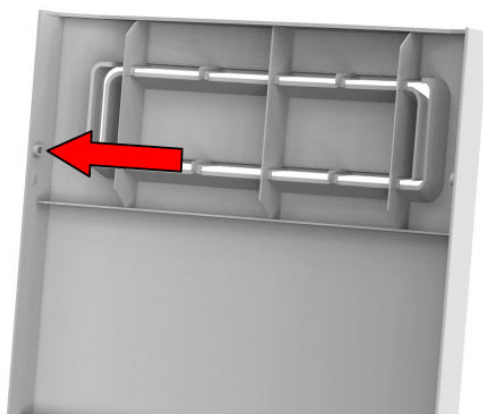
メモ

カチッと音がしない場合、プリンタのフット [1] に足を乗せ、カチッと音がするまで、ゆっくりとプリンタを押します。

7. フット カバーを取り付けます。 ノッチにピンを取り付けます。



8. ノッチにピンを取り付けて、左側のカバーを取り付けます。
ピン:



ノッチ:



9. カバーを押してはめ込みます。



10. 右側のカバーについて、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

ClearConnect 操作パネルのワークフロー

ホーム画面

はじめに

ClearConnect 操作パネルのデフォルト画面は、ホーム画面です。

ホーム画面から、ジョブを管理したり、システム メニューを入力したりできます。

ホーム画面



番号	コンポーネント	機能
1	[動的バー] と [アクティブ ジョブ]。	動的なバーでは、システム ステータス (ウォーミングアップ、クリーニングなど) や、アクティブなジョブがある場合はそのジョブを表示できます。 • アクティブなジョブをタップすると、ジョブ キューが待機中のジョブのリストとともに表示されます。 • アクティブなジョブをタップすると、一時停止タイルが表示され、これを使用してプリント処理を一時停止することができます。
2.	[システム メニュー]	動的なバーでは、システム メニューにアクセスできます。 • システム メニューのサムネイルをタップすると、システムとプリンタのセットアップの設定に関する動的な表示が含まれた新しいウィンドウが開きます。

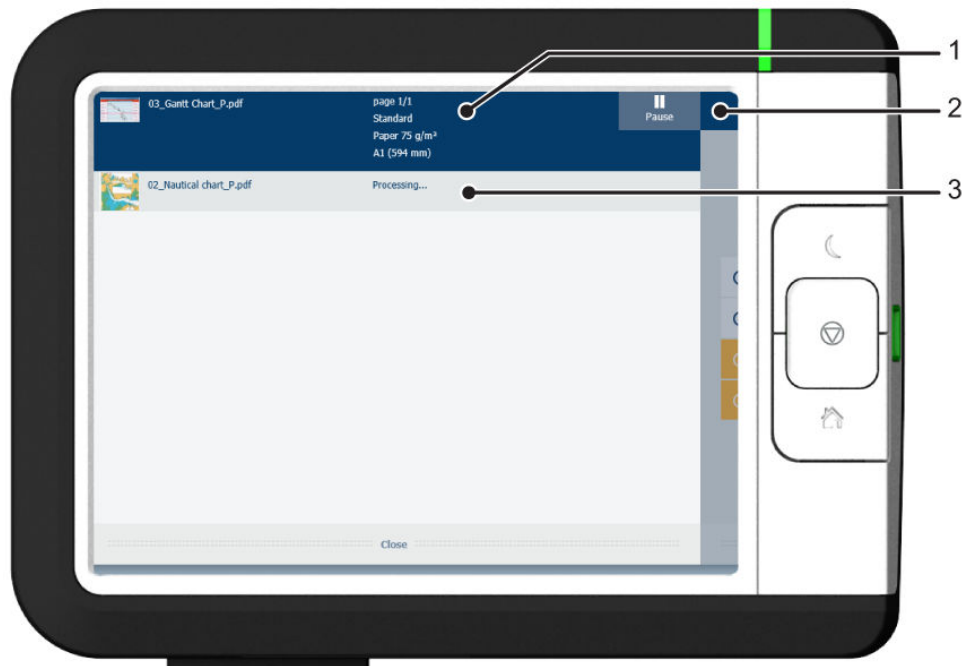
番号	コンポーネント	機能
3.	[コピー タイル] [スキャン タイル] [プリント タイル]	これらの動的なタイルは、コピー、スキャンおよびプリントのジョブに役立ちます。ジョブに合った適切なタイルを選択します。 • タイルをタップして Smart Access を使うと、すぐに仕事を始めることができます。 • デフォルトでプリント タイルが選択されていますが、スキャナに原稿を挿入するとコピー タイルが選択されます。原稿および USB キーを挿入するとスキャン タイルが選択されます。 • さらに多くの設定を指定するには、タイルを 2 回タップしてプリセットまたは設定が表示された新しいウィンドウを開くことができます。 Express Webtools では、任意のタイルを非表示/非表示解除して、そのワークフローを有効/無効にすることができます。
4.	Smart Access	ダイナミックな Smart Access は、プリント、コピー、スキャンのジョブに特化して変化し、ジョブを素早く開始するのに役立ちます。
5.	[ライブ スキャン ビュー]	ライブスキャンビューが Smart Access に表示される。 このビューは、Smart Access をスライドしながら、ドキュメントの幅とアライメントを表示します。
6.	[緑色のボタン]	グリーン ボタンは動的であり、ディスプレイの右下隅ですべての画面に表示されます。 • ボタンが緑の場合、ジョブを処理するプリンタの準備が整っています。 • ボタンがグレイの場合、ジョブを処理するプリンタの準備は整っていません。

ジョブキューおよびシステムメニュー

はじめに

ダイナミック・バーは、ユーザー・パネル・ディスプレイのホーム画面の上部にあります。動的なバーは、ジョブキューのあるジョブステータス、プリンタステータス、およびシステムメニューで構成されます。

アクティブなジョブおよびジョブキュー



No (いいえ)	コンポーネント	機能
1	ジョブとプリンタステータス	ジョブおよびプリントシステムに関する情報を表示します。 • アクティブなジョブのジョブ情報などが含まれます。 • プリンタステータス (印刷中、トナー残量低下、折り機が接続されているなど)。
2.	システムメニュー	システムメニューにアクセスするには、システムメニューのサムネイルをタップします。
3.	ジョブキュー	ジョブキューウィンドウを開くには、アクティブなジョブをタップします。 • ジョブ設定をタップすると、リストアップされたすべてのジョブが表示され、それらにアクセスできます。 • リストをスワイプすると、すべての求人が表示されます。 • リストされたジョブを上下に移動します。

「システム」メニュー



No (いいえ)	コンポーネント	機能
1	プリント システム、用紙、およびトナー	- プリンタ内に取り付けられた用紙が表示されます。ロールの場合、プリンターから提供されていれば、残りのロールの長さが*と表示されます。 - 色ごとに使用可能なトナーが表示されます。 - ウィザードが表示され、用紙を変更したりトナーを補充したりするのに役立ちます。
2.	[設定メニュー]	[設定メニュー] はプリンタに関する一般的な情報を提供します。リスト内で以下にアクセスすることができます。 - 第 1 言語と第 2 言語の切り替え [カウンタ] [プリントのテスト] [仕上げ装置] [用紙の調整] [ロールツーロール オプション] (オプションの巻き取りモジュール付き) [プリンタの調整] [システムのクリア] [スキャナ] (オプションのスキャナー付き) [ネットワーク設定] [セキュリティ] [システムの更新] [について]

*巻き残り長さ	説明
不明	ロールの残りの長さを推定するのに十分なメートル数が印刷されていないか、またはメディアが装填されていません。
'0'	残りのロールの長さは 0 です。
5 メートル未満 または 「16 フィート未満	残りのロールの長さがしきい値（「5 m」または「16 ft」）以下です。

*巻き残り長さ	説明
メートルまたはフィートの値	残りのロールの長さは、しきい値（「5 m」または「16 ft」）を超えています。

プリセット、テンプレート、および詳細設定

はじめに

プリセットとテンプレートは、迅速かつ容易にジョブを送信するために役立ちます。詳細設定はジョブの設定を微調整するのに役立ち、すべての設定に対するアクセスを提供します。

ホーム画面でコピー タイルをタップすると、コピーのプリセットおよび詳細設定が含まれたウィンドウが開きます。スキャン タイルをタップすると、スマート アクセス内にテンプレートが表示されます。スキャン タイルをもう一度タップすると、詳細設定が含まれたウィンドウが開きます。プリント タイルをタップして、リストに表示されたジョブの設定をタップすると、プリントのプリセットおよび詳細設定が含まれたウィンドウが表示されます。



番号	コンポーネント	機能
1.	[プリセット タイル]	プリセット タイルは、ジョブのデフォルト設定を表示します。 - プリセットは、[用紙] や [レイアウト] などのカテゴリに分けられます。 - プリセット タイルをタップすると、選択可能な他のプリセットの簡単なリストに対するすばやいアクセスを提供します。
2.	[ジョブ ペイン]	[ジョブ ペイン] は、ジョブを管理するのに役立ちます。 - ジョブに関する情報が提供されます。 - セットの処理。 - ジョブの削除。 - プリセット/設定のウィンドウと文書のプレビューが表示されたウィンドウを切り替えるには、タイルをタップします (Smart Inbox のジョブのみ)。 - グリーン ボタンでジョブを開始します。

番号	コンポーネント	機能
3.	[すべての設定を表示] (詳細設定)	[すべての設定を表示] をタップすると、すべての詳細設定が含まれたリストが開きます。スキャンの場合、詳細設定はあらかじめ表示されています。 • 詳細設定は、タイルとしてカテゴリ化されて表示されます。 • タイルをタップすると、設定を微調整できます。

ジョブのプレビュー

はじめに

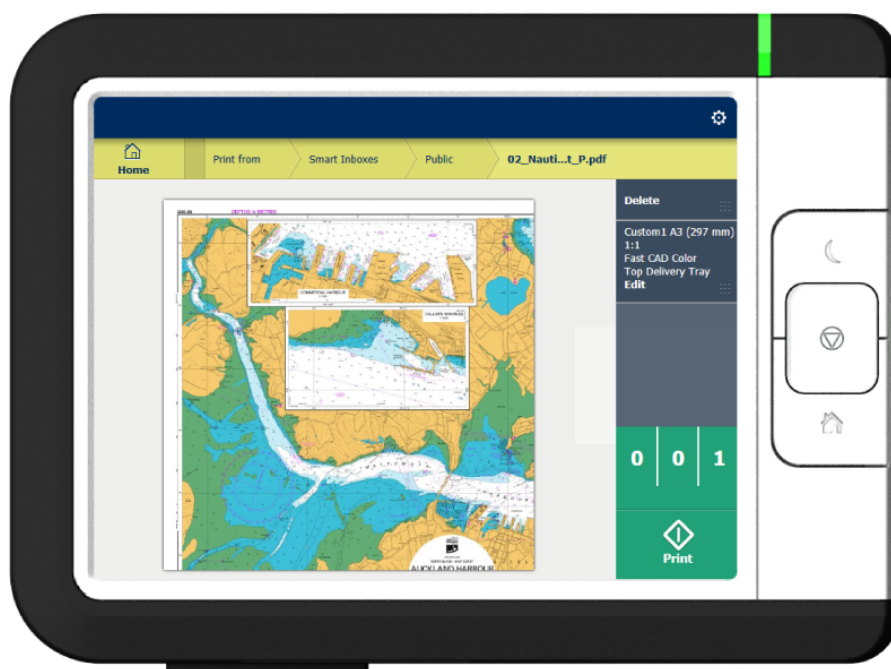
マルチタッチ操作パネルを使用すると、ジョブの詳細なプレビューが提供されます。プレビュー サムネイルをタッチしてプレビュー ウィンドウにアクセスします。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。

ジョブのプレビュー



コンポーネント	機能
ジョブのプレビュー	詳細を表示するには、イメージをパンすることができます。 1つの場所の一部であるさまざまなジョブ ファイルの間を切り替えることができます。他のジョブ ファイルを表示するには、左か右にスワイプします。 プリセット ウィンドウを開くには、ジョブ ペイン内で編集タイルをタップします。 プレビュー ウィンドウに戻るには、プリセット ウィンドウ内で表示タイルをタップします。  メモ 複数ページのジョブがある場合、最初のページのみを表示できます。

クラウド

はじめに

マルチタッチ操作パネルは、さまざまな場所をプリント元およびスキャン先とする機会をユーザーに提供します。このような場所の 1 つはクラウドです。

WebDAV 経由でクラウドを入力して、それをネットワーク ドライブとして使用できます。この方法によって、任意のクラウド アプリケーションにアクセスすることができます。



メモ

- Microsoft Office 365 Sharepoint Online および OneDrive はサポートされていません。
- クラウドを外部の場所として設定する方法の詳細については、[外部ロケーションを作成する \(127 ページ\)](#) を参照してください。
- なお、WebDAV はクラウドロケーション作成時に選択されたタイプです。印刷ジョブにクラウドを使用する方法の詳細については、[クラウドを使用して印刷ジョブを送信する \(269 ページ\)](#) を参照してください。

クラウドの概念

クラウドは、ファイルの送信先として使用する仮想ネットワーク ドライブとして見なすことができますが、ファイルの保存と共有の場所としても見なすことができます。

一般的なクラウドアプリケーションには、SharePoint や HTTP URL 経由のアプリケーションなどがあるが、企業独自のプライベートクラウドや社内クラウドを利用することもできます。

colorWAVE T60 でクラウドを使うのはとても簡単：

手順	説明	経由
接続	指定したクラウド アプリケーションとプリンタの間に接続を確立します。 これを実行するには、WebDAV 経由で WebTools Express 内に外部の場所を作成します。	WebTools Express
プリント ジョブの場合:	ローカルでクラウド アプリケーションを開きます。	PC またはモバイル デバイス
	クラウド内でプリントするファイルを追加して保存します。 あるいは、クラウド内でプリンタにファイルを送信します。	PC またはモバイル デバイス
	プリント タイルの Smart Access 内で、場所としてクラウド アプリケーションを開きます。	操作パネル
	プリントするファイルを選択します。	操作パネル
	グリーン ボタンをタップします。	操作パネル
スキャン ジョブの場合:	原稿を挿入して、スキャン タイルを選択します。	操作パネル
	Smart Access で、クラウドが保存先として設定されているテンプレートを選択します。	操作パネル
	グリーン ボタンをタップします。	操作パネル
	PC またはモバイル デバイス上でクラウドを開き、スキャン済みファイルをそこから検索します。	PC またはモバイル デバイス

第 3 章

WebTools Express を使用したワークフローの定義

ご使用にあたって

WebTools Express

はじめに

WebTools Express は、プリンタ上で稼働するアプリケーションです。最新のインターネットブラウザ（Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox）を使用して、コンピューターまたはモバイルデバイスで WebTools Express のホームページを開きます。

定義

次を実行するために、WebTools Express を使用できます：

- プリント、コピー ジョブ、およびスキャン ジョブを管理します。
- Publisher Express を使用したプリンタにプリント ジョブを送信します。
- このアプリケーションを使用して設定にアクセスし、プリント システムの構成およびプリファレンスを管理することができます。

WebTools Express 内で設定を変更すると、事前定義された 3 つのユーザー ロールのいずれかを使用してログインする必要があります。詳細については、[ユーザーについて \(14 ページ\)](#) を参照してください。

- プリント システムのステータスをモニタリングします。

WebTools Express アクセス方法

WebTools Express へのアクセス方法：

- ワークステーションの Web ブラウザに、ホスト名としてプリンタの製品名、例えば `http://colorWAVEXXXX` を入力します。
または
- ワークステーションの Web ブラウザに、プリンタの IP アドレス、例えば `http://123.123.23.123` を入力します。



メモ

WebTools Express が表示されない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてネットワーク パラメータを確認します。プリンタのネットワーク設定がネットワークインフラに登録されているか確認します。

WebTools Express 用に別の言語を設定する

はじめに

使用するインターネット ブラウザの言語設定によって、WebTools Express の言語が定義されます。

別の言語を設定

インターネット ブラウザで WebTools Express の言語設定を変更できます。お使いのインターネットブラウザによって、言語を変更するにはいくつかの手順を踏む必要があります。詳しくは、お使いのブラウザで該当するヘルプ情報を参照してください。対応しているインターネットブラウザは以下の通り：Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox。

次の言語がサポートされています: オランダ語、英語 (英国)、ドイツ語、フランス語、英語 (米国)、スペイン語、デンマーク語、イタリア語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、ポルトガル語、ポーランド語、ハンガリー語、チェコ語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、ロシア語、韓国語。



メモ

- 言語設定は、ユーザー パネルの言語には反映されません。ユーザーパネルでは、[第 1 言語] と [第 2 言語]のどちらかを選ぶことができます。WebTools Express の地域設定で [第 1 言語] および [第 2 言語] の値を定義することができます。
- 選択した言語がサポートされていない場合、WebTools Express のデフォルト言語は英語 (米国) です。

アクセス管理

はじめに

アクセス管理はプリンタに標準で装備されており、ユーザー認証オプションで有効・無効にすることができます。アクセス管理は、機密情報や慎重に扱うべきプリント ジョブを不正なアクセスから保護する目的で設計されています。ジョブにはそのジョブの所有者のみがアクセスできます。

安全なプリントおよびスキャン

ユーザー認証を有効にすると、

- ジョブの所有者が送信した慎重に扱う必要のあるプリント ジョブは、ジョブ所有者がシステム操作パネルで認証し、印刷のためにリリースするまで印刷されません。
- プリント ジョブはプリンタに保存され、ジョブ所有者以外はそのジョブにアクセスできません。
- コピーおよびスキャン作業は、ユーザーがシステム操作パネルで認証した後にのみ、可能になります。

次の 3 種類の方法がユーザー認証に用いられます：

- ユーザー名およびパスワード：
プリンタ操作パネルでは、ユーザー名およびパスワードが必要です。
- スマート カード：
有効なスマート カードをスマート カード リーダーに挿入します (プリンタの USB ポートに接続)。
- 非接触型カード：
有効な非接触型カードを、非接触型カード リーダーの近くでしっかりと保持します (USB ソケットに接続)。

これらの認証方法は、Microsoft Active Directory を使用した Windows ベースの環境を対象としたものです。

ホーム フォルダをスキャン先およびプリント元とする

ホーム フォルダをスキャン先およびプリント元とするオプションは、ユーザー名とパスワード認証方法により、使用することができます。プリンタ操作パネルで認証を入力した後、Microsoft Active Directory でご自分のアカウントに設定したように、ネットワーク上のホーム ディレクトリにファイルをスキャンする (あるいはファイルからプリントする) ことができます。認証により LDAP プロトコルを介して、ホーム ディレクトリにアクセスすることができます。ホームをスキャン先にするオプションには、ワークステーション上でご自身のアカウントの認証を行った後、ホーム フォルダにあるスキャンを取得することのみ可能です。



メモ

ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な、自分用の安全な外部の場所です。

権限のあるユーザーとしてログインする

特定の設定を変更するには、権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。3つのユーザーの役割があります (システム管理者、キー オペレータおよびパワーユーザー)。これらの役割には、特定の設定のグループを編集する権限があります。セッションを開始する前にログインする必要はありません。特別な操作を実行する場合、ログイン画面のみが表示されます。



重要

[セキュリティ] - [設定] - [ユーザ アクセス構成] セクションの WebTools Express でローカルアカウントを無効にし、ネットワーク認証を有効にすることができます。ネットワーク認証が有効な場合、Active Directory のユーザー名は、ユーザー・ロール (システム管理者、キー・オペレーター、またはパワー・ユーザー) にマッピングされます。Active Directory の認証情報でログインすると、ユーザーは再ログインすることなく、WebTools Express のユーザー・ロールに対応するすべての設定を変更する権限が与えられます。

ネットワーク認証の詳細については、<https://downloads.cpp.canon> の plotWAVE-colorWAVE Systems Security - Administration guide を参照してください。

ログイン後



メモ

- 1 度ログインすると、ブラウザセッションが終了するまでログイン状態が持続します。30 分以上操作を実行しないと、セッションの有効期限が切れ、再度ログインする必要があります。
- セキュリティを確保するため、3つのアクセス モード (キー オペレータ、システム管理者、パワーユーザー) のパスワードを定期的に変更することをお勧めします。
ローカルアカウントのためには、これを WebTools Express で実行することができます。
ネットワーク認証が有効な場合、これは IT パスワード ポリシーにより扱われます。

手順

1. 編集する設定の値をクリックします。ログイン ウィンドウが開きます。
2. ドロップダウン リストからユーザーの役割を選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [OK] をクリックして、入力内容を確認します。

セッション後にログアウトする

目的

設定の変更が終了したら、ログアウトすることをお勧めします。

手順

1. 画面**右上**角のログアウト ハイパーリンクをクリックします。
または
2. インターネット ブラウザのウィンドウを閉じます。

権限のあるユーザーのパスワード、またはパスワードの暗号化キーを変更する

使用する場合

セキュリティを確保するため、3つのアクセス モード (キー オペレータ、システム管理者、パワーユーザー) のパスワードを定期的に変更することをお勧めします。

ローカルアカウントのためには、これを WebTools Express で実行することができます。

ネットワーク認証が有効な場合、これは IT パスワード ポリシーにより扱われます。

[パスワードの暗号化キー]

このキーは、デバイスに保存されたすべてのパスワードを安全に暗号化するために使用されています。このキーを知らずに、サードパーティが保存されたパスワードの暗号を解読することは不可能です。システムのインストール、アンインストール、またはアップグレードを実行した後は、システムデフォルトパスワードの暗号化キーを変更することをお勧めします。

この設定は、パスワードと同じセクションにあります。



重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がキー オペレータ、システム管理者、パワーユーザーのパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます。([セキュリティ] - [設定] - [サービスの許可] - [サービス技術者にパスワードのリセットを許可する] - [はい])。そうではない場合、装置を再インストールする必要があります。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. 変更する設定に応じて、[パスワード] セクションで、[ローカル キー オペレーターのパスワード]、[ローカル システム管理者のパスワード]、[ローカル パワー ユーザーのパスワード]、または [パスワードの暗号化キー] を選択します。新しいウィンドウが開きます。
3. 以下のようにログインします。
 - キー オペレータのパスワードを変更するには、キー オペレータ。キー オペレータのデフォルトのパスワードは「KeyOp」です。
 - システム管理者のパスワードを変更するには、システム管理者。システム管理者のデフォルトのパスワードは「SysAdm」です。
 - すべてのパスワードを変更するには、パワーユーザー。パワーユーザーのデフォルトのパスワードは「PowUsr」です。
 - パスワードの暗号化キーを変更するには、システム管理者またはパワー ユーザーです。



メモ

パスワードとパスワードの暗号化キーでは、大文字と小文字を区別してください。次の範囲の文字のみを使用できます:

A-Z (アルファベット大文字)	a-z (アルファベット小文字)
0-9	_ - ~ ! ? @ # \$ % ^ * + = , . : ; / [] () { }

日本語および中国語の文字またはキリル文字は使用できません。

4. 確認のため、新しい設定を 2 回入力します。入力は表示されません。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ジョブの状態

はじめに

ジョブが Smart Inbox またはジョブ キューに格納されている場合、ジョブ名の前にあるアイコンによって、ジョブの状態に関する情報が表示されます。

Smart Inbox に格納されたジョブの状態の概要

状態	アイコン	説明
受信中		Smart Inbox でジョブ データを受信中であることを表します。
新規		Smart Inbox に新しいジョブがあることを表します。
キュー済み		ジョブがキューにコピーされ、プリント待ちであることを表します。
プリント済み		ジョブがプリントされたことを表します。
注意が必要		一般的なエラー メッセージ。
アカウント データがありません		ジョブのアカウント データがない場合に表示されます。

ジョブ キューに格納されたジョブの状態の概要

状態	アイコン	説明
受信中		キューでジョブ データを受信中であることを表します。
処理中		キューでジョブ データを処理中であることを表します。
プリントできます		ジョブのプリント準備ができたことを表します。
スケジュール済み		ジョブがプリント待ちであることを表します。
プリント		ジョブが現在プリント中であることを表します。
注意が必要		一般的なエラー メッセージ。

システム モニタ

はじめに

システムモニターを開いて、印刷システムの現在のステータスの概要を知ることができます。画面左下隅にある「システム」タブをクリックすると、システム モニターが開きます。

システム ステータス (たとえば、[プリント中:]) が WebTools Express のシステムモニター部の右上に表示されます。

右側にシステムモニターが表示されます：

- 使用可能なトナー、残量。
- 使用可能なメディアと残りのロール長（プリンターが提供する場合）：

残りの長さ	説明
不明	ロールの残りの長さを推定するのに十分なメートル数が印刷されていないか、またはメディアが装填されていません。
'0'	残りのロールの長さは 0 です。
5 メートル未満 または 「16 フィート未満	残りのロールの長さがしきい値（「5 m」または「16 ft」）以下です。
メートルまたはフィートの値	残りのロールの長さは、しきい値（「5 m」または「16 ft」）を超えています。

システムの状態の概要

状態	アイコン	説明
[ユーザーによる操作が必要です]		ユーザーは、プリンタに移動し、操作パネルに表示される指示に従うよう求められます。
[システム メモリがフルです]		システム メモリがフルのためプリントできない場合に表示されるステータス メッセージ。
[スリープ中...]		省エネルギー状態: プリンタがスリープ中のため、一部の機能は使用できない状態です。
[ウォームアップ中...]		プリンタがウォームアップ中のため、一部の機能は使用できない状態です。
[初期化中...]		システムソフトウェアの初期化中の状態。
[プリンター一時停止]		システムによってプリント キューが一時停止されていますが、その他のすべての機能にアクセスすることができます。
[処理中...]		システムはデータを受信または処理しています。
[プリントできます]		アクティブなジョブおよび待機中のジョブがない状態です。受信されたジョブのプリントを開始するために、ユーザーの操作は必要ありません。
[プリント中:] <job-name>		プリント ジョブがアクティブな状態です。
[処理中:] <job-name>		システムはジョブ データを処理しています。
[受信中:] <job-name>		システムはジョブ データを受信しています。

状態	アイコン	説明
[メディア表示]		各ロールのロール用紙およびロール幅の表示。

状態	アイコン	説明
[ユーザーによる操作が必要です]		一般的なエラー メッセージ。
[スキャナはビジーです]		スキャナはアクティブな状態です。
[スキャナは使用可能です]		スキャナはスキャン ジョブを開始する準備ができています。

スキャナの状態

アイコン	説明
	トナーに問題はありません
	トナーの残量が少ないか、トナーが空です。

トナーの状態

アイコン	説明
アイコンなし	プリンタは [Remote Service] に接続されています
	[Remote Service] は次のうちのどちらかひとつです： - 無効、または - 有効。ただし [Remote Service] への接続はできません ツールチップに追加情報が表示されます。
	システムへのリモート アシスタンスが有効になっており、現在、接続を受け入れています。

リモート サービスの状態

アイコン	説明
アイコンなし	電子断裁が無効です。
	電子断裁が有効またはビジーです。 ツールチップに追加情報が表示されます。

電子断裁の状態

アイコン	説明
アイコンなし	システムは、「ロール ツー シート」モードです
	システムは、「ロール ツー ロール」モードです。プリンタは、ページ間でプリントをカットします。巻き取り装置を使用することができます。

「ロール ツー ロール」の状態

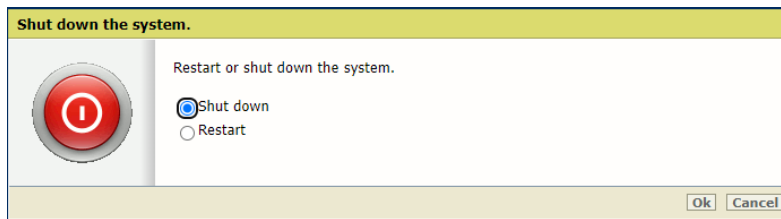
システムを再起動またはシャットダウンする

はじめに

この手順では、システム管理者としてログインする必要があります。

システムのシャットダウン

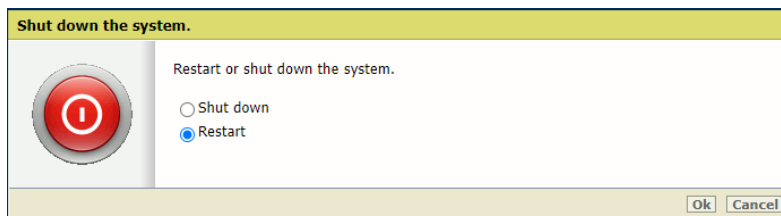
1. リモートで印刷システムをシャットダウンするには、WebTools Express のサポートタブの右上にある [シャット ダウン] をクリックします。
別のウィンドウが開きます。



2. [シャット ダウン] を選択します。
3. 「OK」 をクリックします。

システムを再起動します。

1. 印刷システムを再起動するには、WebTools Express のサポートタブの右上にある [シャット ダウン] をクリックします。
別のウィンドウが開きます。



2. [再起動] を選択します。
3. 「OK」 をクリックします。

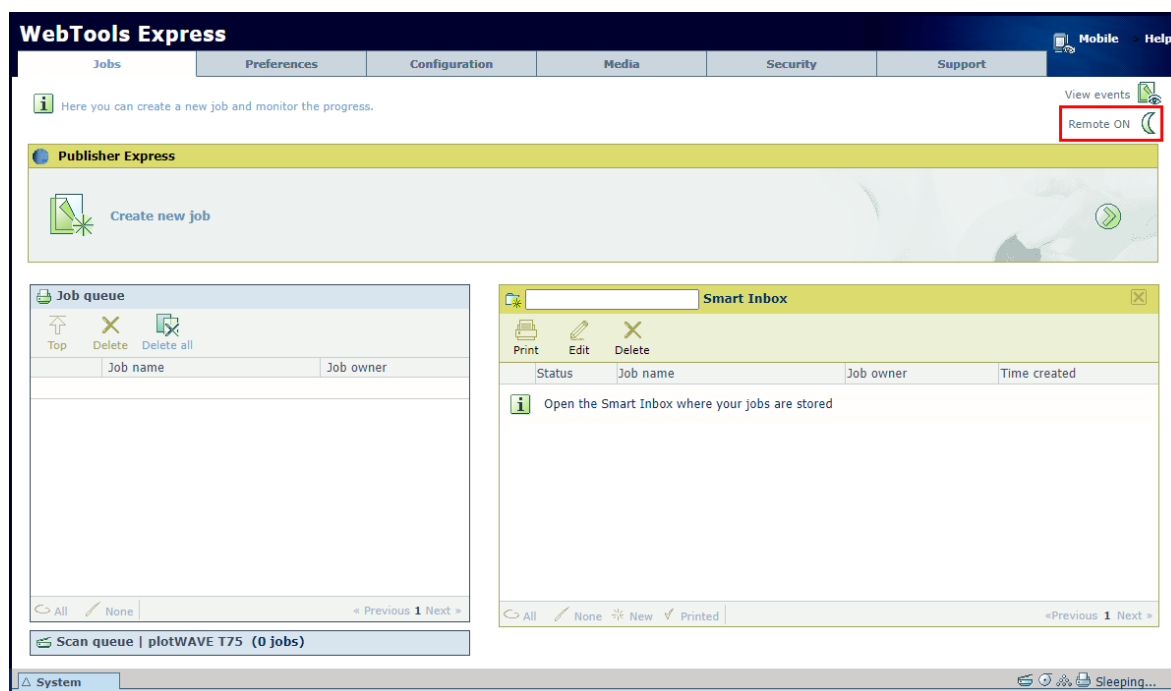
Remote ON 機能

はじめに

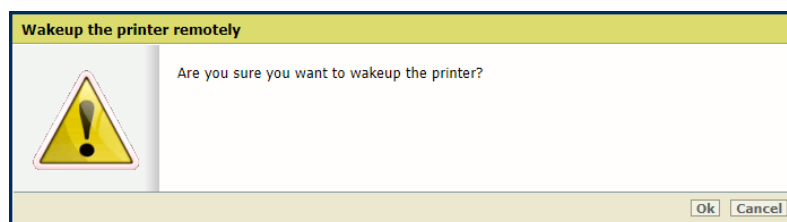
プリンターがスリープモードになっている場合、リモートでスリープを解除できます。こうすることで、プリンターに到着した時点で直ぐにプリンタで印刷できます。

手順

1. Webtools Express を開きます。
2. 画面右上の [Remote ON] アイコンをクリックしてください。



3. [Ok]をクリックして確定します。



印刷の準備ができる前に、プリンターがウォームアップします。

デフォルトの定義

WebTools Express のデフォルト設定について

定義

プリンタにジョブを送信する前に、次の点に注意してください。

WebTools Express で定義される値は、一般的なシステム動作のためのデフォルト値です。プリンタドライバまたはジョブ送信ツールで、いくつかのジョブ設定を定義することができます。プリンタドライバやジョブ送信ツールで定義した設定は、WebTools Express で定義した設定よりも常に優先的に使用されます。

設定を編集するには

はじめに

WebTools Express では、プリント システムをカスタマイズする設定を指定できます。



メモ

- 設定または設定グループを編集するには、権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。
- 設定を変更した後、システムの再起動が必要になる場合があります。

手順

1. 編集する設定を参照します。例: [プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [地域設定]。
2. 1 つの設定を編集するには、設定の値を直接クリックします。
または
グループ内で複数の設定を編集するには、設定グループ バーの [編集] をクリックして、すべての設定が含まれたウィンドウにアクセスします。
3. 設定を変更します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

設定を表示して確認

はじめに

WebTools Express では、設定を表示して確認できます。工場出荷時のデフォルト値から変更された設定も確認できます。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの表示] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 設定のリストをスクロールします。1 列目に設定、2 列目に値が表示されます。「*」は、現在の設定値が工場出荷時のデフォルト値と異なることを表します。



メモ

ブラウザ標準のプリント機能を使用して情報をプリントすることができます。

設定をファイルに保存

はじめに

WebTools Express で設定した設定および値をファイルに保存します。

同じ種類の別のプリンタに設定を簡単に複製するには、設定をファイルに保存します。



メモ

- 設定ファイルには、すべての設定が保存されるわけではありません。ネットワーク設定は他のプリンターに転送できないため、ファイルから除外されます。許可されたユーザーのパスワードと外部ロケーションのパスワードは、セキュリティ上の理由からファイルから除外されます。また、ライセンス情報もファイルには含まれません。
- この手順には、キー オペレータ、システム管理者、またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。読み込まれる設定は、ログイン プロファイルによって異なります。ユーザー ログインに対応する設定のみが読み込まれます。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. タブの右上にある [コンフィギュレーションの保存] をクリック。ウィンドウが開きます。
3. ネットワーク上でファイルを保存する場所を参照します。
4. settings<hostname of printer><date>.xml ファイルを保存します。ファイル名は固定されていません。必要に応じて名前を変更することができます。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックしてファイルを保存せずにウィンドウを閉じます。

ファイルから設定を読み込み

はじめに

WebTools Express 用の設定および値をファイルから読み込みます。同じ種類の別のプリンタに設定を簡単に複製するには、設定をファイルから読み込みます。



メモ

- 設定ファイルには、すべての設定が保存されるわけではありません。ネットワーク設定は別のプリンタに転送することができないため、ネットワーク設定はファイルから除外されます。セキュリティを確保するため、外部の場所に対する権限のあるユーザーとパスワードはファイルから除外されます。また、ライセンス情報もファイルには含まれません。
- この手順には、キー オペレータ、システム管理者、またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。読み込まれる設定は、ログイン プロファイルによって異なります。ユーザー ログインに対応する設定のみが読み込まれます。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの復元] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. ネットワーク上の場所を参照し、設定ファイルを選択します。
4. [OK] をクリックして設定ファイルを読み込むか、[キャンセル] をクリックして設定ファイルを読み込まずにウィンドウを閉じます。
再起動を求めるダイアログが表示される場合があります。

結果

設定ファイルに保存された設定の値により、現在の値が上書きされます。接続に関する問題の発生を防ぎ、パスワードの整合性を確保するため、システムのネットワーク設定およびパスワードは読み込まれません。

工場出荷時のデフォルトを復元

はじめに

場合によっては、初期設定の復元が必要になることがあります。WebTools Express では、工場出荷時のデフォルト設定を復元できます。



メモ

キー オペレータの設定を復元するだけの場合は、キー オペレータとしてログインします。システム管理者の設定を復元するだけの場合は、システム管理者としてログインします。すべての出荷時デフォルト設定を復元するには、パワー ユーザーとしてログインする必要があります。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [デフォルトの復元] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [OK] をクリックして工場出荷時のデフォルト設定を復元するか、[キャンセル] をクリックして工場出荷時のデフォルト設定を復元せずにウィンドウを閉じます。

プリントジョブのデフォルト設定の指定

定義

WebTools Express では、プリントジョブ設定のデフォルト値を指定できます。

プリントジョブ設定は、[プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、最も重要なプリントジョブのデフォルト設定について簡単に説明します。プリントジョブのデフォルト設定では、ユーザパネルで表示されるプリントプリセットも定義できます。プリントプリセットの詳細については、[デフォルトのプリントプリセットの設定 \(113 ページ\)](#) を参照してください。



メモ

プリンタドライバまたはジョブ送信ツールでプリントジョブ設定を定義する場合、これらの値は WebTools Express で定義されたデフォルト値よりも常に優先されます。

[プリントジョブのデフォルト] - [基本] の設定の概要

[プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。「[基本]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[セットの部数]	ジョブをプリントする回数のデフォルト値を入力します。
[丁合い]	- 出力をセットごとにソートするには (123 - 123)、[オン (セットごとにソート)] を選択します。 - 出力をページごとにソートするには (11 - 22 - 33)、[オフ (ページごとにソート)] を選択します。
[プリント排紙]	- 出力のデフォルト排紙先を上部排紙トレイに指定するには、[上部排紙トレイ (TDT)] を選択します。 - 出力のデフォルト排紙先をプリンタの背面に指定するには、[背面出力] を選択します。
[カラーモード]	- カラーでプリントするには、[カラー] を選択します。 - グレースケールでプリントするには、[グレースケール] を選択します。
[折り]	プリントシステムで折り機が構成された場合、デフォルトですべてのプリント済みの文書の折りを行うかどうかを指示します。 [はい] を選択してデフォルトでプリント済みの文書の折りを行い、これ以外の場合は、[いいえ] を選択します。

[プリントジョブのデフォルト] - [シート] 設定の概要

[プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。[シート] に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[用紙ソース]	プリンタで使用する用紙のデフォルト出力の素材と形式を選択します。 - 用紙を自動的に選択するには、[自動] を選択します。 - デフォルトで使用する用紙の特定のロール紙番号を選択します。 プリンタ ユーザ パネルのシステム 画面に、取り付けられたロール紙が表示されます。  メモ 用紙ソースが [自動] に設定されている場合は、用紙選択ポリシー設定のみを指定できます。
[用紙選択ポリシー]	- 正確なサイズが使用できない場合に、プリント サイズよりも大きい用紙ロールの使用をプリンタに許可するには、[自動で次に大きいサイズ] を選択します。 - プリントの用紙サイズに正確に一致する用紙ロールのみの使用をプリンタに許可するには、[自動で完全一致] を選択します。正確なサイズの用紙ロールを使用できない場合、用紙要求がポップアップ表示されます。
[カット方式]	- プリントを定型用紙サイズ (DIN、ANSI など) にカットするには、[標準] を選択します。 - プリントをイメージの終わりでカットするには、[シンクロ] を選択します。 - プリントを特定の長さでカットするには、[カスタム] (数値) を選択します。
[カスタム プリント長]	プリント ジョブのカットの長さを入力します。
[先端余白の追加]	値を入力した場合、プリンタによって、出力の上部に指定された長さの余白が追加されます。
[後端余白の追加]	値を入力した場合、プリンタによって、出力の下部に指定された長さの余白が追加されます。

[プリント ジョブのデフォルト]-[レイアウト] の設定の概要

[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。「[レイアウト]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[スケール]	- イメージを用紙サイズに合わせて拡大するには、[自動で用紙サイズに合わせてスケール] を選択します。 - 原稿より 1 サイズ小さなフォーマットにイメージを縮小するには、[イメージが用紙より大きい場合に自動で縮小] を選択します。 - 独自の拡大/縮小のパーセンテージを入力するには (拡大/縮小なしの場合は 100 パーセント)、[カスタム スケール倍率] を選択します。
[ミラー]	垂直軸 (用紙の移動方向) にそってイメージをミラー処理するには、[オン] を選択します。

設定	説明
[フィニッシング アシスタント]	[有効] な場合： 折り出力用に Finishing Assistant はイメージ内のタイトルを自動的に検出し (タイトルがある場合)、タイトルが折りパッケージの表紙にプリントされるように、イメージの回転および位置合わせを行います。タイトルが検出されなかった場合、プリントは折りなしで排紙されます。折り出力を有効にするために、Finishing Assistant はデフォルトの回転およびアライメントを無効にします。
[回転]	イメージを反時計回りに回転させるには、任意のオプションを選択します。 高速にプリントするには、[横送り] を選択します。用紙の移動が少なくなるため、高速にプリントすることができます。 最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] を選択します。 詳細については、 回転モードの設定 (155 ページ) を参照してください。
[アラインメント]	用紙のどの部分にイメージをそろえるのかを定義するには、任意のオプションを選択します。 詳細については、 アラインメント モードを設定する (156 ページ) を参照してください。
[横シフト]	選択されたアラインメントの位置で、水平方向にシフトさせる距離を定義します。
[縦シフト]	選択されたアラインメントの位置で、垂直方向にイメージをシフトさせる距離を定義します。

[プリント ジョブのデフォルト]-[イメージ] 設定の概要

[プリファレンス]-[プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。[イメージ] に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[プリント品質]	[プリント アシスタント] (OPA) を選択すると、ファイルの内容に基づき、最適なプリント品質が自動的に選択されます。または、プリント品質を自分で選ぶこともできます。 プリント品質を選ぶと、ジョブの速度およびトナー カバレッジに影響します。 詳細については、 プリント品質の設定 (151 ページ) を参照してください。

デフォルトのプリント保存先を設定

はじめに

WebTools Express でデフォルトのプリント保存先を設定することができます。プリント ジョブの保存先がジョブ チケット内で指定されていない場合やジョブチケットがない場合は、ジョブはデフォルトの保存先に送信されます。2つのデフォルトのプリント保存先から選択できます。

- ジョブは自動的にプリントされ、Smart Inbox に保存されます。
- ジョブが Smart Inbox に送信されるので、これをローカルに開始する必要があります。



メモ

[プリント ジョブの宛先を無効にする] 設定が [いいえ、ジョブ チケットで指定されたとおり] に指定されている場合、デフォルトのプリント保存先を設定することができます。この設定は、[プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] にあります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを選択します。
2. [編集] セクションの [ジョブ管理] をクリックするか、[プリント ジョブのデフォルトの宛先] 設定をクリックします。
3. [キューと Smart Inbox の両方] または [Smart Inbox のみ] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

これで任意のプリント保存先がデフォルトになりました。他の設定を指定しない場合、すべてのプリント ジョブがこの保存先に送信されます。

コピー ジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、コピー ジョブ設定のデフォルト値を設定できます。

コピー ジョブ設定は、[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、全般的なコピー ジョブ設定について簡単に説明します。コピー ジョブのデフォルト設定では、ユーザ パネルで表示されるコピー プリセットの設定も定義できます。コピー プリセットの詳細については、[デフォルトのコピー プリセットの設定 \(111 ページ\)](#) を参照してください。

[コピー ジョブのデフォルト] - [全般的なコピー ジョブ設定] の概要

[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] の設定タブを開きます。[全般的なコピー ジョブ設定] の右上角の「編集」をクリックします。

設定	説明
[用紙選択ポリシー]	- 大きなサイズの用紙を使用したプリントを継続するには、[次に大きいサイズ] を選択します。 - 指定された用紙サイズが使用可能な場合にのみプリントを継続するには、[実寸] を選択します。
[コピー ジョブ名内の ### の開始値]	コピー ファイルの名前内の # (ハッシュ) を置き換える数字を入力します。数字が増えます。
[Smart Inbox へのコピーのファイル名]	Smart Inbox へのコピーの保存に使用するコピー ファイル名を入力します。コピー ファイル名に 1 つまたは複数の # (ハッシュ) が含まれる場合、# (ハッシュ) は昇順の数字で置き換えられます。

スキャンジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、スキャンジョブ設定のデフォルト値を設定できます。

スキャンジョブ設定は、[プリファレンス] - [スキャンジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、全般的なスキャンジョブ設定について簡単に説明します。



メモ

スキャンジョブのデフォルトで定義されたファイル拡張子は、Smart Inbox から変更することはできません。

[スキャンジョブのデフォルト] - [全般的なスキャンジョブ設定] の概要

[プリファレンス] - [スキャンジョブのデフォルト] タブを開きます。[全般的なスキャンジョブ設定] セクションの右上角の「編集」をクリックします。

設定	説明
[スキャン to PDF 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は PDF へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: pdf)。
[スキャン to TIFF 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は TIFF へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: tif)。
[スキャン to JPEG 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は JPEG へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: jpg)。
[スキャン to CALS 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は CALS へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: cal)。
[スキャン配信再試行の間隔]	リモートの場所にスキャンが送信される際にスキャンの送信が失敗すると、ここで設定した時間の後にプリンタがリトライします。

Smart Inbox 設定の設定

Smart Inbox およびキューの概念

定義

Smart Inbox はカスタマイズされたジョブ管理に使用できます。Smart Inbox は、ジョブのプリント元、ジョブの保存先、およびジョブのスキャン先として使用できる、個人のメール ボックスとして機能します。処理待機中のジョブは、キュー内に表示されます。

コンセプト	用途
キュー	- ジョブを可能な限り速やかにプリントする。 - プリンタ進行状況のフィードバックの取得 - 要求のキャンセル。 - 優先順位の変更 (ローカル)。
スマート インボックス	- システムにジョブを送信する。 - 出所の異なる文書のセットをまとめる - 様々なスマート受信トレイで文書を整理し、簡単に仕事を取り出すことができます。 - プリンタに送信済みのジョブをリプリントまたは設定を変更する

Smart Inbox とキューのコンセプト

ジョブを Smart Inbox に入れる

Smart Inboxes を使用してジョブを管理できます。WebTools Express でジョブ タブを開くと、Smart Inbox セクションに Smart Inboxes の概要が表示されます。1 つまたは複数の Smart Inbox 名を定義することで、ジョブを簡単に整理し、アクセスすることができます。詳細については、[「Jobs \(ジョブ\)」タブの「Smart Inbox」\(82 ページ\)](#) および [Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(84 ページ\)](#) を参照してください。

プリンタドライバアプリケーションまたはジョブ送信機で、印刷したい特定の Smart Inbox を選択することができます。ジョブが Smart Inbox に保持されている場合、ユーザ パネルまたは WebTools Express から手動でプリント ジョブを開始できます。

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。

[プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] では、権限の決定、Smart Inbox の設定、さらに一般的なジョブ管理の設定を行うことができます。詳細については、[ジョブ管理設定の構成 \(88 ページ\)](#) を参照してください。

「Jobs (ジョブ)」タブの「Smart Inbox」

はじめに

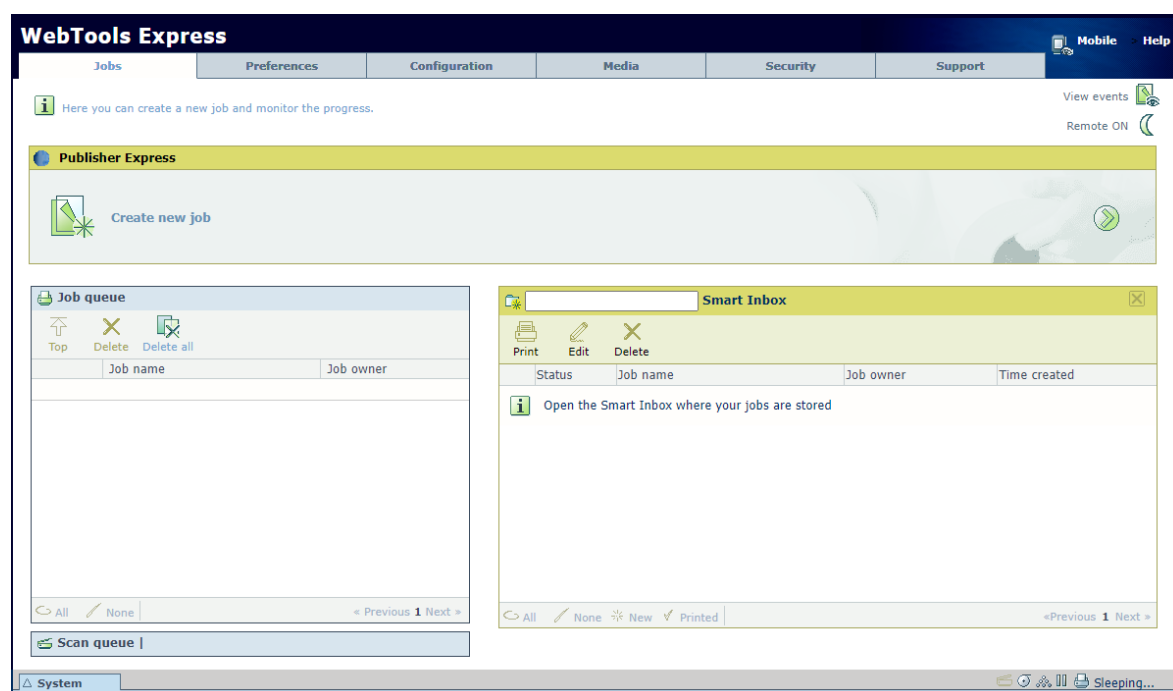
「Jobs (ジョブ)」タブでは、ジョブを作成したり、キューや「Smart Inbox」内でジョブを管理したりできます。



メモ

[ユーザー認証] 設定を有効にした場合、「Jobs (ジョブ)」タブでの権限や表示が異なる可能性があります。

「ジョブ」タブ



「Publisher Express」セクションで、新しいジョブを作成します。

新しいジョブを送信する際は、[新しいジョブの作成] をクリックします。新しいウィンドウが開きます。ここでいくつかの基本的なジョブ設定を定義したり、プリントするファイルを参照したりできます。

キュー セクションでは、ジョブをモニタリングします。

ジョブ キューおよびスキャン キューでは、プリントを待機しているジョブまたは送信を待機しているスキャンの概要を取得できます。キュー セクションの先頭にリストで表示されたオプションを使用すると、選択したジョブをキューの先頭へ移動したり、ジョブを削除したり、ジョブの送信をリトライしたり、スキャンしたジョブを特定の場所へ送信したりできます。[すべて削除] をクリックすると、キューからすべてのジョブが削除されます。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。

Smart Inbox セクション内でジョブを制御します。

Smart Inbox を作成し、Smart Inbox セクションで開くことができます。詳細については、[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(84 ページ\)](#) を参照してください。

システム上のすべての Smart Inboxes の概要が表示されます。「[スマート インボックスを開く]」をクリックします。白いスペース部分をクリックし、リストから Smart Inbox 名を選択します。下に Smart Inbox が表示されます。

「Smart Inbox」でジョブに対してアクションを実行します。Smart Inbox でジョブを選択すると、Smart Inbox セクションの上部にリストされたオプションを使用して、ジョブの印刷、編集、送信、保存、削除を行うことができます。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。



メモ

選択されたジョブによって、使用可能なアクションは異なります。

システム上のすべてのジョブの概要が表示されます。[プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] - [すべての Smart Inbox ジョブについてビューを表示] 設定を有効にした場合、1 つの概要にすべてのジョブを表示できます。

Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox

はじめに

Smart Inbox はプリント元、スキャン先、または保存先の個人用フォルダとして使用します。「WebTools Express」では、次の場所で Smart Inbox を作成できます。

- 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクション
- 「[ジョブ]」タブ - 「Publisher Express」セクション
- 「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクション



メモ

- 3つある方法のうちどの方法を使って作成するかによって、Smart Inbox の動作は異なる場合があります。
- ユーザー認証を有効にした場合、Smart Inbox 権限は異なる場合があります。

「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクションで Smart Inbox を作成



メモ

- 「Smart Inbox」セクションで作成された Smart Inboxes は、空の時は個人ブラウザにのみ表示されます。特定の Smart Inbox にジョブがある場合、Smart Inbox は操作パネルおよび他のブラウザセッションにも表示されるようになります。
- 「Smart Inbox」セクションで作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox が空になると、操作パネルおよび非個人ブラウザセッションでは表示されなくなります。

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを選択します。
2.	[Smart Inbox を開きます] をクリックします。
3.	空白のフィールドをクリックすると、ドロップダウン リストが開き、システムで使用可能な Smart Inboxes が表示されます。
4.	新しい Smart Inbox の名前を入力して <Enter> を押すか、リストから対象の Smart Inbox を選択します。
5.	Smart Inbox セクションに Smart Inbox が表示されるようになります。

「[ジョブ]」タブ - 「Publisher Express」セクションで Smart Inbox を作成

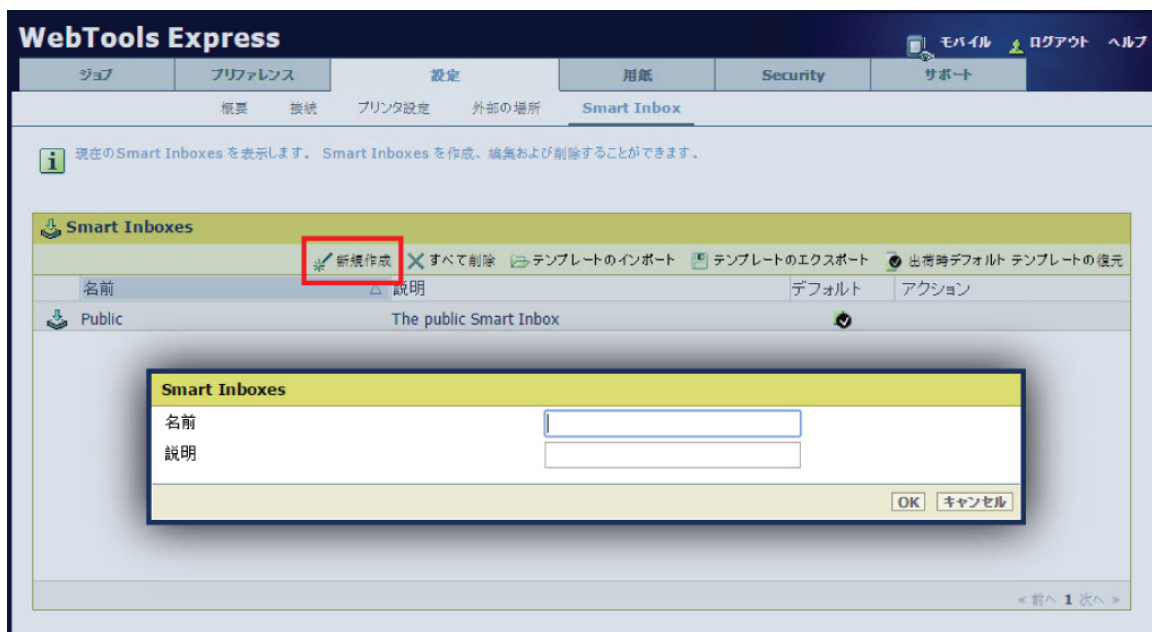


メモ

- この手順では、Smart Inbox を作成するだけでなく、ジョブがプリンタに送信されます。
- Publisher Express で作成された Smart Inboxes は、空の時は個人ブラウザにのみ表示されます。特定の Smart Inbox にジョブがある場合、Smart Inbox は操作パネルおよび他のブラウザセッションにも表示されるようになります。
- 「Publisher Express」で作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox が空になると、操作パネルおよび非個人ブラウザセッションでは表示されなくなります。

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを選択します。
2.	Publisher Express セクションで [新しいジョブの作成] をクリックします。
3.	[ワークフロー] セクションで Smart Inbox フィールドをクリックします。1 つまたは複数のジョブが含まれた Smart Inboxes が表示されたドロップダウン リストが開きます。
4.	新しい Smart Inbox の名前を入力して、<Enter> を押します。
5.	「[OK]」をクリックすると、新しい Smart Inbox を経由してプリント ジョブをプリンタに送信します。
6.	Smart Inbox が「Smart Inbox」セクションおよび操作パネルに表示されるようになります。

「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクションで Smart Inbox を作成



メモ

「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクションで作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox は空の場合でも、操作パネル上およびブラウザ セッション中で使用可能になります。

手順	アクション
1.	[設定] - [Smart Inbox] タブを開きます。
2.	[新規作成] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3.	ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。この名前はユーザ パネルに表示されます。
4.	「[説明]」を入力します
5.	「OK」をクリックして確定します。

Smart Inbox を閉じるか削除します。

はじめに

「WebTools Express」で、Smart Inbox を閉じたり削除したりすることができます。

- 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクション
- 「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクション



メモ

- Smart Inbox を削除した場合、Smart Inbox のみが表示されなくなり、スマート インボックス内のジョブは削除されません。Smart Inbox からジョブを完全に削除するには、Smart Inbox でジョブを選択して [削除] をクリックします。
- デフォルトの「公開」の Smart Inbox は削除できず、常に表示されます。

「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクションで Smart Inbox を閉じます

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを開きます。
2.	[Smart Inbox] バーの右側で [X] ボタンをクリックします。

「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクションで Smart Inbox を削除します

手順	アクション
1.	[設定] - [Smart Inbox] タブを開きます。
2.	削除する Smart Inbox を選択します。
3.	[アクション] の下の右側で、X をクリックします。 すべての Smart Inboxes を一度に削除するには、右上角で [すべて削除] をクリックします。

ジョブ管理設定の構成

はじめに

ジョブまたは Smart Inboxes に対して実行できる権限やアクションを管理したい場合に、[ジョブ管理] 設定を構成することができます。

注意：

- 個々の設定名の上をクリックすると、各設定の完全な説明を読むことができます。
- [ユーザー認証] 設定を有効にした場合、権限および使用できる設定が異なる場合があります。詳細については、[ユーザー認証の有効化 \(95 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. 「[ジョブ管理]」セクションで「[編集]」をクリックするか、特定の設定を選択します。
3. 値を変更し、好みの設定を作成します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ネットワークおよびセキュリティ設定の構成

WebTools Express のネットワーク設定の構成

はじめに

一部のネットワーク設定は、システムのインストール時に構成されます。より多くのネットワーク設定を定義したい場合は、[設定] タブで行うことができます。



メモ

ネットワーク設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Connectivity Manual for Windows を参照してください。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [ネットワーク アダプタ] セクションの右上隅の [編集]、または [ネットワーク アダプタ: IPv4] セクション、あるいは [ネットワーク アダプタ: IPv6] セクションをクリックします。ここでは、ひとつのウィンドウでグループのすべての設定を編集することができます。
または

3. ひとつの設定のみを編集するには、リスト内でひとつの設定をクリックします。



メモ

ひとつの設定を編集すると、ツールチップに設定についての簡単な説明が表示されます。

4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

通知用メールサーバーの設定

はじめに

E メールアドレスは、セキュリティアップデートが利用可能になったときに通知 E メールを送信するために使用されます。

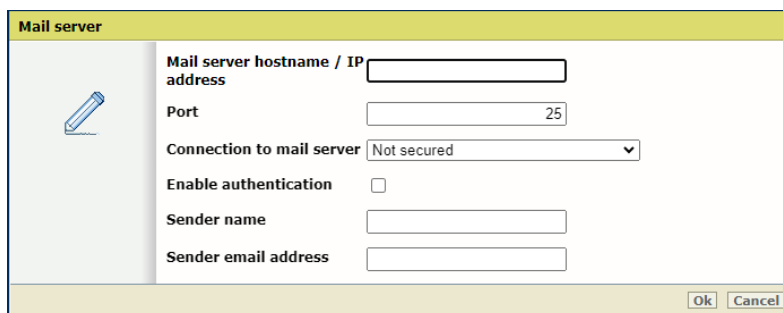
始める前に

着手する前に、以下の情報を収集してください。情報が手許に無い場合、IT 管理者にお問い合わせください。

- メールサーバーのホスト名または IP アドレス
- メールサーバーに使用しているポート
- メールサーバーの接続タイプ：セキュリティの有無
- メール受信に使用するメールアドレス
- 認証は必要ですか？「はい」の場合、どのようなユーザー名とパスワードを設定する必要がありますか？

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [メール サーバー] セクションの [編集] をクリックします。
ウィンドウが開きます。

A screenshot of a 'Mail server' configuration dialog box. The dialog has a title bar 'Mail server' and a pencil icon on the left. It contains several input fields: 'Mail server hostname / IP address' (empty), 'Port' (set to 25), 'Connection to mail server' (a dropdown menu showing 'Not secured'), 'Enable authentication' (an unchecked checkbox), 'Sender name' (empty), and 'Sender email address' (empty). At the bottom right are 'Ok' and 'Cancel' buttons.

3. [メール サーバーのホスト名 / IP アドレス] フィールドにメールサーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
4. 必要に応じて [ポート] フィールドのポート番号を変更します。通常、SMTP プロトコルは TCP 25 です。
5. [メール サーバーへの接続] フィールドで接続のタイプを選択します。
接続のタイプが不明の場合、IT 管理者にお問い合わせください。
6. メールサーバーとの認証を有効にするには、[認証を有効にする] を選択します。
7. メールの送信者として表示される名前を [送信者名] フィールドに入力します。
8. 送信者の電子メールとして表示される電子メールアドレスを [送信者メールアドレス] フィールドに入力します。多くの場合、認証が有効になっている場合、「送信者メールアドレス」は「ユーザー名」と同じか、「ユーザー名」のメールアドレスでなければなりません。
9. [OK] をクリックします。

Mozilla Firefox 用のセキュリティ設定を設定する

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ
すべてのクッキーをブロックしないでください。ブロック可能なものは、クロスサイト、ソーシャルメディア トラッカー、見ていないサイトからのクッキー、およびすべてのサードパーティ クッキーです。

手順

手順	アクション	値
1	Firefox の選択 / オプション / プライバシー & セキュリティ	
2	Enhanced Tracking Protection (強化されたトラッキング防止機能：標準、厳格、カスタム) 「カスタム」の場合、クッキーのブロックは「すべてのクッキー」に設定されてはいけません。	

Google Chrome 用のセキュリティ設定を設定する

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ

Cookie を有効にする必要があります (サードパーティ クッキーのブロックは許可されています)。

手順

手順	処置	値
1	Chrome の選択 / 設定 / プライバシー & セキュリティ	
2	サイトの設定	
	第三者クッキー	クッキーデータの保存と読み込みがサイトで許可 (サードパーティ クッキーのブロックは許可されています)
	JavaScript	JavaScript の使用を許可します
	画像	サイトでの画像表示を許可します

Microsoft Edge 用のセキュリティ設定を設定する

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ
すべてのクッキーをブロックしないでください。サードパーティ クッキーのみ、ブロックすることができます。

手順

手順	処置	値
1	Edge/設定/Cookie とサイトのアクセス許可を選択します。	
2	保存したカラーとデータ / クッキーとサイトデータ サイトによるクッキーデータの保存と読み取りを許可します。サードパーティ クッキーのみ、ブロックすることができます。	

リンク速度およびデュプレックス モードの設定

はじめに

WebTools Express を使用して、ネットワーク アダプタの送信速度およびデュプレックス モードを設定します。

始める前に



メモ

ネットワーク カードの種類によって、選択可能な値のリストが異なります。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [ネットワーク アダプタ] セクションの [編集] をクリックするか、[リンク速度と双方向モード] 設定をクリックします。
3. 値を選択します。[自動検出] がデフォルトです。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ユーザー認証の有効化

はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にできます。

ユーザー認証を有効にすると、

- ユーザーはシステムにアクセスする際に認証を受ける必要があります。
- ユーザーが見ることができるのは自分のジョブだけです。
- コントローラ上にローカルに保存されたスキャン済みのファイルは、取得できなくなります。
- 「[ダイレクト プリント]」が無効化されます。
- さまざまな [ジョブ管理] 設定が無効化されます。
- さまざまな Smart Inbox 権限が無効化されます。
- さまざまな [その他のネットワーク インターフェース] 設定が無効化されます。



メモ

ユーザー認証についての詳細および無効化された設定の完全なリストについては、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. 「[ユーザ アクセス モード]」 セクションで「[ユーザー認証]」 設定をクリックします。
3. 「[ユーザー認証]」 設定を変更して、認証を必須にします。
 - [ユーザー名とパスワード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にドメインを選択し、資格情報 (ユーザー名およびパスワード) を入力する必要があります



メモ

- 「Domains (ドメイン)」 タブで少なくとも 1 つのドメインを構成する必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
 - ユーザー認証を「[ユーザー名とパスワード]」 に設定し、ドメインを構成した場合、IT 部門により可能であれば、「[Home フォルダ]」 も外部の場所として使用可能になります。
- [スマート カード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にスマート カードを使用する必要があります。



メモ

- 「Trusted certificates (信頼される認証)」 タブで少なくとも 1 つのルート認証をアップロードする必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
- [非接触型カード]: ユーザーはシステムにアクセスする際に非接触型カードを使用する必要があります。



メモ

- 「Domains (ドメイン)」 タブで少なくとも 1 つのドメインを構成する必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
- [ユーザー名およびパスワード、またはスマートカード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にユーザー名およびパスワードを入力するか、またはスマート カードを使用する必要があります。
 - [ユーザー名およびパスワード、または非接触型カード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にユーザー名およびパスワードを入力するか、または非接触型カードを使用する必要があります。
4. 「OK」 をクリックして確定します。

アクセスコントロールの有効化

はじめに

プリンタへのアクセスをコントロールする場合、WebTools Express でアクセス コントロールを有効にする必要があります。アクセス コントロールを有効にすると、お客様のネットワークを介したプリンタとの通信が許可される、最大 5 つのホストを選択することができます。このホストの数については、柔軟な構成が可能です。

各ホストに対して、このホストからシステムへの通信を IPsec. によって暗号化する必要があるのかどうかを判断することができます。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [アクセス コントロール] セクションで [アクセス コントロール] 設定をクリックします。
3. [アクセス コントロール] 設定を [無効] から [有効] に変更します ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. 「OK」をクリックして確定します。

IPsec を有効にする

はじめに

IPsec により暗号化するためのプリンタとの通信が必要な場合、IPsec を有効にします。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [アクセス コントロール] セクションで、[IPsec] 設定をクリックします。
3. [IPsec] 設定を [無効] から [有効] へと変更します。ボックスをチェックして、設定を有効にします。
4. 「OK」をクリックして確定します。

アクセスコントロールと IPsec の設定

はじめに

アクセスコントロールが有効な場合、アクセスコントロールの設定を編集することができます。

[アクセスコントロール]と IPsec の設定

[セキュリティ] - [設定] - [アクセスコントロール] で、5つのステーションのそれぞれに以下の設定を設定できます。

設定	説明
[アクセスコントロールステーション 1]	このホストのプリンタとの通信を有効または無効にします。
[アクセスコントロールステーション 1:IPv4 アドレス]	ホストの IPv4 アドレスでプリンタと通信ができます。 この設定は、Network-adapter>IP-type が IPv4 に設定されている場合にのみ表示されます。
[アクセスコントロールステーション 1:IPv6 アドレス]	ホストの IPv6 アドレスでプリンタと通信ができます。 この設定は、Network-adapter>IP-type が IPv6 に設定されている場合にのみ表示されます。
[IPsec ステーション 1]	IPsec の有効化または無効化。IPsec はセキュリティ プロトコルであり、ホストとプリンタの間の通信を暗号化します。
[IPsec ステーション 1:事前共有キー]	このホストの暗号化キーが IPsec を介して接続されています。空の場合、デフォルトの共有鍵が使用されます。

IPsec の場合、以下の設定を指定できます。

設定	説明
[IPsec デフォルトの事前共有キー]	これは IPsec を介して接続されたホストの暗号化のためのデフォルト キーです。このキーは、事前共有キーが特定されていないすべてのステーションを保留にします。
[IPsec 認証方法]	IPsec 認証タイプの選択：「[事前共有キー]」、「[証明書]」または「[事前共有キーによる証明書]」。
[IPsec 証明書の署名アルゴリズム]	IPsec 署名アルゴリズムの選択：RSA、ECDSA P256 または ECDSA P384。 この設定は、IPsec 認証方法が証明書も使用する場合にのみ表示されます。
[IPsec 証明書のタイプ]	証明書タイプの選択：ルートまたは中間。 この設定は、IPsec 認証方法が証明書も使用する場合にのみ表示されます。
[IPsec 証明書]	編集不可。デフォルトとして「証明書がない」、またはある場合、証明書の共通名。 この設定は、IPsec 認証方法が証明書も使用する場合にのみ表示されます。



メモ

これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Systems Security マニュアルを参照してください。

電子断裁機能の有効化または無効化

はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを安全に消去することができます。これにより、削除済みのジョブを不正に復旧することができなくなります。電子断裁機能が有効の場合、電子断裁アルゴリズムを選択することができます。WebTools Express で電子断裁機能を有効にすることができます。工場出荷時のデフォルトでは、電子断裁機能は無効になっています。



メモ

これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] セクションで [電子断裁] フィールドをクリックします。
3. [有効] または [無効] を選択します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。



メモ

電子断裁が有効の場合、ジョブの処理にかかる時間が長くなる場合があります。

4. 確認して、「OK」をクリックします。

電子断裁アルゴリズムの選択

はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを安全に消去することができます。これにより、削除済みのジョブに不正にアクセスすることができなくなります。

次のいずれかのアルゴリズムを選択することができます。

- [Gutmann]。
システム上のすべてのジョブが 35 回の上書きパスで消去されます。
- [DoD 5220.22-M]。
システム上のすべてのジョブが 3 回の上書きパスで消去されます。
- [カスタム] では、上書きパスを手動で定義することができます。

工場出荷時のデフォルト設定は [DoD 5220.22-M] です。



メモ

セキュリティ ポリシーの要件である場合にのみ、上書きパスの回数に 1 を超える数字を設定します。パスの回数を増やすと、パフォーマンスに影響することがあります。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] セクションの右上角の [編集] をクリックします。
3. [電子断裁アルゴリズム] に適した方法を選択します。
4. 「OK」をクリックして確定します。

上書きパスの回数の指定

はじめに

e-シュレッダー機能は、システムからジョブを消去することができます。これにより、権限のない人が削除されたジョブにアクセスすることを防ぎます。必要な上書きパスの回数を手動で入力することができます。1 ～ 35 の任意の数字を入力することができます。工場出荷時のデフォルトは 1 です。



メモ

- 上書きパスの回数を 1 より多く設定するのは、セキュリティ・ポリシーで義務付けられている場合だけにしてください。パスの回数を増やすと、パフォーマンスに影響することがあります。
- パスの回数が多くなればなるほど時間がかかることに注意してください。

始める前に

[電子断裁] が有効化されていることを確認します。詳細については、「[電子断裁機能の有効化または無効化 \(99 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] で [電子断裁アルゴリズム] をクリックして [カスタム] を選択します。
3. [電子断裁] で [電子断裁カスタム パス数] をクリックします。
4. 目的の上書きパスの回数を入力します。
5. 「OK」をクリックして確定します。

リモート セキュリティ

はじめに

デフォルトでは、HTTPS の使用に提供される最初の証明書は、自身が署名した証明書です。

完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。WebTools Express では、ユーザー自身が証明書リクエストを生成したり、その後認証機関から受け取った CA 署名の証明書のインポートをすることができます。

証明書を使用する際は、プリントを送信するクライアントのステーションがコントローラの ID をチェックできます。

リモート セキュリティ: 認証

- デフォルトでは、Canon は Canon 自身が署名した証明書を提供します。この証明書は、クライアントとコントローラの間においてプリント データの暗号化を提供します。これは簡単に使用できます。この自己署名された証明書は認証機関によって署名されていないため、HTTPS プロトコルを初めて使用する際に、Web ブラウザに「証明書エラー」メッセージが表示されます。
- お客様のセキュリティ ポリシーによって推奨される場合、管理者は認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。これを実行する方法の詳細については、[証明書リクエストを生成する \(103 ページ\)](#) および [CA 署名の証明書のインポート: ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。 \(108 ページ\)](#) を参照してください。

証明書リクエストを生成する

はじめに

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書リクエストを生成するには、次の手順を実行してください。

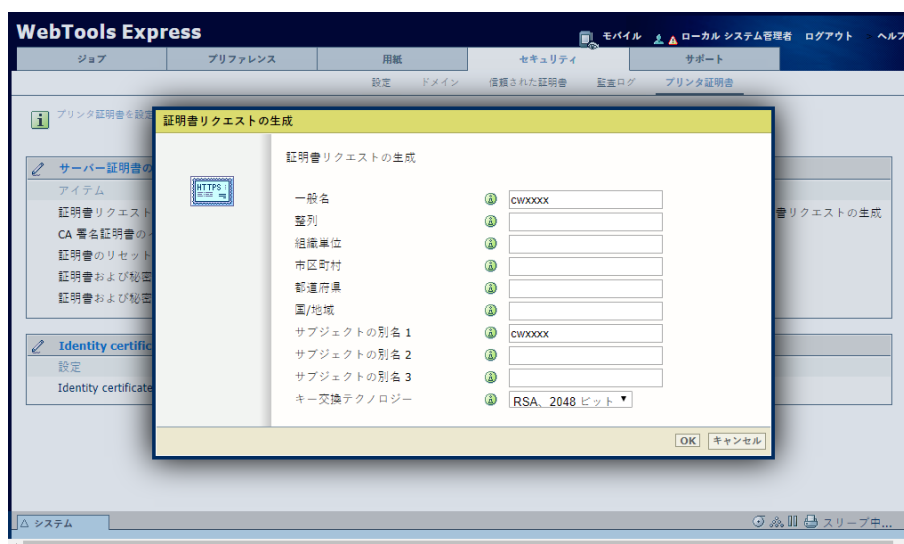


メモ

まず最初に、証明書リクエストにどの値が必要なのか、IT 部門に確認してください。これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
2. [証明書リクエストの生成] をクリックします。ウィンドウが開きます。



3. 必要な設定を行います。完全修飾ドメイン名または IP アドレスおよび追加情報を入力します。
4. [OK] をクリックして保存します。
Web サーバーが証明書リクエストを生成します。リクエストの内容が表示されます (プレーン テキスト)。
例 (偽のリクエスト):
-----BEGIN NEW CERTIFICATE REQUEST-----
MIIBvDCCASQAwwfDELMakGA1UEBMCRIIxDDAKBgNVBAgTA0IERjEQMA4GA1UEBxMHQ1JFVEVJ
TDEBEGA1UEChMKMT2NIIFBMVCBTQTEMMAAoGA1UECxmDUU05TMSowKAYDVQQDEyF0ZHM3MDAtNz
Qw
LnNucy5vY2VjcmVOWlsLm9jZS5uZWgZ8wDQYJKoZIhvcNAQEBBQADgY0AMIGJAoGBAJ2NKQMd
HjiDZ1khzTJTORxHqjKl3AtE3PXqRsiHouTH5JTceYtaBjCnxCJ4pGKY5iKN8KJiJuZG8PHxY7o
W/+zpvxN2VtX7TcyTAVyCThUwL+cqo75tvODo5HMCUa2sLdl8GO9WMLpgZkxH5KzliO+Lcl4
yQbqhENynywSOC2ObXCq3yksF74+XIO0swhoA2yfDp4T+LuF3wxys8IUH3ZhhkOYg==
-----END NEW CERTIFICATE REQUEST-----
5. [ファイルへ保存] をクリックしてリクエストの内容を .csr ファイル内に保存します (デフォルト名は 'req.csr')。

6. このリクエストの内容を認証機関に送信します。

CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のインポート

はじめに

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

CA 署名の証明書をインポートするには、次を実行してください。

- **ルート証明書をインポート。**
- 中間証明書のインポート
- CA 署名の証明書のインポート
- ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。



メモ

これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE 『Systems Security』 マニュアルを参照してください。

手順

1. WebTools Express を開きます
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [ルート証明書] を選択します。
5. ルート証明書ファイルを参照し、「開く」をクリックします。



メモ

ルート証明書は、Web サーバー証明書リスト内にすでに存在している場合があります。

6. 検証して、インポートを確定します。
7. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] がポップアップしたら、[中間証明書]のインポートに進みます。
8. [OK] をクリックして保存します。

CA 署名の証明書のインポート: 中間証明書のインポート

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下が必要となります。

- ルート証明書のインポート
- **中間証明書をインポートします。**
- CA 署名の証明書のインポート
- ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [中間証明書] を選択します。
5. 中間証明書ファイルを参照し、[Open (開く)] をクリックします。
6. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] が開いたら、メインページに戻って [CA 署名証明書] をインポートします。

CA 署名の証明書のインポート

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下が必要となります。

- ルート証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- **CA 署名の証明書のインポート**
- ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [CA 署名証明書] を選択します。
5. [Yes (はい)] を選択して、Java ルート証明書に対する証明書を有効にし、[Open (開く)] をクリックします。
6. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] が表示されたら、コントローラを再起動します。
これで証明書はサーバーにインストールされました。
ルート証明書を確認し、(必要であれば) ワークステーションのウェブブラウザにもインポートします。
これにより、ワークステーションとサーバーの間の全データ ワークフローが安全になります。

CA 署名の証明書のインポート: ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

HTTPS を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下の手順に従う必要があります。

- 中間証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- CA 署名の証明書のインポート
- ユーザーワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

手順

1. 各ワークステーションで、Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザの「証明書」オプションを開きます。
Edge の場合: 「設定」 > 「プライバシー、検索、およびサービス」 > 「証明書の管理」に進みます。
3. ルート証明書が「信頼されたルート証明機関」リストにすでに表示されているかどうかを確認します。
4. リストにない場合は、ルート証明書をインポートします。

証明書認証に関する情報を見つける

はじめに

証明書がアップロードされたら、証明書の詳細を表示することができます。

手順

1. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
証明書がアップロードされたら、以下の詳細を [証明書認証] セクションで見ることができます。

設定	説明
[証明書認証の存在]	証明書認証ファイルがコントローラ上に存在するかどうかを表示
[有効開始日]	有効期間の開始日を表示
[有効終了日]	有効期間の終了日を表示
[HTTPS に対して有効]	認証機関による HTTPS のために署名済み
[IPsec に対して有効]	認証機関による IPsec のために署名済み
[共通名]	プリンタのコモンネーム (FQDN、ホスト名、または IP アドレス)
[キー交換テクノロジー]	使用されている署名アルゴリズム

プリセットの設定

プリセットについて知っておくべきこと

はじめに

プリセットは事前定義された設定で、ユーザー パネルで選択するとプリントまたはコピー ジョブを簡単に実行できます。プリセットの概念は、グリーン ボタン アプローチをサポートしています。デフォルトのプリセットが操作パネルで自動的に選択されるため、グリーン ボタンを押すだけで、事前定義された設定でジョブを開始できます。

ユーザ パネルのプリセット

ユーザー パネルでコピー タイルをタップすると、プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。プリント タイルをタップして、リストに表示されたジョブの設定をタップすると、プリントのプリセットが表示されます。

プリセットのカテゴリごとに、デフォルトのプリセットがプリセット タイルとして表示されます。デフォルトのタイルをタップすると、他の利用可能なプリセットが表示されます。

WebTools Express でのプリセットの設定

「WebTools Express」では、プリントまたはコピーのプリセットの設定を指定できます。設定は一回行うだけで、ユーザー パネルにプリセットとして表示されます。

プリセット	説明
デフォルトのプリセット	デフォルトのプリセットは、グリーン ボタン アプローチをサポートしています。設定を指定しない場合、プリンタはプリントまたはコピー ジョブにデフォルトのプリセットを使用します。WebTools Express でデフォルトのプリセットを設定できます。
カスタム プリセット	カスタマイズした設定を使用したい場合は、WebTools Express でカスタム プリセットを設定できます。操作パネルでカスタム プリセットを利用可能にするか、またはデフォルトのプリセットに設定します。

デフォルトのコピー プリセットの設定

はじめに

プリセットを使用して、コピー ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

コピーは 4 つのプリセット カテゴリを備えています。[用紙]、[レイアウト]、[イメージ]、および [仕上げ] です。それぞれのカテゴリに対して、WebTools Express で 1 つのデフォルト プリセットを設定できます。デフォルト プリセットは、ユーザ パネルでグリーンボタンを押すと、自動的に使用されます。



メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

手順

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネル構成:コピー用のデフォルトのプリセット] で、たとえば [デフォルトのレイアウト プリセット] など、変更するプリセットのカテゴリを選択します。
3. たとえば [定型ハーフ サイズ] など、デフォルトのプリセットとして使用する設定を選択します。カスタム プリセットをデフォルトにしたい場合は、[カスタム] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。

カスタムのコピー プリセットの構成

はじめに

プリセットを使用して、コピー ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

デフォルト プリセット以外の事前定義された設定を使用する場合、WebTools Express でカスタム プリセットを構成できます。プリセット カテゴリごとに 1 つのカスタム プリセットを構成できます。[用紙]、[レイアウト]、または [イメージ] です。カスタム プリセットはユーザ パネルで使用可能になり、デフォルト プリセットとして設定できるようになります。

手順

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. たとえば [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] など、カスタムのプリセットを含めるプリセットのカテゴリを選択して [編集] をクリックします。
3. [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] 設定の隣にあるボックスをチェックしてプリセットを有効化し、ユーザ パネルで使用可能にします。
4. ユーザ パネルでプリセットに使用される名前および説明を入力します。
5. カスタムのプリセットに使用する設定を選択します。たとえば、[原稿の種類] を [白黒反転原稿] に設定し、[背景補正機能] を [オン] に設定することを選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。カスタム プリセットをデフォルト プリセットにしたい場合は、「[デフォルトのコピー プリセットの設定 \(111 ページ\)](#)」の手順に従います。

デフォルトのプリント プリセットの設定

はじめに

プリセットを使用して、USB または外部の場所からのプリント ジョブで必要な設定を事前定義することができます。

プリントは 4 つのプリセット カテゴリを備えています。[用紙]、[レイアウト]、[イメージ]、および [仕上げ] です。それぞれのカテゴリに対して、WebTools Express で 1 つのデフォルト プリセットを設定できます。デフォルト プリセットは、ユーザ パネルでグリーンボタンを押すと、自動的に使用されます。



メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネル構成:プリント用のデフォルトのプリセット] で、たとえば [デフォルトのレイアウト プリセット] など、変更するプリセットのカテゴリを選択します。
3. たとえば [定型ハーフ サイズ] など、デフォルトのプリセットとして使用する設定を選択します。
[カスタム] を選択してカスタムのプリセットをデフォルトに設定します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」 ボタンを押します。

カスタムのプリント プリセットの構成

はじめに

プリセットを使用して、プリント ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

デフォルト プリセット以外の事前定義された設定を使用する場合、WebTools Express でカスタム プリセットを構成できます。プリセット カテゴリごとに 1 つのカスタム プリセットを構成できます。[用紙]、[レイアウト]、または [イメージ] です。カスタム プリセットはユーザ パネルで使用可能になり、デフォルト プリセットとして設定できるようになります。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. たとえば [プリント用のカスタムのイメージ プリセット] など、カスタムのプリセットを含めるプリセットのカテゴリを選択して [編集] をクリックします。
3. [プリント用のカスタムのイメージ プリセット] 設定の隣にあるボックスをチェックしてプリセットを有効化し、ユーザ パネルで使用可能にします。
4. ユーザ パネルでプリセットに使用される名前および説明を入力します。
5. カスタムのプリセットに使用する設定を選択します。たとえば、[ミラー] を [オン] に設定することを選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。カスタム プリセットをデフォルト プリセットにしたい場合は、「[デフォルトのプリント プリセットの設定 \(113 ページ\)](#)」の手順に従います。

操作パネルでのカスタムのプリセットの使用

はじめに

カスタムのプリセットを作成する場合、プリセットを操作パネルでできるように設定できます。

始める前に

最初にカスタムのプリセットを作成します。詳細については、「[カスタムのコピー プリセットの作成 \(112 ページ\)](#)」または「[カスタムのプリント プリセットの作成 \(114 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

1. [プリファレンス] タブを開きます。
2. カスタムのプリセットに応じて、「[コピー ジョブのデフォルト]」または「[プリント ジョブのデフォルト]」タブを選択します。
3. 目的のカスタム プリセット カテゴリから、カスタムのプリセット設定を選択します。
たとえば、[コピー用のカスタムのイメージ プリセット] から [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] 設定を選択します。
4. ボックスをオンにして設定を有効にし、[OK] をクリックします。
カスタム プリセットが操作パネルに表示され、ローカルから選択できるようになりました。

テンプレートの設定

折りおよびスキャン テンプレート

はじめに

テンプレートとは、自分で構成できる事前定義された設定のグループです。ユーザー パネルでテンプレートを選択すると、最適化された設定で簡単にジョブを送信できます。

「[プリファレンス]」タブにある「WebTools Express」で、折りやスキャンに関するテンプレートを作成できます。さまざまなテンプレートを作成して、そのうちの 1 つをデフォルトとして選択できます。スキャン用テンプレートについては、工場インストールのテンプレートの 1 つを有効にすることもできます。

一般的テンプレート操作

テンプレートに対して一般的に実行できる操作がいくつかあります。次の操作を実行できます：

- [新規テンプレートの作成 \(117 ページ\)](#)
- [すべてのテンプレートの削除 \(118 ページ\)](#)
- [テンプレートのエクスポート \(119 ページ\)](#)
- [テンプレートのインポート \(120 ページ\)](#)
- [テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元 \(121 ページ\)](#)
- [スキャン テンプレートを有効または無効にする \(122 ページ\)](#)

テンプレートごとの操作

この次に、テンプレートごとに操作を実行できます。リスト上のテンプレートにマウス ポインターを合わせると、使用可能な操作が表示されます。

アイコン	説明
	「[テンプレートの編集]」、設定または保存先を変更する 工場インストールされたスキャン テンプレートを変更することもできます。
	「[テンプレートのコピー]」、新しいテンプレートを作成する
	「[テンプレートの削除]」、特定の 1 つのテンプレートを削除する  メモ • 工場インストールされたスキャン テンプレートを削除した場合、工場出荷時のデフォルト設定を復元することで回復できます。詳細については、工場出荷時のデフォルトを復元 (74 ページ) を参照してください。 • 一部の保存先 (外部の場所と Smart Inbox) は、スキャンテンプレートでスキャン保存先として設定されている場合、削除できません。
	「[このテンプレートをデフォルト テンプレートとして設定します]」、選択されたテンプレートをデフォルトに設定する

新規テンプレートの作成

はじめに

「WebTools Express」で新しいテンプレートを作成します。



メモ

- 構成によって、使用可能な設定の数が異なる場合があります。
- 選択した内容によって、表示される設定の数が異なる場合があります。
- 操作パネル上のテンプレートはアルファベット順に並んでいますので、ご注意ください。テンプレートの配列を変更したい場合は、名前の前の番号 (01、02、03 など) の昇順に配列することをお勧めします。
- 操作パネルで「Home (ホーム)」ボタンをクリックし、テンプレートを更新します。

手順

1. 折りテンプレートには、WebTools Express で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。スキャン テンプレートには、WebTools Express で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[新規作成]」をクリックします。
3. ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。
4. 使用される設定の説明として「[説明]」を入力します。
5. フォルダ テンプレート用：[テンプレート ソース] を選択します。



重要

可能な場合、最良の結果を得るには、折り装置に組み込まれているテンプレートを使用することをお勧めします。

- 折り設定を自身で定義する場合は、[カスタム テンプレート] を選択します。
 - 折り機で事前定義されているテンプレートを使用する場合は、[折り曲げ装置に組み込まれているテンプレート。] を選択します。
6. 目的の設定を選択します。テンプレート エディタでは、すべての設定について、簡単な説明を表示するツールチップを使用することができます。
適切な設定の詳細については、[カスタム折りテンプレートの折り設定 \(146 ページ\)](#) および [組み込み折りテンプレートの折り設定 \(149 ページ\)](#) を参照してください。
 7. 「[OK]」をクリックしてテンプレートを保存するか、「[キャンセル]」をクリックして入力を取り消します。

すべてのテンプレートの削除

はじめに

「WebTools Express」を使用して、すべてのテンプレートを一度に削除することができます。

手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。
スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[すべて削除]」をクリックします。
3. 画面にメッセージ [すべてのテンプレートを削除しますか?] が表示されます。
4. [OK] をクリックしてすべてのテンプレートを削除するか、[キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

テンプレートのエクスポート

はじめに

WebTools Express を使用して、テンプレートをエクスポートすることができます。

エクスポートは、zip ファイルとして保存されます。zip ファイルには、使用可能なすべてのテンプレートが含まれます。

手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。
スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[すべてエクスポート]」をクリックします。
3. [保存] をクリックしてエクスポートを zip ファイルとして保存するか、[キャンセル] をクリックしてエクスポートを中止します。

テンプレートのインポート

はじめに

WebTools Express を使用して、テンプレートをインポートすることができます。

以前に [テンプレートのエクスポート] 手順で作成した、テンプレートを含む zip ファイルを使用します。

手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。
スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[インポート]」をクリックします。
3. 既存のテンプレートを上書きするには、[既存のテンプレートを上書きする] チェックボックスを選択します。チェックボックスを選択しない場合、重複するテンプレートをインポートすると連番が付けられます。
4. 「参照」をクリックして、[zip ファイルの場所を選択します]。
5. [OK] をクリックしてすべてのテンプレートをインポートするか、[キャンセル] をクリックしてインポートをキャンセルします。

テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元

はじめに

WebTools Express を使用して、すべてのテンプレートの工場出荷時のデフォルトを復元することができます。

カスタム テンプレートは変更されません。

手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。
スキャン テンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[工場出荷時のデフォルト値の復元]」をクリックします。
3. 画面にメッセージ [出荷時デフォルト テンプレートをすべて復元しますか?] が表示されます。
4. [OK] をクリックしてテンプレートを復元するか、[キャンセル] をクリックして復元を中止します。

スキャン テンプレートを有効または無効にする

はじめに

スキャン テンプレートを有効または無効にできます。テンプレートを有効にすると、ユーザー パネルで使用可能になります。

手順

1. 「[プリファレンス]」 - 「Scan (スキャン)」 タブを開きます。
2. 「Actions (アクション)」 で、優先テンプレートの隣にある [テンプレートの編集] アイコンをクリックします。テンプレート ウィンドウが開きます。
3. 「[ファイル]」の下で、「[ユーザ パネルに表示]」設定を「[はい]」または「[いいえ]」に設定します。
4. 「OK」をクリックして、入力内容を確認します。

結果

「[はい]」を選択すると、「Smart Access」の操作パネルでテンプレートが使用可能になります。



メモ

デフォルトのスキャンテンプレートは、無効になっている場合でも、常に操作パネルの Smart Access で利用できます。

場所の設定

場所の設定

はじめに

ユーザー パネルには、スキャン先とプリント元の場所のリストがあります。

格納を目的としてこの場所にスキャン済みファイルを送信するか、この場所にファイルを保存してそれらをプリンタに送信します。

外部の場所は、WebTools Express の [設定] - [外部の場所] タブで定義できます。

場所の種類

様々な場所の種類をスキャン先およびプリント元として設定できます。

場所の種類	場所の種類の説明
Smart Inbox	この場所を選択する場合、個人の Smart Inbox からプリントすることができます。あるいは、選択した Smart Inbox にスキャン済みファイルが送信されます。
[USB]	この場所を選択する場合、ユーザー パネルに挿入した USB 大容量ストレージデバイスをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[FTP]	この場所を選択する場合、FTP 経由のリモート ワークステーション上の共有フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[SMB]	この場所を選択する場合、SMB 経由のリモート ワークステーション上の共有フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[WebDAV]	この場所の種類を選択する場合、WebDAV 経由でクラウドを入力して、ネットワーク ドライブとして使用できます。
[Home フォルダ]	この場所の種類を選択する場合、自分のワークステーション上のパーソナルホーム フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。  メモ ホーム フォルダは、「[ユーザー名とパスワード]」で「[ユーザー認証]」が有効になっている場合にのみ使用できます。 ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成される必要があります。
[PlanWell® Collaborate] (オプション)	この場所を選択する場合、PlanWell Collaborate クラウド サービスをプリント元またはスキャン先として設定できます。

USBの有効化または無効化

はじめに

場所として USB を使用する場合、まず USB の設定を指定する必要があります。WebTools Express で設定を指定できます。

図



手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [USB]を選択し、[アクション]の下にある [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [有効な機能] では、USB で使いたい機能を選択できます。
 - USB からのプリントと USB へのスキャンを有効にする場合は、[プリント元およびスキャン先]を選択します。
 - USB からの印刷のみを有効にしたい場合は、[プリント元のみ] を選択します。
 - USB へのスキャンのみを有効にしたい場合は、[スキャン先のみ] を選択してください。
 - USB 機能を無効にしたい場合は、[なし] を選択します。
4. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ]に設定します。
 [はい] の意味：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml'が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。
5. [OK] をクリックし、USB の設定を外部に保存します。

結果

USB を有効にして、ユーザ パネルに USB キーを挿入すると、外部の USB の場所をユーザ パネルを経由して、または WebTools Express で使用できます。

USB を無効にすると、USB を外部の場所として使用できません。

ホームフォルダの有効化および編集

はじめに

場所としてホームフォルダを使用する場合、まずユーザー認証を有効にする必要があります。すると、外部の場所リストにホームフォルダが表示されます。ホームフォルダが表示されると、機能を設定できるようになります。



メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な自分用の安全な外部の場所です。資格情報 ([ユーザー名とパスワード]) を使ってユーザーパネルからログインすると、自分のホームフォルダのみが表示されます。ホームフォルダをスキャン先に指定すると、ファイルはネットワーク上の自分用の場所へ送信されます。典型的な構成では、ファイルはワークステーション上のホームドライブの下にあります。

始める前に

まず、[ユーザー認証] の値を選択して [ユーザー名とパスワード] 設定を有効化したことを確認します。詳細については、[ユーザー認証の有効化 \(95 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [Home フォルダ] を選択し、[アクション] の下にある [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [有効な機能] では、ホームフォルダに使用する機能を選択できます。
 - ホームフォルダからの印刷とホームフォルダへのスキャンを有効にする場合は、[プリント元およびスキャン先] を選択します。
 - ホームフォルダからの印刷のみを有効にする場合は、[プリント元のみ] を選択します。
 - ホームフォルダへのスキャンのみを有効にする場合は、[スキャン先のみ] を選択します。
 - ホームフォルダを外部の場所として無効にしたい場合は、[なし] を選択します。
4. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ] に設定します。
[はい] の意味：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml' が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。
メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。
5. [OK] をクリックすると、ホームフォルダーの設定を外部に保存できます。

PlanWell Collaborate の有効化 (オプション)

はじめに

PlanWell Collaborate (ARC クラウドのサポート) 用のライセンスをインストール済みの場合は、[設定] タブでこの外部の場所を有効化できます。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [PlanWell® Collaborate]を選択し、[アクション]の下にある [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 「[プロキシ設定を使用する]」のチェック ボックスをチェックします。ローカル ネットワーク上で場所を構成した場合、ボックスのチェックを外して、プロキシの設定を使わないようにしなければならない場合があります。
4. [有効な機能] では、PlanWell Collaborate で使いたい機能を選ぶことができます。
 - PlanWell Collaborate にスキャンする場合は、[プリント元およびスキャン先]を選択します。
 - PlanWell Collaborate からの印刷のみを有効にする場合は、[プリント元のみ]を選択します。
 - PlanWell Collaborate へのスキャンのみを有効にする場合は、[スキャン先のみ]を選択してください。
 - PlanWell Collaborate を外部ロケーションとして無効にしたい場合は、[なし]を選択します。
5. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ]に設定します。
[はい] の意味：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml'が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。
メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。
6. [OK] をクリックし、PlanWell Collaborate の設定を外部保存します。

外部の場所の作成

はじめに

WebTools Express で独自の FTP, SMB, WebDAV, の外部の場所を作成できます。



メモ

ネットワーク設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Connectivity Manual for Windows を参照してください。

始める前に



メモ

- [SMB] プロトコルを有効にしていることを確認してください。
- [FTP] - [設定] タブで、[接続] を有効にしていることを確認してください。
- [WebDAV] の URL がブロックされていないことを確認してください。
- この手順には、システム管理者としてログインする必要があります。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブ を選択します。
2. 右上の [新規作成] をクリックします。

3. ユーザーが認識できる [名前] を入力します。この名前はユーザ パネルに表示されます。
4. 使用する設定の [説明] を入力します。
5. 外部ロケーションの [種類] を選択します：[FTP]、[SMB]または[WebDAV]。
6. [パス]を入力します。外部の場所へのフォルダ パスまたは URL です。
 - [FTP]の場合は、hostname[/path]（例：myhost/mydirectory/scantofile）という構文を使います。
 - [SMB]には構文を使います：\\ホスト名\共有名[/パス] (例: \\myhost\mysharedirectory\scantofile)。
 - [WebDAV]には、完全な HTTP URL を使用します（例：http://example.webdav.org:8080/repository/）。
7. [WebDAV]の場合は、[プロキシ設定を使用する] を [はい] または [いいえ]に設定します。インターネットアクセス用に設定されたプロキシ設定を使用します。ローカルネットワーク上の場所を設定する場合は、この設定を無効にする必要があるかもしれません。

8. [認証情報] で、ユーザーが外部ロケーションにアクセスするためにログインする必要があるかどうかを選択します。
 - ユーザーパネルでログインさせる場合は、[ユーザ パネルでログインするようユーザに指示します] を選択します。
ユーザーがユーザ パネルで外部の場所へのアクセスを試行すると、ログインが表示されます。
 - ここで認証情報を設定する場合は、[自動ログインには以下の認証情報を使用します:] を選択します。
ユーザーが外部の場所へのアクセスを試行する際に、ユーザ パネルへのログインを要求されることはありません。
9. [自動ログインには以下の認証情報を使用します:] を選択した場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。
 - [ユーザー名] は外部ロケーションへのアクセスを与えます。ユーザーは、外部の場所について少なくとも読み込みおよび書き込み権限を持つ必要があります。SMB 宛先の場合は、以下のフォーマットでなければなりません：ローカル ユーザー名: 「IPaddress」または「hostname」。ドメイン ユーザー名: "domainusername"。
 - ユーザー名に属する [パスワード] を入力します。
10. [有効な機能]を選択します。プリント ジョブまたはスキャン ジョブの選択された場所へのアクセスを有効または無効にします。
11. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ]に設定します。
[はい] とは：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml'が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。
メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。



メモ

uniFLOW [メタデータの保存] へのスキャンの場合、[はい]に設定する必要があります。

12. [OK] をクリックして外部の場所を保存します。



メモ

システムは外部ロケーションを検証し、検証に失敗した場合はエラーメッセージを表示します。
エラーの場合、"Save "をクリックしてエラーのある外部ロケーションを保存するか、"Change "をクリックしてエントリーを変更することができます。

結果

操作パネルおよび WebTools Express から外部の場所を使用することができます。

デフォルトの外部の場所の設定

はじめに

デフォルトの場所として外部の場所を設定することができます。ジョブに対して特定の外部の場所を選択しないと、デフォルトの場所が使用されます。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを選択します。
2. [外部の場所] でデフォルトとして設定する外部の場所を選択します。
3. [アクション] でチェックボックス アイコンをクリックします。

FTP での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

FTP 外部ロケーションの作成に失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
リモートのユーザー名またはパスワードが間違っています。	リモート ユーザー名とパスワードを確認します。 ユーザー名とパスワードが正しい場合は、外部の場所の名前の構文も確認します。 - リモート ホスト ユーザーの場合: <hostname>\<username>または<IP_address>\<username> - ドメイン ユーザーの場合: <domainname>\<username> パスを確認します。
リモート ホスト名を解決できません。	- ホスト名が正しく、有効であることを確認します。 - プリンタが顧客のネットワークに接続されていることを確認します。 - Express WebTools でプリンタのネットワーク設定を確認します: プライマリ DNS サフィックス、優先 DNS サーバー、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ - DNS サーバーがホスト名を IPv4 アドレスに解決できることをシステム管理者に確認します - 前述のいずれのチェックを実行しても問題が解決されない場合は、ホスト名の代わりにリモート ホストの IPv4 アドレスを入力します。
パスが存在しないか間違っています。	パスの構文が次の規則に従っていることを確認します: - hostname/share[/folder/...] または、 <IP_address>/share[/folder/...]。
リモート ホストが見つかりません。	- ホスト名または IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。 - リモート ホストが稼動しており、ネットワークに接続されていることを確認します。
リモート ホストにアクセスすることができません。	- リモート ホストで FTP プロトコルが有効になっていることを確認します。 - 顧客ネットワーク セキュリティ ポリシー (ファイアウォール/スイッチ) により FTP ポートが許可されていることを確認します。 - FTP 送信先: FTP サーバーがポート 21 を使用していることを確認します。
外部の場所をテストすることができません。リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。

エラー メッセージ	実行する作業
タイムアウト時間が経過したため、リモート保存先のテストが中止されました。	FTP サーバー ワークステーション上のファイアウォールが「FTP パッシブ モード」接続を妨げていないか確認します。  メモ FTP パッシブモード接続の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Systems Security のマニュアルを参照してください。 FileZilla サーバーを使った例。 FileZilla Server のインストール後、エラー メッセージが表示されることがあります。Windows ファイアウォール経由で FileZilla Server アプリケーションを許可するには、次の手順に従います。 1. Windows ファイアウォールのウィンドウを開きます。 2. Windows Defender ファイアウォールを通してアプリまたは機能を許可する」をクリックします。 3. 別のアプリを許可する...」 ボタンをクリックします。 アプリの追加」というウィンドウが表示されます。  メモ リストから「FileZilla Server Interface」を選択しないでください。 4. 「参照...」 ボタンをクリックします。 5. FileZilla Server (normally C:\Program Files\FileZilla Server\) をインストールしたディレクトリーを見つけます。 6. 「FileZilla server.exe」をダブル クリックまたは選択します。 7. 「Open」 をクリックします。 アプリの追加」ウィンドウが再び表示されます。 8. FileZilla server.exe」を選択します。 9. 「追加」をクリックします。 Windows ファイアウォールの許可されたアプリのウィンドウが再度表示されます。 FileZilla server.exe」が「許可されたアプリと機能」リストに追加されていることを確認します。 「プライベート」、「パブリック」、または「ドメイン」のいずれかにチェックマークが付いていることを確認します (アクセスするネットワークの種類によって異なる)。 10. 「OK」をクリックして、Windows ファイアウォールのウィンドウを閉じます。
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	• 保存先フォルダへのパスが正しく入力されていることを確認します。 • 保存先フォルダがリモート ホストに存在していることを確認します。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	スキャン to ファイルの場合は、リモート共有でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持していることを確認します。
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で、「スキャン to」操作の空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。	システムを再起動し、リトライします。

SMB での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

SMB 外部ロケーションの作成に失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	- リモート ユーザー名とパスワードを確認します。ユーザー名とパスワードが正しい場合は、外部の場所の名前の構文も確認します。 - リモート ホスト ユーザーの場合: <hostname>\<username> または <IP_address>\<username> - ドメイン ユーザーの場合: <domainname>\<username>
リモート ホスト名を解決できません。	- ホスト名が正しく、有効であることを確認します。 - プリンタが顧客のネットワークに接続されていることを確認します。 - WebTools Express でプリンタのネットワーク設定を確認してください: プライマリ DNS サフィックス、優先 DNS サーバー、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ - DNS サーバーがホスト名を IPv4 アドレスに解決できることをシステム管理者に確認します - 前述のいずれのチェックを実行しても問題が解決されない場合は、ホスト名の代わりにリモート ホストの IPv4 アドレスを入力します。
パスが存在しないか間違っています。	パスの構文が次の規則に従っていることを確認します: \\hostname\share[\folder\...]または \\<IP_address>\share[\folder\...]
リモート ホストが見つかりません。	- ホスト名または IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。 - リモート ホストが稼動しており、ネットワークに接続されていることを確認します。
リモート ホストにアクセスすることができません。	- リモート ホストで SMB プロトコルが有効になっていることを確認します。 - ファイアウォールで SMB ポートが許可されていることを確認します。 (TCP ポート 139 と 445、UDP ポート 137 と 138)。 - 保存先ワークステーションで NetBIOS over TCP/IP が有効になっていることを確認します。 (Windows 環境: ネットワークと共有センター - アダプターの設定の変更でネットワーク接続を右クリック - プロパティ - IP V4- プロパティ - 全般 - 詳細設定 - WINS)
リモートサーバーが最大接続数に達したため、リモート接続先をテストできません。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。

エラー メッセージ	実行する作業
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	- 共有が正しく入力され、リモートホストに共有が存在することを確認します。 - 保存先フォルダへのパスが正しく入力されていることを確認してください。 - 宛先フォルダがリモートホストに存在することを確認します。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	スキャン to ファイルの場合は、リモート共有でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持していることを確認します。
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で、「スキャン to」操作用の空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。	- フィールドに入力された構文が正しいことを確認してください。 \ 記号が使われています (/ 記号ではない)。 - システムを再起動し、リトライします。
内部エラーが発生したため、リモート宛先テストを実行できません。	システムを再起動し、リトライします。

WebDAV での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

WebDAV 外部ロケーションの作成に失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
プロキシ認証が必要です。プロキシの設定を確認してください。	- プロキシが必要か否かを確認します。 - プロキシの設定を確認します。
リモート ホスト名を解決できません。	プロキシが必要か否かを確認します。
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	- パスが存在することを確認します。 - WebDAV サーバーでインターネット アクセスが不要な場合は (ローカル ネットワーク)、「プロキシ設定」機能のチェックをオフにしてください。 - WebDAV external location external location の構文を確認してください。これがクラウドの WebDAV の構文に従っていることを確認します。  重要 Box.com」クラウドでは、WebDAV の構文が変更されました。本ガイドの 2014-02 版より、構文は以下の通りです。 https://dav.box.com。この新しい構文を使ってください。これは以前のものを置き換えます https://apps.box.com/dav。
パスが存在しないか間違っています。	パスおよび URL 構文を確認します。パスに不正な文字が存在するか、URL が間違っています。
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	- リモート ユーザー名とパスワードを確認します。 - ユーザー名とパスワードが正しい場合は、パスの構文も確認します。
外部の場所をテストすることができません。リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	- スキャン to ファイルの場合は、リモート ホスト上でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持しているか否かを確認します。 - WebDAV の外部の場所の構文を確認します。  メモ http:// を https:// で置き換えます。 - 認証プロトコルをチェックします。SharePoint は様々な認証プロトコルをサポートしています。WebTools Express はベーシック、ダイジェスト、NTLM (ウィンドウズ統合認証) をサポートしています。フォームベースの認証など、その他の認証方法はサポートされていません。 - SharePoint への接続が構成されている場合は、SharePoint のバージョンを確認します。Office 365 SharePoint Online の場合も、このエラーメッセージが表示されることがあります。Office 365 SharePoint Online には対応していません。

エラー メッセージ	実行する作業
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。	- パス設定で入力した URL の構文を確認します。 - WebDAV サーバーでインターネット アクセスが不要な場合は (ローカル ネットワーク)、「プロキシ設定」のチェックがオフになっていることを確認します。 - システムを再起動し、リトライします。

プリンタ設定の構成

操作パネルの設定を行う

はじめに

操作パネルのタイルで、コピー、スキャン、プリントの各ジョブを実行することができます。Express Webtools では、任意のタイルを表示または非表示にして、そのワークフローを無効化または有効化することができます。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネルの設定] セクションで [編集] をクリックします。
3. 非表示にするタイルの設定を有効にします。
例) [コピーボタンを非表示にする] を [有効] に設定すると、プリンタの操作パネルにあるコピーボタンが非表示になります。
4. 表示するタイルの設定を無効にします。
例) [プリントボタンを非表示にする] を [無効] に設定すると、プリンタの操作パネルにあるプリント ボタンを再表示します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

結果

操作パネルには、非表示になっていないタイルのみが表示されます。



メモ

プリント タイルを非表示の場合でも、USB からの印刷は可能です。USB からの印刷を防ぐには、USB を無効にする必要があります。詳細については、[USB の有効化または無効化（124 ページ）](#) を参照してください。

地域設定の指定

目的

地域設定は、プリンタのインストール時に構成されます。初期構成を変更する場合、[地域設定] で変更することができます。

次の順序で、プリンタの地域設定を定義します。

- ユーザ パネルの [第 1 言語] および [第 2 言語]。

- [測定単位]

- [タイム ゾーン]

[タイム ゾーン]を変更した場合、[現在の日付と時間] を設定する前に、まずシステムを再起動する必要があります。

- [現在の日付と時間]

- [時刻フォーマット]



メモ

[測定単位] を変更するたびに、コントローラによって mm およびインチ単位間で値が再計算されます。この設定を頻繁に変更すると、四捨五入の際の丸め誤差により、計算値が若干変化する可能性があります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [地域設定] セクションの [編集] をクリックするか、編集する設定の値をクリックします ([第 1 言語] など)。
3. 設定を変更します。次のいずれかを選択できます。
 - 米国で一般的に使用される設定
 - 米国以外で一般的に使用される設定
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ユーザー セッション タイムアウトの設定

はじめに

操作パネルは、自動的に「ホーム」画面およびそのデフォルト構成に戻ります。ユーザー セッションに制限時間を設定できます。

使用する場合

プリンタの生産性を低下させない適切なタイムアウト時間を指定します。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [ユーザ アクセス構成] セクションの [編集] をクリックするか、[ユーザー セッション タイムアウト] 設定をクリックします。
3. タイムアウト時間を入力します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

作業時間の設定

はじめに

プリンタの作業時間を WebTools Express で設定できます。

プリンタを自動的にウェイクアップさせるには、最初に [自動オン] を有効にします。[最初の作業日] 設定を使用して作業日を指定します。たとえば、「月曜日」となり、[最後の作業日] 設定では「金曜日」などとなります。また、[起動タイム] および [作業日の終了の時刻] 設定でウェイクアップ時間とシャットダウン時間を設定します。たとえば、「06:30」や「19:00」となります。

この方法では、設定した日付と時刻にプリンタの電源が自動的にオン/オフされます。



メモ

たとえ [自動オン] が無効であったとしても、[作業日の終了の時刻] 設定は有効で、プリンタの電源を設定時間に自動的に切ります (省電力規制のため、プリンタは 24 時間に一度はシャットダウンする必要があります)。



メモ

設定された作業時間以外にプリンタの電源を手動で入れた場合、プリンタは選択された[スリープモード]に切り替わるまでの時間]期間が経過した後、スリープモードに入らず、自動的に電源が切れます。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションで [編集] をクリックします。
3. [自動オン] 設定を [有効] に設定します。
4. [起動タイム]、[作業日の終了の時刻]、[最初の作業日] および [最後の作業日] 設定を任意に設定します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

結果

これで、プリンタは自動的にウェイクアップするようになり、設定した日の設定した時間帯の間はアクティブになります。

省電力モードを設定する

はじめに

colorWAVE T60 には、2 種類の省電力モードがあり、プリンタが一定時間アイドル状態になると省電力モードに入るよう設定できます。タイマーの設定により、 unnecessary 電力消費を防ぎます。タイマーの値を調整できます。

使用する場合

スリープモード タイマー (デフォルト値は 45 分)。

プリンタの電源がオフになり、プリンタの消費電力が最小になります。コントローラの電源はオンのままです。スリープモードからウェイクアップするには、プリンタをウォームアップする必要があります。

省電力モード タイマー (デフォルト値は 1 分)。

プリンタおよびコントローラの電源はオンのままです。プリンタの消費電力は通常のオペレーティングモードより小さくなりますが、スリープモードより大きくなります。省電力モードがスリープモードよりも有利な点は、通常、数秒でプリンタをウェイクアップできることです。



メモ

設定された作業時間以外にプリンタの電源を手動で入れた場合、プリンタは選択された[スリープモードに切り替わるまでの時間]期間が経過した後、スリープモードに入らず、自動的に電源が切れます。



メモ

スリープモード タイマーの設定値は、省電力モードの設定値より大きくしなくてはなりません。スリープモードの設定値が省電力モードよりも小さい場合、プリンタは省電力モードをスキップしてスリープモードに入ります。消費電力は小さくなりますが、プリンタのウェイクアップに必要な時間が長くなります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[スリープモードに切り替わるまでの時間] 設定または [後で省電力モードに移行します。] 設定をクリックします。
3. 新しい値を入力します。



メモ

設定の値をクリックして「編集」ウィンドウにアクセスした場合、「編集」ウィンドウには選択可能な最小値および最大値が表示されます。

4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



メモ

プリンタが省電力モードの場合、いくつかの方法でシステムを有効にすることができます。

- ユーザパネルでウェイクアップボタンを押す
- プリントジョブを送信する
- スキャナに原稿を挿入する

用紙要求タイムアウトの設定

はじめに

プリンタで使用できない用紙が要求された場合、ユーザ パネルに用紙要求が含まれたメッセージが表示されます。

- [用紙要求タイムアウト]設定が無効になっている場合、問題が解消されるまで、ユーザ パネルに用紙要求が表示されたままになります。
- [用紙要求タイムアウト]設定が有効になっている場合 (デフォルト)、用紙要求タイムアウト値を秒単位で入力できます。用紙要求タイムアウト期間中に用紙要求が解消されなかった場合、[用紙要求タイムアウト後のアクション]設定に基づいて、プリンタによってジョブ キューからジョブが削除されるか、ジョブが注意状態になります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [編集] セクションの [プリンタのプロパティ] をクリックするか、[用紙要求タイムアウト] 設定をクリックします。
3. 設定を有効にする場合、時間も入力しなくてはなりません。設定を無効にする場合、時間は調整できません。
4. [用紙要求タイムアウト後のアクション] 設定をクリックします。
5. 「[ジョブを注意状態にします]」または「[ジョブを削除します]」を選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

用紙ロールのコア サイズの構成

はじめに

colorWAVE T60 のメディアロールの標準コアサイズは 3 インチです。

2 インチ コア のロール紙も使用する場合、[コア直径が 2 インチのロール] 設定を有効にします。

[コア直径が 2 インチのロール] を有効にすると、ロール紙の取り付け時に、プリンタによって使用するコア サイズの確認を求められます。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[コア直径が 2 インチのロール] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ペン設定の構成

はじめに

ペン設定は、図面の作成に使用するアプリケーションで定義できます。アプリケーションでペン設定が定義されていない場合、WebTools Express でデフォルトのペン設定を構成できます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. ペン番号のリストを確認していきます。
3. 変更するペン番号の値をクリックします。
ペン設定のウィンドウが開きます。このペンのカラー、幅およびパターンを設定できます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定

はじめに

巻き取りユニットを使用する場合、プリンタが「ロール ツー ロール」モードに設定されている必要があります。「ロール ツー ロール」モードを有効にすると、ページの間でカットは行われません。ユーザ パネルで「ロール ツー ロール」モードを構成することもできます。



メモ

- 「ロール ツー ロール」モードが有効の場合、プリントの排紙先として [上部排紙トレイ] が設定されている場合でも、プリント ジョブは [背面出力] に排紙されます。
- プリンタの調整を行う場合、「ロール ツー ロール」モードを無効にする必要があります。
- プリンターが「ロール ツー ロール」モードである場合、トナー カートリッジを交換する前に、用紙をカットする必要があります。

手順

1. [プリファレンス]- [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [ジョブ管理] セクションの [編集] をクリックするか、[ロール ツー ロール モード] 設定をクリックします。
3. 「[有効]」または「[無効]」を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

仕上げ設定の構成

Finishing Assistant の設定

はじめに

この設定は、折り機がインストールされている場合にのみ使用できます。

[フィニッシング アシスタント] によって図面のタイトルが自動的に検出され (タイトルがある場合)、タイトルが折りパッケージの表紙にプリントされるように、図面が回転および位置合わせされます。タイトルが検出されなかった場合、プリントは折りなしで排紙されます。

有効にすると、[フィニッシング アシスタント] の動作が、折り出力用のデフォルトの回転およびアライメントよりも優先されます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[フィニッシング アシスタント] 設定をクリックします。
3. プリンタによって自動的にタイトルが検出され、図面が適切に折られるようにするには、[有効] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

カスタム折りテンプレートの折り設定

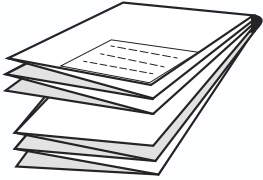
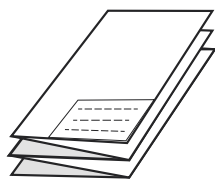
はじめに

折りオプションは、[プリファレンス] - [折り] タブの折りテンプレートで設定できます。テンプレートの作成方法については、「[新規テンプレートの作成 \(117 ページ\)](#)」を参照してください。

折りオプションを設定する場合、折り機が正しく機能するように設定したことを確認してください。以下の設定の概要の説明を使います。

「[テンプレート ソース]」 - 「[カスタム テンプレート]」を選択すると、以下の設定が使用可能になります。

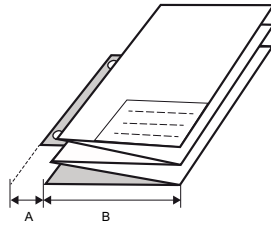
折り

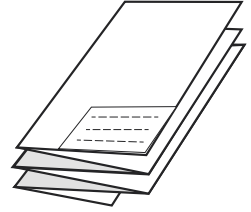
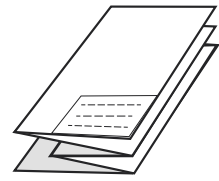
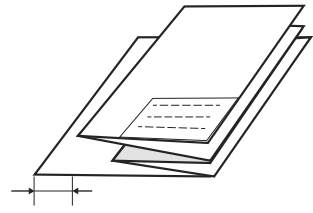
[折りパッケージ]	説明	例
[ファン + クロス折り]	ファン折り (Z 折り) + クロス折り。	
[ファン折り専用]	ファン折り (Z 折り) のみ。	



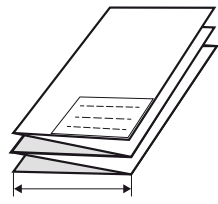
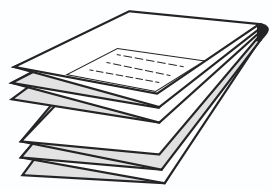
メモ

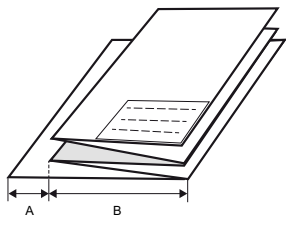
[補強] 設定は、選択したフィニッシャが補強ユニットを含んでいる場合にのみ使用可能です。

[補強]	説明	例
[有効]	パンチ前の余白を折りパッケージの背面にのり付けします。  メモ - 補強テープは 12 mm (A) のとじしろサイズを使用します。 - パッケージ幅のサイズ (B) では、[とじしろサイズ] (A) を除きます。このため、裏パネルはパッケージ幅のサイズにとじしろのサイズを加えたもの (A + B) になります。 [折り方法] が [同サイズの裏表紙あり] の場合にのみ可能です。	

[補強]	説明	例
[無効]	のり付き余白なし	
[折り方法]	説明	例
[コンパクト折り]	折りパッケージですが、最後の折り (背面) が短くなります。	
[同サイズの裏表紙あり] (DIN-B)。	折りパッケージですが、最後の折り (背面) が全幅よりも長くなります。前の折りが短くなる場合があります。	
[とじしろ付き] (DIN-A)。	折りパッケージですが、最後の折り (背面) の幅が長くなります。前の折りが短くなる場合があります。	

パッケージサイズ

[パッケージサイズ]	説明	例
[幅]	Z 折りの折り幅を定義します。  メモ パッケージ幅のサイズでは、[とじしろサイズ]を除くことに注意してください。このため、裏パネルはパッケージ幅のサイズにとじしろのサイズを加えたものになります。	
[長さ]	クロス折りの折り幅を定義します。折り機の [ファン + クロス折り] モードにのみ該当します。	

[パッケージサイズ]	説明	例
[とじしろサイズ]	とじしろがパッケージからはみ出す量を定義します。折り装置によって、値を選択することができます。  メモ - パッケージ幅のサイズ (B) では、[とじしろサイズ] (A) を除きます。このため、裏パネルはパッケージ幅のサイズにとじしろのサイズを加えたもの (A + B) になります。 [折り方法] での選択が [とじしろ付き] に設定されている場合のみ表示されます。	

排紙



メモ

使用可能なオプションは選択した[折りパッケージ]の値によって異なることに注意してください。

[折り排紙]	説明
[ベルト]	出力がベルト ユニットに排紙されるように定義します ([ファン + クロス折り]の場合のみで、ベルト ユニットが取り付けられている場合)。
[スタッカ]	出力の排紙先がスタッカになるように定義します (スタッカが取り付けられている場合のみ)。
[ファン折り出力]	出力の排紙先がファン折り部になるように定義します ([ファン折り専用]の場合のみ)。

組み込み折りテンプレートの折り設定

はじめに

折りオプションは、[プリファレンス] - [折り] タブの折りテンプレートで設定できます。テンプレートの作成方法については、[新規テンプレートの作成（117 ページ）](#) を参照してください。

折りオプションを設定する場合、折り機が正しく機能するように設定したことを確認してください。

内蔵テンプレートが排紙先を決定します。



メモ

ユーザーがテンプレートを認識できるテンプレート名を入力することをお勧めします。

「[テンプレート ソース]」 - 「[折り曲げ装置に組み込まれているテンプレート。]」を選択すると、以下の設定が使用可能になります。

	説明
[組み込みテンプレート ID]	折り機に組み込まれているプログラムの ID 番号。 折り機では、使用可能な折りプログラムの完全なリストがあります。
[折りたたみ後のパッケージの上部]	縦長シートが折り機に入れられている場合、タイトルの位置を定義します (デフォルト折りテンプレート（150 ページ） を参照)。
[横長で印刷する場合の折りパッケージの一番上]	横長シートが折り機に入れられている場合、タイトルの位置を定義します (デフォルト折りテンプレート（150 ページ） を参照)。

デフォルト折りテンプレート

はじめに

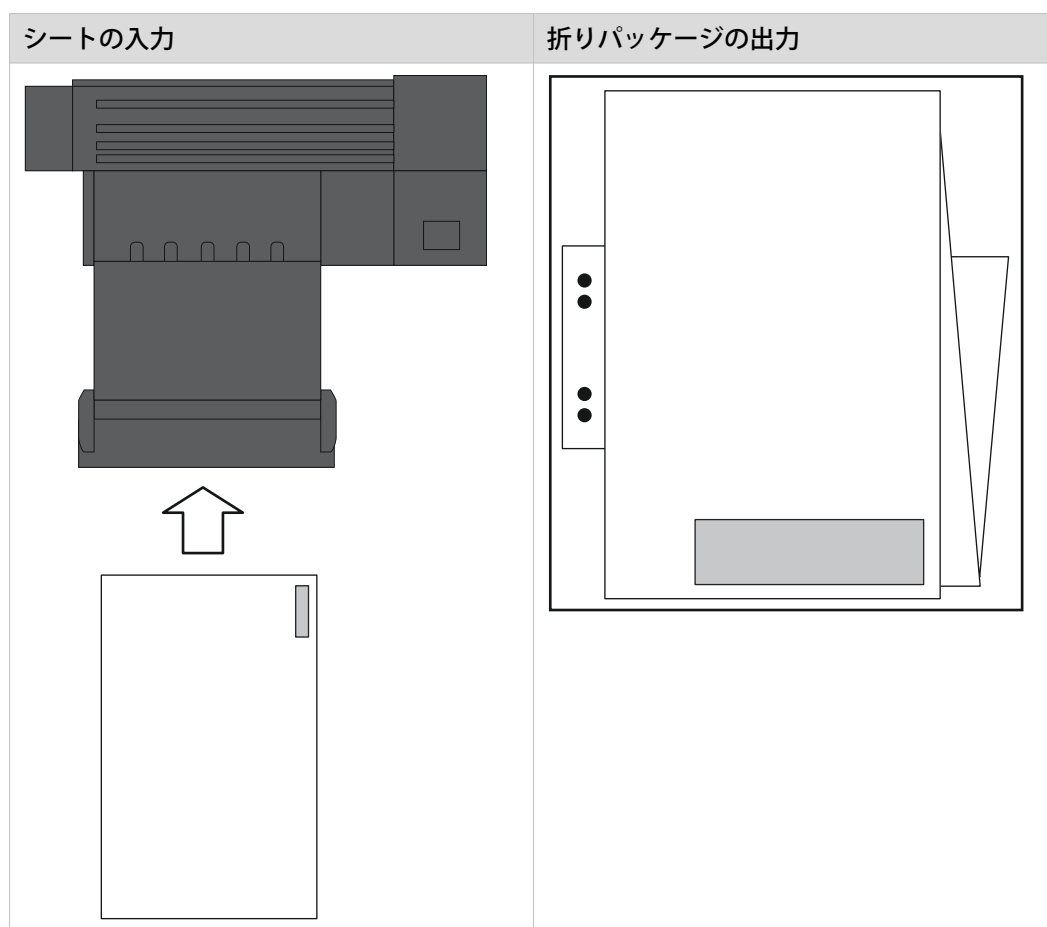
折り装置がフィニッシャとして構成されている場合 ([Folder Professional 6011]、[Folder Professional 6013 (補強ユニット付き)]、または [Folder Express 3011]) 工場でインストールされた利用可能な折りテンプレートがあります。



重要

この[折りたたみ後のパッケージの上部]設定、または[横長で印刷する場合の折りパッケージの一番上]設定は、縦長シートが折り機に入れている場合のタイトルの位置を定義します。これにより、折りの後、必ずタイトルが折りパッケージの一番上になります。

たとえば、[折りたたみ後のパッケージの上部] が [右上] である場合、図に示すようにシートを折り機に入れる必要があります。



WebTools Express で [プリファレンス] - [折り] タブを選択すると、使用可能な折りテンプレートの概要が表示されます。

プリント品質およびプリント生産性の調整

プリント品質の設定

はじめに

WebTools Express を使用してプリント品質を設定できます。プリント品質を選ぶと、ジョブの速度およびトナー カバレッジに影響します。

[プリント品質]	パスの回数	解像度 dpi
[高速]	1	300x300
[エコノミー - 高速]	1	300x300 (白黒用) 450x300 (カラー用)
[プロダクション]	2	600x600
[クオリティ]	4	600x600

[高速] から [クオリティ] までのプリント品質の範囲において、品質が高くなるほど、速度が低下します。

プリント ジョブのデフォルト設定のプリント品質を設定する

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [イメージ] セクションの [編集] をクリックするか、[プリント品質] 設定をクリックします。
3. [プリント アシスタント] (OPA) を選択すると、ファイルの内容に基づき、最適なプリント品質が自動的に選択されます。または、前述の表のリストからプリント品質を自分で選ぶこともできます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

コピー ジョブのデフォルト設定のプリント品質を設定する

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] セクションの [編集] をクリックするか、[プリント品質] 設定をクリックします。
3. [自動] を選択すると、ファイルの内容に基づき、最適なプリント品質 ([エコノミー - 高速]、[プロダクション]、[クオリティ]) が自動的に選択されます。または、前述の表のリストからプリント品質を自分で選ぶこともできます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ロングプロットモードの設定

はじめに

ロングプロットモードが有効な場合、システムは TIFF、HP-GL、HP-GL2、および HP-RTL のプロットを良い品質で最大 175m プリントできます。このモードでは、拡大/縮小および回転などの変換は保証されません。他の形式 (PS や PDF など) の場合、システムは「通常」モードでプリントし、最大プロット長は 22 m になります。

長いプリントをプリンタがプリントできるようにするため、プリント品質は低下します。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [一般 (非 PostScript/PDF)] セクションの [編集] をクリックするか、[長尺プロット モード] 設定をクリックします。
3. 有効化または無効化します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

自動ロール切り替えの設定

はじめに

WebTools Express で、自動ロール切り替え設定を選択することができます。

- [ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき]

次のいずれかの操作を選択できます。

- [類似するロールに切り替え (同じタイプ・サイズのもの)]

選択されたロールの用紙が終了した場合、プリンタは自動的に (サイズと用紙タイプが) 同一のロールに印刷を続けます。同一のロールが利用できない場合はジョブは停止し、プリンタから新しい用紙を装着する要求が出されます。

- [空になったロールを交換するときは常に確認]

ジョブは停止し、プリンタから新しい用紙を装着する要求が出されます。

この設定は、用紙サイズが選択されただけのジョブには、影響を及ぼしません。これらのジョブには、新しいロールを選択することが可能かどうかを、用紙選択ポリシーが決定します。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき] 設定をクリックします。
3. 目的の操作を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

スプールしきい値の設定

はじめに

ジョブ メモリが一杯の場合、プリンタは新しいジョブを受け付けることができないため、メモリを部分的に解放する必要があります。[スプールしきい値] 設定を指定して、ジョブのスプール容量を定義します。

次のいずれかの値を選択できます。

- [低]
数多くの小規模なプリント ジョブがあり、より大きな容量を許可する場合、この値を選択します。
- [通常]
これは、デフォルト設定です。小規模なジョブおよび大規模なプリント ジョブの両方がある場合、この値を選択します。
- [高]
数多くの大規模なプリント ジョブがあり、ジョブ メモリが一杯になったことが原因でファイル転送が中止される危険性を低減するには、この値を選択します。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[スプールしきい値] 設定をクリックします。
3. [低]、[通常] または [高] を選択します。
プリント生産性が重要な要因である場合、[低] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

回転モードの設定

はじめに

画像を回転させたい場合は、回転設定を使います。この設定により、あらかじめ定義された回転値に従って画像を回転させることも、プリンターが自動的に回転するようにすることもできます。

次のいずれかの値を選択します。

- [回転なし]
- [90°]
- [180°]
- [270°]
- [縦送り]
- [横送り]
- [180° 回転して縦送り]
- [180° 回転して横送り]
- [自動用紙節約]
- [自動用紙節約に 180 度の回転を追加]

手順

1. [プリファレンス]-[プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[回転] 設定をクリックします。
3. 次のいずれかの値を選択します。
最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] または [自動用紙節約に 180 度の回転を追加] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

アライメント モードを設定する

はじめに

シート上でイメージを移動させる場合、アラインメント モードを変更できます。アラインメント モードを使用して、プリント キャリッジの移動が必要な距離を削減することで、プリント生産性を最適化することもできます。たとえば、イメージをシート右上の隅に合わせることができます。

次のアライメント設定を選択できます。

アライメント モード		
[左上]	[上]	[右上]
[左]	[中央]	[右]
[左下]	[下]	[右下]

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[アラインメント] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。
プリント生産性が最も重要な要因である場合、[右上] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

PDF レンダリング エンジンの設定

はじめに

例えば Adobe Acrobat などとの最良な品質と互換性のために、[APPE: Adobe PDF Print Engine] を選択します。POWERSync+ベースの plotWAVE 製品との互換性のため、[Adobe PostScript interpreter] を選択してください。

[PDF レンダリングエンジン] の両方の選択は、ワイプアウトの修正をサポートします。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [編集] セクションの [PDF 汎用] をクリックするか、[PDF レンダリングエンジン] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

PDF の透明の平板化の設定

はじめに

WebTools Express では、プリント前に PDF ドキュメント内の透明情報を平板化するための設定を選択できます。この設定は、透明情報が含まれる PDF ドキュメントにのみ使用されます。

以下の値のいずれかを選択できます。

- [クオリティ]
プリント品質が最も重要な場合、この値を選択します。処理速度が低下し、必要なメモリ容量が増えます。
- [速度]
プリント品質よりも PDF 処理のパフォーマンスが重要な場合、この値を選択します。大規模で複雑な PDF ファイルが高速に処理され、少ないメモリが使用されます。



メモ

[PDF レンダリングエンジン] 設定が [Adobe PostScript interpreter] に指定されている場合にのみ、透明度の平板化を変更できます。この設定は、[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] - [PDF 汎用] にあります。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [PDF 汎用] セクションの [編集] をクリックするか、[透明の均一化] 設定をクリックします。
3. [クオリティ] または [速度] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

Print Assistant の動作の設定

はじめに

[プリント品質] が [プリント アシスタント] に設定されている場合にのみ、この設定が使用されます。

[プリント アシスタント] によって、プリントの平均トナー カバレッジに基づいて、使用するプリント設定が決定されます。

Print Assistant はイメージを分析し、各ドキュメントに使用する最適なプリント設定を自動的に判断できます。[プリント アシスタントの動作] 設定により、Print Assistant の分析結果を固有のニーズに合わせて調整できます。モード間の切り替えしきい値は、[プリント アシスタントの動作]¹ によって変更できます。この方法で、キー オペレータは [プリント アシスタント] の設定を微調整し、個別のニーズに合わせてプリント速度および品質を最適化することができます。colorWAVE T60 のデフォルト モードは [プリント アシスタント] になります。

¹ [プリント アシスタントの動作] の数字は、0 ～ 100 までのスケール上の位置を表します。数字が大きいほどプリント品質が優先され、数字が小さいほどプリント速度が優先されます。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] をクリックします。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[プリント アシスタントの動作] 設定をクリックします。
3. プリント生産性が最も重要な場合、スライダを「0」に設定します。
プリント品質が最も重要な場合、スライダを「100」に設定します。
4. [OK] をクリックして入力を確認するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

プリント生産性の最適化

はじめに

用紙の取り付け時に、適切な用紙の種類とサイズをプリンタにインストールおよび定義したことを確認してください。必要に応じて、さまざまな方法でプリント生産性を最適化することができます。

異なる用紙サイズでの生産性が最も重視される場合

1	異なるメディアサイズと同じメディアタイプのメディアロールを最大 4 本（プリンタ構成によっては 2 本）プリンタにセットします。
2	[横長] 方向を使用して、システムで定義された用紙より 1 サイズ大きい用紙サイズでジョブをプリントします。例えば、D は E に横向きでプリントし、C は D に横向きでプリントします。
3	ユーザ パネルまたは WebTools Express で [横送り] 設定または [180° 回転して横送り] を使って、方向を自動的に回転します。

生産性のみが重視される場合

1	用紙サイズと用紙の種類が同じである複数のロール紙をプリンタに装着して定義します。  メモ ロール 1 が空の場合、プリンタは自動的にロール 2 に切り替わります。 ジョブで特定のロール数が設定された場合、動作は [ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき] の設定により異なります。
---	---

カラー 管理について

カラー管理とは？

定義

カラー マネジメント設定では、プリント出力上で、入力されたカラーを可能な限り正確に再現できるようにします。

カラー マネジメント設定を使用して、プリントするファイルのカラー情報 (入力色空間: RGB、CMYK、またはグレイの色空間) を colorWAVE T60 (CMYK 色空間) の出力色空間に変換する方法を定義します。この変換では、イメージで最も重要なカラー品質を維持するため、近似が必要となる場合があります。

カラーを再現するには、次の項目を定義することが重要です。

- 入力プロファイル/標準化
- カラー フィール/カラー レンダリング
- 出力プロファイル

入力プロファイル/標準化とは？

定義

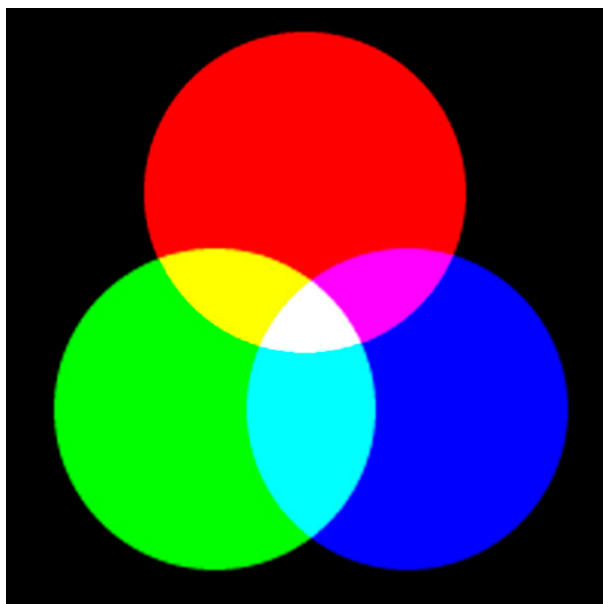
入力プロファイル/標準化では、適切な方法でプリントするファイルのカラー情報の解釈に使用する色空間を定義します。

主要な入力プロファイル (色空間) は次のとおりです。

- **RGB**

RGB 色空間は RGB カラー モデルに基づいています。RGB (赤 (R)、緑 (G)、青 (B)) は、人間の視覚と同様のしくみであるため、コンピュータ グラフィックスに適したカラー モデルです。

RGB 色空間は、**加法系**色空間であり、光の合成により混色が実現されます。赤、緑、青の 3 原色をすべて混色すると、白色の光を生成できます。白を生成するには 3 原色すべてが必要となり、3 原色のいずれも存在しない場合は黒が生成されます。加法混色では、RGB カラーが原色、シアン、マゼンタおよびイエロー (CMY) が等和色となります。



- **CMYK (プリントで使用されるカラー)**

CMYK 色空間は CMYK カラー モデルに基づいています。CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック) 色空間は、**減法系**色空間であり、スペクトルから特定の色の光を取り除くことで混色が実現されます。CMY トナーを使用して RGB カラーが生成されます。黒を生成するには 3 色のインクがすべて必要となり、3 色のいずれも存在しない場合は白が生成されます。減法混色では、CMY カラーが原色、RGB が等和色となります。



・ グレイ

グレイスケール (色) 空間では、明度に関する情報のみが提供されます。明度の範囲は 0 (黒) から 100 (白) になります。

「[カラー フィールド]」設定「[グラフィックス カラー]」を使用する場合、入力プロファイルを定義できます。

次の表に、使用可能な入力プロファイル/標準化設定の概要を示します。

入力プロファイル/標準化	説明
RGB - [sRGB]	標準コンピュータ モニタの色空間を指定するには、この設定を使用します。sRGB は、最もよく使用される RGB 色空間であり、特に消費者向けのデジタル カメラで使用されます。ほとんどの消費者向けアプリケーションで sRGB を使用できます。sRGB は、標準コンピュータ モニタで簡単にプレビューできるよう設計されています。
RGB - [Adobe RGB]	この設定では、Adobe 社によって 1998 年に開発された RGB 色空間を指定します。Adobe RGB では、sRGB よりも色域が広がっています。Adobe RGB は、中級のデジタルカメラでよく使用されており、色域の広さから、多くのプロフェッショナル グラフィック アーティストに好まれています。
CMYK - [Euroscale coated]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [Euroscale uncoated]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [US Web coated (SWOP)]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、米国でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [US Web uncoated]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、米国でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [ISO Coated v2 300% (ECI)]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で一般的なオフセット印刷標準を使用します。Fogra39 ベースで、インク制限は 300% です。

入力プロファイル/標準化	説明
CMYK - [ISO Coated v2 (ECI)]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で用いられているオフセット印刷標準を使用します。Fogra39ベースで、インク制限は 330% です。
CMYK - [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で用いられているオフセット印刷標準を使用します。Fogra47ベースです。
CMYK - [Uncoated FOGRA29]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で用いられているオフセット印刷標準を使用します。Fogra29ベースです。
CMYK - [GRACoL2006 Coated1v2]	この設定では、コート紙グレード 1 への色分離および校正のプリント用に、米国で一般的なオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [SWOP2006 Coated3v2]	この設定では、コート紙グレード 3 への色分離および校正のプリント用に、米国で用いられているオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [SWOP2006 Coated5v2]	この設定では、コート紙グレード 5 への色分離および校正のプリント用に、米国で用いられているオフセット印刷標準を使用します。
グレイ - [なし (プロファイルが使用されません)]	この設定を使用すると、グレイスケール情報が直接黒色トナーの使用量にのみ変換されます。
グレイ - [sGray]	この設定を使用すると、sGray プロファイル (ガンマ値 2.2 の明度スケール sRGB) に基づくグレイスケール情報が CMYK のトナー使用量に変換されます。
グレイ - [Adobe Gray 20%]	この設定を使用すると、Adobe Gray 20% プロファイル (Adobe 固有のドット ゲイン 20%) に基づくグレイスケール情報が CMYK のトナー使用量に変換されます。

カラー フィールとは？

定義

[カラー フィール] 設定を使用すると、プリントされる出力の「**ルックアンドフィール**」を微調整することができます。

[カラー フィール] 設定では、色空間の変換方法を定義します。

[カラー フィール]	説明
[CAD カラー]	この設定を使用すると、明るく飽和したカラーでプリントされます。 ベクタ図面 (HP-GL など) に適しています。 すべての原色および等和色は、それぞれ単一のインクでプリントされるため、クリーンになります。このことは、イエロー インクのみでイエローをプリントした場合にはっきり確認できます。 カバレッジが大きくなると、インクが (ほぼ) 同量増加します。 ブルーは紫がかかることなく、クリーンなブルーになります。 このモードは、AutoCAD や ArcView などのアプリケーションで作成された CAD 図面に適しています。 このモードで写真をプリントすると、グレイがかった濁った色になります。
[グラフィックス カラー]	この設定を使用すると、写真画質のカラーでプリントされます。 展示用の写真またはグラフィック アートに適しています。 [グラフィックス カラー] を選択した場合、詳細カラー マネジメント設定も調整することができます。 • [グラフィックス カラー:RGB 入力カラー プロファイル] • [グラフィックス カラー:CMYK 入力カラー プロファイル] (TIFF および JPEG ファイルの場合、または PostScript および PDF ファイルの場合のみ) • [グラフィックス カラー:グレイスケール入力カラー プロファイル] (PostScript および PDF ファイルの場合のみ) • [グラフィックス カラー: カラー レンダリング]
[なし、アプリケーションによる管理]	プリント ファイルを生成したアプリケーションによってカラー マネジメントが完全に実行された場合、この設定を使用します。 アプリケーションによってカラー マネジメントが適切に処理されなかった場合、次のような問題が発生する可能性があります。 • - ブルーが紫がかかる (ほとんどのインクジェット プリンタと同様) • - ラスタ ファイル情報 (写真など) が暗く濁る

カラー レンダリングとは？

カラー レンダリングの定義

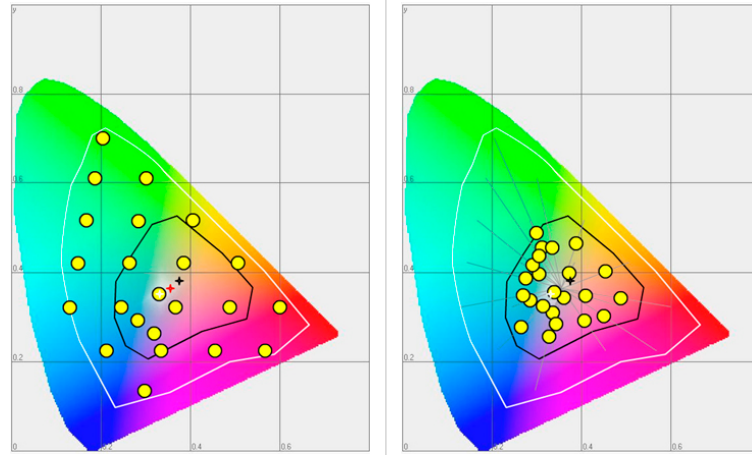
通常、プリント ファイルの色空間は、colorWAVE T60 の色空間よりも広がります。つまり、入力色空間は、出力色空間よりも広がります。したがって、定義された入力カラーの一部は、colorWAVE T60 の色空間からはみ出てしまいます。このような「色域外のカラー」は、色域ミスマッチと呼ばれます。

色域ミスマッチが発生した場合、「カラー レンダリング」設定によって、イメージのどの品質が優先されるかが決定されます。「カラー レンダリング」設定では、他のカラーのプロパティを犠牲にして、特定のカラーのプロパティが維持されます。

カラー レンダリング: 知覚的 (フォト)

この設定では、写真、アートワーク、GIS またはイメージで最高の結果が得られるよう、出力を最適化します。

「知覚的」レンダリングでは、色域内のカラーの精度が低下する場合であっても、色域外のカラーの間の関係にある程度維持しようと試みます。



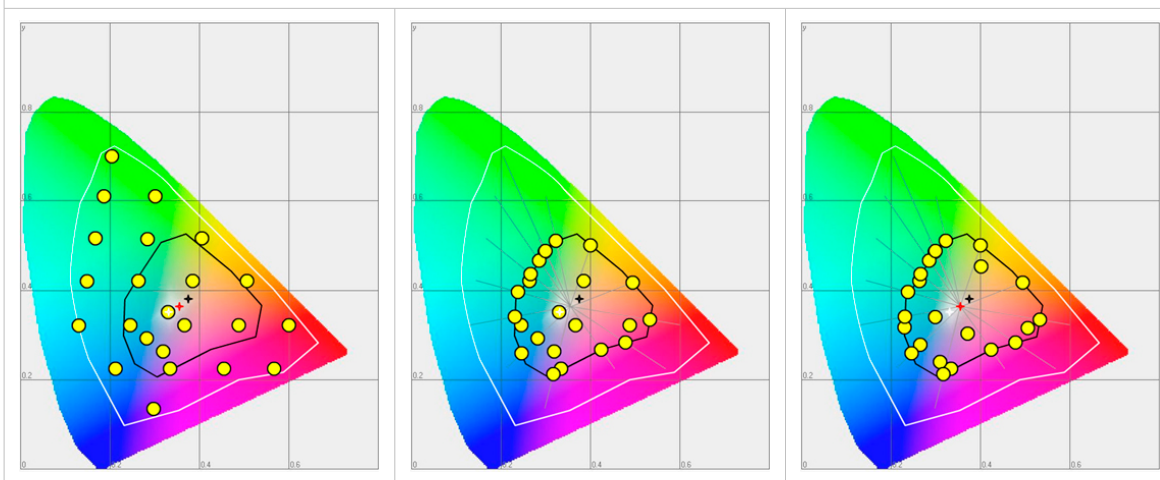
カラー レンダリング: 彩度 (ビジネス グラフィックス)

この設定では、明るく飽和した色の出力を最適化します。

「彩度」カラー レンダリングでは、飽和したカラーが維持されます。コンピュータ グラフィックスのカラー純度を維持したい場合に推奨されます。元の RGB デバイスにおいて純粋な飽和したカラーは、やや極端なカラーが生成される場合であっても、出力色空間でも飽和したカラーとなります。

「彩度」カラー レンダリングでは、カラーの写実性を維持しようとは試みないため、写真には適しません。色相および明度の変化と引き替えにカラー彩度が維持されますが、このようなトレードオフは、通常の写真印刷では許容されません。

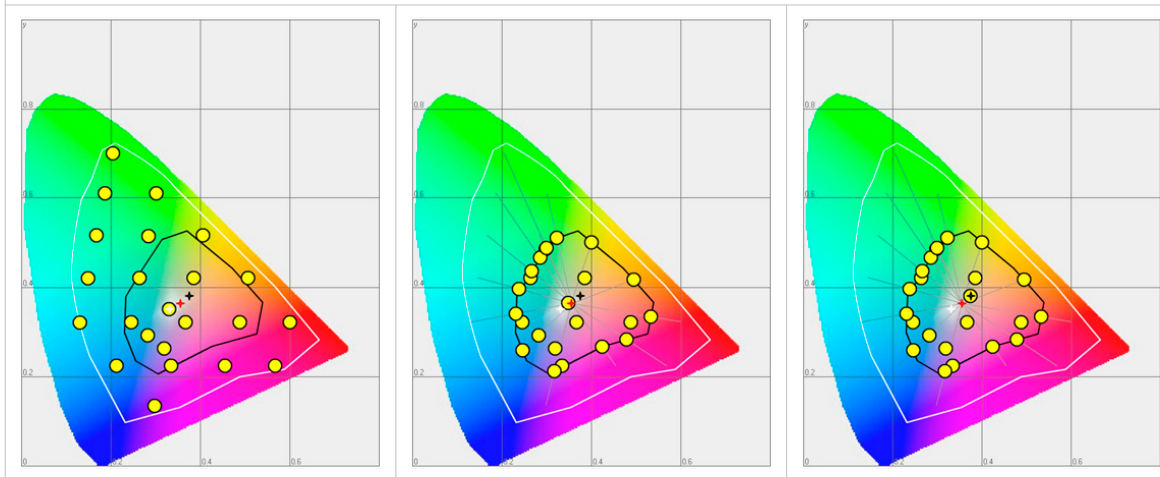
コンピュータ グラフィックスをプリンタでプリントする必要がある場合、ディザリングを回避するために「彩度」カラー レンダリングを使用することもできます。プリンタにすべてのカラーに一致するインクが搭載されているわけではないため、ディザリングをすべて回避することはできません。「彩度」カラー レンダリングでは、純粋なカラーに非常に近いカラーについて、ディザリングを最小化します。



カラー レンダリング: 相対カラーメトリック

相対カラーメトリックでは、色域外のカラーがクリッピングされる場合であっても、色域内のカラーの関係がほぼ正確に維持されます。

「相対カラーメトリック」カラー レンダリング法では、古い白点 (色空間で最も純粋で明るい白の場所) と新しい白点を調整し、カラーの相対的な位置を維持するためにカラーが置換されます。「相対カラーメトリック」カラー レンダリングは、ロゴ、スポット カラーまたは PowerPoint プレゼンテーションに推奨されます。ただし、写真およびイメージではコントラストの低下による問題が生じる場合があります。



カラー レンダリング: 絶対カラーメトリック

絶対カラーメトリックは相対カラーメトリックと似ていますが、白点の処理に使用する方法が異なります。

色域内のカラーは維持され、色域外のカラーはクリッピングされる点では絶対カラーメトリックも相対カラーメトリックも同様ですが、絶対カラーメトリックでは白点も維持されます。

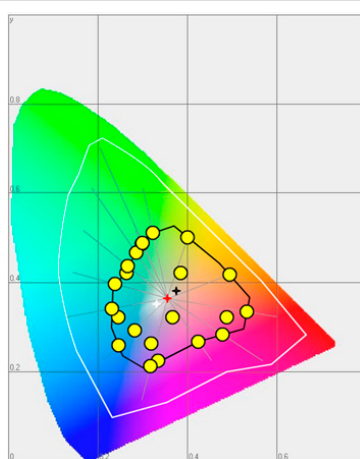
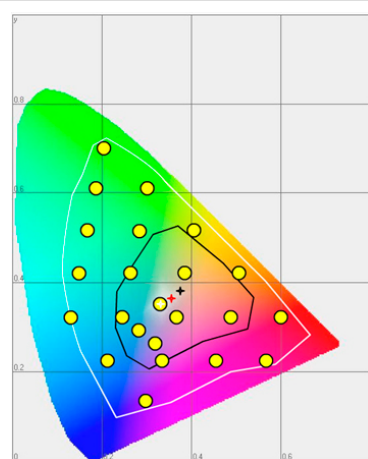
絶対カラーメトリックは、良好なカラー マッチに加えて用紙の白のエミュレーションも必要とされる校正用途に推奨されます。プリンタが入力プロファイルの白点のエミュレーションを試みるため、白のエリアが黄色みを帯びる場合があります。

この設定では、ソース ホワイトのレンダリングを含め、RGB カラーを CMYK カラーにレンダリングする際の精度が最高になります。



メモ

モニタ背景が若干青みを帯びている場合、プリント出力では最も明るいトーンが青みを帯びた白になる場合があります。PDF/TIFF 原稿または HP-GL タイプの文書で、白のトーンが黄色みを帯びる可能性があります。



出力プロファイルとは？

出力プロファイルは、出力デバイス (colorWAVE T60 プリンタ キャリブレーション モジュール経由) および選択した用紙の種類 (Media Profile (OMP) ファイル経由) に基づいて、変換された CMYK 色空間を調整するために使用されます。

出力プロファイルは自動的に適用されますが、colorWAVE T60 に適切な用紙を装着し、コントローラで正しい OMP ファイルが使用できるようにすることが重要です。

([用紙プロファイルを設定する \(186 ページ\)](#) を参照)

([用紙プロファイルをインストールする \(187 ページ\)](#) を参照)

WebTools Express のカラーマネジメント設定

プリントするファイルのタイプに応じて、colorWAVE T60 では、異なるカラー情報変換が提供されます。カラー情報変換について最適な結果が得られるカラー マネジメント設定を選択できます。

[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開き、ファイル タイプ ([HP-GL/2 カラー マネジメント設定]、[PostScript カラー マネジメント設定]、[PDF カラー マネジメント設定] または [TIFF および JPEG カラー マネジメント設定]) ごとにデフォルトのカラー マネジメント設定を定義します。

Driver Select for Microsoft® Windows® と PRISMAproduce Tech のジョブ送信アプリケーションは、同じカラーマネジメント設定を提供しますが、現在はファイルタイプに依存しません。



メモ

WebTools Express で定義されたカラー マネジメント設定を使用したい、または使用する必要がある場合、プリント ジョブのファイル タイプを知っておくことが重要です。Driver Select for Microsoft® Windows® または PRISMAproduce Tech ジョブ送信アプリケーションでカラーマネジメント設定を定義すると、カラーマネジメント設定は自動的に正しいファイルタイプに割り当てられます (WebTools Express で定義されたカラーマネジメント設定は上書きされます)。

カラー マネジメント設定およびジョブの送信

ほとんどの場合、プリンタにプリント ジョブを送信する方法によって、文書のファイル タイプが決定されます。プリンタ ドライバを使用する場合、オリジナルのファイル タイプがドライバにより標準ファイル タイプに変更されます。

ジョブチケットがない場合、またはジョブチケットにカラーマネジメント設定が含まれていない場合、プリンタはドキュメントのファイルタイプをチェックし、ファイルタイプに基づいて、プリンタは WebTools Express のデフォルトカラーマネジメント設定を適用します。

FTP、LPR、PRISMAproduce Tech または Publisher Express を使用してプリンタにジョブを送信する場合、ファイル タイプは変更されません。ファイルは、作成または編集に使用したアプリケーションで保存された通りにプリンタに送信されます。ドキュメントにカラープロファイルが埋め込まれていない場合、プリンタはドキュメントのファイルタイプをチェックし、ファイルタイプに基づいて WebTools Express のデフォルトカラーマネジメント設定を適用します。

埋め込みカラープロファイルを印刷ジョブに使用する場合 (たとえば、Adobe® Illustrator で作成された埋め込みプロファイル)、2 つのオプションから選択できます。Microsoft® Windows®用のドライバセレクトを使用すると、アプリケーションによって管理されるカラー設定に従うように指示できます。FTP、LPR、PRISMAproduce Tech (「ドキュメントのカラーフール」を選択)、または Publisher Express 経由でジョブを送信することもできます。コントローラが埋め込まれたカラープロファイルを認識できれば、それが適用されます。埋め込まれたカラープロファイルを認識できない場合、コントローラは WebTools Express で管理されるデフォルトのカラー設定を適用します。

以下の表は、ジョブ送信方法、ファイルタイプ、およびカラーマネジメント設定の概要を示しています。

ジョブ送信方法	ファイルの種類	カラーマネジメント設定
Driver Select for Microsoft® Windows®	ドライバがすべてのファイルを HP-GL/2 に変換	でカラー設定を定義できます： - プリンタ ドライバ - WebTools Express、ドライバ設定でプリンタのデフォルトを選択した場合 - アプリケーション、ドライバで [なし、アプリケーションによる管理] 設定を選択した場合
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™	ドライバはすべてのファイルを PostScript に変換します。	でカラー設定を定義できます： - プリンタ ドライバ - WebTools Express、ドライバ設定でプリンタのデフォルトを選択した場合 - アプリケーション、ドライバで [なし、アプリケーションによる管理] 設定を選択した場合

ジョブ送信方法	ファイルの種類	カラーマネジメント設定
LPR FTP PRISMAproduce Tech Publisher Express	ファイル タイプを変換せずに文書がプリンタに送信されます。 コントローラは、以下のファイルタイプを認識します。 • HP-GL - .hp, .hpg, .hpgl • HP-GL/2 - .hp2 • HP RTL - .rtl • CALS - .cls, .cal • NIRS - .nir, .nif • CalComp - .cc, .906, .907, .951, .crf, .pci • Edmics (C4) - .c4 • TIFF - .tif • PostScript 3 - .ps (licensed) • PDF - .pdf (licensed) • JPEG - .jpg, .jpeg	ジョブのファイルタイプによって、ファイルに埋め込まれたカラープロファイルが存在しない場合は、WebTools Express の 4 つのファイルタイプパスのうちの 1 つのデフォルト設定が使用されます。WebTools Express を使用して、印刷ジョブのカラー設定を調整します。  メモ PRISMAproduce Tech を使用する場合は、PRISMAproduce Tech でカラーマネジメント設定を行います。

カラー設定の優先順位

colorWAVE T60 で文書をカラー印刷する場合、文書作成から文書作成までのさまざまな工程で、ファイルに定義されたカラー情報を設定することができます。最良の出力結果を得るためには、印刷したいドキュメントの色情報を定義するこれらの方法を知っておく必要があります。

以下に説明する様々なステップで作成できる色情報は、それぞれ優先順位が異なります。カラーで印刷したい文書を作成した場合、カラー設定の優先順位は下の表にも示されています。

カラープリントの工程	優先順位
ドキュメント カラー設定はすでにドキュメントに埋め込まれています（PDF ファイルにのみ適用）。	1
アプリケーション カラー設定は、ドキュメントの作成や編集に使用するアプリケーションで定義できます。 アプリケーションで次のパラメータを設定できます。 • カラーまたはモノクロを設定します。 • 入力プロファイルの指定、RGB または CMYK 入力データ。 (入力プロファイル/標準化とは？ (162 ページ) を参照) • カラー レンダリングの定義。 (カラー レンダリングの定義 (166 ページ) を参照)	2
PRISMAproduce Tech カラー設定は PRISMAproduce Tech で定義できます。 PRISMAproduce Tech で次のパラメータを設定できます。 • カラーまたはモノクロを設定します。 • 入力プロファイルの指定、RGB または CMYK 入力データ。 (入力プロファイル/標準化とは？ (162 ページ) を参照) • カラー レンダリングの定義。 (カラー レンダリングの定義 (166 ページ) を参照)	
プリンタ ドライバ Driver Select for Microsoft® Windows® と Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ はカラーマネージメントの設定を提供します。 ドライバーで必要なカラーマネージメント設定を選択するか、プリンターのデフォルト設定を使用するように指示することができます。カラー設定が、他の工程で設定されているカラー設定と競合しないことを確認してください。	3

カラープリントの工程	優先順位
WebTools Express は、ドキュメントのファイルタイプに基づいて、カラー設定のための 4 つのデフォルトパスを提供します： • [HP-GL/2 カラー マネジメント設定] HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルのカラー マネジメント設定 (177 ページ) • [TIFF および JPEG カラー マネジメント設定] TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (RGB 入力) (178 ページ) TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (CMYK 入力) (179 ページ) • [PostScript カラー マネジメント設定] PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力) (180 ページ) PostScript (CMYK 入力) のカラー マネジメント設定 (181 ページ) • [PDF カラー マネジメント設定] PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力) (182 ページ) PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力) (183 ページ) PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (グレイ入力) (184 ページ) これらの設定は、コントローラが印刷するファイルのカラー設定を認識または検出できない場合に適用されます。	4



メモ

印刷ジョブを開始する前に、さまざまな段階で行われたカラーマネージメント設定を揃えることをお勧めします。ドキュメントの色空間と印刷の設定は一致しなければなりません。つまり、上記のプロセスで複数のステージでカラー設定を行った場合、カラー設定が互いに逆になっていないかチェックする必要があります。

HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルのカラー マネジメント設定

デフォルト設定は強調表示されています。

インプ ット プロ ファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
RGB	• [sRGB] • [Adobe RGB]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (RGB 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプ ット プロ ファ イル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
RGB	• [sRGB] • [Adobe RGB]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (CMYK 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプ ット プロ ファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
CMYK	• [Euroscale coated] • [Euroscale uncoated] • [US Web coated (SWOP)] • [US Web uncoated] • [ISO Coated v2 300% (ECI)] • [ISO Coated v2 (ECI)] • [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)] • [Uncoated FOGRA29] • [GRACoL2006 Coated1v2] • [SWOP2006 Coated3v2] • [SWOP2006 Coated5v2]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプ ット プ ロ フ ア イ ル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
RGB	• [sRGB] • [Adobe RGB]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

PostScript (CMYK 入力) のカラーマネージメント設定

デフォルト設定は強調表示されています。

インプ ット プロ ファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
CMYK	• [Euroscale coated] • [Euroscale uncoated] • [US Web coated (SWOP)] • [US Web uncoated] • [ISO Coated v2 300% (ECI)] • [ISO Coated v2 (ECI)] • [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)] • [Uncoated FOGRA29] • [GRACoL2006 Coated1v2] • [SWOP2006 Coated3v2] • [SWOP2006 Coated5v2]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力)

デフォルト設定は強調されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	[グラフィックス カラー: カラー レンダリング]
		[CAD カラー]	
RGB	• [sRGB] • [Adobe RGB]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)]: • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

- [グラフィックス カラー:PDF/X 出力インテント]
PDF/X 出力インテントが有効になっている場合、PDF/X ファイルからの出力インテントが、まず、埋め込まれた印刷条件に従ってファイルから色を変換するために使用され、その後、色は印刷デバイスの最終的な印刷条件に変換されます。無効にすると、PDF/X ファイルからの出力インテントは無視されます。
- [ブラック ポイント補正]
ブラックポイント補正は、影や暗い色の画像の細かい部分の印刷品質を向上させます。この設定は、[グラフィックス カラー: カラー レンダリング] が [相対カラーメトリック] に設定されている場合のみ有効です。無効の場合、印刷品質は変わりません。

PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力)

デフォルト設定は強調されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	[グラフィックス カラー: カラー レンダリング]
		[グラフィックス カラー: カラー レンダリング][CAD カラー]	
CMYK	• [Euroscale coated] • [Euroscale uncoated] • [US Web coated (SWOP)] • [US Web uncoated] • [ISO Coated v2 300% (ECI)] • [ISO Coated v2 (ECI)] • [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)] • [Uncoated FOGRA29] • [GRACoL2006 Coated1v2] • [SWOP2006 Coated3v2] • [SWOP2006 Coated5v2]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]
		[なし、アプリケーションによる管理]	

- [グラフィックス カラー:PDF/X 出力インテント]
PDF/X 出力インテントが有効になっている場合、PDF/X ファイルからの出力インテントが、まず、埋め込まれた印刷条件に従ってファイルから色を変換するために使用され、その後、色は印刷デバイスの最終的な印刷条件に変換されます。無効にすると、PDF/X ファイルからの出力インテントは無視されます。
- [ブラック ポイント補正]
ブラックポイント補正は、影や暗い色の画像の細かい部分の印刷品質を向上させます。この設定は、[グラフィックス カラー: カラー レンダリング] が [相対カラーメトリック] に設定されている場合のみ有効です。無効の場合、印刷品質は変わりません。

PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (グレイ入力)

デフォルト設定は強調されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	[グラフィックス カラー: カラー レンダリング]
		[CAD カラー]	
グレイ	• [なし (プロファイルが使用されません)] • [sGray] • [Adobe Gray 20%]	[グラフィックス カラー]	• [知覚的 (フォト)] • [彩度 (ビジネス グラフィックス)] • [絶対カラーメトリック] • [相対カラーメトリック]  メモ レンダリング・インテントは標準化 [sGray] と [Adobe Gray 20%] に対してのみ有効です。
		[なし、アプリケーションによる管理]	

- [グラフィックス カラー:PDF/X 出力インテント]
PDF/X 出力インテントが有効になっている場合、PDF/X ファイルからの出力インテントが、まず、埋め込まれた印刷条件に従ってファイルから色を変換するために使用され、その後、色は印刷デバイスの最終的な印刷条件に変換されます。無効にすると、PDF/X ファイルからの出力インテントは無視されます。
- [ブラック ポイント補正]
ブラックポイント補正は、影や暗い色の画像の細かい部分の印刷品質を向上させます。この設定は、[グラフィックス カラー: カラー レンダリング] が [相対カラーメトリック] に設定されている場合のみ有効です。無効の場合、印刷品質は変わりません。

用紙の管理

用紙プロファイルとは？

定義

メディアプロファイルは OMP ファイルとも呼ばれています。用紙プロファイルには、システムで使用可能な用紙の種類ごとに最適なプリント結果を得るための多数の事前設定値が含まれます。システムには、インストール後にすでにデフォルトでいくつかの用紙プロファイルが入っていますが、用紙の製造方法の変更によって、時間とともにプロファイルが変更されることがあります。最寄りの代理店にお問い合わせのうえ、新しいプロファイルをダウンロードできます。

colorWAVE T60 がサポートしたい新しいメディアタイプが利用可能になったら、対応するメディアプロファイルをインストールすることができます。

属性

用紙の種類ごとに、用紙プロファイルでは多数の設定が最適化されます。

- カラーの混合 (システム設定、変更できません)
- 最適な用紙の取り扱いおよび可用性のための設定

用紙プロファイルを設定する

はじめに

WebTools Express では、プリンタ上の用紙プロファイルを設定できます。

手順

1. [用紙] ~ [用紙タイプ] タブを選択すると、colorWAVE T60 印刷システムで利用可能なすべてのメディアプロファイルの概要が表示されます。
2. このリストでは
 - メディアの種類をクリックすると、メディア情報を確認できます。
 - メディアタイプのチェックボックスをクリックし、[有効化] アイコンをクリックすると、ユーザーパネルと印刷ジョブ送信アプリケーションでメディアプロファイルを使用できるようになります。メディアプロファイルを [無効化] すると、ユーザーパネルおよび印刷ジョブ送信アプリケーションで使用できなくなります。
 - 不要になったメディアプロファイルを削除するには、メディアタイプのチェックボックスをクリックし、[削除] をクリックします。



メモ

この操作は元に戻せません

- メディアタイプ一覧の上にある [インストール] アイコンをクリックすると、新しいメディアプロファイルがインストールされます。ウィンドウが開きます。[用紙プロファイルをインストールする \(187 ページ\)](#) を参照してください。



メモ

colorWAVE T60 POWERsync+ コントローラにインストールする前に、新しいメディアプロファイルをダウンロードする必要があります。新しい用紙プロファイルについては、最寄りの代理店にお問い合わせください。

用紙プロファイルをインストールする

使用する場合

新規または更新されたメディアプロファイルをダウンロードしたら、このメディアプロファイルを colorWAVE T60 POWERsync+ コントローラにインストールする必要があります。

手順

1. [用紙] - [用紙タイプ] タブ を選択します。
2. メディア プロファイルを更新するには、更新するメディア プロファイルのチェック ボックスをチェックします。
3. メディアタイプ一覧の上にある [インストール] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 「ブラウス」をクリックして、ワークステーション上の正しいファイルに移動します。
5. 用紙プロファイルを選択して「開く」をクリックします。
6. 新規または更新したメディアプロファイルのチェックボックスをクリックし、画面右上の [有効化] アイコンをクリックすると、ユーザーパネルと印刷ジョブ送信アプリケーションでメディアプロファイルを使用できるようになります。

結果

送信済みのジョブに与える影響について通知する警告メッセージが表示されます。ファイルは colorWAVE T60 POWERsync+ コントローラに保存されます。新しいファイルは、「[用紙タイプ]」タブの用紙プロファイル リストに表示されます。



メモ

古いバージョンのファイルがコントローラ上でアクティブだった場合、古いファイルが新しいファイルで上書きされます。

カスタムの用紙サイズの作成

はじめに

定型ロール サイズ以外のロール幅を持つカスタム用紙を使用する場合は、WebTools Express でシステムにカスタム用紙サイズを作成することができます。 システムはこのカスタムの用紙サイズを使用して、カスタムの用紙ロールの取り付け時にロール幅を自動的に検出します。

手順

1. [用紙] - [用紙サイズ] タブを開きます。
2. [サイズの作成] をクリックします。
3. ユーザーが認識可能な名前を入力します。 この名前は、WebTools Express と操作パネルに表示されます。
4. 目的の用紙サイズのプロパティを入力します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

用紙サイズの構成

はじめに

プリンタには様々な用紙サイズを取り付けることができます。WebTools Express では、用紙サイズを示して、プリンタが認識できるようにすることができます。

カスタムの用紙サイズを作成することも可能です。

手順

1. [用紙] - [用紙サイズ] タブを開きます。
2. [サポートされる用紙サイズ] に、サポートされている用紙サイズの一覧が表示されます。
3. 用紙サイズを有効または無効にして、環境に合わせてシステムを微調整することができます。



メモ

現在プリンタに取り付けられている用紙サイズを無効にすることはできません。

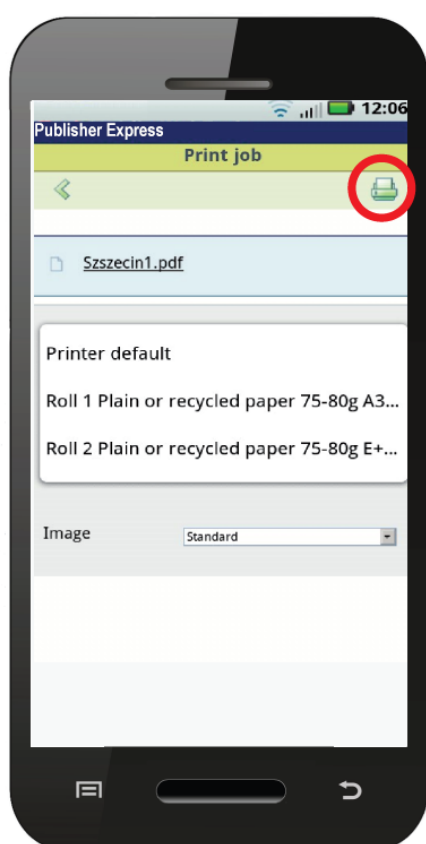
モバイル プリントおよびスキャンの構成

Publisher Express

はじめに

Publisher Express では以下の機能が提供されます:

- モバイル デバイスからプリンタへのプリント可能ファイルの送信
- プリンタからモバイル デバイスへのスキャン済みファイルの保存
- プリンタ上のスキャン済みファイルの削除



要件

Publisher Express には、モバイル デバイスのブラウザからアクセスすることができます。

動作要件は以下の通りです:

- プリンタのネットワークに接続された Wi-Fi インフラが必要です
- システムへのアクセスおよび参照が可能な対応モバイル デバイスが必要です
- 対応モバイル OS が必要です
- 対応モバイル Web ブラウザが必要です

オプション:

- 保存されたファイルをプリントするにはモバイル ファイル エクスプローラ アプリケーションが必要です。
- QR コードをスキャンするためのモバイル アプリケーションが必要です

機能を使用するには

Publisher Express を使用したい場合：

- システム管理者は、ネットワークと Wi-Fi インフラストラクチャを設定します。
- システム管理者は、プリンタコントローラインタフェースで設定情報を入力します。
- ユーザーは、モバイル デバイスで Wifi 機能を有効にして、ネットワークに接続します。ユーザーは端末のウェブブラウザで Publisher Express を開きます。
- Publisher Express を使えば、ユーザーはモバイル機器からファイルを印刷でき、スキャンした文書を保存できます。

インフラおよびモバイル デバイスの互換性に関する最新情報の入手

の plotWAVE-colorWAVE システム接続マニュアルを参照してください。 <http://downloads.cpp.canon> 製品ページの接続マニュアルを参照してください。 <http://www.canon.com/support/> を参照してください。

モバイル接続用の WebTools Express 設定の指定

はじめに

ユーザーが Publisher Express に簡単にアクセスできるようにするには、最初に設定を構成する必要があります。入力された情報に基づいて QR カードを作成し、簡単にアクセスできるようにします。



メモ

- この手順では、システム管理者またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。
- Wi-Fi ネットワークを設定し、プリンタをネットワークに接続してください。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [モバイル] セクションの右隅にある [編集] をクリックします。
3. 設定を入力します。この情報は QR カードにもプリントされます:



メモ

IT ポリシーに従って情報を入力します。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

設定	アクション
[QRC シート上の Wi-Fi 名]	Wifi ネットワークの名前を入力します。 QR カードに名前が表示されます。
[QRC シート上の Wi-Fi キー]	必要に応じて、Wifi ネットワークのパスワードを入力します。 QR カードにキーが表示されます。

WebTools Express のモバイル セクション

4. [OK] をクリックして設定を確定します。



メモ

プリンターが Windows ドメインネットワーク内にある場合、WebTools Express にドメイン名を入力します:

- [設定] ~ [接続] タブを開きます
- [ネットワーク アダプタ] セクションへ。フィールド [プライマリ DNS サフィックス] にドメイン名を入力します。

クイックレスポンスカードを生成します

はじめに

ユーザーがモバイル デバイスからプリンタに簡単にアクセスできるようにするため、QR (クイック レスポンス) カードを作成することができます。QR カードには、モバイル デバイスとプリンタの間で接続を確立するために必要な情報がすべて含まれます。カードには、すべての設定と生成された固有の QR コードが含まれます。プリンタの URL が表示されるため、モバイル デバイスの Web ブラウザから Publisher Express にアクセスすることもできます。

QR カードを個別のカードまたはポスターにプリントして、プリンタへの簡単なアクセスを提供します。

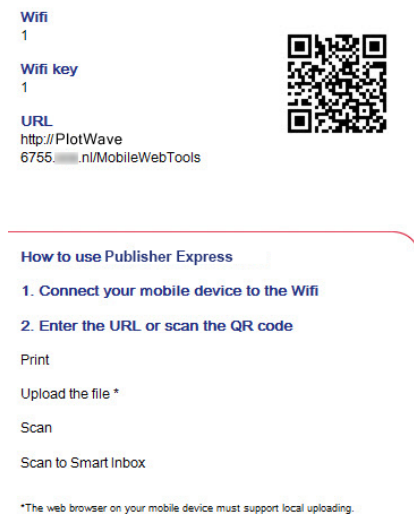
始める前に

最初に、WebTools Express で接続情報用の設定を編集する必要があります。システム管理者またはパワユーザのみがこの情報を編集することができます。



メモ

下の図は一例です。お使いのプリンタ用にこの QR カードをプリントして使用することはできません。設定に基づき、プリンタによって、ユーザー固有の QR コードを含む QR カードが生成されます。



QR カードの例

手順

1. [サポート] - [バージョン情報] タブを開きます。
2. [ダウンロード] セクションで [Quick Response Card] をクリックします。
新しいウィンドウが開きます。QR カードが自動的に生成され、ウィンドウに表示されます。
3. QR カードをプリントします。

モバイル デバイスを Publisher Express に接続する

接続する前に:

- システムが構成されていることを確認します。
- QR カードを生成していることを確認します。
- モバイル デバイスで Wi-Fi 接続が有効になっていることを確認します。



メモ

- iOS モバイル デバイスの場合、より拡張された WebTools Express にアクセスするには、iCab Mobile ブラウザにプリンタの IP アドレスを入力する必要があります。
- 互換性に関する最新情報については、Canon Production Printing Web サイトの [サポート] タブをご覧ください。
- モバイル デバイスで接続に失敗し、接続を確立できない場合は、システム管理者にご連絡ください。

Publisher Express への接続

Publisher Express には 3 通りの方法で接続できます。 以下の手順に従って接続します。

接続方法:	ステップ
QR コード	• モバイル デバイスで QR コード スキャン アプリケーションを開きます。 • QR カードに表示された QR コードをスキャンします。 モバイル デバイスの Web ブラウザで Publisher Express が開きます。 • 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。
URL	• モバイル デバイスの Web ブラウザを開きます。 • QR カードに表示されたプリンタの URL を入力します。 (例) 「http://hostname(.com)/v2/MobileWebTools」 • 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。
IP アドレス	• モバイル デバイスの Web ブラウザを開きます。 • プリンタの IP アドレスを入力します。 IP アドレスはシステム管理者から入手します。 • 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。
	モバイル デバイスの Web ブラウザで Publisher Express が開きます。 このツールを使用してモバイル デバイスからプリントしたり、スキャン済みファイルをモバイル デバイ스에保存できるようになります。

第4章

プリント システムの使用

原稿を挿入する方法

はじめに

コピーまたはスキャンする際は、原稿をプリンタに正しく挿入することが重要です。



重要

- スキャナでは、厚さが 0.8 mm 以上の原稿、または硬質の原稿をスキャンすることはできません。
- スキャナに引き込まれた原稿をプリンタから引き戻さないでください。原稿をリリースするには、操作パネルの停止ボタンを押し、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。



2. スキャナが原稿を引きこみます。

原稿の幅は自動的に検出され、Smart Access に表示されます。ライブ スキャン表示には、スキャン処理が表示されます。

結果

WebTools Express で選択された [原稿リリース モード] に応じて、スキャン手順の実行後に、スキャナによって原稿が保持またはリリースされます。スキャナから文書をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

原稿がリリースされると、次の原稿を挿入することができます。

原稿を自動挿入するには

はじめに

自動挿入機能を有効にした場合は、文書をスキャンするたびにグリーン ボタンを使用する必要はありません。この方法によって、生産性が向上します。スキャナが自動的にアクティブになり、スキャン手順の完了後、原稿がリリースされます。



メモ

- プリント タイルを選択する場合、あるいは指定された時間の経過後に操作パネルがホーム画面に戻っている場合は、自動挿入機能が無効になります。
- 原稿を挿入する前に、コピーまたはスキャン ジョブの設定を変更することができます。

手順

1. 最初の原稿を上向きで、原稿フィード テーブルの中央に位置合わせして挿入します。
2. スキャナが原稿を引きこみます。
3. グリーン ボタンを 2 回タップします。グリーン ボタンにメッセージ [自動] が表示されます。
4. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。
5. 操作パネルにメッセージ [原稿の挿入] が表示されたら、次の原稿を挿入できます。
6. 自動挿入機能を無効にするには、グリーン ボタンをタップします。グリーン ボタンから [自動] が消えます。

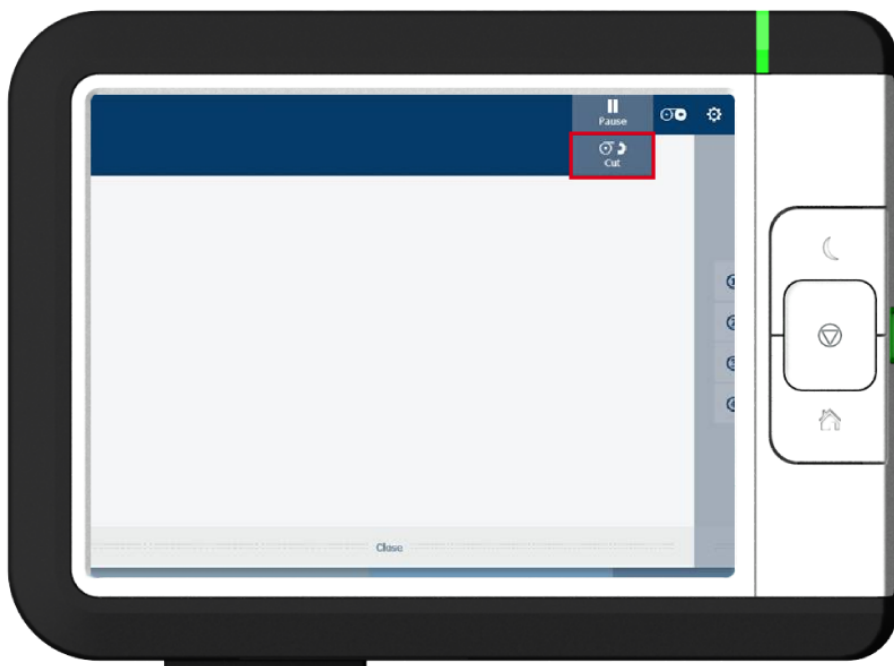
「ロール ツー ロール」モードでの用紙のカット方法

はじめに

システムが「ロール ツー ロール」モードの場合、ジョブが完了した後に用紙をカットすることができます。

手順

1. 操作パネルの動的なバーをタップします。
キューが開き、カットのアイコンが動的なバーに表示されます。



2. 動的なバーのカットのアイコンをタップして、用紙を自動的にカットします。

プリント ジョブ

デフォルトのプリント ジョブを実行する

はじめに

ジョブをプリントする際に設定を指定しない場合、デフォルトのプリセットが使用されます。ジョブを開始するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるプリセットを表示できます。

始める前に

以下のいずれかのジョブ サブミッタ経由でジョブを送信するようにしてください。

Publisher Express	Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する (256 ページ)
PRISMAproduce Tech	PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する (259 ページ)
Driver Select for Microsoft® Windows®	Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する (260 ページ)
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™	Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ を使用してプリント ジョブを送信する (262 ページ)
Publisher Mobile	Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する (263 ページ)
Publisher Express (モバイル バージョン)	モバイル デバイスからのプリント (265 ページ)

あるいは、以下を経由してジョブを送信します。

LPR	LPR を使用してプリント ジョブを送信する (268 ページ)
FTP	FTP を使用してプリント ジョブを送信する (267 ページ)
クラウド (WebDAV)	クラウド を使用してプリント ジョブを送信する (269 ページ)
ホーム フォルダ	ホーム フォルダ を使用してプリント ジョブを送信する (270 ページ)
PlanWell Collaborate	クラウド を使用してプリント ジョブを送信する (269 ページ)
USB	USB キー からのプリント (204 ページ)



メモ

ダイレクト プリントを有効にする設定を指定していない場合、以下の手順が適用されます。ダイレクト プリントを使用すると、ジョブは直ちにプリントされます。詳細については、[ダイレクト プリント \(201 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. ジョブをプリンタに送信したら、操作パネルでプリント タイルをタップして場所のリストを開きます。

2. ジョブの場所を選択します。デフォルトでは、パブリック Smart Inbox です。



ジョブは、新しいウィンドウ内にリストで表示されます。

3. リストからジョブを選択します。
4. ジョブ設定の横のグリーン ボタンをタップします。

ダイレクト プリント

はじめに

デフォルトのプリント ジョブを実行する場合:

- ダイレクト プリントを使用してプリントすることができます。
ダイレクト プリントを使用してプリントすると、プリント ジョブは直ちにキューに送信されます。
- ダイレクト プリントを使用しないでプリントすることができます。
ダイレクト プリントを使用しないでプリントすると、プリンタでジョブをローカルに開始できます。



メモ

- [プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] - [プリント ジョブの宛先を無効にする] が [はい、 Smart Inbox にのみ送信します] に設定されている場合、直接プリントすることはできず、プリンターでプリントジョブを開始する必要があります。ダイレクトプリントで印刷する場合は、WebTools Express.でこの設定を変更する必要があります。
- [ダイレクトプリント]と[パスワードプリント]は互いに排他的です。
- Publisher Express を使用して印刷ジョブを送信する方法の詳細については、[Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する \(256 ページ\)](#) を参照してください。

ダイレクト プリントを使用してデフォルトのプリント ジョブを実行する

手順	アクション
1	いずれかのジョブ サブミッタ経由でプリンタにジョブを送信し、ジョブ チケット内で「ダイレクト プリント」を選択します。通常は、WebTools Express 内の Publisher Express を経由します。
2	プリンタに移動し、プリントを収容します。

ダイレクト プリントを使用しないでデフォルトのプリント ジョブを実行する

手順	アクション
1	いずれかのジョブ サブミッタ経由でプリンタにジョブを送信し、指定した Smart Inbox を場所として選択します。
2	プリンタに移動し、操作パネル上の Smart Access 経由で Smart Inbox を開きます。
3	Smart Inbox でジョブを選択します。
4	グリーン ボタンをタップして、ジョブをプリントします。

パスワードプリント

はじめに

このオプションを使うと、[Smart Inbox]に送信したジョブにパスワードを付加して保護することができます。



メモ

Smart Inbox オプションが、プリンタで有効になっていなければなりません。
[ダイレクトプリント]と[パスワードプリント]は互いに排他的です。

ジョブ投入ツールの[Password print]の詳細については [プリント ジョブ - ジョブ送信ツール \(256 ページ\)](#) またはジョブ投入ツールのドキュメントを参照してください。

手順

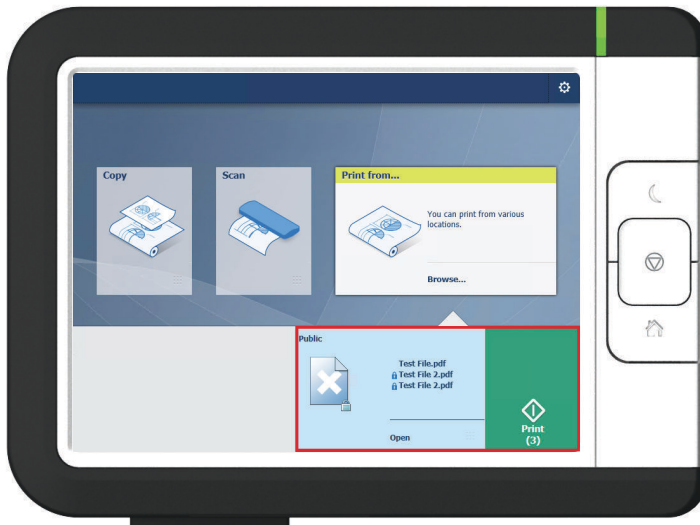
1. プリンタ用のジョブを準備し、場所として希望の [Smart Inbox] を選択します。
2. [パスワード] を入力して仕事を確保します。パスワードは 4 文字以上でなければなりません。



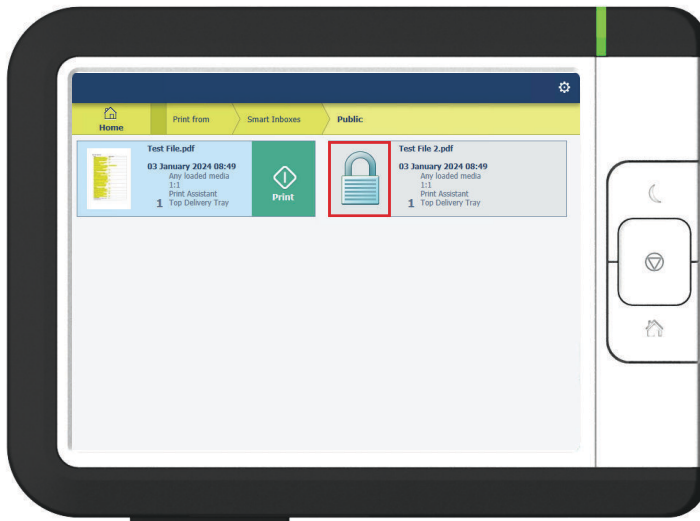
メモ

このパスワードはジョブにアクセスするため、プリンタで入力してください。次に、ジョブの表示、変更、印刷、削除ができます。

3. プリンタにジョブを送信します。
4. プリンタのユーザーパネルに移動します。
スマート受信トレイにパスワードで保護された新しいジョブが 1 つ以上ある場合、スマートアクセスのサムネイルが十字に変わり、保護されたジョブの名前の前にロックアイコンが付き、緑色の印刷ボタンはすべての新しいジョブを印刷する代わりにスマート受信トレイにリダイレクトされます。



5. [Smart Inbox] を開きます。
保護されたジョブは、プレビューサムネイルの代わりにロックアイコンで表示され、プレビュー、編集、印刷ができなくなります。



6. [Smart Inbox]で仕事を選択します。
7. ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。



メモ

次に、ジョブの表示、変更、印刷、削除ができます。

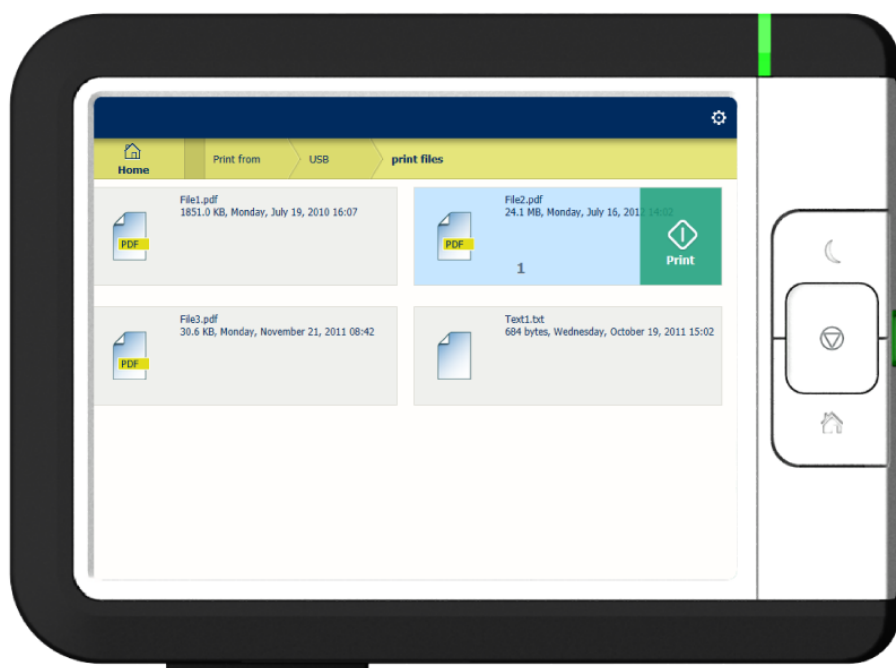
USB キーからのプリント

はじめに

USB キーを使用すると、プリンタでプリントとスキャンのジョブを実行できます。

手順

1. USB キーをマルチタッチ ユーザ パネルの USB ポートに差し込みます。
操作パネルで、プリント タイルが自動的に選択され、USB の場所が有効になります。
2. プリント Smart Access 内で USB の場所をタップします。
USB キー上にあるフォルダとファイルのリストが表示されたウィンドウが開きます。 リスト全体をスワイプして、正しいファイルを検索します。



3. グリーン ボタンをタップして、ジョブを開始します。
さらに多くの設定を指定するには、ジョブ名およびジョブの設定をタップできます。プリセット ウィンドウが開き、追加の設定を指定できます。

操作パネルでのプリント プリセット

はじめに

プリンタは、異なる設定を指定しない場合、プリントおよびコピーのジョブにデフォルトのプリセットを使用します。プリント プリセットは 4 つのカテゴリに分けられます。

- [用紙]
- [レイアウト]
- [イメージ]
- [仕上げ]

これらのカテゴリすべてのプリセットは、WebTools Express で変更できます。詳細は、[を参照してください](#)。

プリセットの概念	プリセットについて知っておくべきこと (110 ページ)
プリセット設定を変更するには	デフォルトのプリント プリセットの設定 (113 ページ)

プリント ジョブに対するイメージ プリセット

はじめに

[イメージ] プリセットでは、プリント ジョブの品質および生産性を定義できます。 事前定義のプリセットが 5 つと、WebTools Express で作成できる 6 番目のカスタム プリセットがあります。

イメージ プリセット

概要を参照して、ジョブに最適な [イメージ] プリセットを選択します。

イメージ プリセット	プロパティ
[Print Assistant]	このプリセットはデフォルトで使用されます。 ほとんどの原稿に対して、高品質のカラー プリントを作成できます。 Print Assistant がジョブに対して最高のプリント品質を自動的に決定します。
[高速 CAD カラー]	生産性が重要な要因である場合、カラー CAD 図面のプリセットを使用します。
[標準 CAD/ポスター]	品質が重要な要因である場合、カラー CAD 図面およびポスターのプリセットを使用します。
[高品質ポスター/写真]	品質が重要な要因である場合、高い色精度を持つフォトライクな原稿のフルレンジに対するプリセットを使用します。
[高速 CAD B/W]	生産性が重要な要因である場合、白黒 CAD 図面のプリセットを使用します。

プリント ジョブのための詳細設定

はじめに

マルチタッチ ユーザ パネルでプリント タイルをタップすると、独自の設定を指定できます。

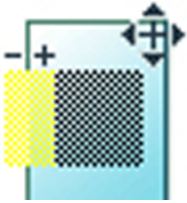
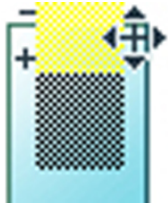
プリセット タイル以外に、[すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。これらの設定は、拡張プリント ジョブに使用されます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。

プリセット カテゴリ:[用紙]

設定	設定値	機能
[用紙の種類]	任意の種類 用紙の種類のリスト	使用する用紙の種類です。
[用紙サイズ]	任意のサイズ 用紙のサイズのリスト	使用する用紙のサイズです。
[用紙ソース]	[自動] 「ロール 1 から 4」(特定のロールに取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明)	コピーまたはプリントする用紙の給紙元を定義します。[自動] を選択した場合、プリンタによって用紙ロールが自動的に選択されます。 

プリセット カテゴリ:[レイアウト]

設定	設定値	機能
[カット サイズ]	• [シンクロ] • [定型] • [カスタム]	[シンクロ] に設定されると、イメージのサイズに従ってプリントがカットされます。 [定型] に設定されると、定型用紙サイズにプリントがカットされます。 [カスタム] に設定されると、サイズを手動で入力する必要があります。 
	[カスタム カット長]	定義された長さでプリントをカットします。 210 ～ 20000 mm、または 8.3 ～ 7874 インチ。
	[先端余白の追加]	出力の上部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[後端余白の追加]	出力の下部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
[回転]	[0°] [90°] [180°] [270°] [縦送り] [横送り] [自動回転用紙節約] [自動回転用紙節約 - 180° 回転]	イメージを反時計回りに回転します。 最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] を選択します。

設定	設定値	機能
[位置決め]	• [左上] • [上] • [右上] • [左] • [中央] • [右] • [左下] • [下] • [右下]	[シートのイメージのアライメントを実行します。] 
[横シフト]		[イメージを横方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 1067 ~ 1067 mm、または 42 ~ 42 インチ。 
[縦シフト]		[イメージを縦方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 1219 ~ 1219 mm、または 48 ~ 48 インチ。 

設定	設定値	機能
[スケール]	[1:1]	イメージをスケールして、原稿のサイズにフィットさせます。
	[用紙サイズに合わせる]	選択された用紙幅をスケールします。  メモ この設定を使用できるのは、特定の用紙ロールを選択した場合のみです。
	[定型サイズに]	イメージをスケールして、リストから選択する用紙サイズにフィットさせます。 
	[カスタム]	カスタム パーセンテージにイメージをスケールします。 10 ~ 1000% 

プリセット カテゴリ:[イメージ]

設定	設定値	機能
[プリント品質]	• [プリント アシスタント] • [高速] • [エコノミー - 高速] • [プロダクション] • [クオリティ]	出力のプリント品質を定義します。 • 自動的に最適なプリント品質の選択には、[プリント アシスタント] を選択してください。 • [高速] から [クオリティ] の範囲でプリント品質を選択します。品質が高くなるほど、速度が低下します。 [カラー モード] 設定が [グレースケール] に設定された場合、プリント品質 [エコノミー - 高速] はカラー トナーを使ってグレースケール プリントの密度を高めます。
[カラー モード]	[カラー] [グレースケール]	カラーまたはグレースケールでデフォルトの出力を定義します。

設定	設定値	機能
[ミラー]	[オン] [オフ]	「[オン]」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。 スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン] に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。 

プリセット カテゴリ:[仕上げ]

設定	設定値	機能
[排紙]	[上部排紙トレイ]	プリンタの上部の場所であり、シートを下向きで挿入します。  メモ 一部の用紙の種類は [上部排紙トレイ] に排紙することはできません。
	[背面出力] または [折り]	出力を上向きにプリンタの背面に排紙するには、[背面出力] を選択します。 折り機が構成され、出力を折る段階にきたら、折り機を選択します。
	[折りテンプレート]	折り機が構成されたら、指定した折りテンプレートを選擇して、事前定義された設定で折ることができます。

コピー ジョブ

デフォルトのコピー ジョブを実行する

はじめに

原稿をコピーする際に設定を指定しない場合、デフォルトのプリセットが使用されます。ジョブを送信するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるプリセットを表示できます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
コピー Smart Access が含まれたコピー タイルが操作パネルで自動的に選択されます。



2. コピー部数を選択して、グリーン ボタンをタップします。



メモ

スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

操作パネルでのコピー プリセット

はじめに

プリンタは、異なる設定を指定しない場合、プリントおよびコピーのジョブにデフォルトのプリセットを使用します。コピー プリセットは 4 つのカテゴリに分けられます。

- [用紙]
- [レイアウト]
- [イメージ]
- [仕上げ]

これらのカテゴリすべてのプリセットは、WebTools Express で変更できます。詳細は、[を参照してください](#)。

プリセットの概念	プリセットについて知っておくべきこと (110 ページ)
プリセット設定を変更するには	デフォルトのコピー プリセットの設定 (111 ページ)

コピー ジョブのイメージ プリセット

はじめに

[イメージ] プリセットでは、コピー ジョブの品質および生産性を定義できます。事前定義のプリセットが 5 つと、WebTools Express で作成できる 6 番目のカスタム プリセットがあります。

イメージ プリセット

概要を使って、ジョブに最適な [イメージ] プリセットを選択します。

イメージ プリセット	プロパティ
[標準カラー]	このプリセットはデフォルトで使用されます。ほとんどの原稿に対して、高品質のカラー コピーを作成できます。 品質設定は、色精度と、背景を抑制しながら微細情報をエンハンスメントすることの間でバランスされます。
[写真/ポスター]	高い色精度を持つフォトライクな原稿のフルレンジに対するプリセットを使用します。
[高速 CAD]	生産性が重要な要因である場合、カラー CAD 図面のプリセットを使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[標準カラー] プリセットを選択します。
[標準 CAD B/W]	品質が重要な要因である場合、白黒 CAD 図面のプリセットを使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[高速 CAD B/W]	生産性が重要な要因である場合、白黒 CAD 図面のプリセットを使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある白黒 CAD 原稿には、[標準 CAD B/W] プリセットを選択します。

コピー ジョブの詳細設定

はじめに

マルチタッチ ユーザ パネルでコピー タイルをタップすると、独自の設定を指定できます。

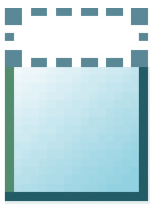
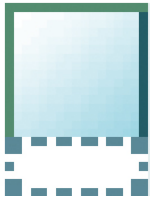
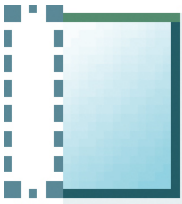
プリセット タイル以外に、[すべての設定を表示]で詳細設定を選択できます。これらの設定は、拡張コピー ジョブに使用されます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。

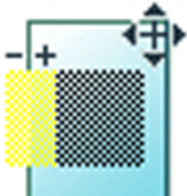
プリセット カテゴリ:[用紙]

設定	設定値	機能
[用紙の種類]	任意の種類 用紙の種類のリスト	使用する用紙の種類です。
[用紙サイズ]	任意のサイズ 用紙のサイズのリスト	使用する用紙のサイズです。
[用紙ソース]	[自動] 「ロール 1 から 4」(特定のロールに取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明)	コピーまたはプリントする用紙の給紙元を定義します。[自動] を選択した場合、プリンタによって用紙ロールが自動的に選択されます。 

プリセット カテゴリ:[レイアウト]

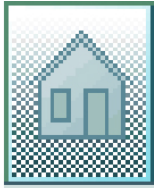
設定	設定値	機能
[カット サイズ]	• [シンクロ] • [定型] • [カスタム]	[シンクロ] に設定されると、イメージのサイズに従ってプリントがカットされます。 [定型] に設定されると、定型用紙サイズにプリントがカットされます。 [カスタム] に設定されると、サイズを手動で入力する必要があります。 
	[カスタム カット長]	定義された長さでプリントをカットします。 210 ～ 20000 mm、または 8.3 ～ 7874 インチ。
	[先端余白の追加]	出力の上部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[後端余白の追加]	出力の下部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 

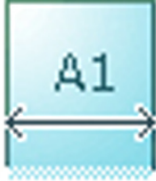
設定	設定値	機能
[余白の消去]	[上]	[原稿の上部から余白を消去します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[下]	[原稿の下部から余白を消去します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[左]	[原稿の左側から余白を消去します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[右]	[原稿の右側から余白を消去します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 

設定	設定値	機能
[位置決め]	• [左上] • [上] • [右上] • [左] • [中央] • [右] • [左下] • [下] • [右下]	[用紙上でイメージのアライメントを実行します。] 
[横シフト]		[イメージを横方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 1067 ~ 1067 mm、または 42 ~ 42 インチ。 
[縦シフト]		[イメージを縦方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 1219 ~ 1219 mm、または 48 ~ 48 インチ。 

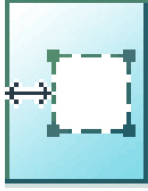
設定	設定値	機能
[スケール]	[1:1]	イメージをスケールして、原稿のサイズにフィットさせます。
	[用紙サイズに]	選択された用紙幅をスケールします。  メモ この設定を使用できるのは、特定の用紙ロールを選択した場合のみです。
	[定型サイズに]	イメージをスケールして、リストから選択する用紙サイズにフィットさせます。 
	[カスタム]	カスタム パーセンテージにイメージをスケールします。 10 ～ 1000% 

プリセット カテゴリ:[イメージ]

設定	設定値	設定値	機能
[クオリティ]	[スキャン品質]	[通常] [高]	スキャンの品質を定義します。 - より高い解像度でスキャンするには、[高] を選択します。これは、グレイやカラー領域を含む原稿でモアレ パターンを防止します。 - 純粋な CAD 原稿に対しては、ほとんどの場合 [通常] で十分です。 プリント生産性が重要な要因である場合、[通常] を選択します。
	[プリント品質]	[自動] [高速] [エコノミー - 高速] [プロダクション] [クオリティ]	出力のプリント品質を定義します。 - 自動的に最適なプリント品質の選択には、[自動] を選択してください。 [高速] から [クオリティ] の範囲でプリント品質を選択します。品質が高くなるほど、速度が低下します。 [カラー モード] 設定が [グレイスケール] に設定された場合、プリント品質 [エコノミー - 高速] はカラートナーを使ってグレイスケール プrint の密度を高めます。
	[カラー モード]	[カラー] [グレイスケール]	カラーまたはグレイスケールでデフォルトの出力を定義します。
[原稿]	[原稿の種類]	[折られた線/テキスト] [線/テキスト] [地図] [カラーの原稿] [アートワーク] [写真] [ブルー プリント] [濃い原稿]	使用する原稿の種類を定義します。選択は選択した [カラー モード] によります。適切な原稿の種類の選択については、「原稿の種類 (226 ページ)」を参照してください。 
	[背景補正]	[自動] [オン] [オフ]	イメージのバックグラウンド ノイズを低減します - デフォルト設定は [自動] です。選択した [原稿の種類] に応じて、地肌補正は自動的に適用される場合と適用されない場合があります。 [オン] または [オフ] を選択して、[自動] を上書きします。 適用される地肌補正方法は選択された用紙の種類によります。 

設定	設定値	設定値	機能
[原稿]	[原稿の幅]	[自動]	原稿の幅は、スキャナによって自動的に検出されます。 
		[定型]	原稿の幅を定型サイズとして選択します。   メモ WebTools Express で構成した用紙の種類およびサイズによります。
		[カスタム]	原稿の幅は、カスタム サイズになります。 210 ～ 914mm あるいは 8.5 ～ 36 インチの範囲でサイズを入力することができます。 

設定	設定値	設定値	機能
[イメージ]	[カラー強調表示]	[オン] [オフ]	[オン] に設定します。 • マーカー ペンによる書き込みを見やすくする場合。 • カラーの情報が入った CAD 図面のカラーを強調し、背景情報はグレースケール (ブラック) のみにする場合。  メモ • [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。 • [カラー モード] が [グレースケール] に設定されている場合、原稿のグレースケール情報よりもカラーが暗くコピーされます。 • [写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント] の種類の原稿には、設定は無効になります。
	[薄い/濃い]	-5 ～ 5 の値	コピーの明るさとコントラストを定義します。明るいプリントには大きい値、暗いプリントには小さい値を設定します。 コピーを暗くすると、背景にはあまり影響しませんが、情報が暗くなります。コピーを明るくすると、弱い情報が白くクリップされません。
	[ミラー]	[オン] [オフ]	「オン」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。] スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン] に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。 

設定	設定値	設定値	機能
[消去する領域]	[消去する領域:X 原点]	0 ～ 914 mm、または 0 ～ 36 インチ。	[左から開始される、横軸上で消去する領域の原点。] 
	[消去する領域:Y 原点]	0 ～ 6000mm、または 0 ～ 250 インチ。	[上から開始される、縦軸上で消去する領域の原点。] 
	[消去する領域: 幅]	0 ～ 914mm、または 0 ～ 36 インチ。	[消去する領域の幅です。] 
	[消去する領域: 長さ]	0 ～ 6000mm、または 0 ～ 250 インチ。	[消去する領域の長さです。] 

プリセット カテゴリ:[仕上げ]

設定	設定値	機能
[排紙]	[上部排紙トレイ]	プリンタの上部の場所であり、シートを下向きで挿入します。  メモ 一部の用紙の種類は [上部排紙トレイ] に排紙することはできません。
	[背面出力] または [折り]	出力を上向きにプリンタの背面に排紙するには、[背面出力] を選択します。 折り機が構成され、出力を折る段階にきたら、折り機を選択します。
	[折りテンプレート]	折り機が構成されたら、指定した折りテンプレートを選擇して、事前定義された設定で折ることができます。

コピー ジョブの推奨設定

はじめに

推奨設定を使用してコピー ジョブの出力を最適化します。

カラーまたはグレイスケールのコピー ジョブに応じて、対応する設定を選択します。

ワークフロー

- 最初に、ジョブに最適なイメージ プリセットを選択します。以下の表で2つ目の列を使用します。詳細については、「[コピー ジョブのイメージ プリセット \(214 ページ\)](#)」を参照してください。
- 設定をさらに最適化したい場合は、操作パネルの [すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。画像処理を調整することで出力品質を最適化したい場合は、ジョブに対応する [原稿の種類] を選択できます。以下の表で3つ目の列を使用します。詳細については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(215 ページ\)](#)」と「[原稿の種類 \(226 ページ\)](#)」を参照してください。

カラー コピーの推奨設定

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
(折りのある) CAD 図面	[高速 CAD] 大面積の塗りつぶしがある: [標準カラー]	- 折りのある原稿の場合は、原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します - カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します
(折りのある) マーカー ペンによるマーク付きの CAD 図面	[高速 CAD]。 大面積の塗りつぶしがある: [標準カラー]	- 折りのある原稿の場合は、原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します - カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します
地図、GIS、ビジネス グラフィックスなど	[標準カラー]	
建築用インプレッション、アートワークなど	[標準カラー]	原稿の種類を [アートワーク] に設定します
フォト、ポスター、および高品位カラー プリント	[写真/ポスター]	
中品質カラー プリント	[標準カラー]	

グレイスケール コピーの推奨設定

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
(折りのある) CAD 図面	[高速 CAD B/W] 大面積の塗りつぶしがある: [標準 CAD B/W]	折りのある原稿の場合は、原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します
(折りのある) マーカー ペンによるマーク付きの CAD 図面	[高速 CAD B/W] 大面積の塗りつぶしがある: [標準 CAD B/W]	- 原稿の種類を [カラーの原稿] に設定します - カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
(折りのある) カラー CAD 図面、地図、ビジネス グラフィックスなど	[高速 CAD B/W] 大面積の塗りつぶしがある: [標準 CAD B/W]	- 原稿の種類を [カラーの原稿] に設定します - カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します
不均一背景のある CAD 原稿	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [濃い原稿] に設定します
ジアゾ プリント/「青焼」	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [濃い原稿] に設定します
濃い (トランスペアレント) 原稿	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [濃い原稿] に設定します
写真および高品位カラー プリント	[写真/ポスター]	[カラー モード] を [グレースケール] に設定します
青い背景上に白い線を使用した青焼	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [ブルー プリント] に設定します

原稿の種類

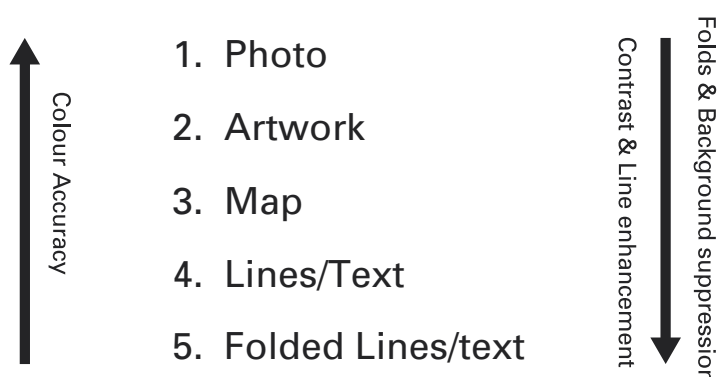
はじめに

ユーザ パネルで [すべての設定を表示] - [原稿] にある [原稿の種類] 設定を変更すると、ジョブの品質をさらに最適化することができます。

原稿の種類をカラーまたはグレースケールに変更します。概要を参照して適切な種類を選択します。

カラーの原稿の種類

- 原稿の種類を [写真] から [折られた線/テキスト] に変更すると、線画およびコントラストのエンハンスメントは増加し、折りおよび背景はより抑制されます。
- 原稿の種類を [折られた線/テキスト] から [写真] に変更すると、色精度が増します。



原稿の種類	定義
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはアートワークよりも穏やかなコントラストを提供します。
[アートワーク]	カラー領域の境界および色間の移行がよりはっきりしたアートワークのようなカラー原稿に使用します。
[地図]	カラー領域が大きく、同時に線画や細かい詳細もあるような原稿に使用します。
[線/テキスト]	CAD 図面に使用します。
[折られた線/テキスト]	折りのある CAD 図面に使用します。 線画およびしわは抑制されます。

グレースケールの原稿の種類

原稿の種類	定義
[線/テキスト]	モノクロームの CAD 図面に使用します。
[カラーの原稿]	カラー CAD 図面など、ほとんどのカラー原稿に使用します。
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。
[濃い原稿]	特に青焼きプリントに使用します。 変化する「濁った」背景のある原稿。

原稿の種類	定義
[折られた線/テキスト]	折りのあるモノクロームの CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。折りのあるカラーの CAD 図面には、[カラーの原稿] を使用します。
[ブルー プリント]	青い背景上に白い線を使用した典型的な反転原稿に使用します。

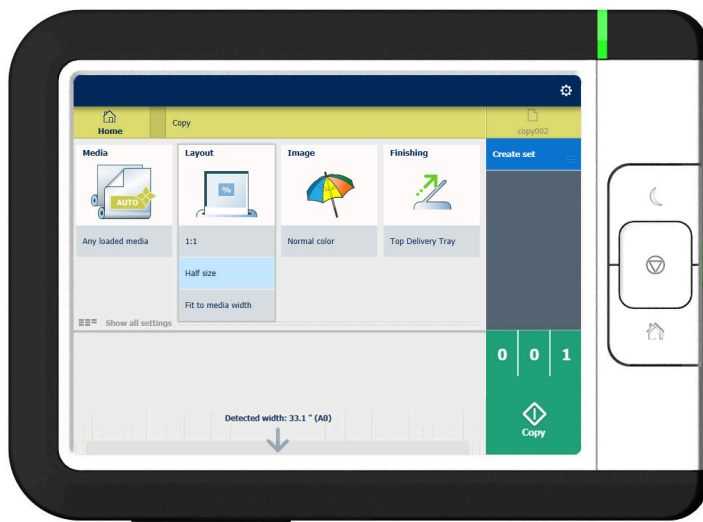
ハーフサイズコピーを作成する

はじめに

原稿を 50% のコピーにスケールする場合、ユーザ パネルでプリセットを変更することができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [レイアウト] プリセットをタップします。



4. [ハーフサイズ] をタップします。
5. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

結果

プリンタは 50% でコピーします。

コピーを作成して余白を追加する

はじめに

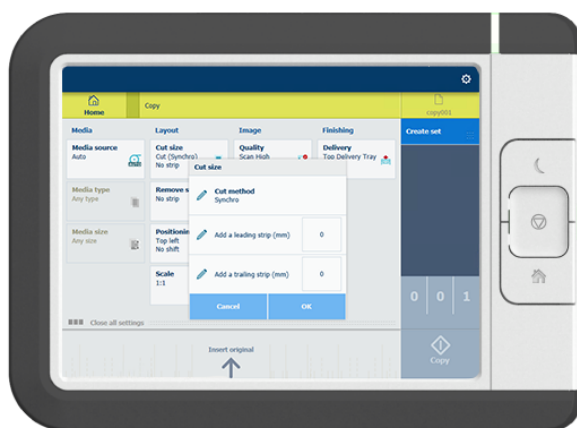
コピーを作成すると、文書に余白を追加できます。

[カット サイズ] を使用して、余白なしの原稿をコピーして、コピーに余白を追加することができます。コピーの先端または後端に余白を追加することができます。



メモ

カット サイズの設定については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(215 ページ\)](#)」を参照してください。



手順

1. 原稿を上向きにして、原稿給紙テーブルの中央にセットします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットの下にある [カット サイズ] をタップします。



5. [先端余白の追加] または [後端余白の追加] をタップし、値を定義します。
6. 設定を行い、[OK]をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

結果

先端または後端に余白が付いた文書がプリントされます。

コピーを作成して余白を削除する

はじめに

コピーしたくない部分のある原稿がある場合、コピーから余白を削除することができます。

操作パネル上のオプションを使用し、余白付きの原稿をコピーして、コピーから余白を削除します。原稿の先端、後端、左側および右側から余白を削除することができます。

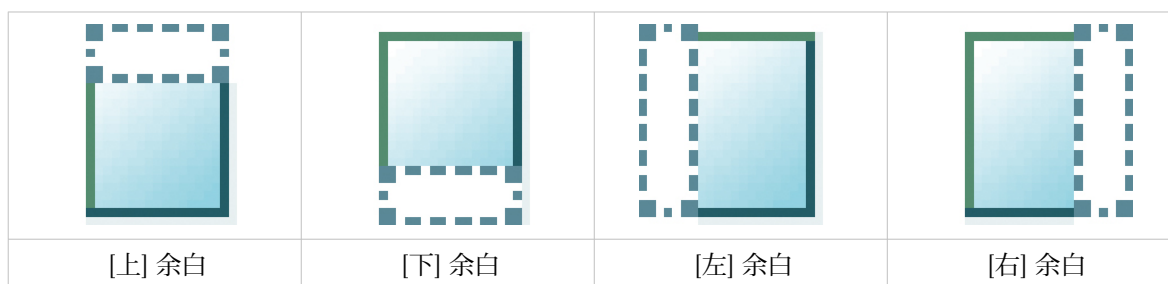


メモ

- カット サイズの設定については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(215 ページ\)](#)」を参照してください。
- この設定を使用して、原稿の特定の領域をコピーすることもできます。詳細については、[原稿の特定の領域のコピーを作成する \(232 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [余白の消去] をタップします。



5. [上]、[下]、[左] または [右] を選択して、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

原稿の特定の領域のコピーを作成する

はじめに

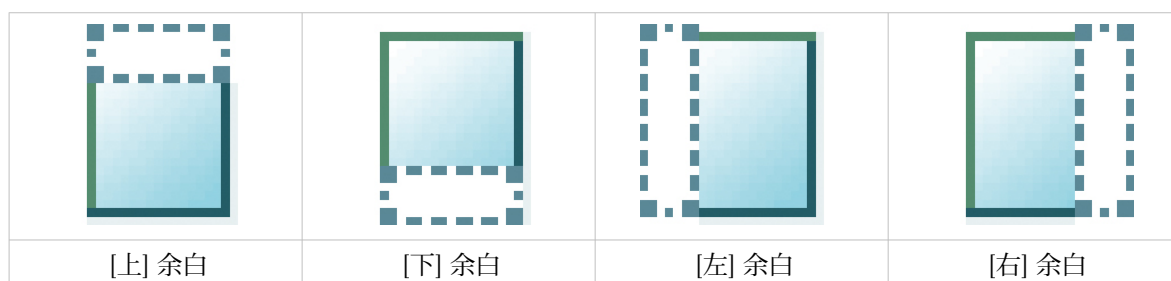
原稿の特定の領域のコピーを作成することができます。 オプション [余白の消去] を使用して、特定の領域をコピーします。



メモ
カット サイズの設定については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(215 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。 プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。 設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [余白の消去] をタップします。



5. [上]、[下]、[左] または [右] を選択して、特定の領域の値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. [位置決め] をタップしてから、[アラインメント] をタップします。
8. リストから [中央] を選択して、[OK] をタップします。
9. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

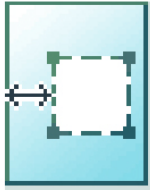
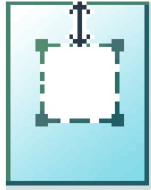
コピーを作成して原稿の特定の領域を削除する

はじめに

コピーを作成して原稿の特定の領域を削除することができます。以下の2つの設定を使用できます。[消去する領域: 幅] および [消去する領域: 長さ]。削除領域の寸法を定義します。また、以下の2つの設定を使用できます。[消去する領域:X 原点] および [消去する領域:Y 原点]。シートの削除領域の相対位置を定義します。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [消去する領域] をタップします。

			
[消去する領域:X 原点]	[消去する領域:Y 原点]	[消去する領域: 幅]	[消去する領域: 長さ]

5. [消去する領域:X 原点]、[消去する領域:Y 原点]、[消去する領域: 幅] または [消去する領域: 長さ] を選択して、特定の領域の値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

コピーを作成して別のサイズにスケールする

はじめに

コピーを別のサイズにスケールする場合、詳細設定で変更を実行できます。カスタム設定を使用すると、10 ～ 1000% の範囲で任意のスケール パーセンテージを選択することができます。



メモ

他のスケール モードについては、「[コピー ジョブの詳細設定 \(215 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [スケール] をタップします。
5. 新しいウィンドウで [スケール] をタップして、[カスタム] を選択します。
6. [カスタム] で 10 ～ 1000% の範囲で任意のパーセンテージを選択します。
7. 設定を指定した後、[OK] をタップします。
8. コピー部数を入力して、グリーン ボタンをタップします。

濃い原稿のコピーの作成 (青焼き)

はじめに

青焼き原稿から高品質のコピーを作成するのは困難な場合があります。明るさが変化する「濁った」背景のある青焼き原稿では、不明瞭な出力となる場合があります。colorWAVE T60 には特別な[ジアゾ]プリセットがあります。原稿の明るさと背景の変化に合わせてコピーし、均一で高品質な出力に仕上げます。

始める前に

変化する「濁った」背景のある原稿には、[ジアゾ] モードを使用します。

濃いまたは薄い青焼き原稿や、変化する背景のあるその他の濃いまたは薄い原稿は、[ジアゾ] モードでコピーできます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [イメージ]プリセットをタップします。
4. [ジアゾ]をタップします。
5. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

強調表示されたカラーが含まれた原稿のコピーの作成

はじめに

カラーが際立っていたり強調表示されていたりする原稿を使用する場合、強調表示がまだ見える状態の高品質のコピーを作成するのは困難な場合があります。colorWAVE T60 には、特別な設定 [カラー強調表示] が用意されており、原稿の際立ったカラーを白黒またはカラーで強調表示します。コピーには、カラー原稿と同様の強調表示および品質が実現されます。



メモ

- [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。
- [カラー モード] が [グレイスケール] に設定されている場合、原稿のグレイスケール情報よりもカラーが暗くコピーされます。
- 以下の原稿の種類には設定は無効になります、[写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント]。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [イメージ] をタップします。
5. [カラー強調表示] をタップします。
6. [オン] を選択して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

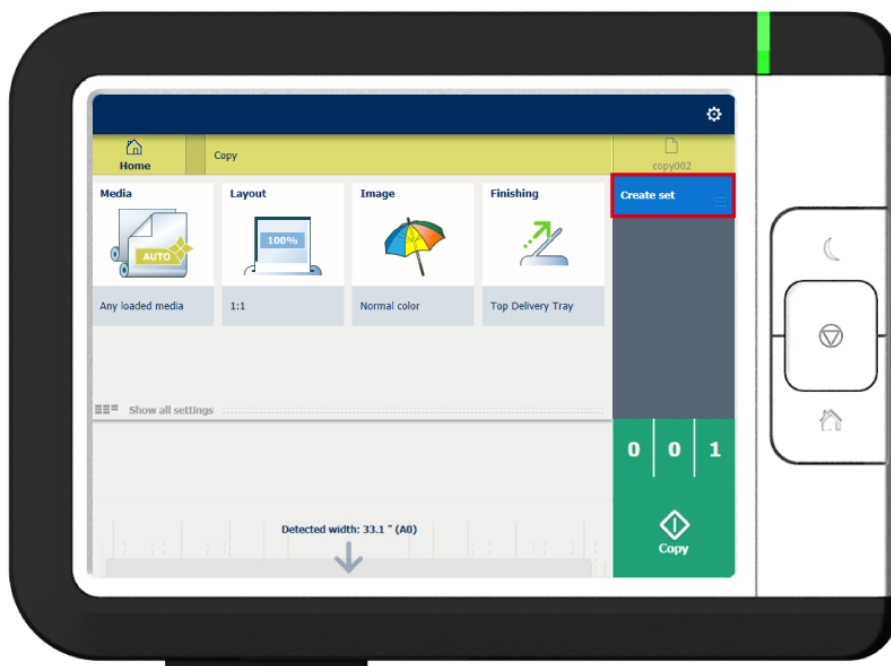
セットごとのコピー

はじめに

[セットの作成] オプションを使用すると、複数のスキャンを行って 1 つのセットでコピーすることができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。



3. 右側のジョブペインで、[セットの作成] をタップします。グリーン ボタンの色が変化し、[追加] が表示されます。
4. グリーン ボタンをタップして、スキャン処理を開始します。
5. プリンタが原稿をリリースしたら、次の原稿を挿入します。
6. グリーン ボタンをタップします。スキャンがセットに追加されます。セットが完了するまでこの手順を繰り返します。
7. [セットの終了] タイルをタップして、セットを完了します。

結果

プリンタは原稿のセットをコピーします。

スキャンジョブ

デフォルトのスキャンジョブを実行する

はじめに

原稿をスキャンする際に設定を指定しない場合、デフォルトのテンプレートが使用されます。ジョブを送信するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるテンプレート設定の概要を表示できます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルを選択します。スキャン Smart Access が表示されます。



3. Smart Access で指定したテンプレートを選択して、グリーン ボタンをタップします。



メモ

スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

結果

ファイルへのスキャンが実行され、テンプレートに定義した場所へ送信されます。

また、操作パネル上の「[最近のスキャン]」の下でジョブを確認することもできます。ファイルを表示またはプリントするには、これを開きます。

操作パネルでのスキャン テンプレート

はじめに

テンプレートとは、自分で構成できる事前定義された設定のグループです。ユーザー パネルでテンプレートを選択すると、最適化された設定で簡単にジョブを送信できます。

スキャン テンプレート ワークフロー

プリンタは、WebTools Express 内で構成されるスキャン テンプレートを使用します。いくつかのテンプレートは工場インストールされており、操作パネルにデフォルトで表示されます。最初に、テンプレートの使用法をニーズに合わせてカスタマイズできます。

- 新規テンプレートを作成します。詳細については、[新規テンプレートの作成 \(117 ページ\)](#) を参照してください。
- 操作パネルでテンプレートを使用可能にします。詳細については、[スキャン テンプレートを有効または無効にする \(122 ページ\)](#) を参照してください。

次に、原稿をスキャナに挿入します。スキャン タイルをタップします。

Smart Access 内でテンプレートを選択します。スキャン保存先もテンプレート内で定義されることに注意してください。

スキャンジョブの詳細設定

はじめに

マルチタッチ操作パネルでスキャン タイルをタップすると、テンプレートを選択できます。

テンプレートを選択し、再びタップすると、すべての設定が表示されたウィンドウが開きます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。



メモ

圧縮モードおよび構成の値は、選択するカラー モードとファイルの種類に従って変更されます。状況によっては、あるいは一部のファイルの種類においては、圧縮と構成の設定を指定することができません。この詳細については、[ファイルの種類 \(250 ページ\)](#) を参照してください。

カテゴリ：[ファイル]

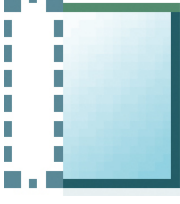
設定	設定値	設定値	機能
[ファイルの種類]	[ファイルの種類]	[TIFF] [PDF] [PDF/A] [JPEG] [CALS]	[スキャンされたイメージのファイルの種類。ファイルの種類のリストは、スキャンをカラー、グレースケール、白黒のどれで行うかによって異なります。白黒でスキャンする場合は、CALS のみを使用できます。白黒でスキャンする場合は、JPEG を使用できません。] 
	[圧縮]	[自動] [LZW] [Flate] [Packbits] [JPEG] [なし]	TIFF または PDF へのスキャン時の圧縮の種類は、選択した[ファイルの種類]によって決まります。
	[JPEG 品質]	[最高] [高] [中] [低]	[JPEG にスキャンする際のイメージ品質。品質を下げると圧縮が大きくなり、ファイル サイズが小さくなります。]
	[構成]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[TIFF でスキャンする際のファイル構成。]

設定	設定値	機能
[解像度]	[100] [200] [300] [400] [600]	[スキャンされたイメージの dpi 単位の解像度。] 
[カラー モード]	[カラー] [グレースケール] [白黒]	[カラー、グレースケールまたは白黒スキャンのいずれかを指定する必要があります。「カラー モード」と「ファイルの種類」の組み合わせのうち一部が無効です。「カラー モード」を変更すると、「ファイルの種類」、「TIFF 圧縮」、「PDF 圧縮」がリセットされる場合があります。] 

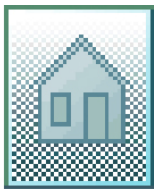
カテゴリ：[原稿]

設定	設定値	機能
[原稿の種類]	[折られた線/テキスト] [線/テキスト] [地図] [カラーの原稿] [アートワーク] [写真] [ブルー プリント] [濃い原稿]	使用する原稿の種類を定義します。選択は選択した [カラー モード] によります。適切な原稿の種類を選択については、「 原稿の種類 (226 ページ) 」を参照してください。 

設定	設定値	機能
[原稿の幅]	[自動]	原稿の幅は、スキャナによって自動的に検出されます。 
	[定型]	原稿の幅は、定型サイズになります。 使用可能な定型サイズを選択。   メモ WebTools Express で構成した用紙の種類およびサイズによります。
	[カスタム]	原稿の幅は、カスタム サイズになります。 210 ～ 914mm あるいは 8.5 ～ 36 インチの範囲でサイズを入力することができます。 

設定	設定値	機能
[余白の消去]	[上の余白の削除]	[原稿の上部から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[下の余白の削除]	[原稿の下部から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[左の余白の削除]	[原稿の左側から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[右の余白の削除]	[原稿の右側から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
[ミラー]	[オン] [オフ]	「[オン]」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。 スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン] に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。 

カテゴリ：[クオリティ]

設定	設定値	機能
[スキャン品質]	[自動] [通常] [高]	スキャンの品質を定義します。 • [自動] は、ジョブに対して最高のスキャン品質の値を自動的に選択するデフォルト値です。 • より高い解像度でスキャンするには、[高] を選択します。これは、グレイやカラー領域を含む原稿でモアレパターンを防止します。 • プリント生産性が重要な要因である場合、[通常] を選択します。 純粋な CAD 原稿に対しては、ほとんどの場合 [通常] で十分です。
[薄い/濃い]	-5 ～ 5 の値	スキャンの明るさとコントラストを定義します。明るいプリントには大きい値、暗いプリントには小さい値を設定します。 スキャンを暗くすると、背景にはあまり影響しませんが、情報が暗くなります。スキャンを明るくすると、弱い情報が白くクリップされません。
[背景補正]	[オン] [オフ] [自動]	イメージのバックグラウンド ノイズを低減します • デフォルト設定は [自動] です。選択した [原稿の種類] に応じて、地肌補正は自動的に適用されたり適用されなかったりします。 • [自動] または [オン] を選択して、[オフ] を上書きします。 適用される地肌補正方法は選択された用紙の種類によります。 
[カラー強調表示]	[オン] [オフ]	[オン] に設定します。 • マーカー ペンによる書き込みを見やすくする場合。 • カラーの情報が入った CAD 図面のカラーを強調し、背景情報はグレイスケール (ブラック) のみにする場合。  メモ • [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。 • [カラー モード] が [グレイスケール] に設定されている場合、原稿のグレイスケール情報よりもカラーが暗くスキャンされます。 • 以下の原稿の種類には設定は無効になります、[写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント]。

カテゴリ：[ワークフロー]

設定	設定値	機能
[保存先]	[種類]	スキャン先の場所を選択します。 詳細については、 場所の設定（123 ページ）
[スキャン名]		キーボードを使用してスキャンファイル名を変更します。
[プリントのチェック]	[オン] [オフ]	スキャンしたイメージのプリントを作成するには、[オン]にセットします。

スキャンジョブの推奨設定

はじめに

特定の種類の原稿文書を使用する場合、特定のテンプレートと、ジョブの品質と生産性に影響する設定を選択できます。最良の結果を得るには、以下の表の推奨設定を使用してください。

ワークフロー

- 最初に、ジョブに最適なテンプレートを選択します。以下の表に、工場でインストールされたスキャンテンプレートを紹介しています。
システムには 11 種類のスキャンテンプレートが工場でインストールされています。また、新しいスキャンテンプレートは WebTools Express で作成できます。最初の 5 種類の工場でインストールされたテンプレートは、インストールすると操作パネルに表示されます。テンプレートは WebTools Express から有効または無効にできます。詳細については、「[新規テンプレートの作成 \(117 ページ\)](#)」および「[スキャンテンプレートを有効または無効にする \(122 ページ\)](#)」を参照してください。
- 設定をさらに最適化したい場合は、操作パネルでスキャンタイルをタップし、詳細設定を選択できます。画像処理を調整することで出力品質を最適化したい場合は、ジョブに対応する [原稿の種類] を選択できます。詳細については、「[スキャンジョブの詳細設定 \(240 ページ\)](#)」および「[原稿の種類 \(248 ページ\)](#)」を参照してください。

推奨設定

スキャンテンプレート	原稿文書
[01 - Fast CAD B/W]	白黒 CAD 図面。生産性または小さいファイルサイズが重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある白黒 CAD 原稿には、[CAD 白黒] テンプレートを選択します。
[02 - CAD B/W]	白黒 CAD 図面。品質が重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[03 - Fast Color]	幅広いカラー原稿を高生産性でスキャン。 大面積の塗りつぶしがある原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[04 - Color]	高品質のカラースキャンを行うために、ほとんどすべてオリジナル。 画質設定は、色の正確さと細かい情報の強調の間でバランスが取れており、背景は抑えられています。
[05 - CAD color]	品質とファイルサイズが重要な要素である場合のカラー CAD 図面。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[06 - Fast CAD color]	生産性やファイルサイズが重要な要素である場合のカラー CAD 図面。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[07 - Diazo B/W]	ジアゾ原稿や青焼など、さまざまな背景の CAD 原稿。白黒スキャンを作成する場合に使用します。
[08 - CAD with foldings]	折りのあるモノクロームの CAD 原稿。白黒スキャンを作成する場合に使用します。
[09 - CAD color to B/W]	モノクロスキャンする、カラー CAD 図面、地図、ビジネスグラフィック、その他。

スキャン テンプレート	原稿文書
[10 - CAD color + highlight]	マーカーペンでマークしたカラー CAD 図面。 カラーがより飽和します。
[11 - Photo color]	高い色精度で写真のようなオリジナル。

原稿の種類

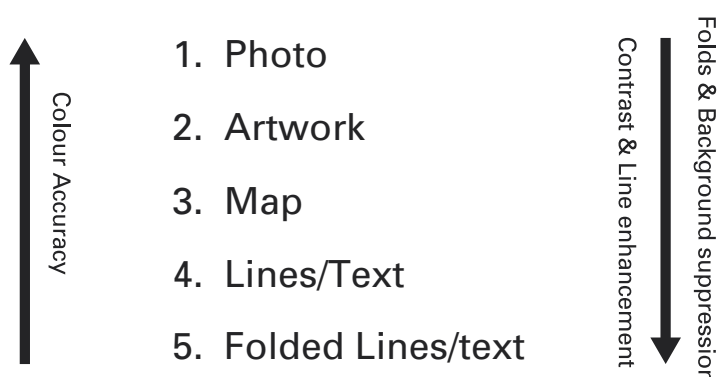
はじめに

操作パネルでスキャン タイルをタップし、[原稿] - [原稿の種類] 設定を選択すると、ジョブの品質をさらに最適化することができます。

原稿の種類をカラーまたはグレイスケールに変更します。概要を参照して適切な種類を選択します。

カラーの原稿の種類

- 原稿の種類を [写真] から [折られた線/テキスト] に変更すると、線画およびコントラストのエンハンスメントは増加し、折りおよび背景はより抑制されます。
- 原稿の種類を [折られた線/テキスト] から [写真] に変更すると、色精度が増します。



原稿の種類	定義
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはアートワークよりも穏やかなコントラストを提供します。
[アートワーク]	カラー領域の境界および色間の移行がよりはっきりしたアートワークのようなカラー原稿に使用します。
[地図]	カラー領域が大きく、同時に線画や細かい詳細もあるような原稿に使用します。 このモードは、広範囲の原稿に対し、色精度と線画をエンハンスメントする上で最適なバランスをとります。
[線/テキスト]	CAD 図面に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[折られた線/テキスト]	折りのある CAD 図面に使用します。 線画およびしわは抑制されます。

グレイスケールの原稿の種類

原稿の種類	定義
[線/テキスト]	モノクロームの CAD 図面に使用します。
[カラーの原稿]	カラー CAD 図面など、ほとんどのカラー原稿に使用します。
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。
[濃い原稿]	特に青焼きプリントに使用します。 変化する「濁った」背景のある原稿。

原稿の種類	定義
[折られた線/テキスト]	折りのあるモノクロームの CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。折りのあるカラーの CAD 図面には、[カラーの原稿] を使用します。
[ブルー プリント]	青い背景上に白い線を使用した典型的な反転原稿に使用します。

ファイルの種類

はじめに

スキャン テンプレートを作成する時またはスキャンを行う時に選択したカラー モードおよびファイルの種類によって、圧縮モードおよび構成の値が変更されます。一部のファイルの種類および一部の状況では、圧縮および構成の設定を指定できません。以下のリストは適切なファイルの種類およびカラー モードを定義するのに役立ち、どの圧縮および構成設定が可能であるのかを示しています。



メモ

操作パネルおよび WebTools Express で自動圧縮値を設定できます。選択されたファイルの種類に応じて、最も一般的な圧縮方法がコントローラによって選択されます。

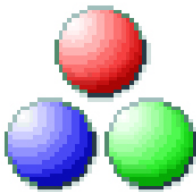
自動圧縮値は下記から確認できます:

- 操作パネル上のスキャン タイルの下部。スキャン タイルを 2 回タップし、「[ファイルの種類]」を選択します。
- WebTools Express のスキャンテンプレート。

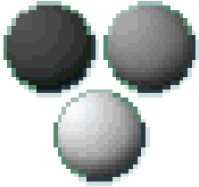
次の場所で自動圧縮値を設定します:

- [PDF 圧縮] (PDF が選択された場合)
- [PDF/A 圧縮] (PDF/A が選択された場合)
- [TIFF 圧縮] (TIFF が選択された場合)

カラー モード: カラー

[カラー モード]	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
	[TIFF]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[LZW] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF]	該当なし	[Flate] [LZW] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[PDF/A]	該当なし	[Flate] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[JPEG]	該当なし	該当なし	[最高] [高] [中] [低]

カラー モード: グレースケール

[カラー モード]	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
[グレースケール] 	[TIFF]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[LZW] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF]	該当なし	[Flate] [LZW] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[PDF/A]	該当なし	[Flate] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[JPEG]	該当なし	該当なし	[最高] [高] [中] [低]

カラー モード: 白黒

[カラー モード]	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
[白黒] 	[TIFF]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[グループ 4] [グループ 3] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF]	該当なし	[グループ 4] [LZW] [Flate] [なし]	該当なし
	[PDF/A]	該当なし	[グループ 4] [Flate] [なし]	該当なし
	[CALS]	該当なし	該当なし	該当なし

スキャンを作成して余白を削除する

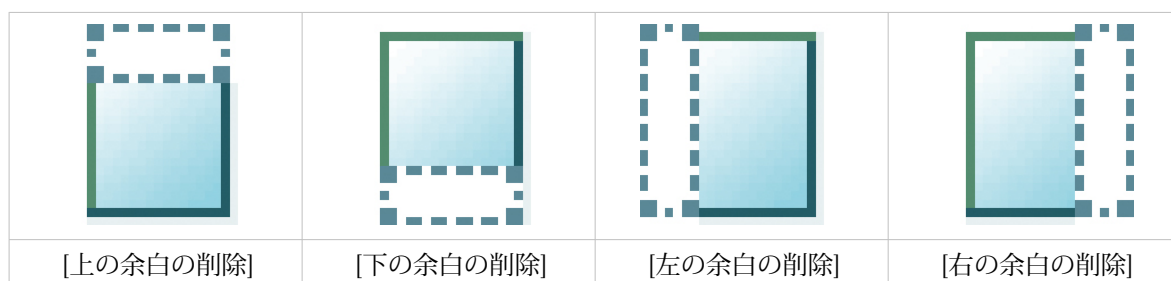
はじめに

余白付きの原稿がある場合、スキャン済みファイルから余白を削除することができます。

操作パネル上のオプション [余白の消去] を使用し、余白付きの原稿をスキャンして、ファイルから余白を削除します。原稿の先端、後端、左側および右側から余白を削除することができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルをタップし、スキャン Smart Access 内で指定したテンプレートを選択します。
3. スキャン タイルをもう一度タップします。
4. 「[原稿] (原稿)」カテゴリで「[余白の削除] (余白を削除)」をタップします。



5. [上の余白の削除]、[下の余白の削除]、[左の余白の削除] または [右の余白の削除] を選択して、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. グリーン ボタンをタップします。

結果

プリンタは、定義された余白なしで原稿をファイルにスキャンします。テンプレートに定義した場所にファイルが送信されます。

USB キーへのスキャン

はじめに

ユーザ パネルに USB キーを差し込むと、USB にスキャンできます。

始める前に

- USB にスキャンする前に、適切な設定が有効になっていることを確認してください。詳細については、[USB の有効化または無効化 \(124 ページ\)](#) を参照してください。
- ジョブを送信しやすいように、USB を保存先とするテンプレートを作成できます。詳細については、[新規テンプレートの作成 \(117 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. ユーザ パネルの USB ポートに USB キーを差し込みます。
スキャン タイルが操作パネルで自動的に選択されます。USB を保存先とするテンプレートを選択するか、または保存先を USB に変更します。
3. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。



メモ

USB ポートのライトの点滅が停止するまで待機してから、USB キーを取り外します。

結果

ファイルへのスキャンが実行され、USB キーに保存されます。USB キーからファイルを取得できます。

ホームフォルダへのスキャン

はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にすると、安全な場所としてホームフォルダにプリントまたはスキャンジョブを送信できます。



メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な自分用の安全な外部の場所です。

始める前に

構成された [ユーザー認証] を使用して [ユーザー名とパスワード] を有効にし、まず場所としてホームフォルダを有効にします。詳細については、[ホームフォルダの有効化および編集（125 ページ）](#) を参照してください。

手順

1. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用してプリンタ操作パネルにログインします。
2. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
3. スキャン タイルを選択します。
4. ホームフォルダを保存先とするテンプレートを選択するか、または保存先をホームフォルダに変更します。
5. グリーン ボタンをタップして、スキャンジョブを開始します。

終わった後に

ファイルはネットワーク上の自分用の場所へ送信されます。典型的な構成では、ファイルはワークステーション上のホームドライブの下にあります。

モバイル デバイスにスキャン済みドキュメントを保存する

はじめに

Publisher Express にアクセスできる場合、プリンタでドキュメントをスキャンして、モバイル デバイスに保存することができます。

始める前に

有効な接続があることを確認します。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルを選択します。スキャン Smart Access が表示されます。
3. Smart Access で、指定したテンプレートを選択し、「Smart Inbox 」が保存先として設定されていることを確認します。
4. グリーン ボタンをタップします。
スキャン済みファイルが、選択した Smart Inbox に送信され、WebTools Express および Publisher Express に表示されます。
5. モバイル デバイスで Publisher Express を開きます。
6. 指定した Smart Inbox セクションを開きます。スキャンされたファイルがここに表示されます。
Smart Inbox セクションは、数秒で自動的に更新されます。
7. ファイルを選択して、[保存] アイコンをクリックします。
8. モバイル デバイスのフォルダを参照して、[OK] をクリックします。



メモ

保存場所またはフォルダは、モバイル デバイスのブラウザによって決定される場合があります。

一部のモバイル デバイスのブラウザでは、保存時にファイル名または拡張子を変更される場合があります。

結果

ファイルがモバイル デバイスに保存されます。

プリンタのインボックスからファイルを削除するには、[削除] アイコンをクリックします。

プリント ジョブ - ジョブ送信ツール

Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する

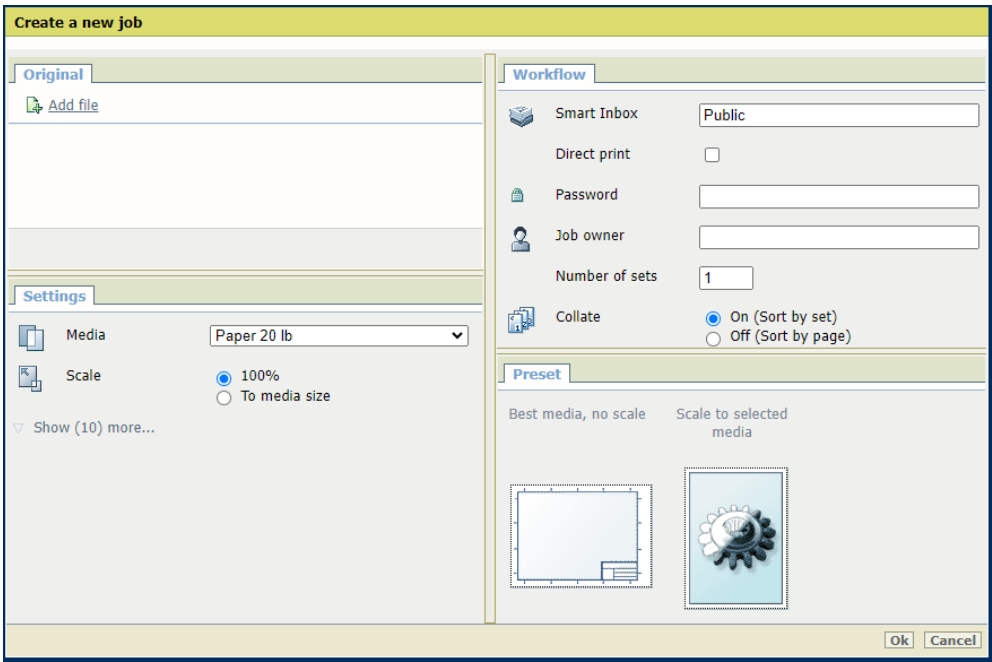
はじめに

Publisher Express は、WebTools Express に統合されているジョブ サブミッタです。



メモ

Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する場合、ジョブの最大サイズは 2 GB となります。



手順

手順	処置	注意事項
1	[ジョブ] - タブを開きます。	このタブには次の項目が表示されます。 • Publisher Express セクション • ジョブキューとスキャンキューで現在利用可能なすべてのジョブの概要。 • 現在 1 つまたは複数のジョブが含まれているすべての Smart Inboxes の概要です。
2	Publisher Express セクションで [新しいジョブの作成] をクリックします。	新しいウィンドウが開きます。

手順	処置	注意事項
3	[ファイルの追加] をクリックし 参照... ボタンを使って印刷したいファイルを選択します。 この操作を繰り返し、必要な数のファイルをジョブに追加します。	次のデータ フォーマットの文書のみをプリントできます。他のフォーマットを使用する場合、ファイルはプリンタに送信できません。 • HP-GL - .hp, .hpg, .hpgl • HP-GL/2 - .hp2 • HP RTL - .rtl • CALS - .cls, .cal • NIRS - .nir, .nif • CalComp - .cc, .906, .907, .951, .crf, .pci • Edmics (C4) - .c4 • TIFF - .tif • PostScript 3 - .ps (licensed) • PDF - .pdf (licensed) • JPEG - .jpg, .jpeg
4	[事前設定] を選択し、必要に応じて [設定] を変更します。	Publisher Express で変更したジョブ設定は、常に WebTools Express で定義されたデフォルト設定を上書きします。
5	[ワークフロー] セクションに、プリント先のスマート インボックスの名前を入力します。	新しい Smart Inbox の名前を入力すると、簡単に新しい Smart Inbox を作成することができます。
6	設定によっては、以下のことができます： • 「[ダイレクト プリント]」を選択します。 • [パスワード] を入力してジョブを確保します。パスワードは 4 文字以上でなければなりません。	[ダイレクトプリント]と[パスワードプリント]は互いに排他的です。
7	Smart Inbox にプリント ジョブを送信するには、[OK] をクリックします。	

Smart Inbox を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

WebTools Express ですでに Smart Inbox にジョブを追加している場合は、Smart Inbox でこのジョブを印刷できます。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。



メモ

Smart Inbox を作成する方法については、[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(84 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. WebTools Express の [ジョブ] タブを選択します。
2. 「Smart Inbox を開く」をクリックします。
3. 白いフィールドをクリックし、正しい Smart Inbox を選択します。
4. ジョブを選択して、[プリント] をクリックします。ジョブがキューにコピーされます。

PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

PRISMAproduce Tech は、colorWAVE T60 用のジョブを作成、プレビュー、プリントおよび管理するためのジョブ送信アプリケーションです。

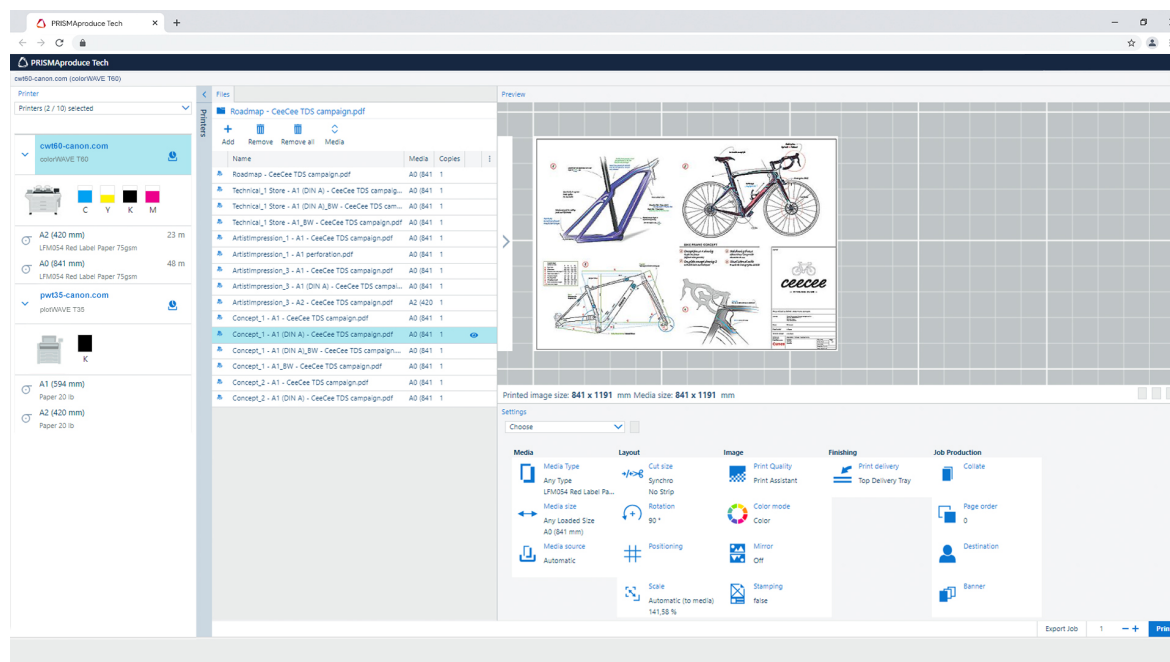


メモ
製品ページの下の <http://downloads.cpp.canon> で PRISMAproduce Tech ソフトウェアをダウンロードできます。ここでは、詳細情報に関する操作ガイドもダウンロードできます。

PRISMAproduce Tech

PRISMAproduce Tech は次の作業を行う際に使用します。

- プリンタへの接続。
- アプリケーション設定をプリファレンスに設定。
- プリンタで使用可能なメディアとトナーを確認してください。
- ジョブの作成。
- ジョブをプリンタに送信。



PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する

1. PRISMAproduce Tech を起動してプリンタに接続します。
ホーム画面が開きます。
2. 画面の左側で、使用可能なトナーとメディアのプリンタステータスを確認します。
3. テンプレートを選択するか、またはカスタム テンプレートを作成して選択します。
4. ジョブに文書を追加します。
5. ジョブの文書を選択し、プリント設定を確認または調整できます。
6. プリント プレビューを確認します。
7. 印刷ボタンをクリックし、ジョブを印刷します。
8. 送信済みジョブ リストで送信済みジョブを追跡し、管理します。

Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する

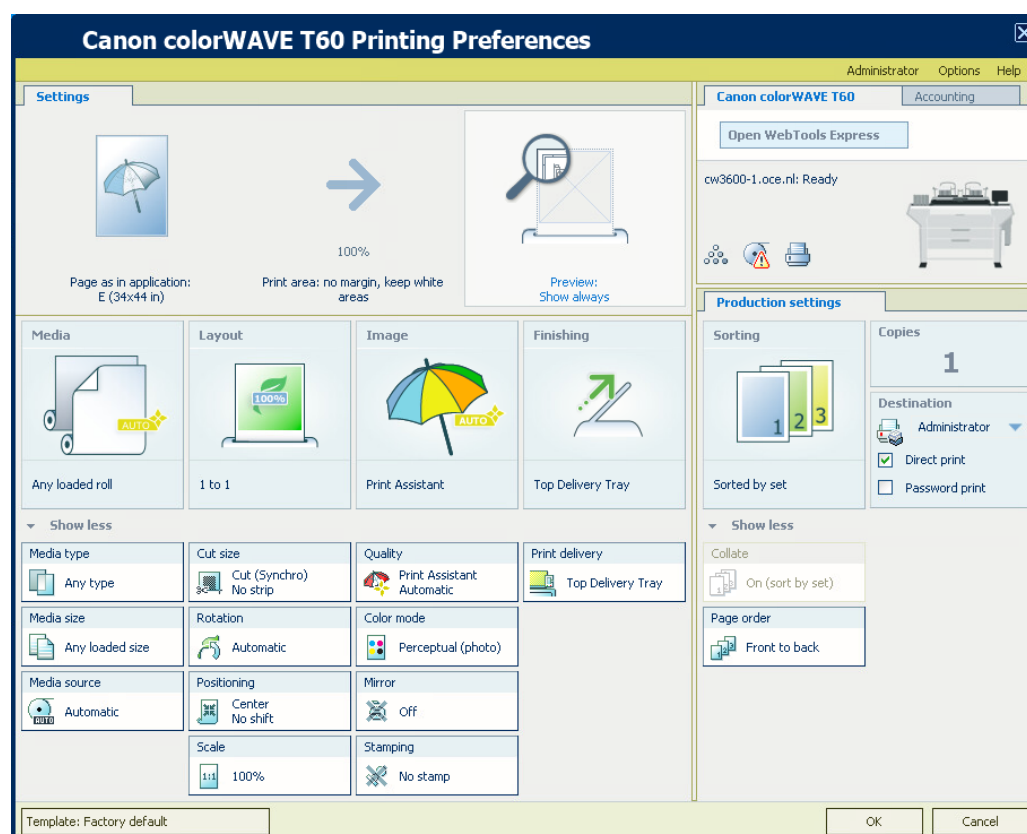
はじめに

Driver Select for Microsoft® Windows® は、ご使用のプリンタ用のジョブを作成、プレビュー、プリントおよび管理できる、混合ラスター-ベクタ HP-GL/2 プリンタ ドライバです。



メモ

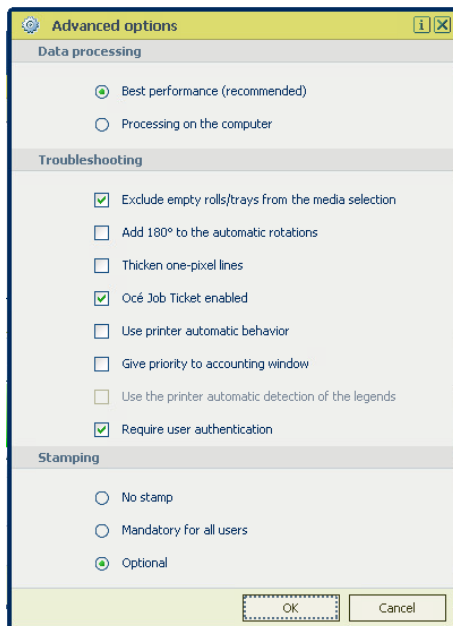
Driver Select for Microsoft® Windows® の詳細については、downloads.cpp.canon に移動し、ご使用の製品を選択してください。



手順

1. プリントするファイルをソース アプリケーションで開きます。
AutoCAD® またはその他の任意の Windows アプリケーション
2. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。
3. [プリント] ダイアログボックスの [プリンタ] エリアでプリンタの製品名を選択します。
4. [プロパティ] をクリックします。
WebTools Express でデフォルトのプリント ジョブ設定を定義することができます。

5. 画面の右上角の [オプション] メニューで、[詳細オプション] を選択します。ジョブ設定のデフォルト値を無効にするには、[トラブルシューティング] セクションの [Océ Job Ticket 有効] ボックスをチェックします。



6. プリンタ ドライバのすべてのタイルを確認し、必要に応じて設定を変更します。
7. [Smart Inbox] またはプリント キューにプリント ジョブを送信するには、[OK] をクリックします。

Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ を使用してプリント ジョブを送信する

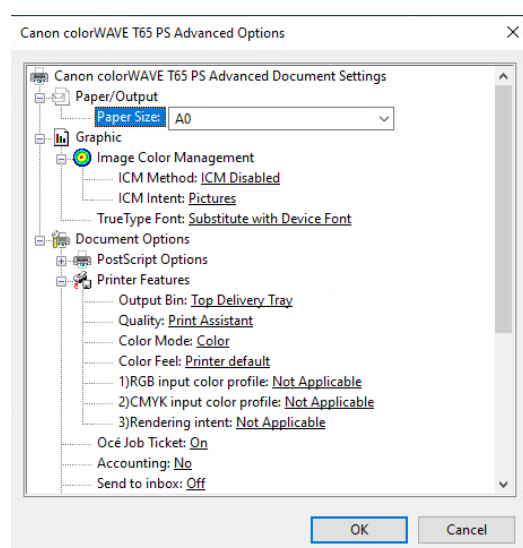
はじめに

キヤノンの Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ は、印刷ジョブをプリンタに送信することができます。

macOS 環境と Windows 環境に対応したドライバで、PostScript データを生成します。

例えば、プレビューがない、プリンタの設定を確認できない、パスワード印刷ができないなどです。

プリンタで PostScript ファイルをプリントするには、別途ライセンスが必要です。



手順

1. プリントするファイルをソース アプリケーションで開きます。
2. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。
3. [プリント] ダイアログボックスの [プリンタ] エリアでプリンタの製品名を選択します。
4. [プロパティ] および [詳細] をクリックします。
「プロパティ」を選択して、プリント ジョブの設定を行うことができます。
5. ジョブ設定のデフォルト値を無効にするには、Job Ticket を有効にします。
6. 必要に応じてプリンタ機能の設定を確認および変更します。
7. Smart Inbox またはプリント キューにプリント ジョブを送信するには、[OK] をクリックします。

Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

Publisher Mobile は、iPhone、iPad、または Android デバイスを介して、簡単に印刷ジョブをプリンタに送信できるアプリケーションです。

ユーザーは、すべての PDF*、PLT (HPGL1/2)、TIFF、JPEG および DWF* をプロットすることができます。

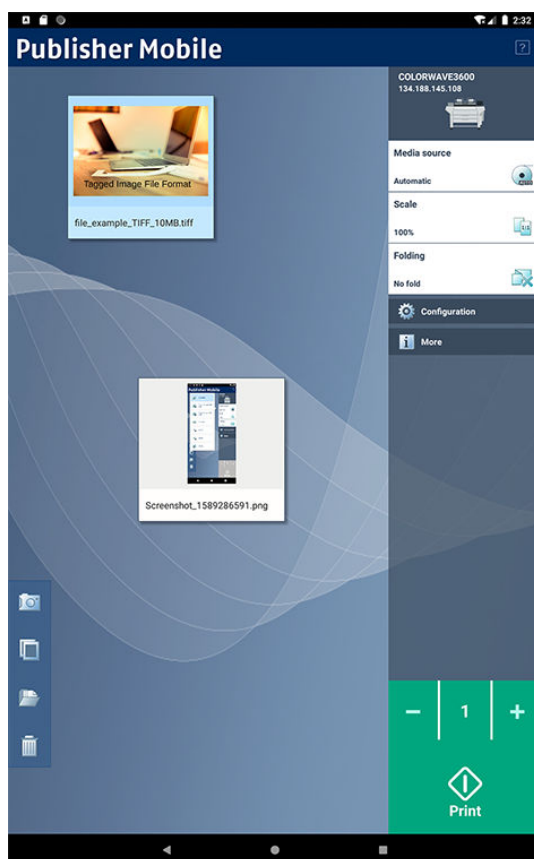


メモ

* ご使用のシステムやアクティブなライセンスによって、サポートされるファイルの種類は異なる可能性があります。

始める前に

Android デバイスの場合は Play Store から、iOS デバイスの場合は App Store から Publisher Mobile をダウンロードします。



手順

Publisher Mobile にプリンタを追加する

手順	アクション	注意事項
1	モバイル デバイスで Publisher Mobile を開きます。	
2	プリンタ ボタンをタップします。	Publisher Mobile により、ネットワーク内で使用可能な互換性のあるプリンタが検出されます。
3	「接続」アイコンで示される検出されたプリンタがプリンタ リストに追加されます。	プリンタが検出されない場合は手動で追加することができます。 「追加」プリンタ ボタンをタップします。
4	プリンタ リストから、プリンタを選択します。	
5	プリンタ名の横の「設定」アイコンをタップします。	プリンタ設定ウィンドウが開きます。
6	プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力する	
7	プリンタについて設定を追加します。	• 名前の入力 • プリンタ モデルのチェックまたは定義 • ロール数の定義 • 折り機の有無の指定
8	設定を保存します。 プリンタが追加されます。	 メモ WebTools Express を開くことも可能です。 設定のウィンドウでハイパーリンクをタップします。 これは以下の場合に便利です。 -プリンタ ステータスを確認する -アカウント情報を入力する -Smart Inbox を表示する -エラーが発生しているかどうかを表示する

Publisher Mobile からプリント ジョブを送信する

手順	アクション	注意事項
1	Publisher Mobile でプリントするファイルを開きます。	
2	ご使用のプリンタを選択します。	
3	必要なプリント設定を定義します。	選択可能な主な設定: • 用紙ソース • スケール • 折り
4	コピー部数を表示します。	
5	グリーン ボタンをタップする。	ジョブがプリンタに送信されます。

モバイル デバイスからのプリント

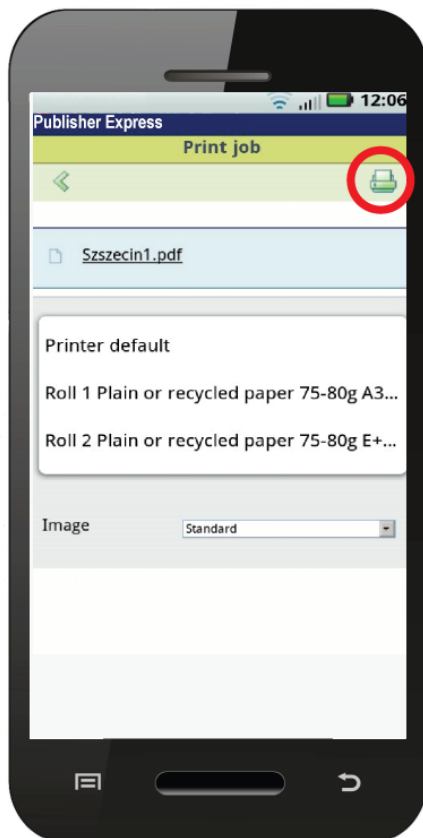
はじめに

Publisher Express にアクセスできる場合、モバイル デバイスからのファイルをプリンタでプリントすることができます。



メモ

- モバイル デバイスのファイル レポジトリを参照することができます。必要に応じて、ファイル エクスプローラ アプリケーションをインストールします。詳細については、Canon Production Printing Web サイトを参照してください。
- 有効な接続があることを確認します。
- システムでアカウント情報が必要な場合は、プリント ジョブが WebTools Express の [モバイル] という名前の Smart Inbox に送信されます。ジョブはプリントされません。ワークステーションから WebTools Express に接続します。ジョブをプリントするには、アカウント情報を入力します。



手順

1. [プリント] セクションに移動し、[新しいジョブ] を選択します。
[プリント ジョブ] ウィンドウが表示されます。
2. [ファイルを選択してください] をクリックします。
3. プリントするファイルを参照して、「開く」をクリックします。

4. プリント ジョブの設定を定義して、「OK」をクリックします。
5. 設定の指定後、右上のプリンタ アイコンをクリックします。ジョブがプリンタに送信されます。

結果

ドキュメントがプリントされます。プリント中は、プリント ジョブが操作パネルおよび WebTools Express のジョブ キューに表示されます。

FTP を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

プリンタは、FTP 経由のプリントをサポートしています。

FTP 経由で印刷ジョブを送信し、ジョブチケットがない場合、デフォルトの WebTools Express 設定がリードされます。



メモ

- WebTools Express で、FTP 経由でのプリントを有効にする必要があります。
- 操作パネルで FTP 経由の外部の場所を作成する方法については、[外部の場所の作成 \(127 ページ\)](#)を参照してください。

始める前に

操作パネルでプリンタのネットワーク設定と IP アドレスを検索します。

システム メニューのサムネイルをタップし、リスト内で [ネットワーク設定] を選択します。必要な情報が含まれたウィザードが開きます。

FTP 経由でプリント ジョブを送信するには

以下の手順を使用して、FTP 経由でファイルをプリントできます。

- コマンド ライン プロンプト経由
- FTP アプリケーション経由、または
- Windows ファイル エクスプローラ経由
 - Windows ファイル エクスプローラに、「**ftp://<ホスト名または IP アドレス>/ジョブ**」と入力します。

プリンタには専用の FTP ジョブ フォルダがあります。このフォルダは削除または変更できません。インストール時に作成され、保護されます。FTP 経由でファイルをプリントする最も簡便な方法は、Windows ファイル エクスプローラにある [ジョブ] フォルダにファイルをドラッグ アンド ドロップするかコピー アンド ペーストする方法です。このフォルダ内の文書は、プリンタでプリントされます。

LPR を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

プリンタは、LPR 経由のプリントをサポートしています。

LPR 経由でプリント ジョブを送信し、ジョブ チケットがない場合は、デフォルトの WebTools Express 設定が優先されます。



メモ

WebTools Express で、LPR を使用するプリントを有効にする必要があります。

LPR 経由でプリント ジョブを送信するには

コマンド プロンプトに続いて次の行コマンドを入力します。「**lpr -S** <ホスト名または IP アドレス> **-P** <プリント キュー名> <ファイル名>」。



メモ

<プリント キュー名> には、**jobs** など、任意の名前を使用できます。

クラウドを使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

クラウドは、ファイルの送信先として使用する仮想ネットワーク ドライブとして見なすことができますが、ファイルの保存と共有の場所としても見なすことができます。

SharePoint などの汎用のクラウド アプリケーションや HTTP URL 経由のアプリケーションなどがありますが、企業は独自のプライベート クラウドや社内クラウドを使用することもできます。

始める前に

WebTools Express で [WebDAV] 経由の外部の場所を作成し、プリンタとのクラウド接続を確立できるようにします。詳細については、[外部の場所の作成 \(127 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. モバイル デバイス上でクラウド アプリケーションを開きます。
2. 使用するアプリケーションに従って以下を実行します。
 - プリントするファイルを追加して保存します。あるいは、
 - プリンタにファイルを送信します。

ホームフォルダを使用してプリントジョブを送信する

はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にした場合、ホームフォルダをプリント元またはスキャン先として使用することができます。



メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な、自分用の安全な外部の場所です。

始める前に

構成された[ユーザー認証]を使用して[ユーザー名とパスワード]を有効にし、まず場所としてホームフォルダを有効にします。詳細については、[ホームフォルダの有効化および編集（125 ページ）](#)を参照してください。

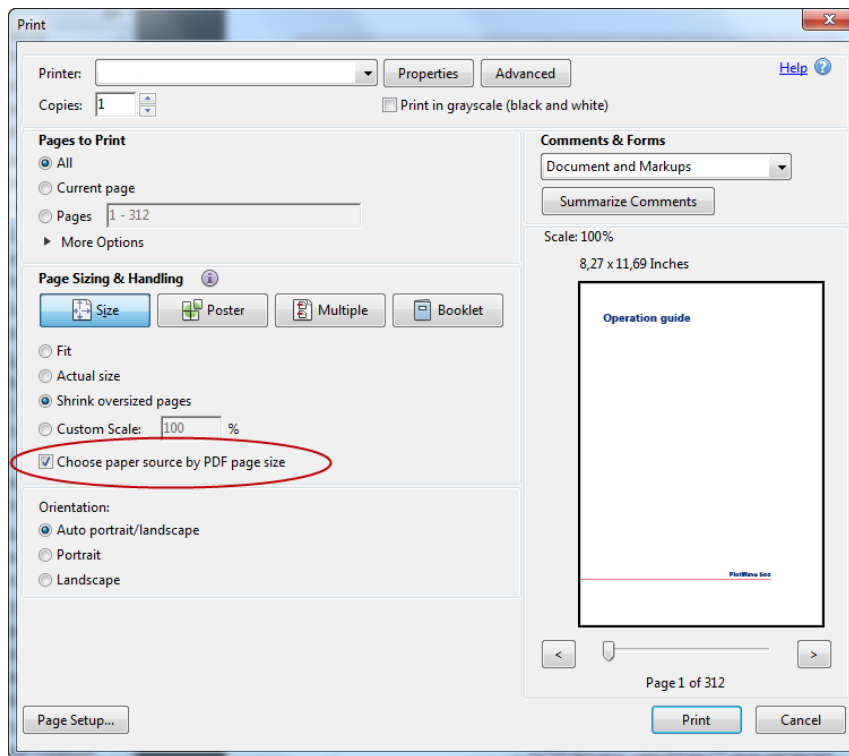
手順

1. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用して、Publisher Express または他のジョブ サブミッタにログインします。
2. ホームフォルダからファイルと共にジョブを作成し、プリンタに送信します。
3. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用してプリンタ操作パネルにログインします。自分の場所を見ることができるのは本人だけです。
4. ジョブを選択し、グリーン ボタンをクリックします。

プリント ジョブ送信のトラブルシューティング

はじめに

プリント ジョブ送信をトラブルシューティングするために、問題およびソリューションを確認します。



問題	解決法:
Adobe Acrobat Reader を使用して PDF ファイルをプリントできない。	プリント ジョブを送信する場合 (「ファイル」 - 「プリント」)、プリントダイアログ内で「PDF ページサイズごとに用紙ソースを選択する」のボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。

アクティブなジョブの一時停止、再開または停止

はじめに

アクティブなジョブを一時停止、再開または停止する場合、実行できることがいくつかあります。

手順

アクティブなプリント ジョブの一時停止または再開

手順	アクション
1.[一時停止]	操作パネルの動的なバーでアクティブなジョブをタップします。キューが開き、[一時停止] が動的なバー内に表示されます。[一時停止] をタップして、プリンタを一時停止します。[一時停止] タイルが [再開] タイルに変化します。  メモ 実行中のプリントはプリンタによって完了するため、プリンタが一時停止するまで時間がかかることがあります。 
2.[再開]	動的なバー内の [再開] をタップして、プリンタを再開します。 

ユーザ パネルでのアクティブなジョブの停止および削除

手順	アクション	結果
1	停止ボタンを押します。	スキャン ジョブの場合: マシンがスキャン処理を直ちに停止します。
2	プリント ジョブの場合: ジョブの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。	プリント ジョブは保存されるか、削除されます。
3	プリント ジョブの場合: Smart Inbox からのジョブの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。	プリント ジョブは保存されるか、削除されます。
4	コピー ジョブとスキャン ジョブの場合: スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。	スキャナが原稿をリリースします。

WebTools Express でのアクティブなジョブの停止および削除

手順	アクション	結果
1	[ジョブ] タブを開きます。	

手順	アクション	結果
2	ジョブ キュー セクションで、削除するジョブの前にあるボックスにチェックマークを付け、[削除] をクリックします。	システムによってジョブが中止され、削除されます。

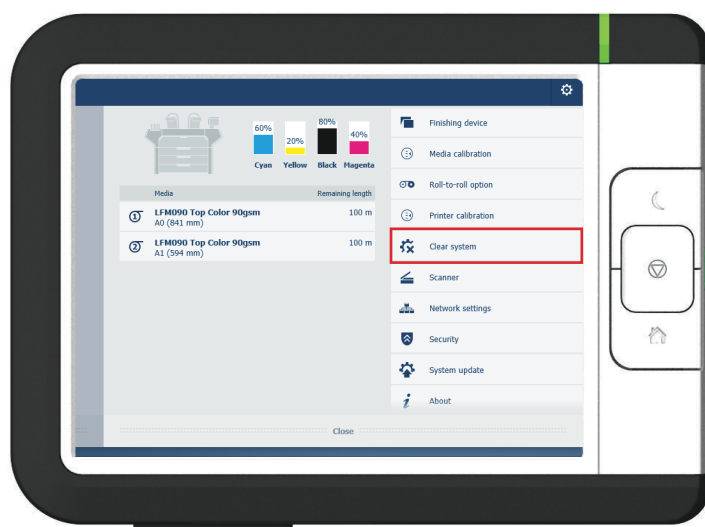
システム設定のクリア

使用する場合

操作パネルで、システムからすべてのプリントとコピーのジョブを削除することができます。

手順

1. 動的なバーで、システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイ右側のリストで [システムのクリア] をタップします。ウィザードが開きます。



メモ

すべての情報を保存していることを確認します。すべてのプリントとコピーのジョブが削除されます。

3. ウィザードの手順に従い、手続きを完了してください。

結果

手順を実行すると、システムが再起動し、すべての印刷、コピー、スキャンのジョブが削除されます。

第5章

プリント システムのメンテナンス

システムの更新

ソフトウェアを更新する

システムソフトウェア（POWERsync+ ソフトウェア）のアップデートは、サービスまたは最寄りの代理店から要請があった場合に行うことができます。

オペレーティング・システムのアップデートは <https://downloads.cpp.canon> または PRISMAservice 経由でインストールできます。

種類	種類	経由でアップデート
システム・ソフトウェアのアップデート	*_os.sup, *_sw.sup	ユーザーパネルまたは WebTools Express
システム・ソフトウェアのパッチ	*.patch	WebTools Express
オペレーティング・システムのアップデート	*.msu	WebTools Express または PRISMAservice

操作パネルでのシステム ソフトウェアの更新

はじめに

ソフトウェアの新しいバージョンが含まれる USB デバイスを使用して、操作パネルでシステム ソフトウェアを更新することができます。

始める前に

システム ソフトウェアを更新する場合は、最寄りの代理店からシステム ソフトウェア更新用のパッケージを入手します。

NTFS フォーマットされた USB デバイスが必要です。USB デバイスの [USB:\Packages] ディレクトリに、更新ファイル ([オープン ソース パッケージ (*_os.sup)] および [ソフトウェア パッケージ (*_sw.sup)]) があることを確認します。



メモ

- この更新処理により、すべてのジョブがシステムから削除されます。
- 更新中は、約 45 分間このシステムを使用できなくなります。
- この更新には完全なオペレーティング システムの更新が含まれます。このため、インストールされているサードパーティー製アプリケーションはすべて消去されます。アップデート後にサードパーティー製アプリケーションを再インストールできます。

手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. セットアップ メニューで「[システムの更新]」をタップします。
3. システム管理者またはパワーユーザーとしてログインします。更新ウィザードが開きます。
4. USB デバイスを操作パネルの USB ポートに挿入します。
5. ウィザードの指示に従ってください。
更新中は、このシステムを使用できなくなります。更新が終了すると、プリンタが自動的に再起動します。
6. プリンタが再起動する前に USB デバイスを取り外します。

終わった後に

現在のソフトウェアバージョンは、ユーザーパネルのシステムメニュー - [システムの更新] または WebTools Express の [サポート] - [更新] タブで確認できます。

WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアをアップデート

はじめに

システムは WebTools Express でアップデートできます。設定は [サポート] - [更新] タブの下にあります。

[更新] タブには以下の機能があります：

- ・ システム・ソフトウェアを**アップデート**します。
- ・ **オペレーティングシステムのパッチ** をインストールします (セキュリティ)
- ・ 現在のソフトウェア・バージョンを確認します。
- ・ クリーンインストールまたはシステムソフトウェアのアップデート以降に正常にインストールされたすべてのパッチをチェックします。
- ・ 適用された最新のパッチの実行ステータスの確認 (「成功」または「失敗」)

始める前に

システムソフトウェア (POWERsync+ ソフトウェア) のアップデートについては、お近くの代理店からシステムソフトウェアアップデート用のパッケージを入手してください。



メモ

- ・ アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [更新] ボタンをクリックして、現在のシステム ソフトウェアを更新します。
3. 必要なパッケージ ([オープン ソース パッケージ (*_os.sup)]または [ソフトウェア パッケージ (*_sw.sup)]) をブラウズします。
必要なファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでソフトウェアを更新する準備ができました。警告メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. 更新が開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. 更新が成功したかどうかが表示されます。

WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアのパッチをインストール

はじめに

システムソフトウェアのパッチは WebTools Express からインストールできます。設定は [サポート] - [更新] タブの下にあります。

[更新] タブには以下の機能があります：

- システムソフトウェアの**アップデート**
- **オペレーティングシステムのパッチ** をインストール (セキュリティ)
- 現在のソフトウェア・バージョンを確認
- クリーンインストールまたはシステムソフトウェアのアップデート以降に正常にインストールされたすべてのパッチをチェック。
- 適用された最新のパッチの実行ステータスの確認 (「成功」または「失敗」)

始める前に

システムソフトウェアパッチ (POWERsync+ ソフトウェア) については、お近くの代理店からシステムソフトウェアアップデート用のパッケージを入手してください。



メモ

- アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [インストール (*.patch)] ボタンをクリックして、現在のシステム ソフトウェアを更新します。
3. 必要なパッケージ ([ソフトウェア アップデート パッケージ (*.patch)]) をブラウズします。
必要なファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでソフトウェアを更新する準備ができました。警告メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. 更新が開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. 更新が成功したかどうかが表示されます。

WebTools Express 経由でオペレーティング・システムのアップデートを手動でインストールします。

はじめに

オペレーティング システムのアップデートは WebTools Express. でインストールできます。

この手順では、手動更新について説明します。自動更新については [PRISMAservice からのオペレーティング・システム・アップデートの設定、ダウンロード、インストール \(281 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

<http://downloads.cpp.canon> からオペレーティング・システムをダウンロードします。



メモ

複数の .msu パッチが利用できます。



メモ

- アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [インストール (*.msu)] ボタンをクリックすると、オペレーティングシステムのアップデートがインストールされます。
3. .msu パッチの場所を参照します。
ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでオペレーティングシステムのアップデートをインストールする準備ができました。警告メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. インストールが開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. インストールが成功したかどうかが表示されます。

PRISMAservice からのオペレーティング・システム・アップデートの設定、ダウンロード、インストール

はじめに

PRISMAservice からオペレーティングシステムアップデートのダウンロードとインストールを設定した場合、プリンターは以下のように動作します：

- ・ 起動時、およびその後 16 時間ごとに、プリンターは新しいオペレーティングシステムのアップデートを検索します。



メモ

真夜中にオフラインまたはシャットダウンされた場合は、翌日に再度更新を確認します。

オペレーションシステムのアップデートがプリンターによって検出されると、それらは [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新] の下のリストに表示されます。検出されたすべてのアップデートは、設定に応じてダウンロードまたはインストールされます。ダウンロード中もプリンターは動作可能です。インストールを完了するには、システムが自動的に再起動します。アップデートのインストール中、プリンターが使用できません。

始める前に

プリンタのリモートサービスが有効になっていることを確認します。詳細については、

- ・ [リモート サービス \(338 ページ\)](#)

PRISMAservice からのオペレーティング・システム・パッチのダウンロードとインストールの設定

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新]に進みます。

Microsoft updates available from PRISMAservice			
			
Version	Download progress		Description
State			

3. [設定] をクリックします。
4. デフォルトでは、オペレーティングシステムのアップデートを受信するチェックボックスがオンになっています。PRISMAservice からオペレーティングシステムのアップデートを受信したくない場合は、チェックボックスをオフにすることができます。

Configure how you want to download and install the software update packages received from PRISMAservice.

Receive updates to the operating system from PRISMAservice ☒

Send an email to the system administrator about the status of updates ☐

Download moment Immediately

Installation moment Immediately

5. [ダウンロードのタイミング] 設定でダウンロードの瞬間を選択します。
 - ・ [即時]：オペレーティングシステムのアップデートが利用可能になると、プリンターがダウンロードします。
 - ・ [指定時間]：プリンターは、指定した時間にオペレーティングシステムのアップデートをダウンロードします。勤務時間内の時間を指定します。
 - ・ [手動]：オペレーティングシステムのアップデートのダウンロードを手動で開始します。

6. [インストールのタイミング] でインストール時間を選択します。
 - [即時]：プリンタは、オペレーティングシステムの更新をダウンロードした後、インストールします。システムのスイッチを切らないでください。システムが自動的に再起動し、インストールが完了します。
 - [指定の時間に]：プリンタは、指定した時刻にオペレーティングシステムの更新をインストールします。勤務時間内の時間を指定します。システムのスイッチを切らないでください。システムが自動的に再起動し、インストールが完了します。
 - [手動]：オペレーティングシステムの更新は、ダウンロード後、手動でインストールします。
7. [システム管理者に更新状況に関する電子メールを送信する] を選択すると、ダウンロードとインストールプロセスに関するステータス情報を受け取ることができます。電子メールアドレスが設定されているシステム管理者は、これらのメールを受け取ることができます。 [通知用メールサーバーの設定 \(90 ページ\)](#) を参照する。
以下のステータスになると、メールが届きます。
 - [ダウンロードのタイミング] の設定で [手動] を選択すると、オペレーティングシステムのアップデートがダウンロード可能になったときにメールが届きます。
 - [インストールのタイミング] の設定で [手動] を選択すると、オペレーティングシステムのアップデートがインストール可能になったときにメールが届きます。
 - オペレーティングシステムの更新がインストールされる際に、メールでお知らせします。
 - オペレーティングシステムの更新がインストールされた際に、メールでお知らせします。
 - オペレーティングシステムのアップデートのインストール中にエラーが発生した場合、電子メールが送信されます。

手動で PRISMAservice からソフトウェア・アップデートをダウンロードします。

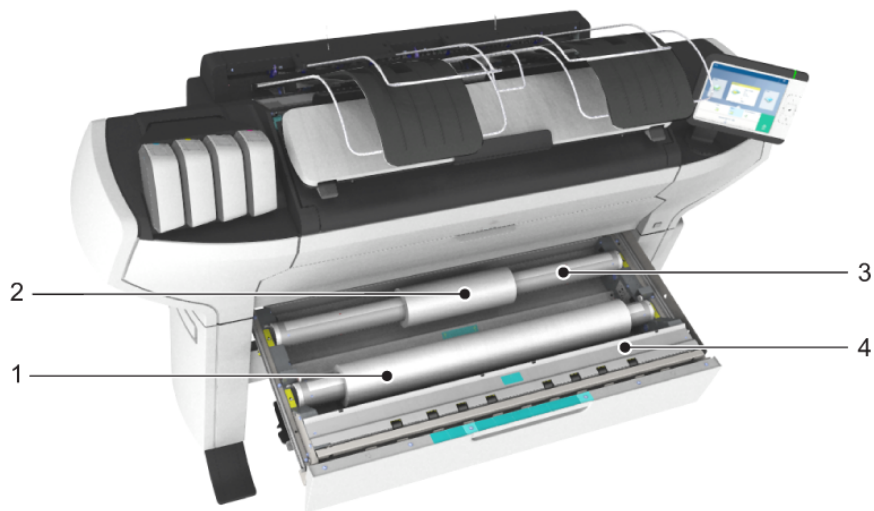
1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新]に進みます。
3. 利用可能なソフトウェアの更新を選択します。[ダウンロード] をクリックします。
ダウンロードの進行状況は、[ダウンロードの進捗状況] の欄で確認できます。
4. 進捗インジケータが [100%]で、状態が [ダウンロード済み]で、[インストール] ボタンが利用可能なとき、ダウンロードは終了します。

手動で PRISMAservice からソフトウェア・アップデートをインストールします。

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新]に進みます。
3. ダウンロードしたオペレーティングシステムのアップデートを選択します。[インストール] をクリックします。
ダイアログ画面がポップアップします。
4. OK をクリックして選択したパッケージを確定します。
システムのスイッチを切らないでください。システムが自動的に再起動し、インストールが完了します。

用紙の交換

用紙引き出し



コンポーネント - 機能表



重要
傷などのないロール紙のみを使用してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、[イメージング デバイス] が損傷する場合があります。

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[用紙ロール] 1	最初の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
2	[用紙ロール] 2	2 番目の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
3	[ロール ホルダ]	ロール紙を装着します。
4	[ロール ローディング ステーション]	用紙引き出しの前部カバーの後ろに統合された溝。

ロール紙の取り外し



重要

- ロール紙の取り扱いには十分注意してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
- プリント処理中に用紙引き出しを開かないでください。



注意

- ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。
- A0 ロール紙を位置 2 から取り外す場合は、腰を保護するために、図に示すように膝を曲げるようにしてください。

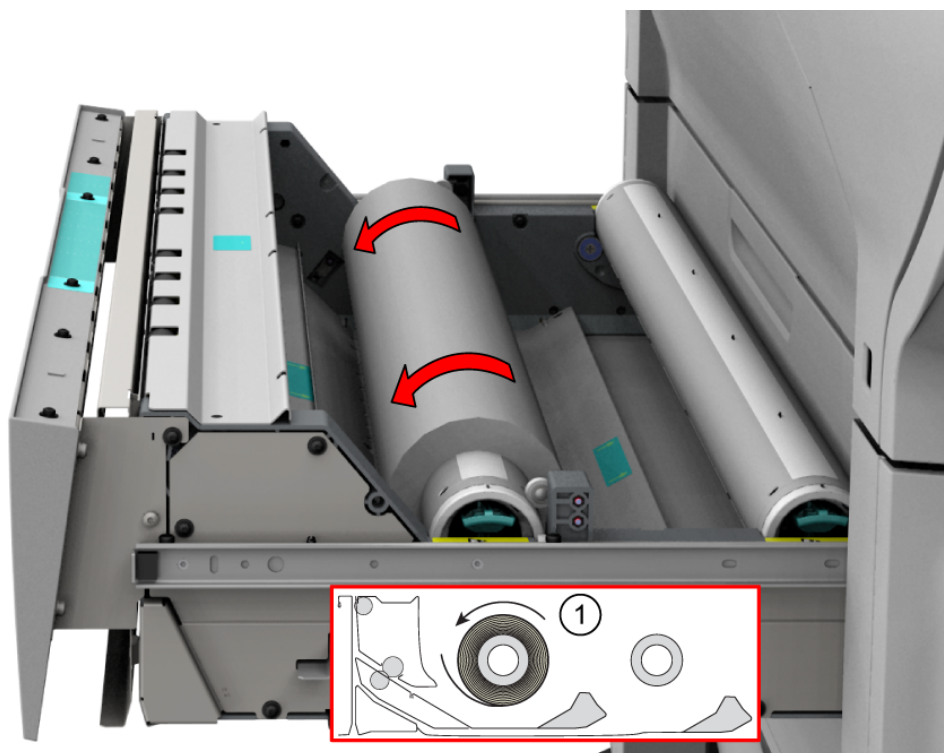


手順

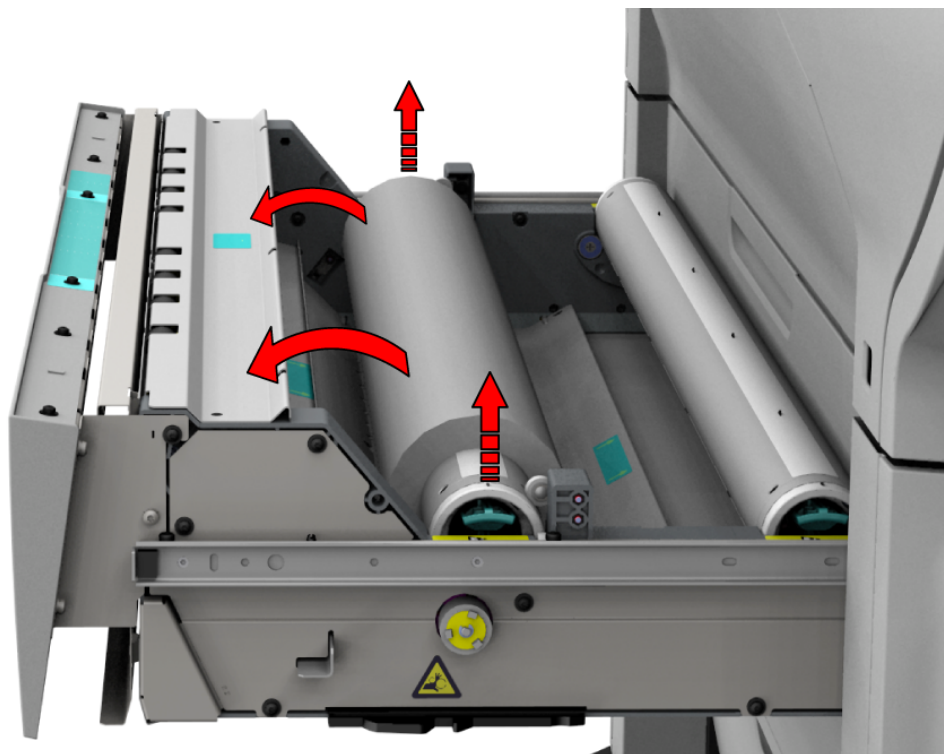
1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



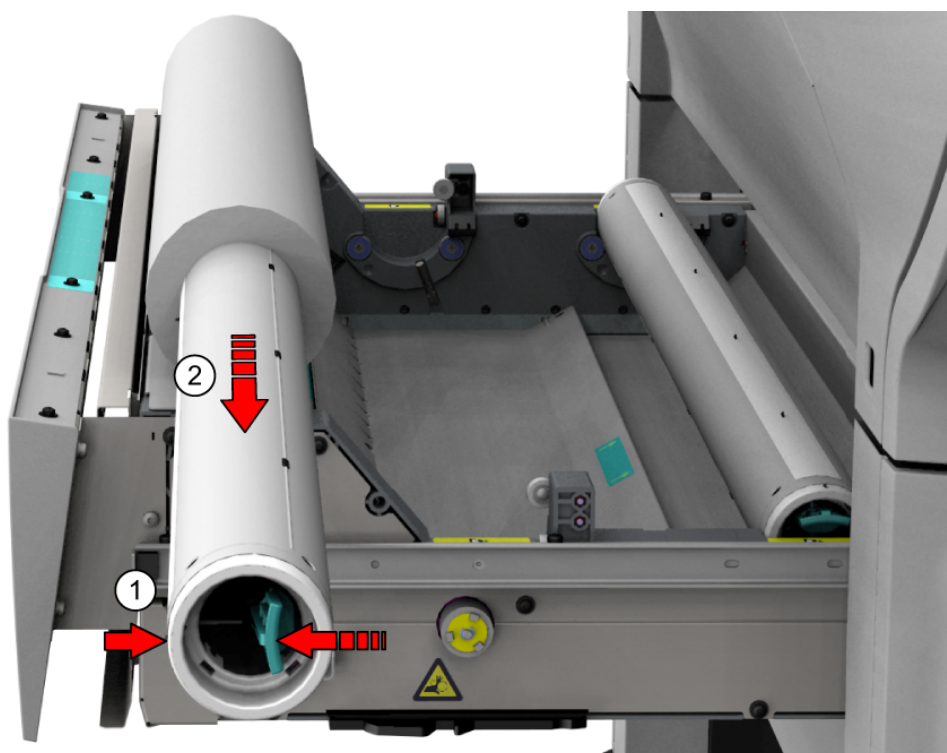
2. 手で用紙を巻き戻し、金属製の用紙ガイドから用紙を取り外します。



- 図に示すように両手を使用して、ロール紙とロール紙ホルダーを持ち上げ、ロール ローディング ステーションに置きます。



- ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に引き、ロール紙のコアからロール紙ホルダーを取り出します。
空のロール紙ホルダーを引き出しに戻します (図を参照)。



5. ロール ローディング ステーションからロール紙を取り出します。
転落などを防ぐため、安全な場所に保管します。

ロール紙をパッケージから取り出す



重要

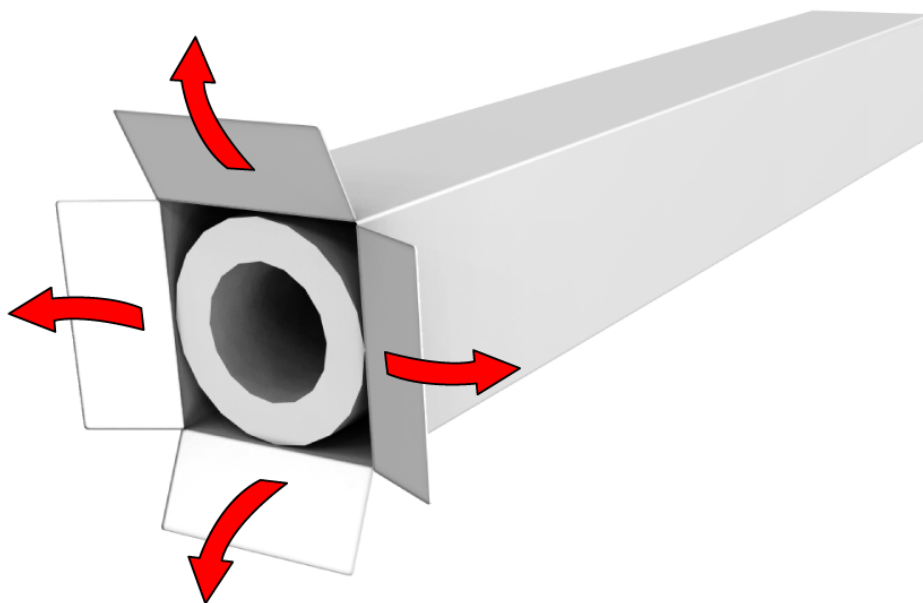
- ロール紙の取り扱いには十分注意してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
- ロール紙をパッケージから取り出した後、コアの内側に正しい用紙名を必ずメモしてください。こうすることで、ロールが空になる前に交換して後から再利用する場合に、適切な用紙情報を使用することができます。

手順

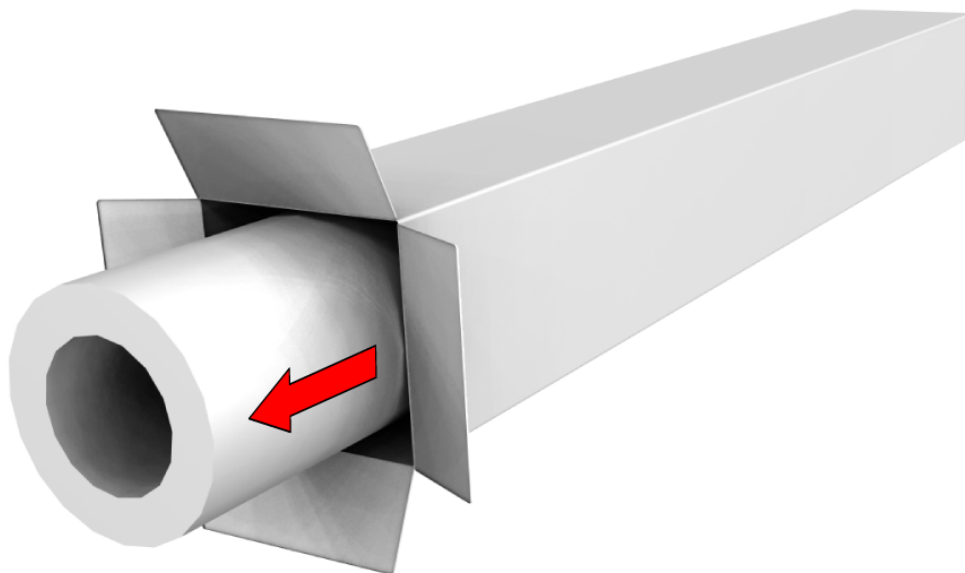
1. 用紙ボックスをテーブルに置きます。



2. ボックスを開いて、プラグがある場合は取り外します。



3. ボックスからロール紙を注意深く取り出します。



4. プラグがもう 1 つある場合はそれも取り外し、ロール紙のプラスチックのカバーを取り外します。

ロール紙の装着

はじめに

プリンタには定型用紙とカスタム用紙を取り付けることができます。

始める前に

プリンタにロールを取り付ける前に、用紙が構成されていることを確認してください。

- 定型用紙は、WebTools Express で構成し、用紙プロファイルを有効にすることができます。詳細については、[用紙プロファイルを設定する（186 ページ）](#) を参照してください。
- WebTools Express で、サイズが構成されて、有効になっていることを確認してください。詳細については、[用紙サイズの構成（189 ページ）](#) を参照してください。用紙サイズがリストにない場合は、カスタム用紙サイズを作成できます。詳細については、[カスタムの用紙サイズの作成（188 ページ）](#) を参照してください。



重要

- イメージング デバイスの損傷を防ぐため、凹凸のあるロール紙は使用しないでください。
- プリント処理中に用紙引き出しを開かないでください。
- プリンタの過度つりあいを防ぐため、複数のロール引き出しを一度に開けないでください。



注意

ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。

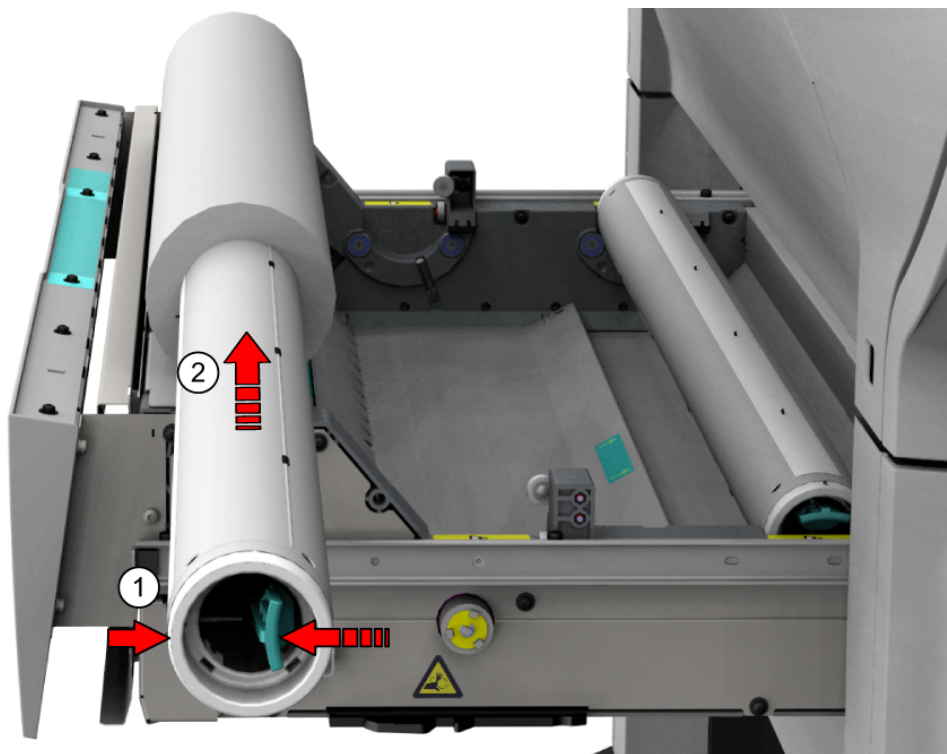
手順

1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



2. 新しいロール紙を、ロール ローディング ステーションに取り付けます。

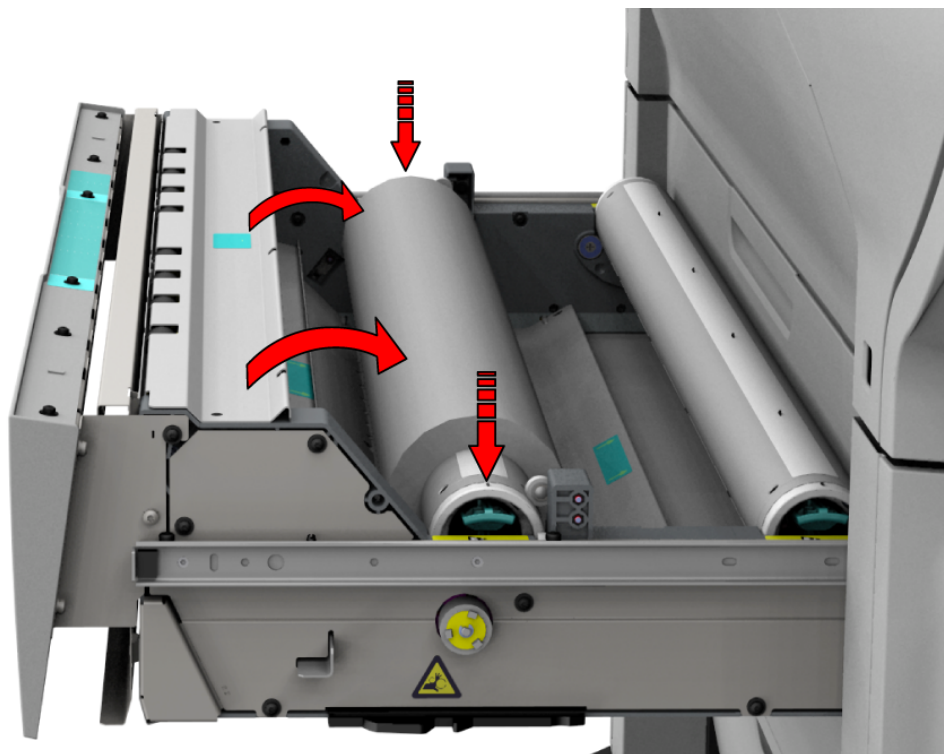
3. ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に押します (1)。
ロール紙ホルダーを、新しいロール紙のコアの右側に差し込みます (2)。



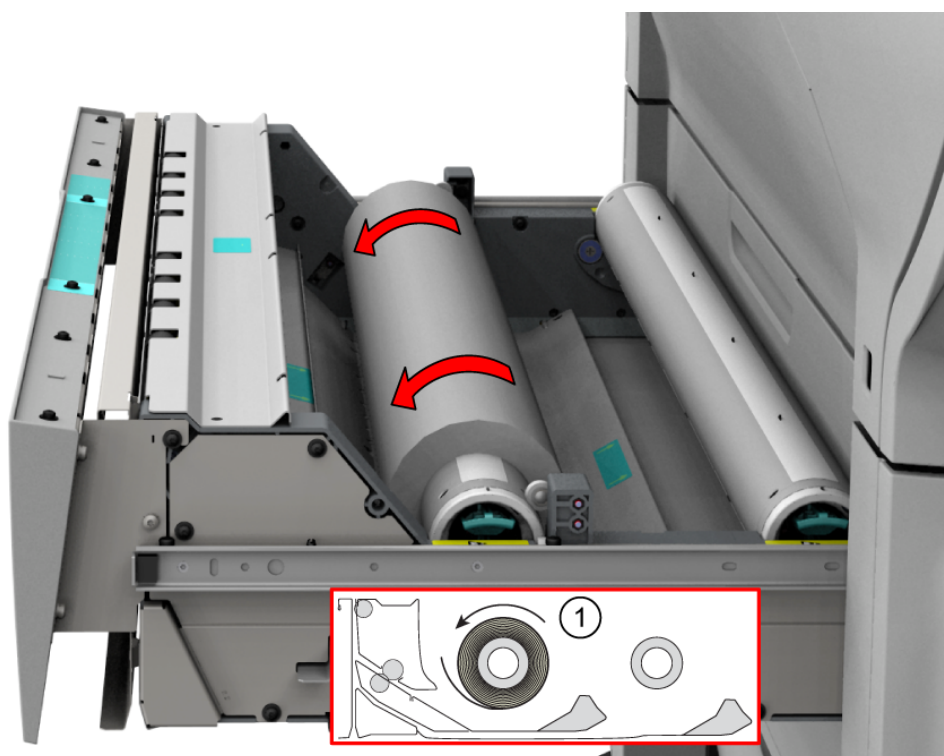
4. ロール紙ホルダーの 適切なサイズ インジケータの中央にロールの位置を合わせ、ロック機構のハンドルをリリースします。



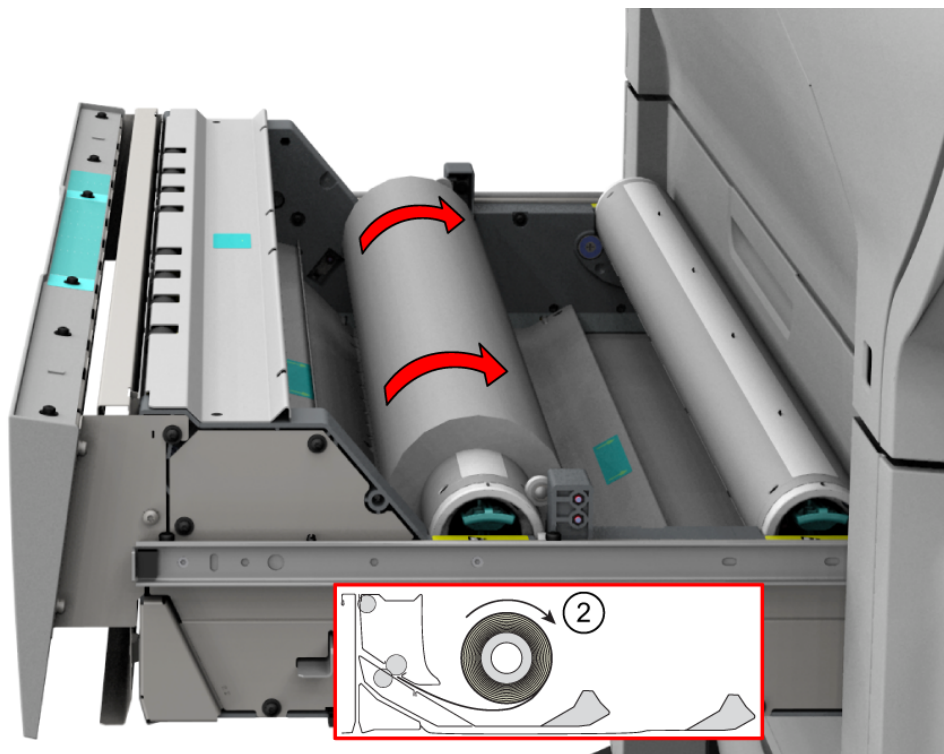
5. 新しいロール紙からテープを取り外します。
図に示すように両手を使用して、ロール紙を用紙引き出しに取り付けます。



6. 両手を使用して、用紙のフラップが金属製の用紙ガイドを通り過ぎるまで、ロール紙を巻き戻します (1)。



7. 両手を使用して、用紙が自動的に搬送されるようになるまで、用紙ガイドの下に用紙をスライドさせます (2)。



8. 用紙引き出しを閉じます。操作パネルに新しい用紙が検出されたことを伝えるメッセージが表示されます。



メモ
装着中に用紙引き出しを開かないでください。

9. ウィザードの指示に従って適切な用紙を定義します。
用紙の種類の選択 プリンタは適切なサイズを自動的に検出します。余白を短くするか、長くするか、なしにするかを選択し、[OK] をタップします。



メモ
最高の出力品質を得るため、新しい用紙の種類を取り付けるときには、必ず用紙調整を行うことをお勧めします。

結果

これで新しく取り付けた用紙にプリントできます。

用紙の種類

はじめに

Canon の装置および用紙は最良な品質とパフォーマンスに調整されています。

以下の表は、アプリケーションと通常使用される用紙の種類の概要を示しています。プリファレンスや入手可能性により、地域によっては取り合わせが異なる可能性があります。用紙の名前も異なる可能性があります。完全な用紙リストについては、最寄りの代理店にお問い合わせください。

用紙名は次の場所で選択できます：

- マルチタッチ操作パネル
- WebTools Express
- Driver Select for Microsoft® Windows®
- Driver Express for Adobe® Postscript® 3™
- PRISMAproduce Tech

用紙の種類とアプリケーション



重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ～ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当る場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

アプリケーション	典型的な用紙の種類
CAD	コーティングなし Tyvek 75 g/m ² ポリエステル フィルム VELLUM (ベラム)
地図/GIS	非塗工紙 60 - 110 g/m ² コーティングなし Tyvek 75 g/m ²
回路図	非塗工紙 75 - 120 g/m ²
ディスプレイザブル POP	非塗工紙 60 - 160 g/m ² 粘着紙 ブルーバック紙
主題的 POP	粘着紙 90 - 120 g/m ² 非塗工紙 < 200 g/m ² コーティングなし Tyvek 75 g/m ²
ポスター	非塗工紙 60 - 160 g/m ² ブルーバック紙 120 g/m ²
インドア バナー	ポリプロピレン フィルム 150 - 200 μm ポリエステル フィルム 150 - 200 μm 遮光性フィルム
イベント バナー	コーティングなし Tyvek 75 g/m ²
ストリート ファニチャー	ブルーバック紙 120 g/m ²
エコノミー バックリット	バックリット紙 100 - 120 g/m ² トランスルーセント フィルム 100 - 150 μm
ファイン アート	エンボス加工キャンバス状紙 ソフト バナー

アプリケーション	典型的な用紙の種類
フォト プリント	インスタント ドライ フォト ペーパー 120 - 190 g/m ²
特別なアプリケーション、カスタマイズされた CrystalPoint のアプリケーション	(例) テンポラリ テーブル リネン

用紙サイズ

はじめに

Canon の装置および用紙は最良な品質とパフォーマンスに調整されています。

以下の表に、選択可能なすべての用紙サイズの概要を示します。用紙サイズがリストにない場合は、独自のカスタム用紙サイズを作成できます。詳細は、[カスタム用紙サイズの作成 \(188 ページ\)](#) を参照してください。



重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ～ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当る場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

用紙サイズ

ISO A (DIN) 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
A3	297	420
A2	420	594
A1	594	841
A0	841	1189

ISO SRA 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
SRA3	320	450
SRA2	450	640
SRA1	640	900
SRA0	900	1280

ISO B (DIN) 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
B3	353	500
B2	500	707
B1	707	1000
B0	1000	1414

Carto B 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
CartoB3	350	500
CartoB2	500	700
CartoB1	700	1000

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
CartoB0	1000	1400

ANSI 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
B	11	17
C	17	22
D	22	34
E	34	44

ARCH 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
B+	12	18
C+	18	24
D+	24	36
E+	36	44

ARCH1 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
15 インチ	15	21
21 インチ	21	30
E1 (30 インチ)	30	42
42 インチ	42	60

その他

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
310 mm (x 340 mm)	310	340
330 mm (x 450 mm)	330	450
440 mm (x 594 mm)	440	594
440 mm (x 620 mm)	440	620
450 mm (x 625 mm)	450	625
620 mm (x 880 mm)	620	880
660 mm (x 841 mm)	660	841
800 mm (x 1189 mm)	800	1189
800 mm (x 1200 mm)	800	1200
880 mm (x 1230 mm)	880	1230
891 mm (x 1260 mm)	891	1260

トナーの補充

トナー カートリッジの交換

はじめに

クローズド オフ トナー カートリッジを使用するため、簡単にトナーを補充できます。

使用する場合

「トナーを補充してください」というメッセージが操作パネルに表示されたら、トナーを補充する必要があります。このメッセージはトナーが補充されるまで表示されています。通常の状態では、プリントが停止する前にプリンタは現在のジョブを終了できます。



始める前に

- プリント中にトナーを追加することはできません。プリンタがプリントを停止するか、ジョブを中止するまでお待ちください。
- プリンタの電源を入れたまま、トナーを補充することができます。
- colorWAVE T60 に適しているトナーを使用していることを確認します。
- プリンターが「ロール ツー ロール」モードである場合、トナー カートリッジを交換する前に、用紙をカットする必要があります。

手順

1. トナー カートリッジをパッケージから取り出します。



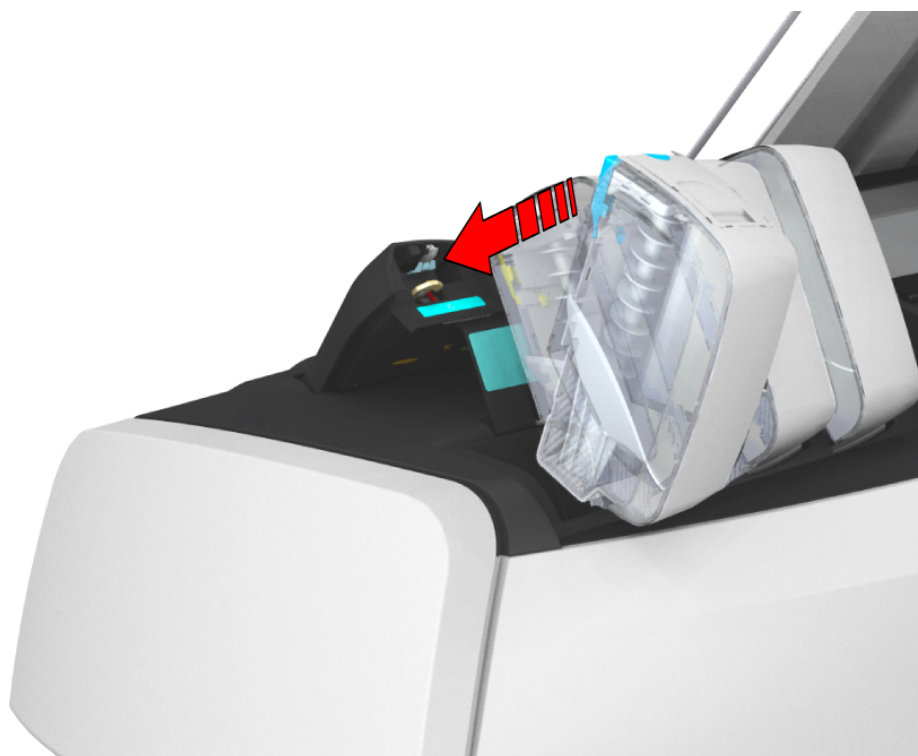
メモ

新しいトナー カートリッジのパッケージを捨てないでください。このパッケージは、メンテナンストレイとして使用します。

2. トナー カセットから赤い搬送クリップを取り外します。
3. プリンタから空のトナー カートリッジを取り外します。



4. 新しいトナー カートリッジを取り付けます。



5. 適切なカラーの位置にトナー カートリッジを取り付けてください。
[1] シアン、[2] イエロー、[3] ブラック、[4] マゼンタ。



6. 新しいトナー カートリッジが適切に取り付けられると、ユーザ パネルにメンテナンス トレイのウィザードが表示されます。ウィザードの指示に従います。詳細については、「[メンテナンス トレイの交換 \(301 ページ\)](#)」を参照してください。

メンテナンストレイの交換

はじめに

ユーザパネルディスプレイに要求メッセージが表示された場合は、メンテナンストレイを交換します。メンテナンストレイは、トナーカートリッジのパッケージです。詳細については、「[トナーカートリッジの交換 \(298 ページ\)](#)」を参照してください。



番号	コンポーネント	説明
1	[メンテナンストレイ引き出し]	メンテナンストレイの引き出しはプリンタの背面にあります。 プリンタが開始したときに、イメージングデバイスがプリント品質の最適化を行うためにいくつかのトナーが必要です。これは、プレッシャーパルスワイプシーケンスと呼ばれる手順で実行されます。「プリントできます」という状態に到達するのに使われたトナーはメンテナンストレイに回収されます。このプロセスは1日数回繰り返され、イメージングデバイスを最高の状態に維持します。

メンテナンストレイの交換

手順

1. メンテナンストレイの交換が必要になると、ユーザパネルディスプレイにメッセージが表示されます。ウィザードの指示に従います。

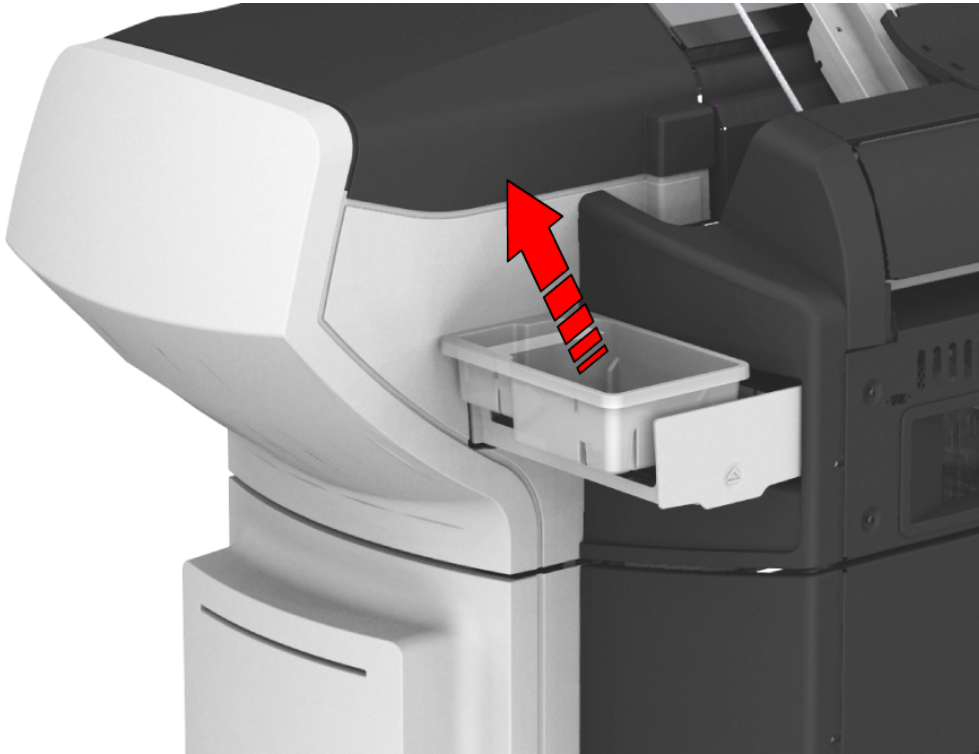
2. メンテナンストレイの引き出しを押してロックを解除します。



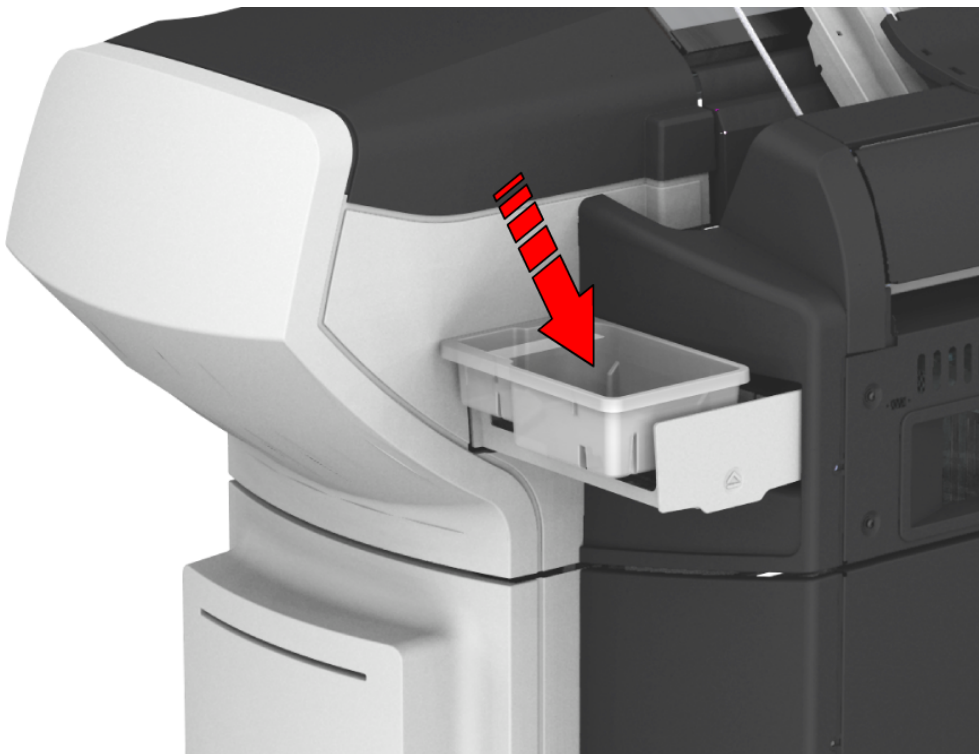
3. 引き出しを開きます。



4. メンテナンストレイを取り外します。



5. 新しいメンテナンストレイを取り付けます。



6. 引き出しを押して閉じます。



7. 新しいメンテナンストレイを適切に取り付けたら、ウィザードで [OK] をタップします。古いメンテナンストレイは、事業系一般廃棄物として処分することができます。

スキャナのメンテナンス

スキャナのクリーニング

はじめに

コピーおよびスキャンの品質の低下を避けるために、スキャナを定期的にクリーニングします。

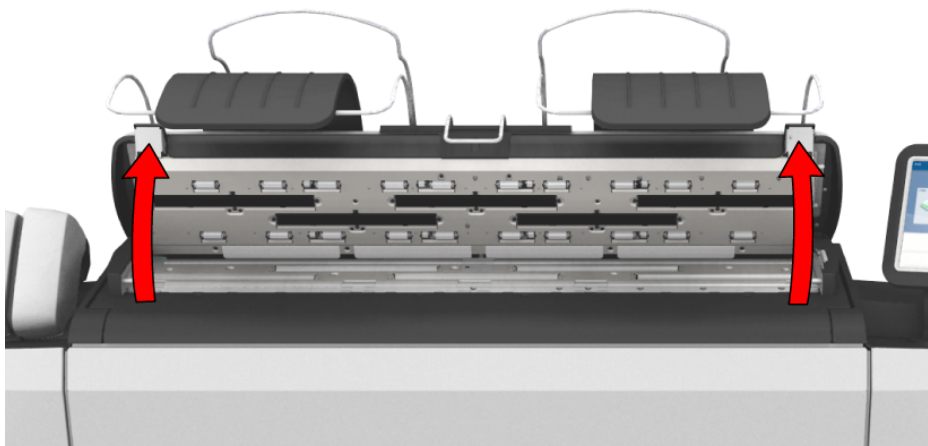
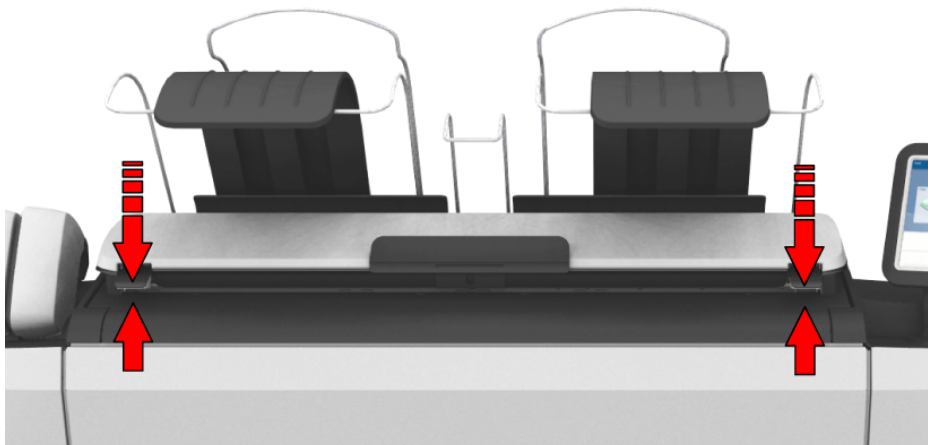
使用する場合

以下の場合にクリーニングします。

- トランスペアレント接触プレートが汚れていて、静電気を帯びている
- 原稿サポート ローラーが汚れており、トランスペアレント原稿を使用している

手順

1. 両手を使用して左右のスキャナ オープン レバーを押し上げ、スキャナ上部カバーを完全に開きます。ロック メカニズムが作動し、スキャナ上部カバーは開いたまま閉じません。

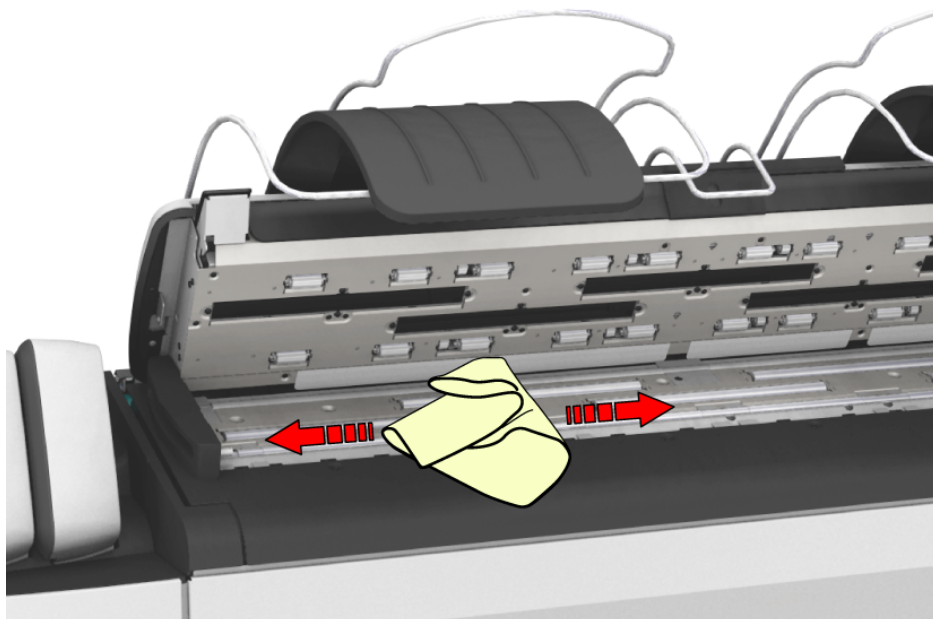




重要

スキャナのクリーニングには、スキャナ クリーニング キットに付属の柔らかくてけば立ちのないモスリン タオルを使用します。

2. 水で湿らせてからしっかり絞ったモスリン タオルを使用し、以下に示すスキャナの各部をクリーニングします。
 - 原稿サポート ローラー
ローラーを回転させてクリーニングします。
 - トランスペアレント コンタクト プレート
汚れた部分を拭きます。



3. 乾いたモスリン タオルを使用して、クリーニング済みの各部をから拭きします。



注意

指をスキャナ上部カバーに挟まないよう注意してください。

4. 両手を使用して、スキャナ上部カバーをゆっくりと押し下げて閉じます。



メモ

左右のスキャナ オープン レバーが所定の位置でロックされたことを確認します。

スキャナの調整

はじめに

コピーまたはスキャン品質に満足できない場合は、スキャナの調整を実行することができます。キャリブレーション ウィザードを使用してスキャナを調整します。

始める前に

調整手順を実行する前に、スキャナをクリーニングします。スキャナの各部が汚れると、コピーおよびスキャン品質が低下します。詳細については、「[スキャナのクリーニング \(305 ページ\)](#)」を参照してください。



重要

- 調整シートの取り扱いには十分注意してください。
- 調整シートの黒の領域には指を触れないでください。
- 調整シートを使用する前に、調整シートに付着したほこりなどを拭き取ります。

手順

1. システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[スキャナの調整] (スキャナ調整)」をタップします。
3. キー オペレータまたはパワー ユーザーとしてログインします。ウィザードが開きます。
4. ウィザードの指示に従います。
5. ウィザードの指示に従って、調整シートを挿入します。
6. グリーン ボタンをタップして、スキャナの調整を開始します。



メモ

[調整には 5-10 分かかります]

第6章

ライセンス管理

ライセンス管理について

はじめに

プリンタが使用する一部のアプリケーションには、ライセンスをアクティブにする必要があります。colorWAVE T60 には、製品ライセンスが常に必要です。ライセンスについては、いくつかの操作を実行できます。

手順

1. 現在アクティブなライセンスを表示します。
すでに持っているライセンスと、持ちたいライセンスを表示します。必要な新しいオプションのリストを作成し、ライセンス番号をメモすることができます。最寄りの代理店では、新しいライセンス ファイルを作成するために、新しいオプションのリストとライセンス番号が必要になります。
2. お使いのシステムのホスト ID を取得します。
新しいライセンス ファイルを作成するには、ホスト ID が必要です。
3. 新しいオプションのリスト、ライセンス番号、およびホスト ID をお近くの代理店に送信します。
最寄りの代理店が新規ライセンス ファイルを作成し、お届けします。
4. 必要に応じて現在アクティブなライセンスのバックアップを作成します。
そのために、現在アクティブなライセンスを保存します。
5. ライセンスをアクティベートします。
ライセンス アクティベーション ジョブでは、以下の手順が示されます。
 - 1. ライセンス ファイルの場所を参照します。
 - 2. 新たにアクティブなライセンスをプレビューします。
 - 3. エンド ユーザー ライセンス契約に同意します。
 - 4. ライセンス アクティベーション ジョブを終了します。
 - 5. システムを再起動します。

ライセンスを確認する

ライセンスについて

WebTools Express のライセンス セクションを使用すると、システム上でアクティブなライセンスを管理することができます。プリンタの特定の機能を起動するには、ライセンスが必要です。

ライセンス情報の概要

WebTools Express で [サポート] - [ライセンス] タブを開き、使用できるライセンスを表示します。

次のような目的のためにライセンス情報を表示することができます。

- アクティブなライセンスについて、ライセンスの状態、ライセンスの種類、ライセンスの有効期間をチェックします。
- ライセンスの有効期間をチェックします。
- 使用しているシステムで使用可能なオプションをすべて表示します。
- 必要な新規オプションのリストを作成します。
- ライセンス番号のリストを作成します。

情報	説明
[オプション]	このフィールドには、オプションの名前が表示されます。
[都道府県]	このフィールドには、次のライセンス状態のいずれかが表示されます。 • [権限あり].機能を使用する権限があります。 • [権限なし].機能を使用する権限がありません。該当する機能についてライセンスを取得する必要があります。
[ライセンスの種類]	このフィールドには、次のライセンスの種類の内いずれかが表示されます。 • [再販売]. • 再販禁止。
[有効期限 (日数)]	このフィールドには、ライセンスが有効な残り日数が表示されます。
[ライセンス番号]	このフィールドには、ライセンス番号が表示されます。

現在アクティブなライセンスの保存

はじめに

すべてのアクティブなライセンスを 1 つのファイルに保存できます。

使用する場合

ライセンス アクティベーション ジョブを開始する前に、または現在のライセンスの状態を保存する際に、現在アクティブなライセンスを保存します。

手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開きます。
2. [保存] ボタンをクリックします。
zip ファイルがダウンロードされます。
3. ワークステーション上のディレクトリを選択して、zip ファイルを保存します。
4. 新しいファイル名を入力し、「[保存]」をクリックして現在アクティブなライセンスのバックアップを作成します。

新しいライセンス ファイルの取得

はじめに

Canon Production Printing アプリケーションとオプション機能は、権限のないユーザが使用できないよう保護されています。様々なオプションを有効にするには、ライセンスをアクティベートする必要があります。新しいライセンスをご希望の場合は、お近くの代理店に正しい情報をお伝えいただく必要があります。

手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開いて、ライセンス情報ページを表示します。
2. 持っているライセンスと持っていないライセンスを表示します。希望するライセンスに記載された [オプション] 情報およびライセンス番号をメモしてください。
3. 「[ホスト ID]」をクリックして、下側のホスト ID 情報をメモします。
4. お近くの代理店にライセンス情報とホスト ID を送信します。
5. 代理店からライセンス ファイルを受け取ったら、ファイルをネットワーク上に保存します。

結果

新しいライセンス ファイルを保存したら、ライセンスをアクティベートできます。詳細については、[新しいライセンスをアクティベート \(314 ページ\)](#) を参照してください。

新しいライセンスをアクティベート

はじめに

「WebTools Express」にある「[ライセンス]」タブで新しいライセンス ファイルをアクティベートできます。



メモ

- 新しいライセンス ファイルを起動する前に、現在起動されているライセンス ファイルのライセンス情報をバックアップ ファイルに保存することをお勧めします。「[保存]」ボタンを使用して、現在のライセンス ファイル情報を保存します。
- ライセンスを起動するには、ライセンス ファイルのアップロード後、システムを再起動する必要があります。

手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開いて、ライセンス情報ページを表示します。
2. [起動] をクリックしてブラウザ ウィンドウを開き、ネットワーク上のライセンス ファイルを検索します。
3. ネットワークを参照し、ライセンス ファイルを選択します。
4. 「[次へ]」をクリックして手順を確認し、再び「[次へ]」をクリックします。
5. 使用許諾契約が表示されたら一番下までスクロールして、「[同意する]」の前のチェックボックスをチェックします。



メモ

使用許諾契約のボックスにチェックマークを付けない場合、ライセンスはインストールされません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [OK] をクリックして、ライセンス ファイルの起動を開始します。処理が完了すると、メッセージが表示されます。
8. システムを再起動して、変更を有効にします。

結果

- 有効期限切れのライセンスを更新すると、新しいライセンス ファイルで古いライセンス ファイルが上書きされます。
- 新しいライセンスをアップロードすると、概要に表示されるライセンスの状態が [権限なし] から [権限あり] に変化します。

第7章

アカウント管理

アカウント管理について

プリント システムはアカウント管理をサポートしています。アカウント管理は WebTools Express で有効および無効にできます。有効にすると、プリント、スキャン、および/またはコピー ジョブに対するアカウント情報を入力する必要があります。プリント ジョブ、スキャン ジョブ、コピー ジョブに対して別々に有効にすることもできます。

どの会計情報を提供する必要があるかは、PRISMAlytics Accounting、Océ Account Console、Repro Desk、または uniFLOW のようなサードパーティーのアプリケーションを介して顧客が決定します。詳細については、これらのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

この章では、プリンタのアカウント管理ワークフローについて説明します。

WebTools Express でアカウント管理を設定

Introduction

プリンターは各印刷、コピー、スキャンの情報を記録します。さらにプリンターは、各印刷、コピー、スキャンの会計データをユーザーに強制することができます。

このデータは.csv ファイルに保存されます。プリンターは毎日新しいファイルを作成し、最大 99 日間データを保存できます。

WebTools Express には、アカウント管理を構成するための多くの設定があります。

定義

アカウント情報要件は管理者によって定義および管理されます。

「ログおよびアカウント」設定を指定するには

[プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開き、[ジョブ管理] で [プリント ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] または [コピーおよびスキャン ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] を有効にします。次に、[アカウントティング ログ] でアカウントの設定を定義します。

設定	値	説明
[プリント ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] [コピーおよびスキャン ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする]	[はい]	[はい]の場合、有効なアカウントティング・データを持つプリント・ジョブ、コピー・ジョブ、スキャン・ジョブしか作成できません。 すべてのプリント ジョブが Smart Inbox に送られます。 Publisher Express を使用して印刷ジョブを送信する場合、必要な会計データを「新規ジョブの作成」ウィンドウに入力する必要があります。 ユーザ パネルからコピーまたはスキャンする場合、あるいは USB キーからジョブをプリントする場合、ユーザ パネルで必要なアカウントティング情報を入力する必要があります。アカウント データ フィールドは操作パネルに表示されます。
	[いいえ]	アカウント データは必要ありません。
[ログ ファイルのフォーマット]	[ASCII (7 ビット)] [Unicode (UTF-16)]	ログデータがプリンターに保存されるファイル形式です。
[ログ データ フィールド分離記号]	[コンマ] [セミコロン] [タブ]	ログ ファイルで使用するフィールド区切りを定義します。
[ログ ファイルを保持する日数]	数値	日数として 1 ~ 99 の値を入力します
[アカウント ダイアログのアップロード: ホスト]	[任意のホストから] [単一ホストから]	いずれかのホストまたは単一のホストのみからアカウントティング ダイアログ更新を受け取った場合に定義します。
[アカウント ダイアログのアップロード: 単一ホスト]	ホスト名	アカウント ダイアログのアップロード元のホスト名または IP アドレス。[アカウント ダイアログのアップロード: ホスト] に [単一ホストから] の値がある場合にのみ有効。

アカウントワークフロー

はじめに

管理者は、印刷ジョブとコピー/スキャンジョブにアカウントティングデータが必要であることを設定できる。

仕事に会計データが必要な場合、ユーザーはそのようなデータを提供しなければならない。

コピー/スキャンジョブの場合、ユーザーはコピーまたはスキャンを行う前に、ユーザーパネルで会計データを提供する必要がある。

印刷ジョブの場合、ジョブ送信アプリケーションとドライバーは、会計データが必要かどうかをプリンターに問い合わせることができる。必要であれば、そのようなデータを提供するようにユーザーに強制することもできる。Publisher Express、PRISMAproduce Tech、Driver Select for Microsoft Windows がこれにあたる。Driver Express for Adobe Postscript はそうではない。

アカウントティングデータが必要で、プリンターがアカウントティングデータの無いジョブを受信した場合、そのジョブはスマート受信トレイに保持され、プリンターはそのジョブにアカウントティングデータがないことを表示します。次に、ユーザーはスマート受信トレイでジョブを編集し、会計データを指定し、ジョブを印刷することができる。

このセクションでは、印刷、コピー、およびスキャンジョブのアカウントティングデータを強制するワークフローについて説明します。

手順

1. 会計ダイアログを定義する。
2. 会計ダイアログをプリンタに押し出す。
3. プリント、コピー、スキャンの各ジョブについて、WebTools Express にアカウントティングデータを強制的に保存します。

結果

Driver Select for Microsoft Windows、Publisher Express、PRISMAproduce Tech 経由で印刷する場合、印刷する前に会計データを提供する必要があります。

USB からコピー、スキャン、プリントを行う場合、ジョブを開始する前に、ユーザーパネルで会計データを入力する必要があります。

プリンタでのワークフロー

手順

1. コピー、スキャンおよびプリントのジョブを作成します。
2. グリーン ボタンを押して、ジョブを開始します。
ダイアログが表示され、必要なアカウント情報の入力が必要です。
ユーザーが情報を入力しないと、ジョブを完了できません。

第 8 章

問題の解決

ジョブに関する問題を解決するには

手順

1. ジョブに問題がある場合、WebTools Express のジョブ キューの緑のバーが赤に変わります。WebTools Express のシステム モニタ セクションにメッセージが表示されます: [ユーザーによる操作が必要です]。
問題が発生し、キューにアクティブなジョブとして止まっているジョブは、太字のフォントで表示されます。
2. 操作パネルに、問題に関する詳細な情報が表示されます。この情報を利用して問題を解決できます。



メモ

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、次のことを確認します。

- 用紙が適切に取り付けられていること
- 正しい用紙の種類を使用していること 詳細については、「[用紙の種類 \(294 ページ\)](#)」を参照してください。
- 用紙搬送路から用紙を完全に取り除いたこと



メモ

解決不能なエラーが発生した場合は、操作パネルに表示されるエラー コードをメモするなどして、ヘルプデスクにお問い合わせください。

プリント サーフェスをクリーニングします

はじめに

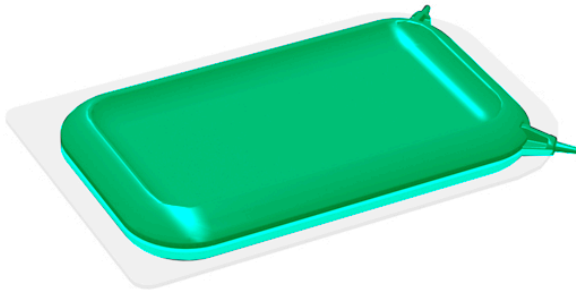
プリント面を定期的にクリーニングする必要があります。

使用する場合

紙詰まりが頻繁に発生する場合、またはプリント出力に汚れがある場合、プリント面をクリーニングすると効果がある場合があります。

必要なツール

供給された クリーン カードを使用します。 クリーン カードは、[トランスペアレント上部カバー] の下のカード ホルダーに入っています。

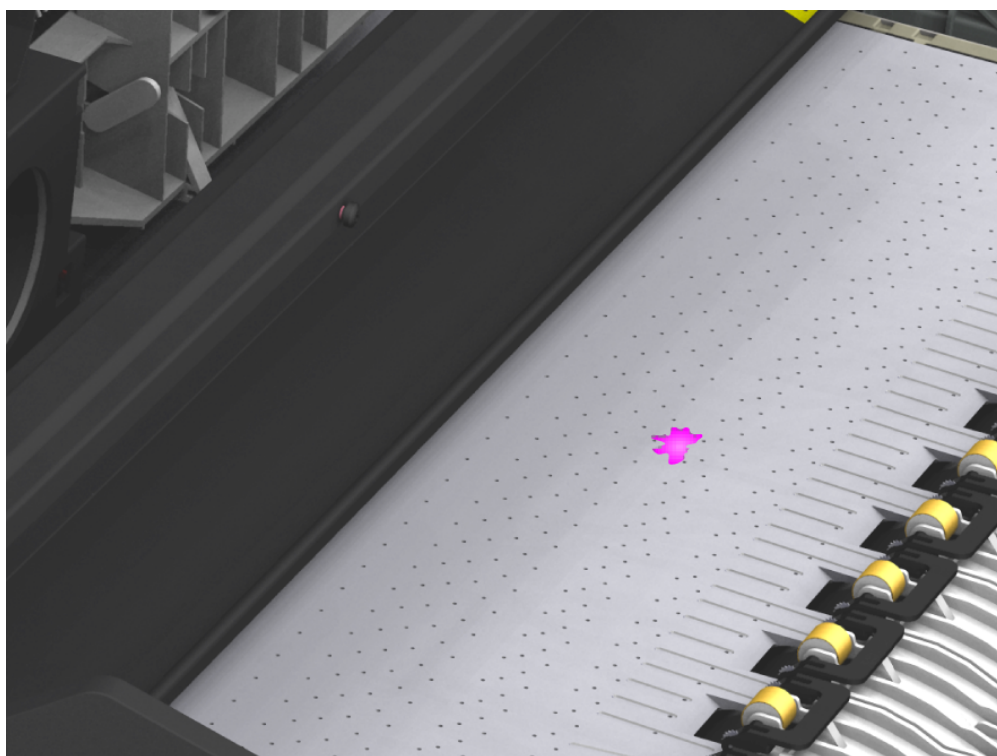


手順

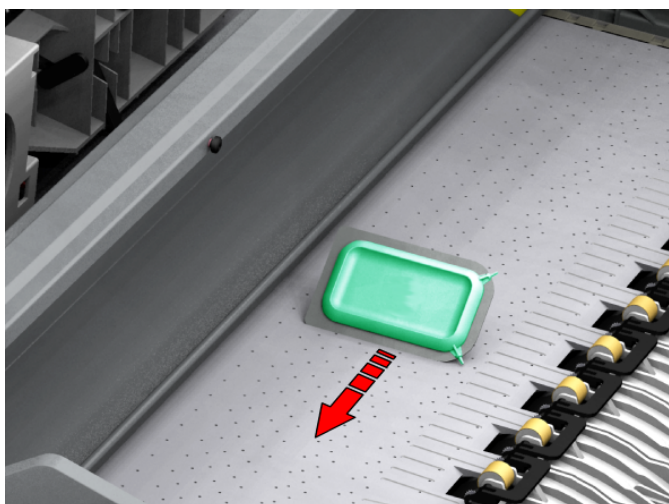
1. 上部排紙トレイを後方に押してロックします。
2. [トランスペアレント上部カバー] を開きます。
これでクリーン カードとプリント面にアクセスできます。



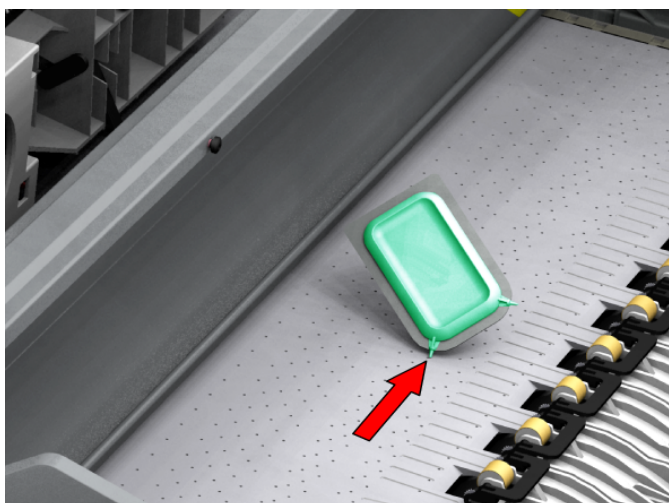
3. プリント面にトナーが付着していないか確認します。



4. クリーン カードを使用してトナーを取り除きます。
カードをトナー カートリッジの方向に動かして、プリント面から汚れを取り除きます。



5. プリント面の穴が開いていない場合は、クリーン カードのピンを使って穴を開けてください。



6. クリーン カードをカード ホルダーに戻します。

7. [トランスペアレント上部カバー] を閉じ、上部排紙トレイを元の位置に取り付けます。



スキャナで原稿の詰まりを解消するには

はじめに

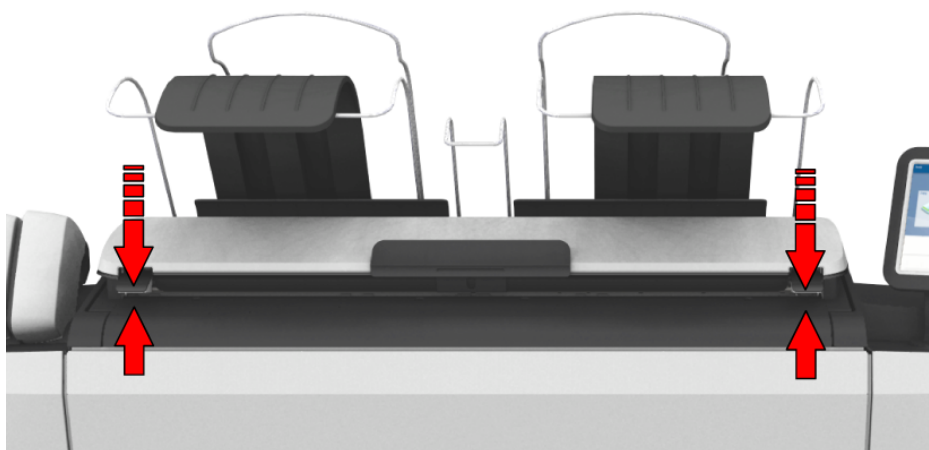
スキャナで原稿の詰まりが発生した場合は、[原稿詰まり] というメッセージが操作パネルに表示されます。スキャナから原稿を取り除く必要があります。操作パネル上のウィザードの指示に従い、詰まりを取り除きます。

原稿の詰まりが頻繁に発生する場合は、次の点を確認します。

- 使用原稿の種類がスキャナに適切であるかどうか
- 挿入する前に原稿がダメージを受けていないかどうか。

手順

1. 両手を使用して左右のスキャナ オープン レバーを押し上げ、スキャナ上部カバーを完全に開きます。ロック メカニズムが作動し、スキャナ上部カバーは開いたまま閉じません。



2. 原稿を取り除きます。
スキャナまたは前面の原稿排紙から原稿を引き出します。
3. 両手を使用して、スキャナ上部カバーをゆっくりと押し下げて閉じます。



メモ

左右のスキャナ オープン レバーが所定の位置でロックされたことを確認します。

4. 原稿を平らに伸ばして挿入します。

ネットワーク ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し

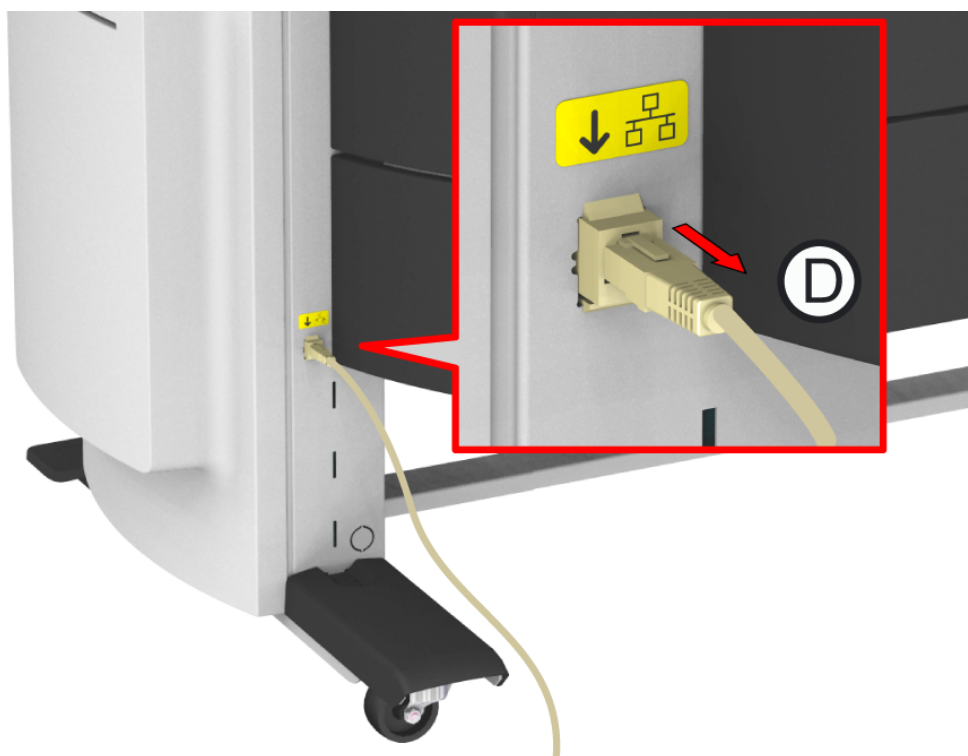
手順



重要

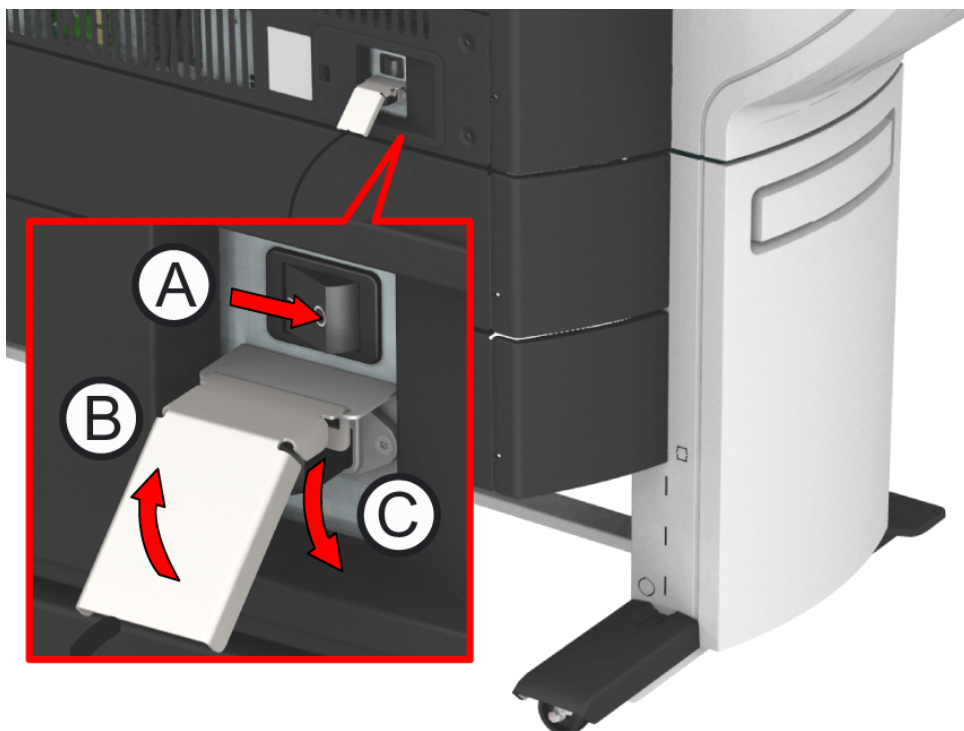
電源スイッチ (A) が「オフ」の位置にあることを確認してください。

1. プリンタ背面右側のネットワーク接続端子 (D) から、ネットワーク ケーブルを取り外します。



2. コンセントから主電源ケーブルを取り外します。
3. 保護カバーを持ち上げます (B)。

4. プリンタ (C) 背面右側の電源接続端子から、主電源ケーブルのもう一方の端を取り外します。



イベント メッセージ

はじめに

プリント ジョブに関連するエラーについてのフィードバックは、イベント リストに表示されます。

WebTools Express でジョブ タブの右上隅の [イベントの表示] をクリックすると、イベント リストを開くことができます。

手順

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[受信の問題 (プロトコル エラー、接続の不具合、フルであるスプール) が原因で、部分的にプリント済みのジョブが中止されました]	• Job Ticket の構造およびキーワードを確認します。 • 操作パネルに [ジョブ メモリが一杯です] メッセージが表示された場合、システムからいくつかのジョブを削除します。 • プリンタがネットワークにアクセスできることを確認します。
[受信の問題 (プロトコル エラー、接続の不具合、フルであるスプール) が原因で、ジョブが中止され、何もプリントされませんでした]	• Job Ticket の構造およびキーワードを確認します。 • 操作パネルに [ジョブ メモリが一杯です] メッセージが表示された場合、システムからいくつかのジョブを削除します。 • プリンタがネットワークにアクセスできることを確認します。
[ドキュメントをプリントできませんでした。特定の TIFF/CALS モードはサポートされません]	ドキュメント タイプがプリンタによってサポートされていません (タイプ 2 の CALS ファイルなど)。 • 新しいファイルを生成します。
[プリント ジョブの処理ができません (メモリーまたはディスク スペースの空きが不足)。]	ファイルが複雑で、プリンタにはその処理に十分なメモリがありません。 • アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 • 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[ドキュメントに PS/PDF データがないか、無効です。正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが破損しています。 • 元のファイルを Adobe Reader からプリントするか、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してアプリケーションから直接プリントを試みます。 • ファイルの生成をもう一度試します。 • 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[PS/PDF の制限。正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが原因で、内部プリンタ エラーが発生しました。 • アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 • 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[PS/PDF リソースの問題 (メモリ、ディスク)、正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが複雑で、プリンタにはその処理に十分なメモリがありません。 - アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 - 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[PS/PDF リソースまたは言語の問題。正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが複雑すぎるか、破損しています。 - アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 - 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[ドキュメントの処理中、ページが生成されませんでした]	ファイルに、プリント不能なページが含まれています。 - ファイルのグラフィック コマンドが失われている可能性があります、ファイルが破損しています。 - シフト設定が、イメージが完全に用紙の外にはみ出す値に設定された可能性があります。
[回復できないため、ジョブは削除されました (データが破損しているか不完全です)]	このメッセージは、電力障害の後にプリンタが再起動され、プリンタ スプール内の一部のドキュメントが破損した場合に表示されます。 送信アプリケーションまたはスマート インボックスからジョブをリプリントします。
[プリンタ内でのソフトウェア クラッシュの原因となるため、ジョブは削除されました]	このメッセージは、電力障害の後にプリンタが再起動され、プリンタ スプール内の一部のドキュメントがソフトウェア問題の原因となっている場合に表示されます。 - ファイルをもう一度生成します。 - 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[用紙要求のタイムアウト後、キューからジョブが削除されました]	用紙要求タイムアウトが経過し、[用紙要求タイムアウト後のアクション] が [ジョブを削除します] に設定されているため、ジョブがプリント キューから削除されました。 送信アプリケーションまたはスマート インボックスからジョブをリプリントします。
[必要な PS/PDF ライセンスが使用できないため、ジョブをプリントできません]	PostScript および PDF ファイルについては、ライセンスがインストールされているかどうかを確認します。
[必要な PDL が無効なため、ジョブをプリントできません]	[設定] - [プリンタ設定] をクリックして、このページ記述言語のプリントを [有効] にします。

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[折りが無効です:タイトルが検出されないか、回転したドキュメントが使用可能な用紙に合っていない。]	[フィニッシング アシスタント] によって、折りが無効化されています使用可能な用紙では、折りの後にタイトルが見えるようにイメージを回転できない場合、この状態が発生する可能性があります。また、[フィニッシング アシスタント] によってタイトル位置が自動検出されない場合にも、この状態が発生する可能性があります。 • 手動で折ることができます。 • 折りの後にタイトルが見えなくてもよい場合や、タイトルなしで図面を折る場合には、[フィニッシング アシスタント] を無効にします。 • 回転した図面が、折りを適用可能な最大用紙幅にフィットする場合 (フィニッシャ仕様を確認してください)、より大きな用紙サイズを取り付けます。
[折りが無効です:折り機はプリント出力を折れません(互換性のないサイズまたは用紙の種類)。]	• 折り機がこの用紙サイズまたは用紙の種類をサポートしていないため、折りは無効になりました。折りが可能な正しい用紙を使用してください。
[シートの長さがクロス折りの限界を超えています。ファン折りのみ用いられます。]	• 文書にはファン折りのみが実行されます。 • ファン折りパッケージを行う場合は、2 番目の折りの最大長さ設定を確認して準拠します。
[ドキュメントが PDL でないか、PDL がサポートされていません]	プリンタが送信されたジョブのフォーマットを認識しているか確認します。 • ジョブ サブミッタでファイルを送信します。 • アプリケーションから直接プリントします。
[スキャン ジョブを外部の場所に配信できません。ジョブが削除されています。]	• 外部ロケーションの認証情報 (ユーザー名とパスワード) を確認します。 • 外部の場所の設定ウィンドウでチェック機能を使用します。 • 外部の場所のその他の設定をすべて確認します。
[スキャンされた原稿からファイルを生成することはできません。出力ファイルの解像度を下げてスキャンを再度実施してください。それでもエラーが発生する場合は、原稿が長すぎないか確認してください。]	• 出力ファイルの解像度を下げます。 • ファイル タイプを変更します。 • 元のサイズが長すぎる場合は縮小します。 • スキャン解像度と圧縮を確認します。 • 複数ページのドキュメントの場合: 複数のスキャン済みファイルに分割します。
[ジョブのアカウントリング データが無効です。ジョブは印刷されていません。]	• 送信アプリケーションでアカウントリング データを修正し、Smart Inbox からジョブをリプリントします。 • ジョブ投入ツールまたはドライバで、会計パラメータが正しく同期されているか確認してください。

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[プリント設定の競合: ドキュメントはファイルに埋め込まれた設定を使用して識別およびプリントされます]	Job Ticket を追加したアプリケーションからジョブが送信されましたが、すでにファイルに Job Ticket が含まれていました。送信アプリケーションで選択された設定は使用されません。代わりに、ファイルに埋め込まれた Job Ticket 設定を使用してジョブが識別およびプリントされます。ジョブは、元の名前でプリント キューおよびスマート インボックスに表示されます。 • ファイルに埋め込まれた設定にスマート インボックス名が含まれている場合、ジョブはそのスマート インボックスに保持されます。 • ファイルに埋め込まれた設定にスマート受信トレイ名が含まれていない場合、ジョブは [システムのデフォルト] - [ジョブ管理]で定義されたデフォルトのスマート受信トレイに保存されます。 • ファイルに埋め込まれた元の設定を使用しない場合、PRISMAproduce Tech を使用してジョブをプリントします。

エラーの場合の設定

はじめに

プリント ジョブで問題が発生した場合、いくつか役に立つ設定があります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [エラーが発生した場合] では、以下の設定を指定できます。

設定	値	説明
[次回起動時にシステムをクリア]	[はい]	プリンタでキュー内のジョブを処理できない場合は、この設定を有効にします。システムを再起動すると、自動的にシステムからすべてのジョブが削除されます。次に、この設定を無効にして、もう一度システムを再起動します。
[受信ジョブ データをサービス用に保存]	[はい]	この設定が有効の場合、システムによって、すべての受信ジョブのデータが保存されます。[サポート] - [メンテナンス] のデータをダウンロードし、[ジョブ データのダウンロード] をクリックします。問題が発生した場合やメンテナンスを目的として、サービス担当者がジョブ データにアクセスできます。  メモ • ジョブの作成で問題が発生した場合にのみ、この設定を有効にします。 • パフォーマンスの低下を防ぐため、サービスの終了後は設定を無効にします。
[WebTools Express のジョブイベント通知を表示]	[はい]	この設定が有効の場合、システムによって、プリント ジョブに関連する注意メッセージが、WebTools Express のキュー表示に表示されます。  メモ 注意メッセージをクリックすると、使用している Web ブラウザのキュー表示からメッセージが削除されます。 別の Web ブラウザの注意メッセージは、ユーザーがクリックするまで表示されたままになります。

3. 設定を指定したら、「OK」をクリックします。

デモ プリントの作成

使用する場合

デモ プリントを使用して、プリンタが正常に動作しているかどうか確認することができます。

手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。 ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリントのテスト]」を選択します。 ウィザードが開きます。
3. [デモプリント] を選択します。
4. 「OK」をタップします。

テスト プリントの作成

使用する場合

ヘルプデスクのリクエストに従って、特定のロールからテスト プリントを作成します。テスト プリントは、品質問題を解決するのに役立つ情報を提供します。

手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリントのテスト]」を選択します。ウィザードが開きます。
3. プリントに使用するロールを選択します。
4. 「OK」をタップします。

第9章

サポート

カウンタ履歴

はじめに

[サポート] - [カウンタ履歴] タブを参照して、プリントされたジョブごとに使用された消耗品の概要を表示します。

下の表に、必要な情報をソート、グループ化、保存またはプリントするためにカウンタ履歴でアクセス可能な様々な機能の概要を示します。

手順

機能	説明
[カウンタ履歴]	カウンタ履歴リストのヘッダで、ドロップ ダウン リストを使って期間 (日数または週数) を選択できます。 カウンタ履歴リストは、選択された期間中にプリントされたジョブについての情報を表示します。
[ジョブ名]、[ジョブ所有者]、[Smart Inbox] または [プリント時間] でのソート	カウンタ履歴リストをソートする場合、次のカウンタ履歴リストの列のヘッダーをクリックできます ([ジョブ名]、[ジョブ所有者]、[Smart Inbox]、[プリント時間])。この方法で、必要に応じてリストをソートできます。
[リスト表示] または [グループ表示]	プリントされたすべてのジョブを表示する場合、カウンタ履歴リストの一番下で [リスト表示] を選択します。 ソート基準に基づいたグループのみを表示する場合、カウンタ履歴リストの一番下で [グループ表示] を選択します。 たとえば、[ジョブ所有者] 列でカウンタ履歴リストをソートして [グループ表示] をクリックすると、カウンタ履歴リストには、選択した期間にプリンタにプリント ジョブを送信したすべてのジョブ所有者のリストが表示されます。[ジョブ所有者] グループを展開すると、選択した期間に [ジョブ所有者] によって送信されたすべてのジョブのリストが表示されます。
[集計情報の表示]	ジョブ カウンタ情報が含まれた全概要が必要な場合、カウンタ履歴リストの右上角で [集計情報の表示] を選択します。 グループ内のすべてのジョブについて、カウンタ情報を表示するグループ名をクリックします。 選択されたジョブについて、カウンタ情報を表示するジョブ名をクリックします。
[すべて保存]	リストに含まれるすべてのジョブについて、カウンタ履歴を保存する場合、カウンタ履歴リストの右上角にある [すべて保存] を選択します。 カウンタ データを [XML ファイル] または [CSV ファイル] として保存することができます。
[すべてプリント]	リストに含まれるすべてのジョブについて、カウンタ履歴をプリントする場合、カウンタ履歴リストの右上角にある [すべてプリント] を選択します。

監査ログ

定義

システム管理者として、システムのすべてのセキュリティ関連イベントの監査を含む CSV (カンマ区切り) ファイルをダウンロードできます。

[監査イベントのダウンロード] および [監査イベントのクリア] にあります。

システム管理者としてログインし[監査ログ]タブの[セキュリティ]を選択します。

[監査イベントのダウンロード]ボタンをクリックし、監査イベントを含む CSV (カンマ区切り) ファイルをダウンロードします。

[監査イベントのクリア] をクリックし、システムに保存されたイベントのリストをクリアします。

リモート サービス: プロキシの設定

はじめに

WebTools Express は、プリンターからサービス組織へ、またはサービス組織からプリンターへのリモートサービスを提供します。

これらの設定は、[サポート] - [リモート サービス] タブ、または [設定] - [接続] - [プロキシ設定] から編集できます。

[リモート サービス] タブには以下のオプションがあります：

- [プロキシを設定する]: プリンターとサービス組織の間に、プロキシサーバーを介した安全なインターネット接続を設定します。
- [接続を確認する]: プリンタとサービス機関の接続を確認します。
- [リモート アシスタンスを許可する]: サービス組織からプリンタへのリモートアシスタンスを許可します。

プロキシの設定

手順

1. [サポート] ～ [リモート サービス] のタブを開き、[プロキシを設定する]をクリックするか、[設定] ～ [接続] ～ [プロキシ設定]に進みます。
2. プロキシサーバー」を設定します：
 - [プロキシ有効]: プロキシ設定を知っていて、自分でプロキシを有効にしたい場合を選択します。[プロキシ ホスト名] と [プロキシ ポート]を記入しなければなりません。
 - [プロキシ ホスト名]: プロキシサーバーの完全修飾ホスト名を入力します。
 - [プロキシ ポート]: プロキシのポートを入力します。
3. 認証を設定します：
 - [プロキシには認証が必要です]: 認証が必要な場合、この設定を選択します。
 - [プロキシ認証: ユーザー]: 認証用のユーザー名を入力します。
 - [プロキシ認証: パスワード]: 認証用のパスワードを入力する。
 - [プロキシ認証: ドメイン]: 認証用のドメインを入力します。
4. OK をクリックしてプロキシ設定を確定します。

リモート サービス: 接続の確認

プロキシの構成後、プリンタとサービス組織の間で接続をテストすることができます。

手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[接続を確認する] をクリックします。
2. メッセージには、回答が 30 秒以内に表示されます。正しく設定されると、[システムがリモート サービスに接続されています。] というメッセージが表示されます。
3. これでシステムはサービス機関にデータを送信できるようになりました。たとえば、Meter Manager、または [リモート サービス] 情報。



メモ

ウェブ経由でのオンライン閲覧、検針票の承認、サービスコールの入力については、当社ウェブサイトをご参照ください。Web サイトでは、アカウント (「マイ アカウント」) を作成して、両方のサービスに対するアクセスを要求できます。

リモート サービス: リモート アシスタンスの許可

必要なすべての設定が指定済みであり、サービス組織によるリモートでのプリンタへのアクセスを許可する場合、リモート アシスタンスを有効にすることができます。

手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[リモート アシスタンスを許可する] をクリックします。
2. メッセージには、接続が確立されているかどうかが表示されます。正しく構成されると、メッセージ「システムへのリモート アシスタンスが有効になっており、現在、接続を受け入れています」および2つの矢印が表示されます。

サービス組織との接続が確立されると、リモート サービス オペレータ (サービス技術者) はシステムを操作して、リモートから支援を提供することができます。



メモ

- ポイントツーポイント接続を介したリモート アシスタンス セッションが確立されてからは、お客様の現場にある他のシステムではなく、この特定のシステムのみにアクセスすることができます。
- サービス組織との接続を終了する場合は、[リモート アシスタンスを停止する] をクリックします。この方法によって、お客様は常にコントロールを維持することができます。

製品のダウンロードとサポート

ダウンロード

ユーザー マニュアル、プリンタ ドライバおよびその他のリソースは、予告なしに変更されることがあります。最新の情報については、以下からダウンロードすることをお勧めします。

<https://downloads.cpp.canon>

Canon のサポート ページから、Canon プリンタのプリンタ ドライバ、ドライバに関連するユーザー マニュアルおよびその他のリソースをダウンロードしてください。

<http://www.canon.com/support/>

製品をご使用になる前に、ご使用の製品に関する最新の安全情報を必ずダウンロードしてください。「安全ガイド」のマニュアルにあるすべての安全に関する情報を必ず読み、理解したことを確認してください。

サポート

サポート情報については、お近くの Canon 代理店にお問い合わせください。

サポートの問い合わせ先については、以下を参照してください。

<http://www.canon.com/support/>



Canon Inc.

canon.com

Canon U.S.A. Inc.

usa.canon.com

Canon Canada Inc.

canon.ca

Canon Europe Ltd.

canon-europe.com

Canon Latin America Inc.

cla.canon.com

Canon Australia Pty. Ltd.

canon.com.au

Canon China Co. Ltd.

canon.com.cn

Canon Singapore Pte. Ltd.

sg.canon

Canon Hongkong Co. Ltd.

hk.canon

Canon Production Printing Systems Inc.

cweb.canon.jp/eng/corporate

Canon Korea Inc.

kr.canon